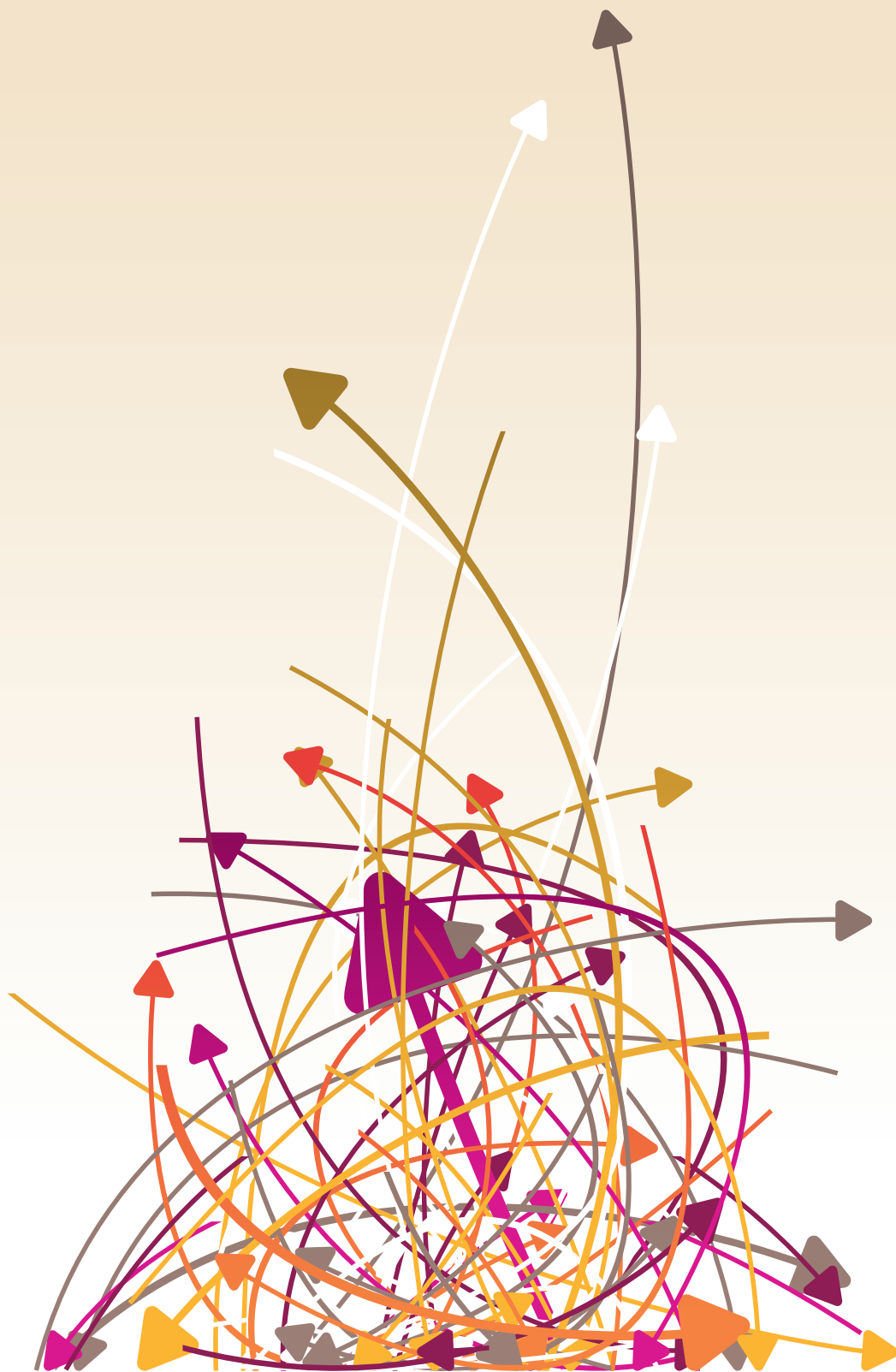


障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する 実態調査報告書

詳細版

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査プロジェクトチーム



目次

提言(はじめに)	2
調査概要	3

A 個人(障がい当事者)	4
B 福祉施設	47
C 実演団体	87
D 劇場・文化施設	107

調査結果の横断比較	127
-----------	-----

参考資料1 調査票(個人)	139
参考資料2 調査票(施設)	158
参考資料3 調査票(実演団体)	177
参考資料4 調査票(劇場)	184

はじめに

愛知大学 文学部 准教授 吉野 さつき

芸術文化が人の心や生活を豊かにし、多様性を尊重する社会を育む力を持つことは、すでに多くの人が理解していることです。しかし、障がいのある人を含め、まだ多くの人が、その創造や鑑賞に参加し、それを十分に享受しているとは言えません。

今回の調査では、障がい者の舞台芸術表現・鑑賞において、障がいのある当事者や福祉関連施設のニーズと、舞台芸術創造発信の場である劇場・文化施設が把握しているニーズとのずれや認識の差、鑑賞サポートや情報発信についてもさまざまな課題があることがわかりました。

また、サポートや情報のニーズが、障がいの種別だけでなく生活環境などによっても異なり、「障がい者」として一括りにしない対応が必要であることも明確になりました。

さらに、創造・表現活動への参加やその継続・発展を促すための専門人材が不足していることも判明し、その育成は急務であり大きな課題です。

国の「文化芸術振興基本法」やその基本理念に基づく「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律」、さらに2016年に「障害者差別解消法」が施行された今、芸術文化と福祉の両面から、このような現状を改善し、舞台芸術の持つ力を全ての人のために活かすことのできる社会を創るために、今回の調査結果を踏まえて以下を提言します。

提言 芸術文化と福祉をまたぐプラットフォームの創設

芸術文化と福祉の両分野が協働して、人材を育成し、情報を収集・整備・発信し、さらにこれら人材・情報を媒介とするネットワークを構築し、地域やセクターを超えた協働の場が創られるよう、横断的な中間支援を行うプラットフォームが、いま必要とされています。

1. 人材の育成

- 表現や運営のスキル及び活動の質をより高めるためのプログラムや、活動団体などの枠を超えて学び合う場を作り、障がいのあるアーティストと、その活動を支援し協働する専門人材や団体運営者を育成する。
- 劇場・文化施設と福祉関連施設職員の研修や交流も含めた交換留学制度を作り、表現の場と鑑賞の機会を提供する劇場・文化施設の人材と、表現・鑑賞活動をサポートする福祉関連施設の人材を育成する。
- 芸術大学などのアーツマネジメント課程に福祉を、福祉大学などの課程に芸術やアーツマネジメントを取り入れ、芸術と福祉の分野をつなぐマネジメントやサポートの専門人材を育成する。

2. 情報の収集・整備・発信

以下の各種情報を収集、整備して、各方面に向け発信する。

- 障がいのあるアーティストの活動や公演に関して、表現活動や運営を行う個人・団体が発信する情報
- 障がいのある人の鑑賞や参加の機会やサポートに関して、劇場・文化施設が発信する情報
- フェスティバルなどでの上演機会やワークショップなどへの参加機会に関して、事業企画者が発信する情報
- 表現活動や運営、人材育成への支援・助成などに関して、自治体や財団など官民の組織が発信する情報

3. ネットワーク構築

表現活動の現場と劇場・文化施設、福祉関連施設、教育研究機関、事業企画者、官民支援組織、地方自治体などの間をつないで、相互に情報を共有し、意見を交換して、連携・協働のできる関係を作り、人的交流を促すネットワークを構築する。

調査概要

1

調査の目的

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向け、障がいのある人々による芸術表現活動が全国各地で展開して、多くの障がい者が芸術文化を鑑賞・表現できる持続的な社会づくりの大きな契機となることを、期待されています。

そこで、個人(障がい当事者)、福祉施設、実演団体ならびに官民の劇場や文化施設を対象に、障がい者の舞台芸術表現・鑑賞にかかわる、それぞれの現状、課題とニーズなどを把握し、障がい者による舞台芸術の表現・鑑賞に関する環境整備の具体的な検討を進め、施策や支援策につなげていくことを目的として、実態調査を行いました。

2

調査方法

	A 個人 (障がい当事者)	B 福祉施設	C 実演団体	D 劇場・文化施設
対 象	国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)※1の登録者※2 4536件、登録施設※3 2567件		公演活動を行っている舞台芸術分野の実演団体※4 60件	公立文化施設協会加盟1288件並びに非加盟1097件
回答数(回収率)	208件 (4.6%)	341件 (13.3%)	44件 (73.3%)	665件 (27.9%)
方 法	郵送法		メール法	郵送法
時 期	2016年 8月～9月			

※1 「国連・障害者の十年(1983～1992年)」を記念して、2001年に厚生労働省が、障がい者の「完全参加と平等」の実現を図るシンボリックな施設として設置。障がいの有無に関わらず国際交流活動や芸術・文化活動の場として、先端的な取組みを行う。

※2 本人(障がい当事者)が回答できない場合は、保護者もしくは支援者が記入。

※3 福祉関連施設(通所、入所、相談施設)、医療関連施設、教育機関、企業、サークル、情報提供施設など。

※4 障がいのある人とともに不特定多数の観客に向けた作品制作を行う団体。子どもが主たる活動参加者のケースを除く。

3

主な調査内容

A 個人 (障がい当事者) B 福祉施設	C 実演団体	D 劇場・文化施設
鑑賞機会の状況 公演施設でのサポート状況 鑑賞上の課題やニーズ 表現活動の状況 表現活動上の課題やニーズ 鑑賞や表現を通じた成果	表現活動の状況 活動の分野、形態 活動の成果 活動上の課題や工夫 運営体制、収支	設備状況 運営体制 研修の実施状況 障がい者の施設利用状況 障がい者へのサポート状況 取組の成果

4

調査実施者

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査プロジェクトチーム

特定非営利活動法人スローレーベル 秋元 千枝

株式会社リアライズ バリアフリーイベントディレクター 南部 充央

公益社団法人全国公立文化施設協会 理事・アドバイザー 間瀬 勝一

東京藝術大学 特任研究員 村田 博信

愛知大学 文学部 准教授 吉野 さつき

日本財団パラリンピックサポートセンター パラリンピック研究会

上級研究員 佐藤 宏美/矢島 佳子/石岡 亜希子

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)

事業プロデューサー 鈴木 京子/上岡 亜希

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

障がい者・個人アンケート 集計・分析（詳細版）

調査対象 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）の登録者 4563 名
 調査期間 平成 28 年度 9 月 20 日（火）～9 月 30 日（金）
 調査方法 調査票郵送・回収
 有効回答 208 件
 回収率 4.6%
 分析者 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）事業プロデューサー 鈴木 京子

Ⅲ 回答者について

ⅢQ1. 居住地

	件	%
大阪府	143	68.8%
兵庫県	10	4.8%
福島県	9	4.3%
京都府	7	3.4%
埼玉県	5	2.4%
奈良県	4	1.9%
和歌山県	4	1.9%
千葉県	3	1.4%
東京都	2	1.0%
神奈川県	2	1.0%
岐阜県	2	1.0%
静岡県	2	1.0%
愛知県	2	1.0%
三重県	2	1.0%
青森県	1	0.5%
新潟県	1	0.5%
山梨県	1	0.5%
長野県	1	0.5%
滋賀県	1	0.5%
無回答／わからない	6	2.9%
合計	208	

（有効回答数：208）

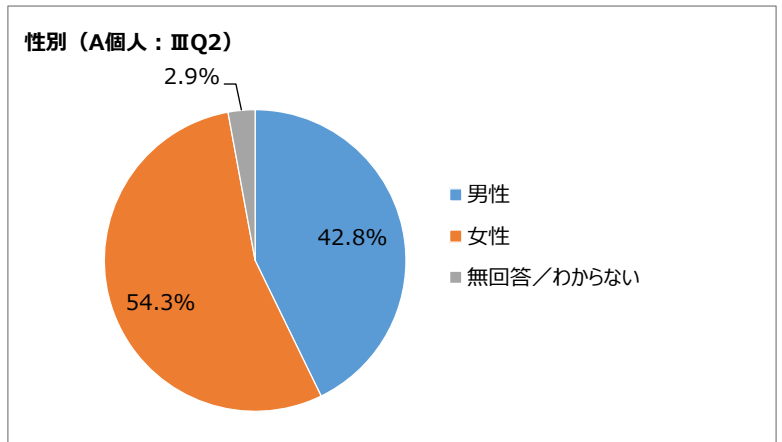
居住地：都道府県（A個人：ⅢQ1）〈件〉



ⅢQ2. 性別

	件	%
男性	89	42.8%
女性	113	54.3%
無回答／わからない	6	2.9%
合計	208	

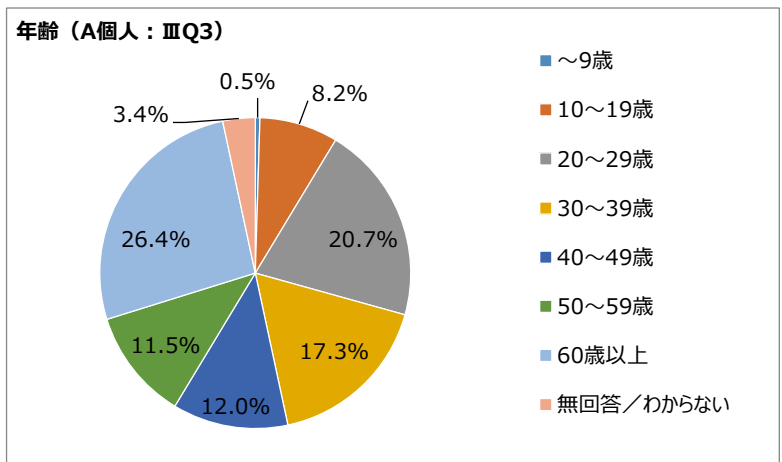
(有効回答数：208)



ⅢQ3. 年齢

	件	%
0～9歳	1	0.5%
10～19歳	17	8.2%
20～29歳	43	20.7%
30～39歳	36	17.3%
40～49歳	25	12.0%
50～59歳	24	11.5%
60歳以上	55	26.4%
無回答／わからない	7	3.4%
合計	208	

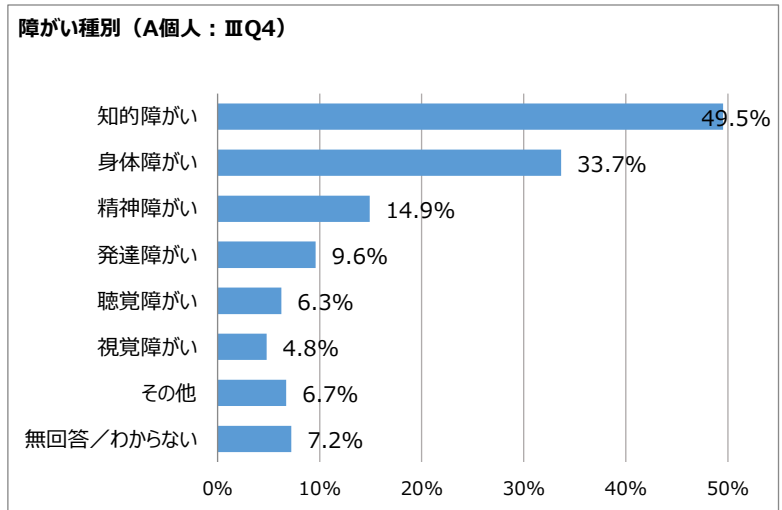
(有効回答数：208)



ⅢQ4. 障がい種別（いくつでも）

	件	%
知的障がい	103	49.5%
身体障がい	70	33.7%
精神障がい	31	14.9%
発達障がい	20	9.6%
聴覚障がい	13	6.3%
視覚障がい	10	4.8%
その他	14	6.7%
無回答／わからない	15	7.2%

(有効回答数：208)



ⅢQ4. その他（自由筆記）

- ・自閉症×3 ・情緒障がい ・ダウン障がい ・身体の不随意運動 ・W/Cの杖の両方 ・つえ
- ・高次機能障害 ・内部障がい ・ヘルパー事業所 ・きけんむうらい

I 舞台芸術の表現活動について

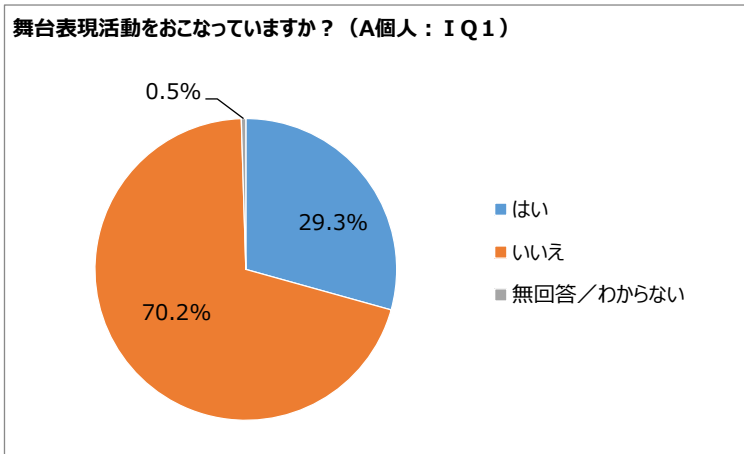
I Q1. 舞台芸術表現活動をおこなっていますか？

(1) はい ※「はい」と回答した方は下記の I Q2～ I Q21 に

(2) いいえ ※「いいえ」と回答した方は I Q22～ I Q26 に

	件	%
はい	61	29.3%
いいえ	146	70.2%
無回答／わからない	1	0.5%
合計	208	

(有効回答数：208)

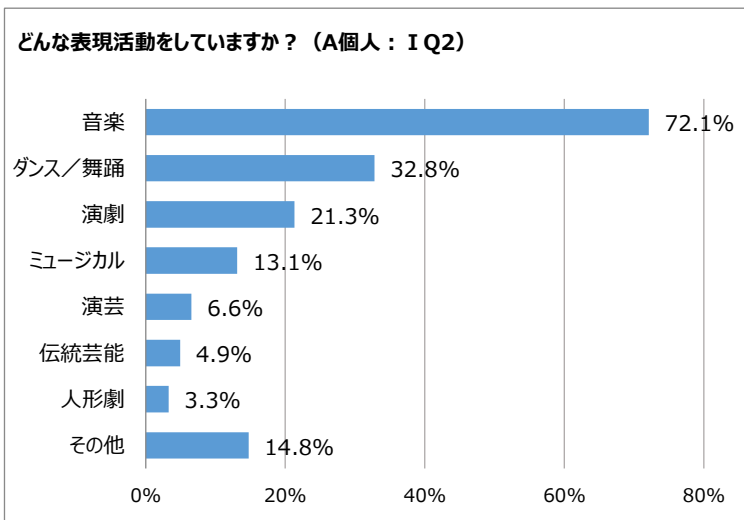


I Q1 で「はい」と回答した方（表現活動をしている人）

I Q2. どんな表現活動をしていますか？（いくつでも）

	件	%
音楽	44	72.1%
ダンス／舞踊	20	32.8%
演劇	13	21.3%
ミュージカル	8	13.1%
演芸	4	6.6%
伝統芸能	3	4.9%
人形劇	2	3.3%
その他	9	14.8%
無回答／わからない	0	0.0%

(有効回答数：61)



I Q2. 具体的に 活動ジャンル

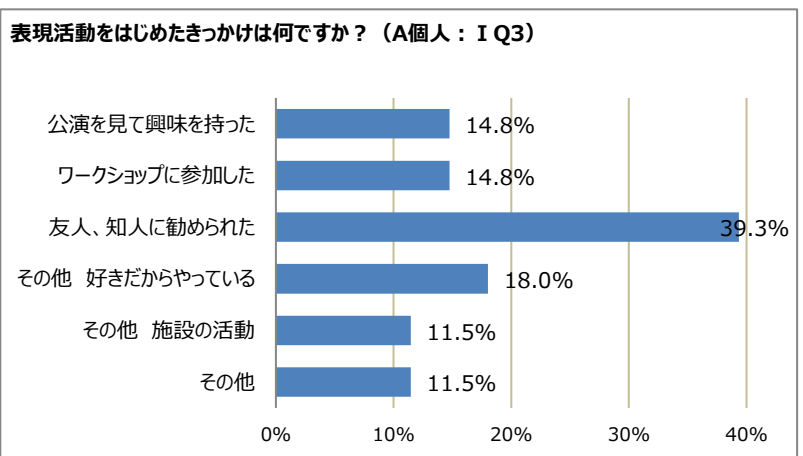
<p>(1) ダンス／舞踊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エアロビクス×2 ・ジャズダンス×4 ・舞踊、バレエ ・曲にあわせて振付 ・踊り福祉施設の祭り等にジスチャー的な物 ・ストリートダンス×2 ・すべて可能な限り 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンス ・社交ダンス ・車いすダンス×2 ・学校のぶんかしゅうかい ・主にオリジナル音楽にふりつけ、自分で舞う（日本舞よう、洋もの国を問わず表現する世界にあわせる）
--	---

<p>(3) 伝統芸能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎鳴り物(小鼓、太鼓、他) ・狂言、歌舞伎、我が国の伝とう芸術に関心度が高い評価 <p>(5) 演芸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漫才のようなおもしろい司会をした ・玉すだれ <p>(7) 音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌×15 ・ギター演奏×2 ・太鼓×8 ・ピアノ×6 ・邦楽演奏 ・民謡+三味線伴奏 ・楽器演奏×3 ・ラテンパーカッション×5 ・パーラंक 	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカパーカッション×2 ・作詞・作曲、弾き語り（ピアノ） ・JAZZ セッション（初心者） ・オカリナ演奏 ・マリンバ、 ・ドラム ・音楽療法の一環として <p>(8) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クローズアップマジック、似顔絵描き ・支援学校での音楽教育を重視したカリキュラムによる表現活動（ミュージカル、オペラ等） ・書道、詩、作詩、詩の朗読 ・太鼓のひびかせかたに円熟している。 ・絵画 市の美展、コンテスト、個展、グループ展 ・車イスミュージカル ・詩吟 ・民謡を唄う、太鼓の伴奏をつけて演奏する
--	---

I Q3. 表現活動をはじめたきっかけは何ですか？

表現をはじめたきっかけは、公演をみたり、ワークショップに参加したり、本人の体験からも多い。その他の具体的な回答の中で本人が好きだからという回答が多くみられ、体験することで自らが表現したい、表現することが好きだという自発的に始めたことが伺える。

	件	%
公演を見て興味を持った	9	14.8%
ワークショップに参加した	9	14.8%
友人、知人に勧められた	24	39.3%
その他※ 好きだからやっている	11	18.0%
その他※ 施設の活動	7	11.5%
その他	7	11.5%
無回答／わからない	0	0.0%
合計	61	



（有効回答数：61 ただし5件が複数選択）

※自由記述にあった「好きだからやっている」

「施設の活動」については項目を設置し振り分けた

I Q3. その他 具体的に

<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害があっても楽しんで表現したり、身体を動かす機会が、欲しくて親と協力者でサークルをつくった。 ・絵を描くもの、マジックも大好きで、人と仲良くしたいから。 ・小さい時からリズム感がありピアノ等習っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ発表会に参加してからです。 ・文化活動をつづいての仲間作り ・日常的に音楽文化にふれる様に設定されたカリキュラム ・職員にすすめられて
---	--

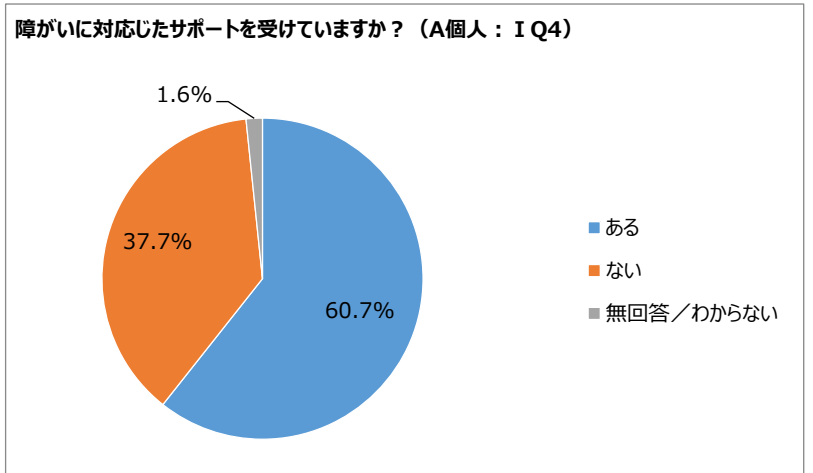
<ul style="list-style-type: none"> ・中学時代に書いた一編の詩から、詩に興味が出て今まで続けて書いている ・自分で創った ・音楽やダンスが大好き ・音楽が好き ・小さい頃より、好きだったので、教室で描き始めました。 ・楽器を弾いてみたかったため ・ダンスが好き ・昔からやりたかったから ・自分を表現するため ・たたくのがすきだから ・音楽が好きだった。又、一生の趣味と出来るものを捜していたので。 ・施設の教室を希望した ・自主的に習う 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業所の取り組みで ・支援学校にて ・施設の職員に勧められて、自分できめた。 ・手をつなぐ親の会のクラブに入会 ・施設での教室活動 ・施設内で行われている教室 ・健常だった時の少年少女合唱団の活動が楽しく O B の参加できる舞台で参加可能なものがあると連絡がくる ・障害者を持つ 1 人の親が生涯を楽しみながらすすめてやりたいと皆さんにさそいをかけて始まった。 ・市の職員に大阪府障害者芸術・文化フェスタの案内をもらい、応募したらと声をかけられた ・母が民謡 三味線を教えている。 ・母に勧められた ・脳障害をうけた本格的になったかな？
---	---

I Q4. 障がいに対応したサポートを受けていますか？

活動するうえで受けるサポートの多くは活動場所、活動時の移動や外出支援が突出していた。活動するためには、移動支援があるかないかで参加できるかできないかのポイントになると考えられる。

	件	%
ある	37	60.7%
ない	23	37.7%
無回答／わからない	1	1.6%
合計	61	

(有効回答数：61)



I Q4. 「ある」サポートの内容を具体的に

<ul style="list-style-type: none"> ・母親と普段は練習し、週 1 回ピアノの伴奏をつけてもらいながらレッスンを受けている(個人レッスン) ・指導者が障がいに対して理解がある ・画板の準備、こだわりに合わせて下さっています。 ・トイレ休憩等、配慮してもらえた ・専門性はあるとはいえませんが指導者や仲間(健常の) が理解しようとしてくださり、共感しようとしてくださり、共有できる機会が深まっていると思います。 ・車イスを押してもらいました ・母の介助、又、ステージ上での移動などは団員の介助、指導者と具体的に相談し、参加のしかたを都度うちあわせる。 ・主に声をかけ（やわらかい口調で話す、攻撃的表現をしない）、イヤマフ使用 ・わかりやすく、楽しむことを重視した内容 ・待てないので、出演直前に舞台上に上る、など
--

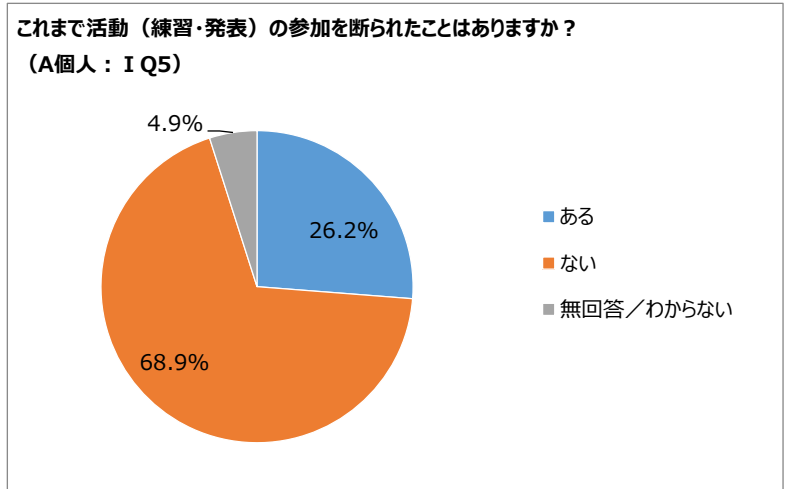
- ・強制（無理にしていることなど）はしない その子表現を大切に
- ・多少間違えても許してもらえる。 ・ガイドヘルパー×7 ・ヘルパー×2 ・福祉協議会のサポートを受けている。
- ・外出支援 ・手引き ・友人知人 ・介護者と一緒に活動する
- ・一種一級機能障害の為、1才6ヶ月からずっとリハビリは続けている。
- ・指導をうけている ・就労、相談 ・日中一時サービス・移動支援 ・施設の中の作業、食事等
- ・地域活動支援センターにて指導を受けている ・施設の利用料がありません
- ・市立の障害者センターの施設（部屋）を利用させてもらっている。 ・リハビリ、人から、社会から等々・・・！？

I Q5.これまで活動（練習・発表）の参加を断られたことがありますか？

参加を断られた人が全体の 26.2%にものぼる。断られた理由の中では、障害に関することが多く、最も多かったのは、障害のある人への指導方法や対応がわからない、対応できる人がいないという回答が多かった。

	件	%
ある	16	26.2%
ない	42	68.9%
無回答／わからない	3	4.9%
合計	61	

（有効回答数：61）



I Q5. 「ある」断られた理由を具体的に

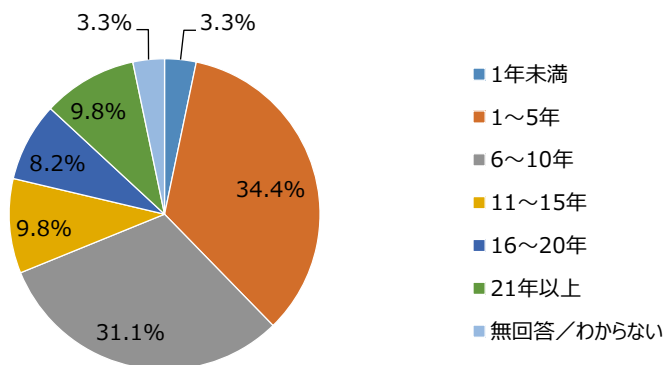
- ・以前オカリナグループに入れていただいていたが、他の人達が上達するにつれ、疎外されるようになり、いづらくなった。
- ・人数が多いため抽選もれ
- ・障害をもっている人に対応する職員がいない
- ・抽象画なので、日本画、洋画、デザインに該当しないので、美展企画担当者、関係者に問題提起させてもらい、検討後、了承して下さり、洋画部門で市の美展に応募搬入できました。
- ・障害児のお世話をしようとしていないから
- ・車椅子なので安全面を名目にオーディションを受けることができなかった（プロダクション等）
- ・選抜だったので落選 スケジュールの上の理由
- ・定員枠があり、抽選にもれたから
- ・個人ではないが、サークルとして「太鼓の音はダメ」と言われたことは何度か有り
- ・音が大き、下に響く等
- ・障害者であるので
- ・地元の舞踊（民ようサークルのような）にできなくても参加するとよいと思いましたが、やはり、指導の仕方がわからないなどのことでできませんでした。
- ・クオリティーの高さを求める曲目などへの参加は遠慮してほしい旨を伝えられ、その他に参加できそうなものと考えていただいたりしている。
- ・過去にどう対処してよいかわからない、人手が不足しているので対応できない。障がいがある人は受け付けていない。
- ・練習場所の近所の住民より、音がうるさいとのことで、練習できなくなった。（青少年の家）

I Q6. どのくらい活動を続けていますか？

	件	%
1年未満	2	3.3%
1～5年	21	34.4%
6～10年	19	31.1%
11～15年	6	9.8%
16～20年	5	8.2%
21年以上	6	9.8%
無回答／わからない	2	3.3%
合計	61	

（有効回答数：61）

どのくらい活動を続けていますか？（A個人：I Q6）



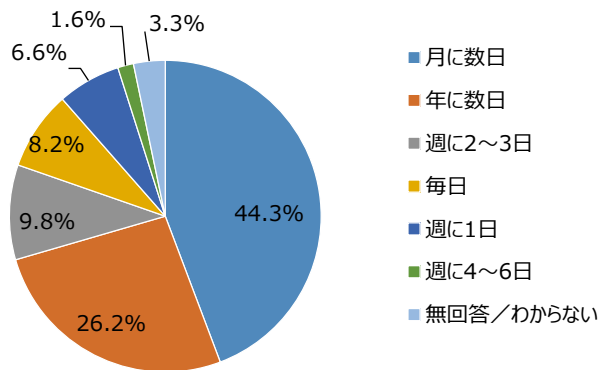
I Q7. どのくらい活動をしていますか？

（複数の活動をしている場合は合計）

	件	%
月に数日	27	44.3%
年に数日	16	26.2%
週に2～3日	6	9.8%
毎日	5	8.2%
週に1日	4	6.6%
週に4～6日	1	1.6%
無回答／わからない	2	3.3%
合計	61	

（有効回答数：61）

どのくらい活動をしていますか？（A個人：I Q7）



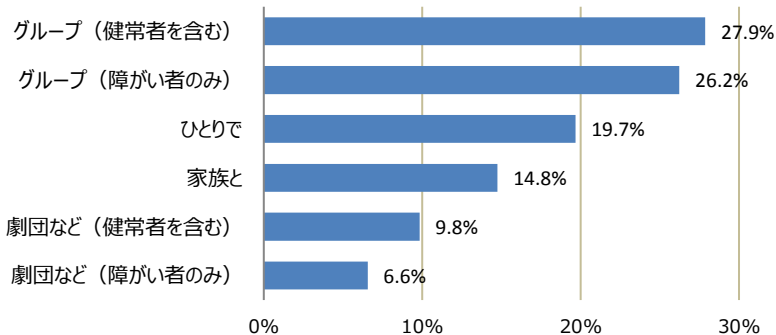
I Q8. 表現活動は誰としていますか？

共に活動するのは身近にいる友人や知人、施設、学校の仲間で、健常者も含んだグループが多い。また、専門家の指導を受けている人が一番多く、練習場所も地域の劇場や文化施設を使用している人が多いことから、福祉施設の活動にくらべて開かれた環境での活動であると言える。

	件	%
グループ（健常者を含む）	17	27.9%
グループ（障がい者のみ）	16	26.2%
ひとりで	12	19.7%
家族と	9	14.8%
劇団など（健常者を含む）	6	9.8%
劇団など（障がい者のみ）	4	6.6%
無回答／わからない	0	0.0%
合計	61	

（有効回答数：61 ただし複数回答7件）

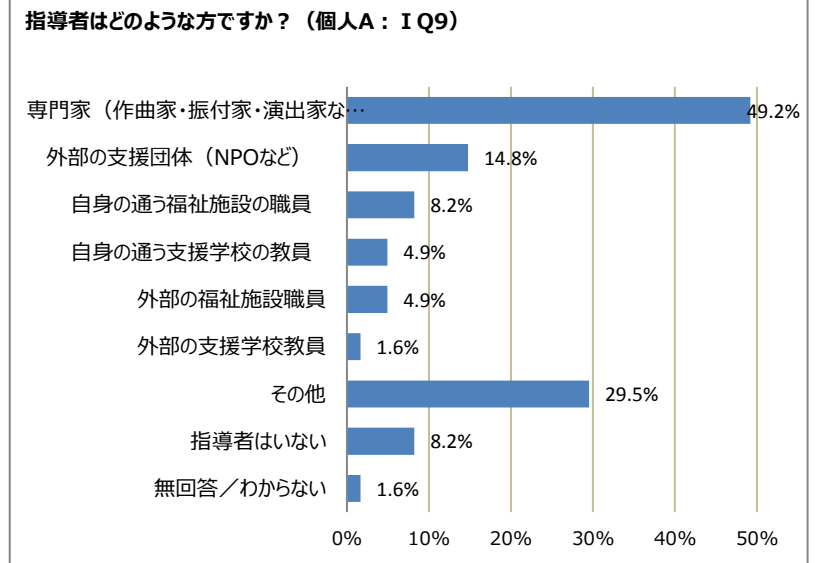
表現活動は誰としていますか？（個人A：I Q8）



I Q9. 指導者はどのような方ですか？（いくつでも）

	件	%
専門家（作曲家・振付家・演出家など）	30	49.2%
外部の支援団体（NPO など）	9	14.8%
自身の通う福祉施設の職員	5	8.2%
自身の通う支援学校の教員	3	4.9%
外部の福祉施設職員	3	4.9%
外部の支援学校教員	1	1.6%
その他	18	29.5%
指導者はいない	5	8.2%
無回答／わからない	1	1.6%

（有効回答数：61）



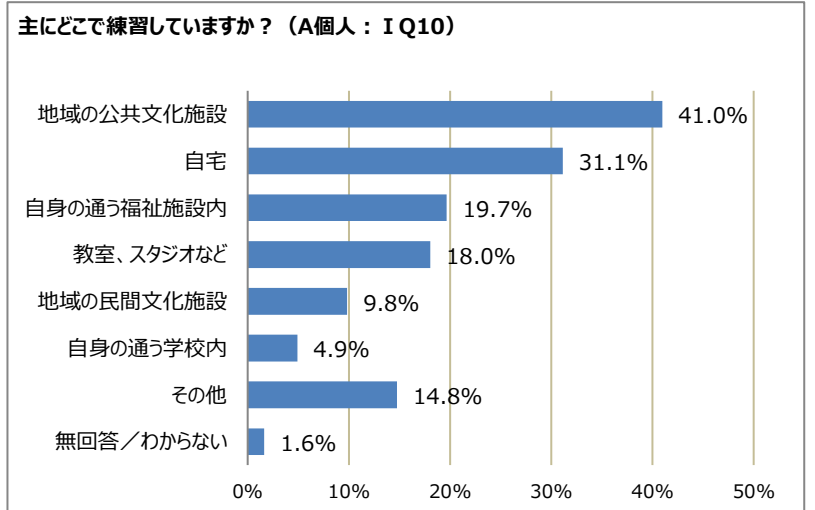
I Q9. その他 具体的に

<ul style="list-style-type: none"> ・音楽教室 ・オープンカレッジなど ・自分 ・地域の指導者 ・絵画教室の講師 ・母親 ・自分で考えてしていることもある ・元幼稚園教諭 ・親 ・メディア等に関わるもの全て 	<ul style="list-style-type: none"> ・就業前の通園施設の保育士さんであり、その後、放課後等のディサービス職員の職員となる。また和太鼓のNPOの役員でもある ・声楽 障害者 ピアノ 健常者 ・仲間の母親 ・インストラクター ・障害者である私 会の代表 ・障害者を持つ親が専門的に指導している ・退職した福祉関係の教員 ・介護者、団体の職員
--	---

I Q10. 主にどこで練習していますか？（いくつでも）

	件	%
地域の公共文化施設	25	41.0%
自宅	19	31.1%
自身の通う福祉施設内	12	19.7%
教室、スタジオなど	11	18.0%
地域の民間文化施設	6	9.8%
自身の通う学校内	3	4.9%
その他	9	14.8%
無回答／わからない	1	1.6%
合計	61	

（有効回答数：61）



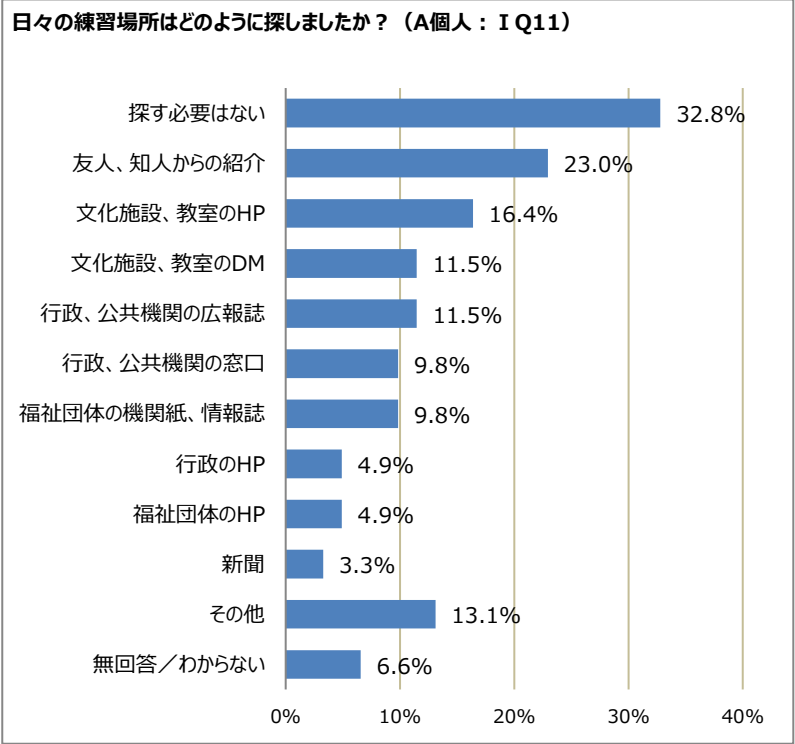
I Q10. その他 具体的に

- ・ビッグ・アイ ・長居障害者スポーツセンター ・地域活動支援センター ・メディア等関わるものの全て
- ・事務所 ・公園 ・青少年の家が使えないため、公共施設の多目的室など（決まった所がなく困っている）
- ・自分がすんでいる施設

I Q11. 日々の練習場所は、どのように探しましたか？（いくつでも）

	件	%
探す必要はない	20	32.8%
友人、知人からの紹介	14	23.0%
文化施設、教室のHP	10	16.4%
文化施設、教室のDM	7	11.5%
行政、公共機関の広報誌	7	11.5%
行政、公共機関の窓口	6	9.8%
福祉団体の機関紙、情報誌	6	9.8%
行政のHP	3	4.9%
福祉団体のHP	3	4.9%
新聞	2	3.3%
ウェブマガジン	0	0.0%
SNS	0	0.0%
その他	8	13.1%
無回答／わからない	4	6.6%
合計	61	

（有効回答数：61）



I Q11. その他 具体的に

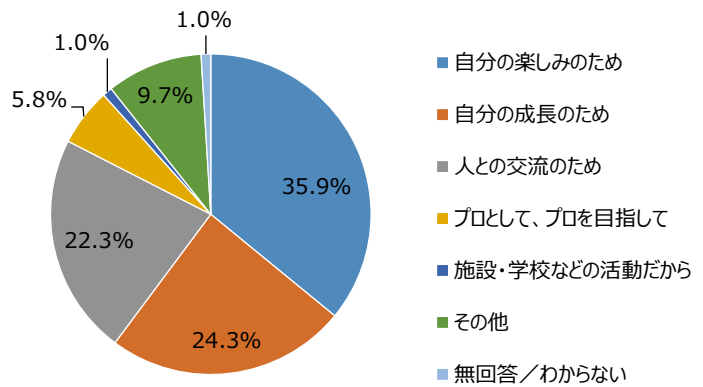
- ・自宅×2 ・手をつなぐ親の会の役員さんからお願いしてもらう。
- ・メディア等に関わるもの全て
- ・私が知った時には、もともとそこで練習されていた。知ったのは違う活動をしていて、その施設を使っていたため
- ・事務所 ・団が契約している練習会場なので探す必要なし ・家庭で親と

I Q12. 表現活動の一番の目的は何ですか？

	件	%
自分の楽しみのため	16	26.2%
自分の成長のため	15	24.6%
人との交流のため	13	21.3%
プロとして、プロを目指して	5	8.2%
施設・学校などの活動だから	1	1.6%
その他	10	16.4%
特にない	0	0.0%
無回答／わからない	1	1.6%
合計	61	

(有効回答数：61)

表現活動の一番の目的は何ですか？（A個人：I Q12）



I Q12. その他 具体的に

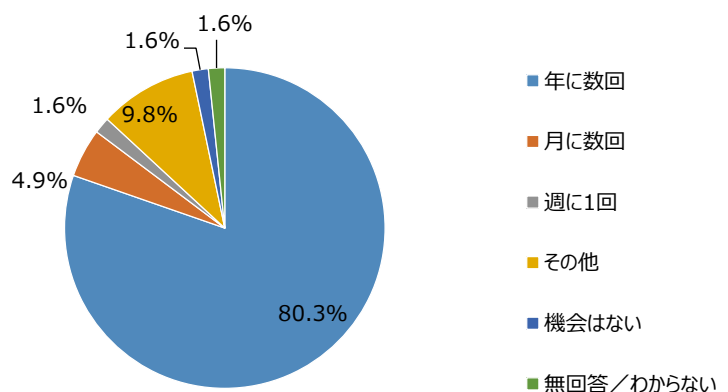
- ・障害をもっていても何かできる得意な事がある。
- ・本人にとって（生きがいとなる活動や生活）手ごたえのある暮らしを生涯送って欲しいから。 ・出来ることはなんでも挑戦する
- ・親子で活動し、子どもの成長を通して親も成長する。仲間同志も育ち合う。 ・社会参加と啓発
- ・家でこもるタイプ 家にいるとテレビをみて、ぼーっとしているだけ。外に出て、人前で立つだけでも、時に「やったよー」という顔つきになる。刺激になる。なんかうれしい
- ・小銭稼ぎ ・脳の活性化 ・発表の場が本人の自己肯定の場となっている
- ・今までは、特になかったけれど、ここ数か月で「伝えたい」という思いがめばえた。

I Q13. 練習の成果を発表する機会がありますか？

	件	%
年に数回	49	80.3%
月に数回	3	4.9%
週に1回	1	1.6%
毎日	0	0.0%
週に4～6回	0	0.0%
週に2～3回	0	0.0%
その他	6	9.8%
機会はない	1	1.6%
無回答／わからない	1	1.6%
合計	61	

(有効回答数：61)

練習の成果を発表する機会がありますか？（A個人：I Q13）



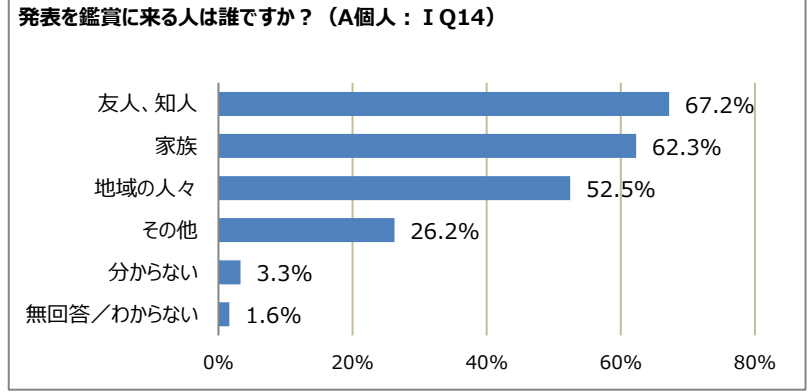
I Q13. その他 具体的に

- ・旭区福祉協議会さんに誘われたら行く。 ・オリジナル作品 1 回目は、H 2 7 年実施
- ・高槻の市長さんがファンになって下さって、毎年市長室に飾って下さっている。 ・すべて生ある限り
- ・年によってバラつきあり ・2 年 1 回お祭りにて ・O B 参加ステージがある時、団の 50 周年コンサートなど

IQ14. 発表を鑑賞に来る人は誰ですか？（いくつでも）

	件	%
友人、知人	41	67.2%
家族	38	62.3%
地域の人々	32	52.5%
その他	16	26.2%
分からない	2	3.3%
無回答／わからない	1	1.6%

（有効回答数：61）



IQ14-3. 地域の人々 具体的に

- ・地元の市民音楽祭は、町内の方が来てくださいます。 ・福祉協議会のお知らせを見た人
- ・自治会、保育所、老人ホーム、グループの方々、父兄 ・チラシを手にした人
- ・定期演奏会、夏祭り ・地域の支援級に通ったので、その時の先生方、同級生、近所に住んでらっしゃる地域の方々。
- ・全国年金者組合の人々 ・共生きマラソンイベント ・小田さん一家、なっちゃん
- ・老人ホームや入所施設等で入所者に ・広報 ・老人ホームや障がい者施設の方々
- ・広報の方が地域の人に声をかけてくれた場合 ・施設の周囲の方 ・イベントによってその関係者、老若男女障害問わず
- ・ディーサービス、利用者、他 ・ディーサービス利用しているところの所長さん ・地域住民

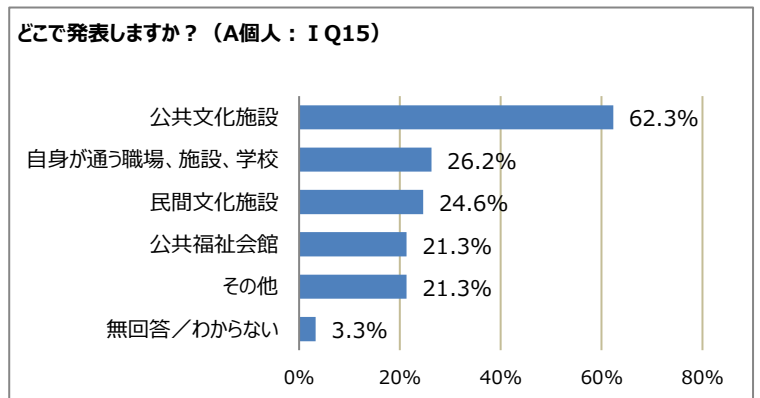
IQ14-4. その他 具体的に

- ・支援学校の先生 ・絵画、展示会場でのイベントとして、多数の人達に聞いていただく ・恩師 ・ガイドヘルパー
- ・療育園や作業所、支援級、支援学校の保母者の口コミ。 ・施設の人たち、職員
- ・小学校長期休業中の放課後活動・高齢者施設 ・関係者（各団体の） ・文化フェスタや障害者成人のつどいで
- ・学校や大学、作業所などの指導者、関係者 ・チラシをみてきてくれる知らない人 etc. ・発表を行う所の人達
- ・チケットを買った一般客 ・地域の民謡団体の発表会にも出演させてもらっている ・イベントの鑑賞者

IQ15. どこで発表しますか？（いくつでも）

	件	%
公共文化施設	38	62.3%
自身が通う職場、施設、学校	16	26.2%
民間文化施設	15	24.6%
公共福祉会館	13	21.3%
その他	13	21.3%
無回答／わからない	2	3.3%

（有効回答数：61）



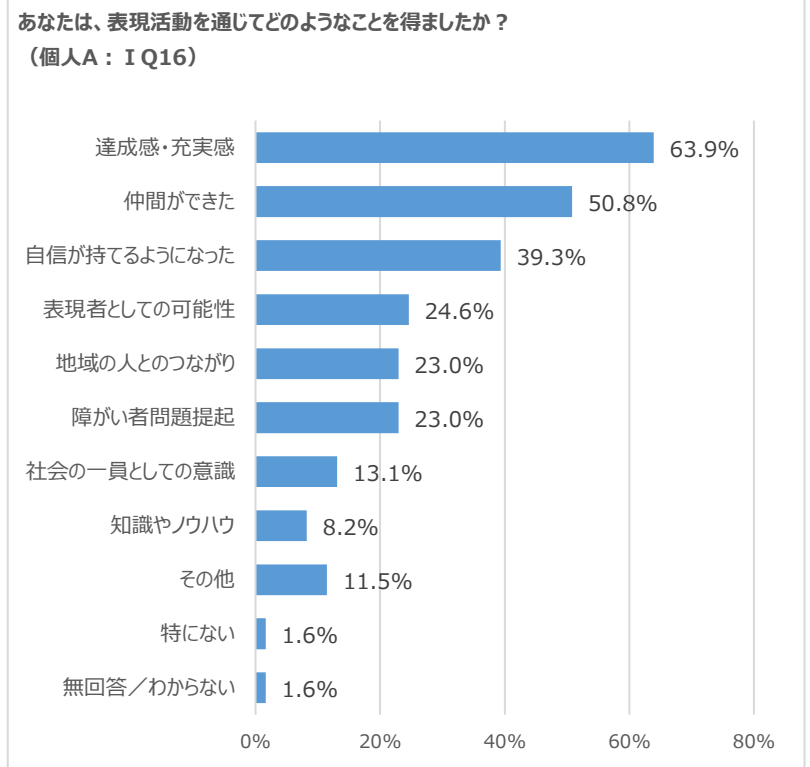
IQ15. その他 具体的に

- ・老人ホーム ・ピアノならってるところ ・福祉施設 ・大阪市生涯学習センター ・地域活動支援センター
- ・青少年の家 ホール ・自分に関わるもの全て ・老人ホーム、ピアあすなら、放課後デイ等 ・体育館、グラウンド
- ・クリスマス会 ・老人ホーム等 ・イベントの開催場所

I Q16. あなたは、表現活動を通じてどのようなことを得ましたか？（3 つまで）

	件	%
達成感・充実感を味わえた	39	63.9%
知識やノウハウが豊かになった	31	50.8%
自分により自信が持てるようになった	24	39.3%
表現者としての可能性に気づくことができた	15	24.6%
価値観を共有できる仲間ができた	14	23.0%
地域のさまざまな人とのつながりができた	14	23.0%
社会・地域の一員としての意識が増した	8	13.1%
社会・地域に対して障がい者に関する問題を提起することができた	5	8.2%
その他 具体的に	7	11.5%
特にない	1	1.6%
達成感・充実感を味わえた	1	1.6%

（有効回答数：61※ただし 8 件が 3 つ以上選択）



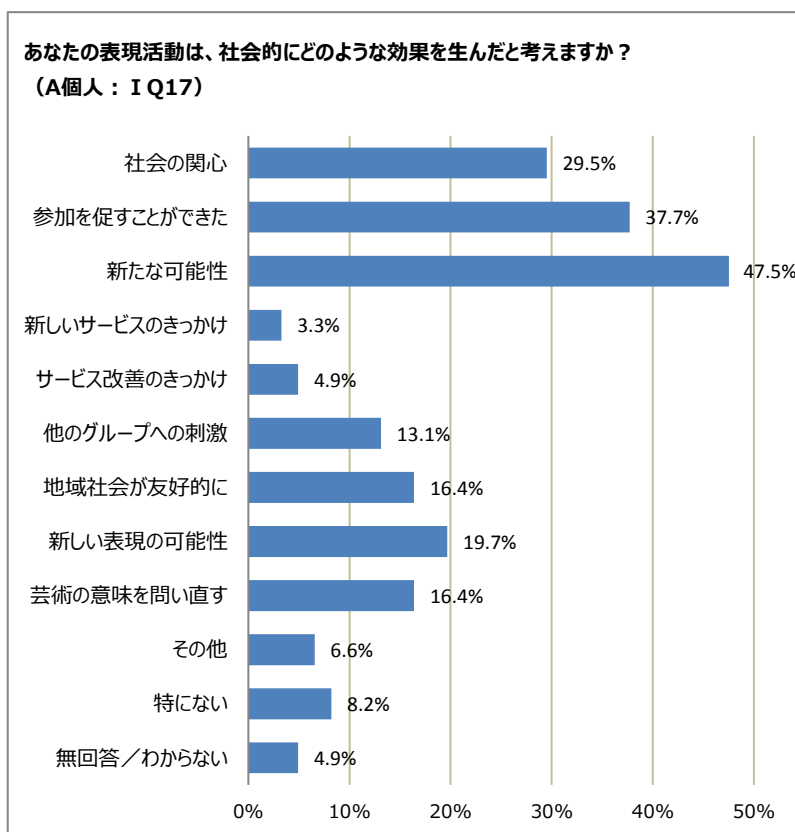
I Q16. その他 具体的に

- ・世の中に様々な人がいると知った。
- ・むずかしく考えられやすい、クラシックオペラ等の音楽を身近なものとして自然にたのしめる様になった。
- ・楽器をうまくするのは、むずかしい
- ・障がいのある人もない人も表現しては、区別がないことに気づいていた。体調管理ができるようになった。（本番に向けて）
- ・都度工夫をみんなで経験することで、障害者の活動する場は増えるし、健常の方々の考えるゆとりが生まれる
- ・地域の人たちに障がい者と理解していただける機会が持てた
- ・いろいろな状況の方々が、希望や楽しみをもって下さる喜び、ささえて下さる方々のありがたさとこの世のすばらしさ

I Q17. あなたの表現活動は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（3 つまで）

	件	%
障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた	29	47.5%
今まで表現活動や鑑賞に参加しなかった人の参加を促すことができた	23	37.7%
家族など周囲の人々が、新たな可能性を見出すことができた	18	29.5%
行政や社会福祉協議会等による新しいサービス開始のきっかけとなった	12	19.7%
行政や社会福祉協議会等によるサービス改善のきっかけとなった	10	16.4%
自治会や NPO 等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった	10	16.4%
地域社会が障がい者に対してより友好的になった	8	13.1%
既存の舞台芸術に対して、新しい表現の可能性を示すことができた	3	4.9%
芸術そのものの本来の価値や意味を問い直すことができた	2	3.3%
その他 具体的に	4	6.6%
特になし	5	8.2%
無回答／わからない	3	4.9%

（有効回答数：61）



I Q17. その他 具体的に

- ・社会的な効果は、むずかしいことがわかった ・障害者である前に“一人間”であることに気づいてもらえたかな！？
- ・社会(相互理解できる)の目が育った ・同じ障害をもつ幼い子の家族に希望を与えている

I Q18. あなたが活動を継続していくうえで、何が問題になっていますか？

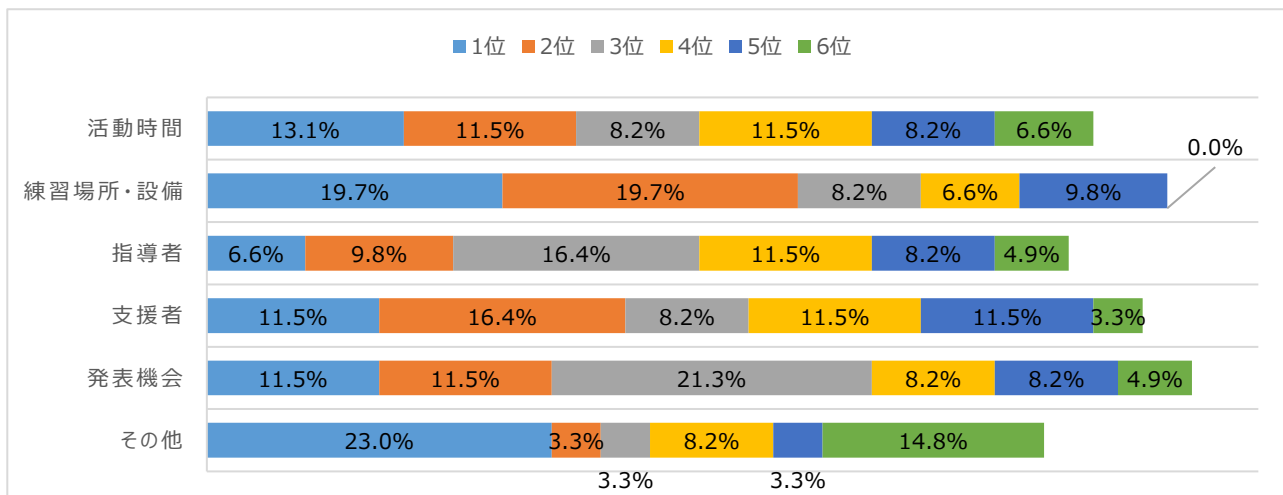
もっとも深刻なものから順に並べてください。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
活動時間	8	7	5	7	5	4
練習場所・設備	12	12	5	4	6	0
指導者	4	6	10	7	5	3
支援者	7	10	5	7	7	2
発表機会	7	7	13	5	5	3
その他	14	2	2	5	2	9
有効回答数：（件）	52	44	40	35	30	21

（無回答＝「該当なし」とは限らない（書き忘れ、わからない等）ため除外して計算）

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
活動時間	13.1%	11.5%	8.2%	11.5%	8.2%	6.6%
練習場所・設備	19.7%	19.7%	8.2%	6.6%	9.8%	0.0%
指導者	6.6%	9.8%	16.4%	11.5%	8.2%	4.9%
支援者	11.5%	16.4%	8.2%	11.5%	11.5%	3.3%
発表機会	11.5%	11.5%	21.3%	8.2%	8.2%	4.9%
その他	23.0%	3.3%	3.3%	8.2%	3.3%	14.8%
有効回答数（件）：	52	44	40	35	30	21

（無回答＝「該当なし」とは限らない（書き忘れ、わからない等）ため除外して計算）



その他

- 1位
- ・金銭上の事
 - ・一人で練習に行けない。ガイドヘルパーがいる
 - ・活動の資金
 - ・体調の変動
 - ・身体的なことが理由で劇団などに入れない
 - ・費用
 - ・自身の体調
 - ・親の高齢化
 - ・お金（赤字にならない。プラスになるように）
 - ・体調(健康面)
 - ・知的障害が重いので家庭の支援ができることが本人の活動ができることなのでその代替がみえてこない
 - ・臨機応変に対応できるスタッフに恵まれるかどうか
 - ・交通費（資金）
 - ・体力

- 2位
- ・今は、学校生活の中での活動だが、同じ文化を卒業後、たのしめる場所がない
 - ・経済

3 位 ・スポンサー ・自分のやる気と発表日の合致

4 位 ・参加者を集めたい ・楽器の保管場所 ・資金等 ・障がい者の団体（28 人）だから支援してもらう人がいる

5 位 ・昼間に集める場所が欲しい

6 位 ・特になし ・発表の場がほしいもっと ・さべつごをいった、くそとかやじをとばされるから ・移動支援

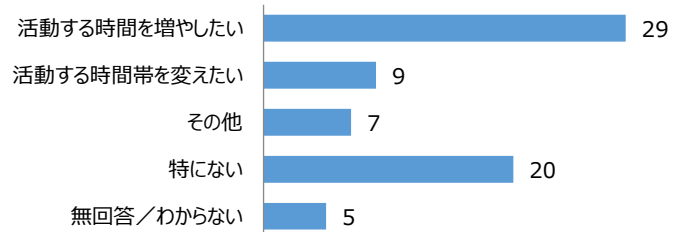
I Q19. あなたが活動を継続していく上で、資金面以外で、何が充実していることを望みますか？（いくつでも）

I Q19-1. 活動時間

	件	%
活動する時間を増やしたい	29	47.5%
活動する時間帯を変えたい	9	14.8%
その他	7	11.5%
特になし	20	32.8%
無回答／わからない	5	8.2%

（有効回答数：61）

あなたが活動を継続していくうえで、資金面以外で、何が充実していることを望みますか？活動時間（A個人：I Q19-1）〈件〉



I Q19-1. その他 具体的に

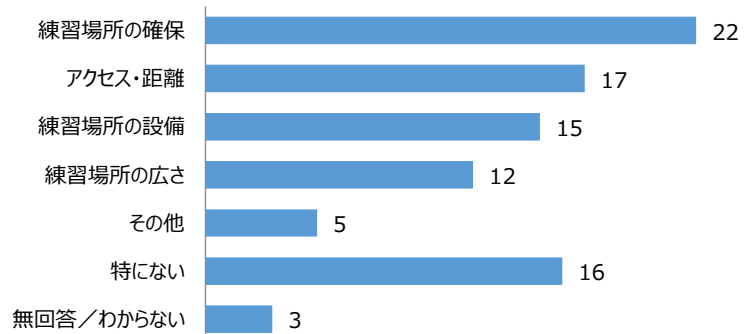
・教室に通うのに家族（母）に負担がかかっている ・1 年通じて活動したい ・発表の場 ・活動休んでいます
 ・主に、制作活動をしているので、それに支障ない程度で続けたい。体調によって、欠席する事があっても自主練でカバーできるような体制があるとよい
 ・指導者も支援者も高齢でこれからは心配 ・活動できる場所が近くにもほしい
 ・発表の場と、表現方法

I Q19-2. 練習場所・設備

	件	%
練習場所の確保	22	36.1%
アクセス・距離	17	27.9%
練習場所の設備	15	24.6%
練習場所の広さ	12	19.7%
その他	5	8.2%
特になし	16	26.2%
無回答／わからない	3	4.9%

（有効回答数：61）

あなたが活動を継続していくうえで、資金面以外で、何が充実していることを望みますか？練習場所・設備（A個人：I Q19-2）〈件〉



I Q19-2. 練習場所の設備 具体的に

- ・遠くて狭い ・バリアフリー ・駐車場 ・空調の調子をとのえたい ・"防音設備が必要
- ・太鼓は保管場所も必要で練習場所と離れすぎていると、移動（搬出・搬入）が大変（雨にぬれるとダメ）
- ・音は上や遠くに響くため（そのため楽器）近所の人の理解を得られず、音が出せない。" ・老朽化 照明
- ・防音設備の整った所で、練習したい ・ピアノ、マリンバ ・トイレに移動しやすさ ・エアコン（体温調節しにくいので）
- ・横になって静かに休む場所の確保、視覚障害者用拡大鏡 ・防音

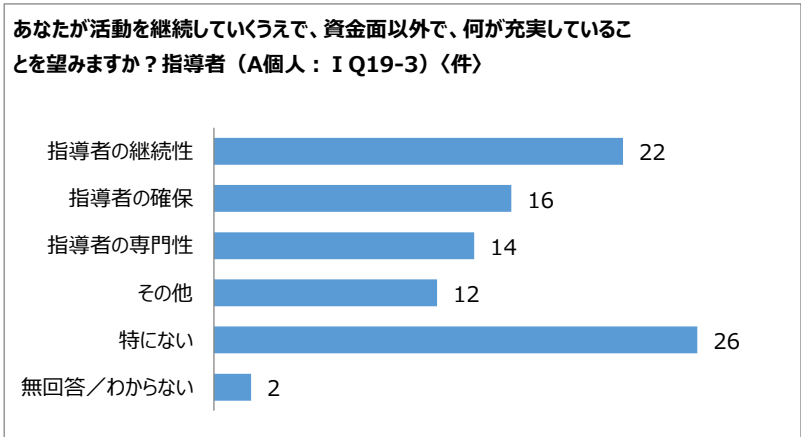
I 19-2. その他 具体的に

- ・阪急中津駅まで行きますが、ホームから改札口に降りるエレベーターがありません。車いす移動なので毎回介助者が苦勞しています。どの駅にもエレベーター設置を促してほしい。 ・移動資金等 ・道具を運ぶ車や人 ・活動休んでます
- ・水分、食事の確保

I Q19-3. 指導者

	件	%
指導者の継続性	22	36.1%
指導者の確保	16	26.2%
指導者の専門性	14	23.0%
その他	12	19.7%
特にない	26	42.6%
無回答／わからない	2	3.3%

（有効回答数：61）



I Q19-3. その他 具体的に

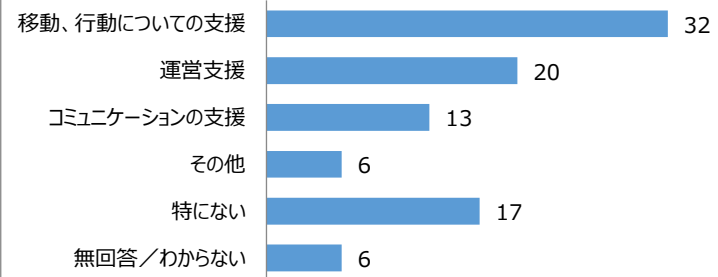
- ・ピアノの先生がよく変わります。障がいについて知識が無いです。 ・今のところ指導者にめぐまれている
- ・自分の価値／自分が指導者 ・指導者がボランティアでして頂くので指導者に気を使う
- ・めぐり会い等 ・今は元療育の先生がいてくれるが、太鼓のフォーメーションを考える人も1人しかいない。
- ・現指導者は障がいに対する専門知識もあり、また太鼓もしかり。ただお年を考えると、近い将来しんどいかもしれない。
- ・指導ではなく“共に創る人”
- ・本来は本人の特性ややりたいことの指導者、機会が活動できたらいいです。知的障害の人は多面的な自由な表現ができる機会から見だされて、継続する機会、発表する機会が、必要と思います。新たな表現をつくりだしていくような機会を望みます。
- ・個別の相談にフレキシブルに対応できる能力があるかどうか必要
- ・現在は、親が支援してくれているので高令なためこれからが心配です。 ・忍耐強さ(何回も同じことを言ったり言わせるので)

I Q19-4. 支援者

	件	%
移動、行動についての支援	32	52.5%
運営支援	20	32.8%
コミュニケーションの支援	13	21.3%
その他	6	9.8%
特になし	17	27.9%
無回答／わからない	6	9.8%

（有効回答数：61）

あなたが活動を継続していくうえで、資金面以外で、何が充実していることを望みますか？支援者（A個人：I Q19-4）〈件〉



I Q19-4. その他 具体的に

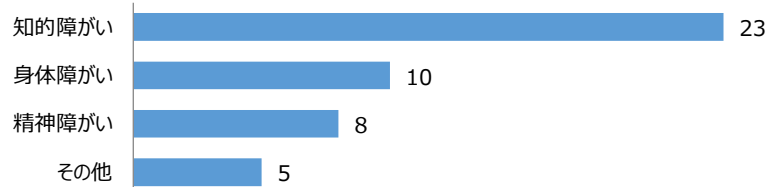
- ・芸術に理解があること ・人数がほしい きめこまかに、接してほしい。 ・楽器の搬出入
- ・太鼓のフォーメーションを考えたり、事務局の役割をする人が1人しかいない
- ・ちらし、チケット作成、助成金申請、広報、照明、音響、道具係
- ・練習・本番をスムーズにする為、サポートのしかたを指導者とうちあわせる支援者（今は家族がしている）も要るかが、〇〇さん係でしようではなくあくまでも健常者の仲間の出演者の理解がある事が望ましい。

I Q19-4. 支援者（1）移動、行動についての支援

	件	%
知的障がい	23	71.9%
身体障がい	10	31.3%
精神障がい	8	25.0%
その他	5	15.6%

（有効回答数：32）

あなたが活動を継続していくうえで、資金面以外で、何が充実していることを望みますか？支援者（1）移動、行動についての支援（A個人：I Q19-4-1）〈件〉



I Q19-4. 支援者（1）移動、行動についての支援 その他 具体的に

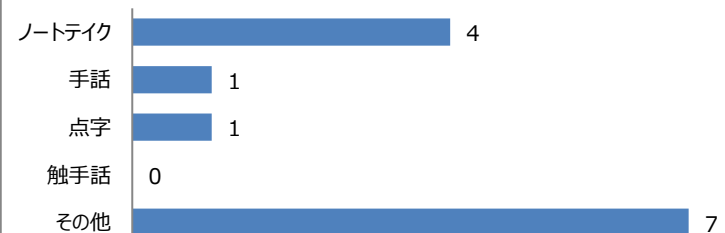
- ・パニックを起こした時の介助 ・やる気がないのが残ねん ・脳さいぼうの死と老後の活かし方 ・ガイドヘルパーが必要
- ・道具運び、交通費

I Q19-4. 支援者（2）コミュニケーションの支援

	件	%
ノートテイク	4	30.8%
手話	1	7.7%
点字	1	7.7%
触手話	0	0.0%
その他	7	53.8%

（有効回答数：13）

あなたが活動を継続していくうえで、資金面以外で、何が充実していることを望みますか？支援者（2）コミュニケーションの支援（A個人：I Q19-4-2）〈件〉



I Q19-4. 支援者（2）コミュニケーションの支援 その他 具体的に

・協賛 ・肯定する言葉がけ、メモ、視覚で確認 ・コミュニケーションとってほしい ・コミュニティの方法

・知的障害の人の意志、想いについてスルーされてしまうことが多く感じます。具体的は支援について他障害と同じ手段について話しあわれるべきです。（意思疎通、決定）

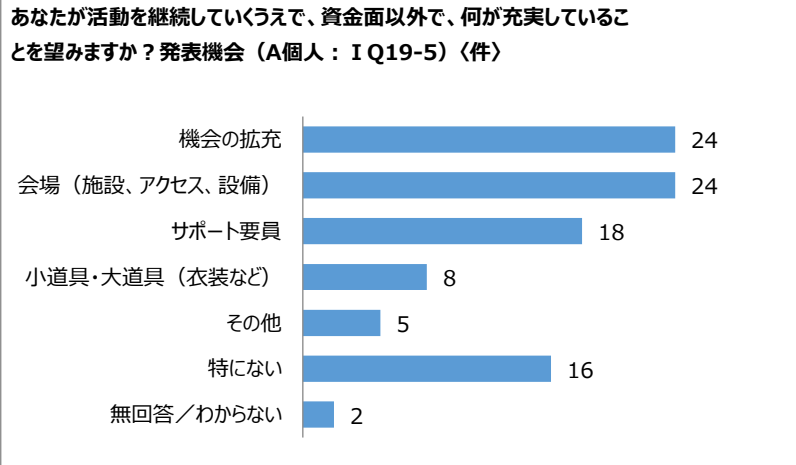
・適確な言葉を選べない時の通訳的な存在も要る。練習・本番をスムーズにする為、サポートのしかたを指導者とうちあわせる支援者（今は家族がしている）も要るか。〇〇さん係でしよではなく、あくまでも健常者の仲間の出演者の理解がある事

・絵カード、写真、画像

I Q19-5. 発表機会

	件	%
機会の拡充	24	39.3%
会場（施設、アクセス、設備）	24	39.3%
サポート要員	18	29.5%
小道具・大道具（衣装など）	8	13.1%
その他	5	8.2%
特にない	16	26.2%
無回答／わからない	2	3.3%

（有効回答数：61）



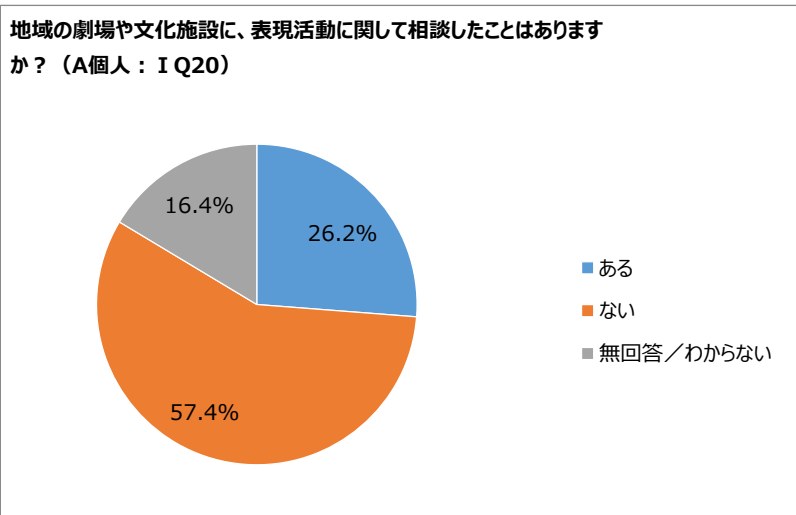
I Q19-5. その他 具体的に

・会場の使用料金 ・広報、P R ・必要とされれば自ずと出来ると思う ・太鼓を運搬するのが大変です

I Q20. 地域の劇場や文化施設に、表現活動に関して相談したことはありますか？

	件	%
ある	16	26.2%
ない	36	59.0%
無回答／わからない	9	14.8%
合計	61	

（有効回答数：61）



I Q20-1. 「ある」 相談場所（人）と相談内容を具体的に

- ・福祉協議会さんに、常に相談している。パニックやマジックの設定など。
- ・施設の使用可能等々 ・一日の利用が出来るのかという事
- ・高槻市の美展の応募に関して、障害当事者（回答者）の絵は抽象画で、日本画、洋画、デザイン部門に該当しないので、高槻市の文化振興事業団の美展担当者、美術家協会関係者に相談させてもらい、検討後、一般市民として応募する事ができました。入選しました。
- ・市民会館、公館に障害者割引制度導入を
- ・障がい者だが活動したいといったが、おかしからつかえませんかといわれた。 ・施設の駐車場の利用について
- ・BiG-i で芸術カレッジへ参加したい人は、全員参加できるようにしてほしい事
- ・堺市子ども育成課、青少年の家での音出しの活動について ・社協に助成金依頼
- ・寝屋川市福祉室、知的障害者対象の劇団がないか聞いた。
- ・兄のつながりで、ウイングフィールドの小屋主さんに公演したいと相談した。（公演できた）。舞監、その他制作などサポートしてくださった。
- ・相談しているが、むずかしい。 ・バリアフリーになっていない所がある
- ・ビッグ・アイならわかると文化会館とか小ホールとか大ホールとか徒歩 10～15 分なるとややこしい。

I Q20-2. 「ない」 相談しなかった理由を具体的に

- ・何もしてくれない ・わからなかったから ・健常者の方ばかりで、障がい者は 1 人だけでした。
- ・本人は時々大きなホールでしたいなあと言うこともありますが、会場をうめるのはとても無理と思うから
- ・現状で問題がないから ・サポートや相談に応じてもらえないと思わないので ・考えていない ・窓口なし
- ・Big-i があるため ・相談できると思っていなかった ・指導者の指導が楽しい
- ・文化施設に出る来はない、はずかしい、施設でじゅうぶん ・思いつかなかった。相談してもムダだと思った。
- ・やり方がわからない ・必要がない ・自分が行動しなかったからかな？ ・大きな発表の場は求めているので。
- ・特に問題なし ・練習など活動機会がなかったのでその充実継続しか考えていませんでした。これから相談していけたらこのアンケートで気づかせていただきました。 ・相談できると思わなかった。
- ・お金がかかるならそもそも障がい者が芸術活動をするなど言われたので
- ・先輩、保護者が主として、活動の管理をしており、会場運営については、職員よりもなれていることが多かった。また、関係者が、舞台に関してボランティアで関わっていることが多い。これまでの場合、公共の施設はとても冷たい対応（健常と同等にできること前提として）があったりするので、自身で整えるクセがついているようだ。 ・今で精一杯でよゆうがなかった

I Q21. 障がいのある人の表現活動について意見や希望があれば自由にお書きください。

- ・好きなことをただしいだけなのに、この頃は上手な人だけ優遇される。
- ・市民音楽祭に、健常者の中に 1 人、障がいを持った息子が出演しています。
- ・毎年、楽しみにしてくださっている方、感動したとお声をかけてくださる方、いろいろおられます。明らかに、嫌みを感じさせてこられる方もおられますが、概ね行為を持ってくださっています。本人は、充実感を味わい満足しております。市の広報紙にも紹介して頂き、町内の方々には有効的です。社会の関心を集めることができました。親が、元気な間は、応援してあげたいと思っております。
- ・これからもがんばりたい
- ・障害者の文化教室：ダンス、演劇、音楽など希望者が希望すれば年に 10 回などでなく、一年中、教室として、お金を払ってきちっと人間として習いたい。国・市など、一年の中で、10 回等などきまった日時を障害者の立場など考えず一方的な日時で、コース、時間など選べず、ただ、抽選で当たった者だけが受けるなど、障害者が日常いろんなことに興味をもつてもできない。一社会人として教室がほしい。
- ・特になし
- ・S P の重視、援助等の再確認

- ・娘は、同じダウン症のお友達とダンスを楽しんでいます。年に2回のダンス発表会にむけて曲選びから、発表にむけて日々練習しています。もっと発表する場所などがあればいいと思います。
- ・いろいろのパートについて、ひととおりマスターしたいと思っています。
- ・知的障害児者、特にこだわりある自閉症の人達は、集団行動は、苦手、ルールも重度の人達は、理解できないので舞台上で皆と一緒に何かを表現活動することは、出来ないと思います。（音、光において苦手）パラリンピックで舞台表現できる人達は、ダウン症の方が、賢い知的障害の方に限られ、私達のような自閉症重度の者には、参加は無理です。唯一、絵で表現活動を考慮して下さるなら、舞台の背景に絵を活用して頂きたいです。ちなみに色が大好きな息子は、五輪の輪っかをどんなに大きくても色鉛筆でぬれます。日本の国旗も塗り込み事ができます。重度障害児者の描いた絵の背景で舞台上で表現できる障害児者が、色鉛筆や絵具、筆に変身して、創作ダンスを発表するとか。重度の自閉症児者も何らかの型でパラリンピックに関わるような企画を考えて下さる事を切に希望したいです。
- ・障害者団体の公演にも障害者割引制度がないのが普通。これは気が付いていないためだと思う。割引すれば来場者がふえます。
- ・今で、満足です。けっこう施設中でたのしやっています。今年もカラオケ大会で1位になり、賞品、トロフィー、メダル等もらいました。クリスマスも、また、楽がくクラブ、ギター演そう、カラオケ大会もあります。とても幸せです。
- ・観客としてバリアフリーは進んでいると思うが、活動する側としては、設備面をはじめ人的確保・理解がもっと進んでほしい。（客としてはOKだが、主体としてはNG的な感じがする）
- ・この度はこのようなアンケート調査をしていただきありがとうございました。本人は、支援学校を卒業後、声優をめざして専門学校へ進学しましたが、滑舌の悪さや車椅子移動が理由でオーディションすら受けることができず、失意のまま、今春専門学校を卒業しました。それでも演技したという気持ちは捨てきれないようです。プロではなくて良い、ライフワークとして演技活動を続けられれば、本人にとっても励みになると思います。どうぞよろしくお願いします。
- ・もっと表現活動に社会の理解がほしい。経済的な支援、人材確保、専門的な障害の理解と熱意
- ・力のぬけた、自然な表現力に、もっと社会的な評価が、あっても良いと思います。
- ・とにかく Possible に発言したいと思います。いろいろごきょうじゅ願います。
- ・Bi G-i の芸術カレッジへの参加によって、本人が音楽を好きである事が分かり、練習により上達する事も実感できた。継続的に参加し、他の人と練習し発表する事により、社会性も身につけさせたいと思う。芸術カレッジの参加に対して定員を設けず、全員参加させて音楽を学ぶ機会を与えてほしい。
- ・今、青少年の家に保管してもらっていますが、以前のように音が出せず、練習のため、転々としています。地域の方々を責められません。しかし、障害のある仲間は、実際に音を出さないと自分の感覚として入りません。「自分らしい音」を探し、「自分らしい音」が出た時の喜びと仲間との息が合った時の嬉しさで、発達していけます。育っていく我子を見て、親も育ちます。発表の機会を得ることで、自己肯定感も育ちます。防音、防湿で保管・練習ができる場所が欲しいです。ビッグ・アイで練習・・・とかできれば嬉しいです。
- ・文化フェスタが始まって、数回開催されたのちに反省会・意見交換会に呼んでいただき、コンテスト方式の提案をさせていただき、今、形になっていることがとても嬉しいです。今後は、ぜひ、ダンス部門などもっと細かなコンテストが出来ていくと嬉しいです。私たち子どものためにいつもご尽力下さりありがとうございます。業務ご多忙の中、こうやって、いろいろな声もひろいあげて下さること嬉しく思います。
- ・堺市総合福祉会館やファインプラザ大阪等、障がい者向き施設であっても、和太鼓の練習ができません。青少年の家で活動していましたが、そこも大きな音は出せず、障がい児者にとっては、とてもとても練習になりません。苦情ありで音がだせなくなりました。大きな音を出してよい施設に限りがあります。堺市内なら美原くらいです。（健常者でいっぱいです。）ビッグ・アイのような防音設備が整ったところが、もっと利用しやすければ、とてもうれしいです。
- ・芸事で食べていくのは難しいとしても、"障がい者（の表現活動）にはやり甲斐、生き甲斐さえ与えておけばよい。謝礼や金銭などは与える必要はない。といった風潮や（たとえば主催者が舞台を発表してほしいと願っていても主催者は障害者にボランティアさせようとする人もいる）。ある団体の主催している唄などの作詞・作曲の著作権はその団体に帰属するといった障がい者を見下げた風潮があるのはおかしいと思う。著作権の守り方など教えてくれる人はいない。きちんと Pay（お金を払ってもらおう）されるようになってほしい。障がい者もかすみを食べて生きている訳ではない。障がい者の収入・暮らしに無頓着・無関心な専門職の実に多いことが身に沁みて痛感している。

・フェスタのようなイベントがたくさんあればいいと思います。

・表現活動については、障がいのあるなしはあまり関係ないと思いますが、現在の状況では、当事者や支援者がこの想いをうまく多くの一般の方に気づいていただけるようにしくんでいくことが大切と思っています。リオパラリンピックの開閉会式ではとても感動しました。身近な劇場で年数回、感動する心、情報となるような表現にであっていただけるのが嬉しいです。～私の思い～知的障害のある人が表現活動するということを一部の好きな人が奇蹟的に発表するということがばかりでなくて、特別支援学校で就労支援の環境で地域のサークルで、日頃のくらしの中で自分の感情を表現するというのをその形を整えられ確立していくことが大切だと思います。（例えば音があれば自然と自分のイメージで身体を動かして表現できるなど）（例えば音があれば自然と自分のイメージでいろんな音をだしていくなど）シナリオがあって長く練習して発表するということに苦痛やよくない身体の信号をだしてします人もあります。暮らしの中で自然な気持ちや表現をそのまま芸術として皆さんにも楽しんでいただけるような表現活動を私は息子に希望します。

・9年前に脳梗塞を発病し、右足不自由の上、左半身マヒになりました。退院後すぐに、車イスダンスを知り、楽しい日々を過ごしておりましたが、先生が体調をくずされ、そのまま、中止になってしまいました。2～3年の間、充実した日々があり、現在も元気に過ごす事が出来感謝しています。ありがとう。

・ただ参加するだけではおもしろくない。クオリティーの高い演奏を経験したので健常者の中に入りたい。指導者にきちんと注意指導されたい（向上できるやりかたを教えてほしい）達成のために自分も努力したい。障害者だけでくられる活動は嫌だ。

・活動している仲間（28人）は言葉が発しられない人が半分います。それで太鼓でリズムをとって表現します。

・男であろうと女であろうと耳がきこえない、聴こえる、目がみえる目がみえないなどの障がいがあるとなかろうと、お金があろうとなかろうと、やりたい活動を自分でみつけれ頑張っている子供がここにいることをわかってもらいたいです。今はまだ上手でプロとは周りがみても反対される程度のものかもしれませんが、本気で舞台に立つ姿は大人に負けてないと思います。ミュージカルでプロ、大阪に公立な劇団と劇場を作りたいです。たくさんの方が自分の人生にあきらめず自分の歌・ダンス・劇、表現できる場・機会を生きる場所が欲しいです。

・文化フェスタが、選考式になってとても残念です。同じチームが2回演じることができるなら、1つでもたくさんチーム、個人の発表の場が多い方が出演者、支援者のはげみになると思います。私たちは1番がほしいのではなく、たくさんの方と楽しく時々すごすことが大切と感じています。そして「1番病」の子たちにとって、選ばれなかったことが自己否定につながり、その後の活動のさまたげになってしまいました。どんな演奏も、一生けん命やっています。大きな本格的ホールで発表できる場を皆に与えて下さい。よろしくお願いします。・障がいのある人、ない人の区別なく普通になればいいと切に願う。

・安全性や表現が伝わりやすくするには、大きなサポート（物・身体・人・経済）が必要

・社会の受け入れ態勢と精神的充実が望まれる。

・自分のできることを表現していくことは大切だと思います。

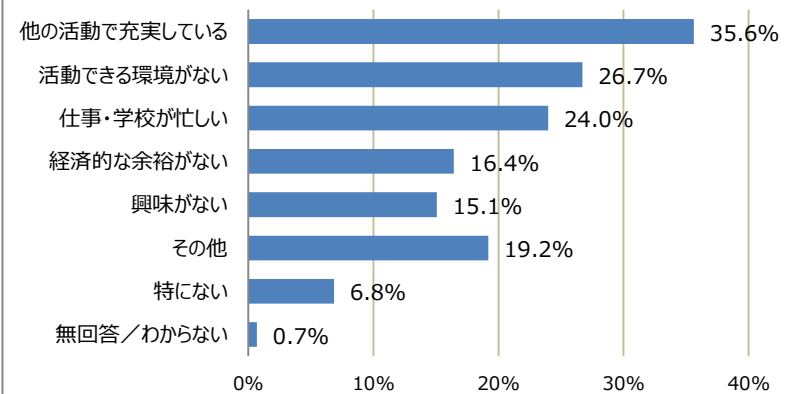
I Q 1で「いいえ」と回答された方（表現活動をしていない人）

I Q 22. 表現活動をしていない理由は何ですか？（いくつでも）

	件	%
他の活動で充実している	52	35.6%
活動できる環境がない	39	26.7%
仕事・学校が忙しい	35	24.0%
経済的な余裕がない	24	16.4%
興味がない	22	15.1%
その他	28	19.2%
特にない	10	6.8%
無回答／わからない	1	0.7%

（有効回答数：146）

表現活動をしていない理由は何ですか？（A個人：I Q 22）



I Q22. 活動できる環境がない 具体的に

- ・施設入所生活で、家族は遊びや旅行に連れていくので精一杯 ・年令的に 80 才以上で無理である
- ・習いたい事を行っている場所が遠い ・高齢で体力もないので（鑑賞するのは好きですが）
- ・自分に行動する資質がない ・車イスなので、活動可能なグループがわからない
- ・ろう重複障害者なので参加が難しい。 ・ビッグ・アイまでとっておく、通えない。小学生の息子も、居るし、時間もない
- ・自治会の役をしており、文章書く会に入っているためです。
- ・家はせまい。音楽やるにしても防音そうち部屋をたてる経済的余裕なし。 ・音楽が好きですが、近くに出来る場所がない
- ・視覚障害者の団体であるため ・興味を持って上手に参加する事ができないので時期を待っています。
- ・見るのは好きだが、自分がやる事は苦手 ・今老人ホームに入居中にて活動が出来ない。
- ・介助者が見つからない ・ガイド利用によるので、調整がむずかしい。 ・障がいへの理解
- ・最寄り駅までの交通が不便で 30 分以上かかる。興味がある活動が地域には、少ない。
- ・四肢体幹障害があるため活動できる場所がない ・周りにサークル団体がありません
- ・精神障がい者でもできる所をしらない ・芸術表現活動をしている知り合いがいらない
- ・身近な処に気軽に参加できる機会がない ・障害者を引き受けてくれるところがわからない。活動に参加するところがわからない。
- ・いつ、どこで、誰が、そのような活動をしているのか情報が無い。 ・高齢であり、体力的に難しい
- ・ビッグ・アイがい活動する場所がない ・施設内でレクリエーションのよさこいはあるが舞台表現とまではならない
- ・行く場所が遠い。

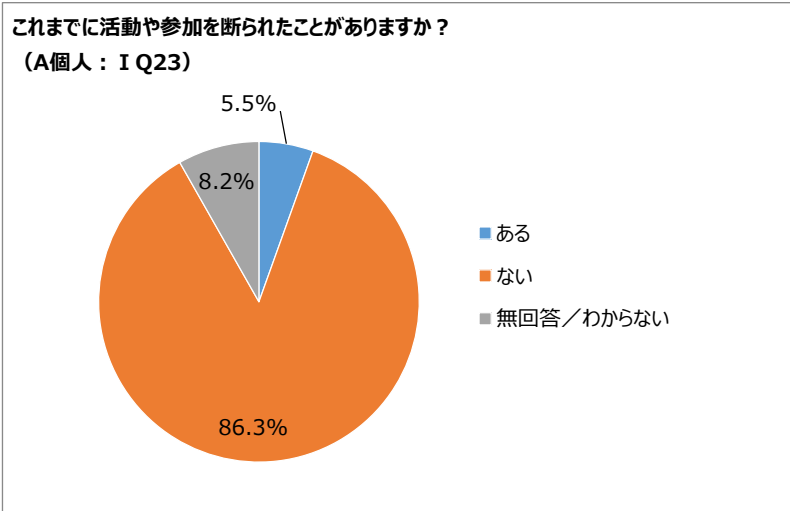
I Q22. その他 具体的に

- ・知的、身体とも重度で全介助 ・ヘルパー事業所なので表現活動を行っていない
- ・何をどうすればよいのかわからない ・とてもしたいのですが、どこで活動の情報をえられるのかわからない。
- ・うつ病、パニック障害の為、自動車運転禁止で、人と身体が触れるのが嫌な為、公共交通を利用するには付き添いが必要になる。精神障害者は、交通運賃割引が無い為、交通費がかかる。
- ・高齢のため手先の絵を描くこと ・重度の知的障がいがあり、どれも皆難しすぎ参加できない
- ・人とうまくコミュニケーションできなくて、途中で人がこわくなってしまいますから、逃げてしまっています。
- ・身体に不自由がある為 ・昨年、参加（ビッグ・アイ）していたが、台風の為、中止になり、参加できなかった。
- ・いっしょにする仲間がいらない ・自分に自信がなく、社会にでる一歩が進めず、とじこもっている
- ・障害の程度が重い（知的に） ・情報入手法が分からない ・気持ちが不安定で決まった時に参加出来にくい
- ・高齢のため並に足が不自由（人口関節と腰痛） ・近くにその場所がない
- ・興味があるが、練習に参加する体力がない。ヘルパーさんがいらっしゃる時間帯夕方～夜と重なる。
- ・このアンケートをいただくまで、表現活動の場があることを知らなかった。 ・体力がない（病気のため）
- ・2 年前迄、ビッグ・アイ企画（参加していたが、年々、障がい程度（ミュージカル等、難易度が高くなっている）に合わない企画になってきた為
- ・本人の精神的な落ち込みのため、今までやれていたことがむずかしくなった
- ・車イスで参加できたらやってみたい。お芝居など。作業所の皆んなで。
- ・写真
- ・15 年程は、ダンス、体操などで舞台にも立っていましたが、両股関節を手術したために動きがかなり制限されているため動けなくなった。
- ・ずんでいるところにそんな活動をしているところがない

I Q23. これまでに活動や参加を断られたことがありますか？

	件	%
ある	8	5.5%
ない	126	86.3%
無回答／わからない	12	8.2%
合計	146	

（有効回答数：146）



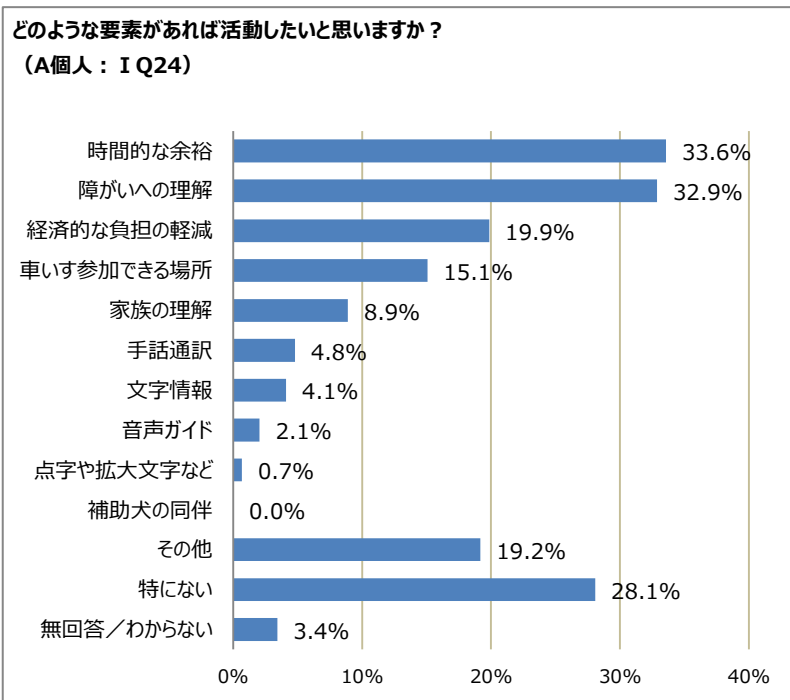
I Q23. ある 理由を具体的に

- ・ふくそうで ・居づらくなった。 ・本人の意志が、わかりにくい為 ・精神障害だから
- ・健じょう者の中に入っただけで、理解される事が難しい。 ・何年か前にあった取り組みで演劇
- ・地域の和太鼓の団体に参加したかったが、障害児には無理と断られた ・音源の提出時間が間に合わなくて

I Q24. どのような要素があれば活動したいと思いますか？（いくつでも）

	件	%
時間的な余裕	49	33.6%
指導者、グループ（団体）内での障がいへの理解	48	32.9%
経済的な負担の軽減	29	19.9%
車いす参加できる場所と設備	22	15.1%
家族の理解	13	8.9%
手話通訳	7	4.8%
文字情報	6	4.1%
音声ガイド	3	2.1%
点字や拡大文字などによる資料提供	1	0.7%
補助犬の同伴	0	0.0%
その他	28	19.2%
特にない	41	28.1%
無回答／わからない	5	3.4%

（有効回答数：146）



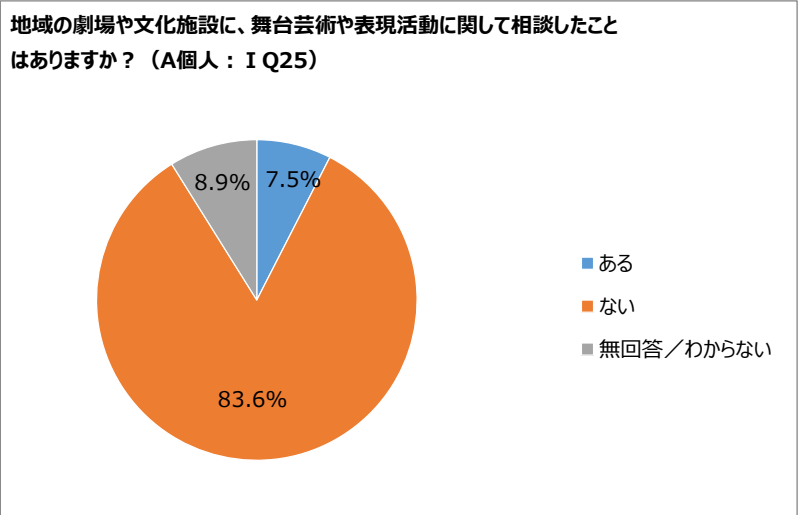
I Q24. その他 具体的に

- ・理解のある介助者の確保 ・駐車場の確保 ・近隣であること、送迎する人があること、ヘルパー等の手配があること
- ・参加できる活動の情報が得られれば是非やりたいです。
- ・送迎があればいい ・マンツーマンでしっかりサポートしてもらえないから、それができれば参加してみたい
- ・参加しやすい内容 ・外に出る時間が長いと、精神的なふたんが多い、主に交通面
- ・人は障害あるなしにかかわらず、心はもっているという理解
- ・交通費や宿泊費の援助。プロなみに上手くなれても、だれでも気軽に参加できる（アットホームな）ふんいきがほしい。
- ・真夏と真冬の練習は、難しい。 ・知的面で重くてもできるのならば ・日曜日に通える場所が近くにない
- ・せりふを自分のものにしたい 舞台度胸 ・自宅近くに活動場所があること ・癌不全とガン
- ・送迎の問題 ・車いす等で送迎と介護者が必要 ・絵画での表現の場があれば参加したい。
- ・一緒に活動して下さる方が居れば ・健康な身体 ・以前の様に音楽、演劇班に分けてほしい
- ・活動場所への利便性 ・近くに、そのような場所があれば ・活動内容の検討 ・書・水彩画を学ぶ
- ・つきそいのボランティアと交通費のふたんが少しあればやりたい。

I Q25. 地域の劇場や文化施設に、舞台芸術や表現活動に関して相談したことはありますか？

	件	%
ある	11	7.5%
ない	122	83.6%
無回答／わからない	13	8.9%
合計	146	

(有効回答数：146)



I Q25-1. 「ある」相談場所（人）と相談内容を具体的に

- ・観劇では、廊下(階段等) 側の端の席にしてもらっている。
- ・図書館、文芸サークルの例会の場所とり ・あーすとかに、大東市障がい者アート展にて、更なる発展をと
- ・障害者サロン団体のクリスマス会やソーシャルクラブのクリスマス会や家族会の県主催の手芸の出展など。県主催の障害者文化活動など。 ・ジストシネマに音声ガイド付き映画上映会の開催
- ・コミュニケーションが苦手なので・・・合唱団に入れてもらったが、長続きしなかった。
- ・ボランティアビューロー、コーラスクラブ ・みんなどうやって情報入手しているの？ 口コミか？
- ・少し聞いたが、その様な活動場は無いとされた ・区役所他、ダンスをさせているところなど教えて欲しと相談しました
- ・作業所として参加

I Q25-2. 「ない」 相談しなかった理由を具体的に

- ・表現活動を行っていない為
- ・特に興味がなかった為。
- ・相談できることを知らなかった。
- ・相談したところで解決できないと思う
- ・あまり関心がなかった。
- ・今のところ、ビッグ・アイ etc・・・への絵画出張等で満足している為
- ・近くに、相談する所も、人もいないので～
- ・相談してもうまいかかないと考えてしますから
- ・相談する場所等が分からない。
- ・コーディネーター的な人が無い
- ・ぐうぜんなのかもしれませんが、「ビッグ・アイ」が近所にあり、大変嬉しいと思う。
- ・上手くできないだろうと親が自信ないです。もちろん、好きな活動に出会えていたらとは考えています。
- ・SNSで活動を発信している
- ・特にない
- ・どこに相談していいかわからなかった
- ・自分の病気があるので
- ・聴力障害者の対応は可能かと迷う
- ・見るのはとても好きなのですが、自分はするのイヤだ
- ・特にありません
- ・地域にそういう施設があるのかないのか情報が無い
- ・場所がわからない
- ・一緒にやろうという人が居ないので
- ・興味が無い
- ・どうすればいいのかわからなかった。
- ・自然に参加出来た
- ・詳しく分からないから
- ・自分の動きに制限があるために活動できないとあきらめている。
- ・自分が舞台芸術よりも、書いたり、講演した方が向いている。
- ・文化施設が遠い
- ・ビッグ・アイ以外、劇場や文化施設の相談のしかたがわからない
- ・相談するところなんか無い

I Q26. 障がいのある人の表現活動について意見や希望があれば自由にお書きください。

- ・別に意見なし
- ・社会に出て、色々な活動をする事は、とても良いと思う。外出する機会が増える。目標や目的が出来たり、友人や知人とも、コミュニケーションができる。その他にも刺激的なれる。
- ・ダンスや演劇、音楽など、たくさん興味があります。近くでそういう活動をしているところがあれば、本当にうれしいと思います。
- ・息子は自閉症で作業所に通っていますが、いろんな団体の練習時間を調べたら、帰宅時間と重なるところがほとんどで。自動車運転禁止の私には、作業所からの送迎が出来ず、何もやらしてあげることができない。日曜日は、ガイヘルと外出することを楽しみにしているので、土曜日の夕方から練習をしているような所が見つかるかいいと思う。一度コーラスに誘われた事があるが、絶対音感を持っているので、音がずれているとパニックになる為、断った。やる事に意味がある・・・というだけでは、いけないと思う。クオリティーの高さを追求していて、尚かつ理解のある所なんてなかなか無い。
- ・難聴のため音に対して楽しむことは出来ない。聞くこと演芸、落語、漫才、音楽すべてだめです。見た目は、障がいが見えないが、楽しみが限られ健全者の中でひとりぼっちになります。
- ・ダンスや演劇は、楽しいのですが、忙しいので機会があれば、鑑賞したいです。
- ・私は、絵を描きます。日本人物画協会という公募団体に所属していて、美術年かんにも、けいさいされています。大東市障がいアート展でも、金賞もらったりします。描きつづけたので、筆文字や消しゴム判子講師をして、少しずつお金をかせいでいますが、限界があります。先生も絵具もわけてくれたり、応援してくれます。大きなキャンバスも沢山、たまってしまう。絵や、お金がまわれば、もっと描けるのと思います。
- ・ビッグ・アイで以前、アートで何度か応募したがダメでした。近くでアートの先生を求めているけど、居るのかわからない。
- ・表現を行なうにあたり、演出家の説明が理解しにくい、その理解できないことを相手に伝えるのが難ずかしい。やる気はあるし、がんばっているのだが、うまくいかず、自分自身が落ち込むことが、ある様に見受けられます。（知てきしょう害）
- ・障害の重さや、種類によって活動はちかっていると思います。その人、その人の希望によってもことなってくると思います。
- ・以前、楽器を使用して音楽を楽しめた経験があるので、その様な機会があれば、コミュニケーションが出来にくい肢体不自由な人も参加出来るのと思います。
- ・家から出て、色々な活動をする事は、とても良いと思う。
- ・表現活動がどの範囲までを示すのかが、良く分からなかった。
- ・健全者との垣根を取り払うような表現活動であってほしいです。
- ・仲間がいて、歌があり、おどり、楽しくすごせたらいいなと思う。
- ・障がいの有無に拘わらず、同じ舞台上で演じることが普通になることを望む。15人に1人は何らかの障がいを持つ世界の割には、TV舞台では障がい者は見かけない。
- ・平日4時以降に1～2回集まって、練習する居場所があればと思います。

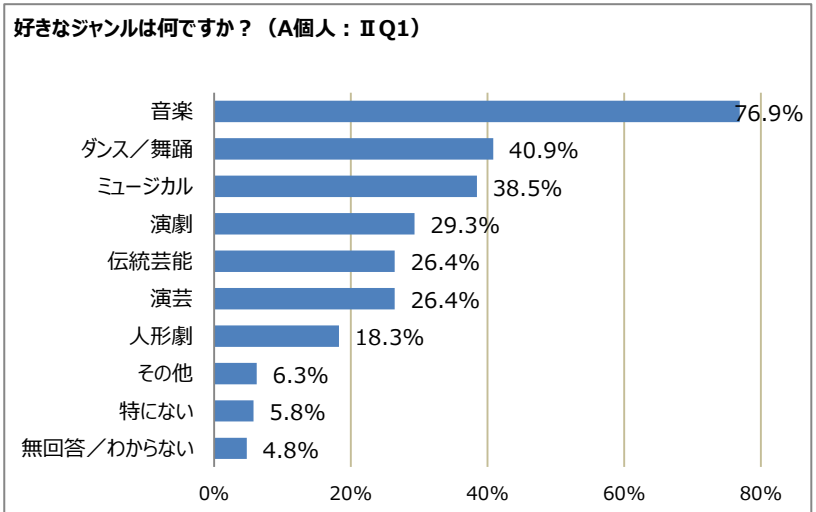
- ・成果と発表を目的とする練習に、我が娘（自閉症）はついていけなかった。団体で行動することは大変苦手なようです。楽しめる方法は、何かありますか？ ・特になし
- ・表現できる機会や場所がたくさんあれば、生き生きと輝けると思う。
- ・日曜日に通える所を聞いたことがなかった。会場とけいこ場所に、介助者がいてほしい。トイレ介助など手伝ってほしい。
- ・情報入手法を教えてください。 ・特になし
- ・障がいのある人達が表現活動を行うには、数多くの障害を乗り越えなければならないと思いますが、そこには必ず健常者と同じように達成感等や満足感等があると思います。障がい者の表現活動が特別なことではない社会になればと思います。ただ、知的障がい者、身体障がい者に比べ、精神障がい者は、他者との関りが大変難しいことから、表現活動の場があっても、参加することは困難なことが多いのが残念です。
- ・表現活動したいけどどうすればいいのか分からない。どこに何があるか分からない。やりたい気もちがいっぱいあるのにどうしていいか分からない。しらべても分かりにくい、分かりやすくしてほしい。
- ・継続的な活動はしてないが、山梨県立美術館で、障害者のためのワークショップがある時に参加している。参加してみると楽しい。また機会があればやってみたいと思う。活動の情報が入手できるといいなと思う。
- ・障がいとか関係ないと思う。1つの違い、個性のひとつ。障がい者芸術とかくくるのはおかしいと思う。
- ・ひと言に障害のある人といってもいろいろある。パラリンピックがようやく光を浴びようになってきたが、それすら一步も入り込めてない障がい者は沢山います。スペシャルオリンピックのことをどれだけの人知っているでしょうか？それすらどうすれば、参加できるか、どこで練習するのか、指導者はどうするのか、問題山積で、ほとんどの障害者は、その情報すら入りません。重度の知的障がい者も参加できるようなくみや情報発信の仕方など、もっともっと工夫して欲しいと望みます。
- ・表現活動は人とのつながりを広げてくれ、生きがいにもなります
- ・詩、エッセイ、体験談などの講演といった、ハデでもなく、集団的でもなく、個人で行う活動があっても良いように思う。詩集の出版など援助してもらえばありがたい。
- ・体をうごかすことが、やすらぎになっているし、いろいろおしえて、くれる場所とか、活動しているグループが、あれば参加したい
- ・大事な事だと思う。ストレス発散にもなると、友達を得るチャンスにもなると思う。
- ・以前、舞台を見に行ったが、すごい表現力が豊かで、体が不自由ハンディがあるっていうことを感じさせなかった。

II 舞台芸術の鑑賞機会について

II Q1. 好きなジャンルは何ですか？（いくつでも）

	件	%
音楽	160	76.9%
ダンス／舞踊	85	40.9%
ミュージカル	80	38.5%
演劇	61	29.3%
伝統芸能	55	26.4%
演芸	55	26.4%
人形劇	38	18.3%
その他	13	6.3%
特になし	12	5.8%
無回答／わからない	9	4.3%

（有効回答数：208）



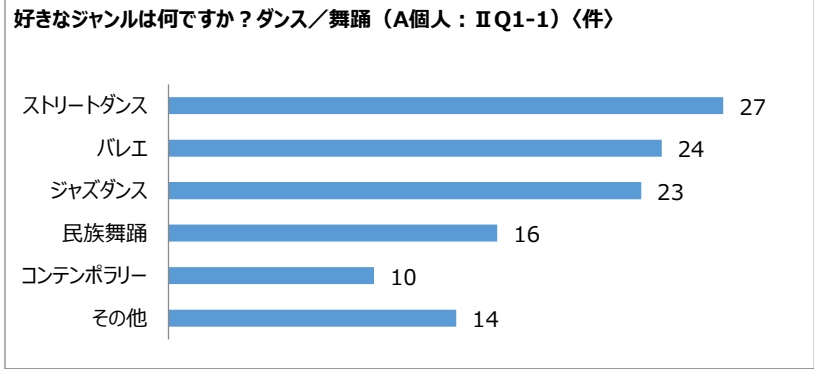
II Q1. その他 具体的に

・和太鼓など楽器演奏 ・詩と音楽のコラボ ・ピアノソロコンサート、連弾 ・宝塚 ・映画
 ・大道芸、ケン玉 ・合唱、演奏会
 ・たいこ、三味、おこと、ハーモニカ、うえ（口ぶえも・・） ・コンサート ・テクノポップ ・身体障がいの方のファッションショー
 ・詩集、講演、映画 ・1万人の第九と門真の第九を歌っています。

II Q1-1. ダンス／舞踊のジャンル（いくつでも）

	件	%
ストリートダンス	27	31.8%
バレエ	24	28.2%
ジャズダンス	23	27.1%
民族舞踊	16	18.8%
コンテンポラリー	10	11.8%
その他	14	16.5%

（有効回答数：85）



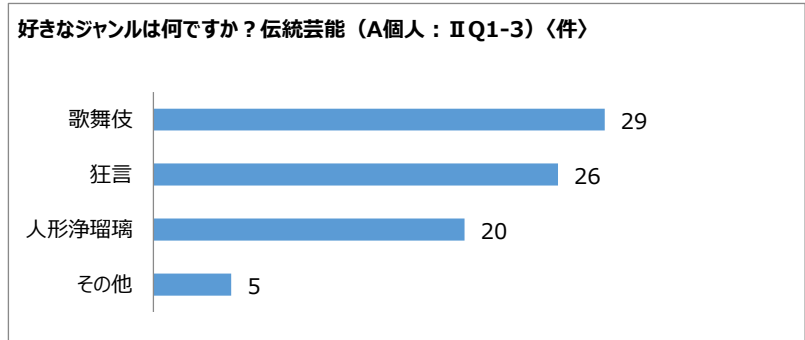
II Q1-1. ダンス／舞踊 その他

・自由におどる ・本舞踊 ・アイドル系 ・フラダンス×3 服の色柄に興味を示しました。 ・コンサート ・ヒップポップ、ブレイクダンス
 ・何もかも好きです。 ・手話ダンス、太鼓 ・おどってみたをコピー ・車イスダンス ・体をうごかすのが好きなのでなんでもよい

II Q1-3. 伝統芸能のジャンル（いくつでも）

	件	%
歌舞伎	29	52.7%
狂言	26	47.3%
人形浄瑠璃	20	36.4%
その他	5	9.1%
合計	55	

（有効回答数：55）



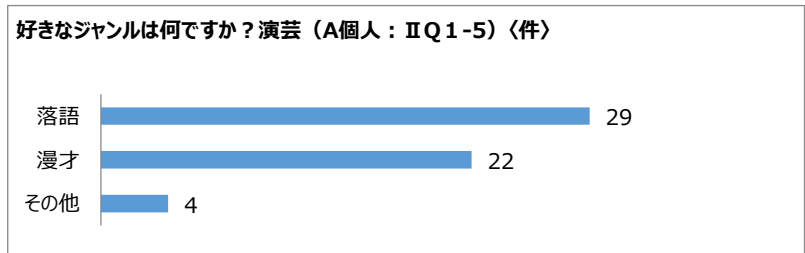
II Q1-3. 伝統芸能のジャンル その他

・能楽×2 ・盆おどり等 ・獅子舞

II Q1-5. 演芸のジャンル（いくつでも）

	件	%
落語	29	52.7%
漫才	22	40.0%
その他	4	7.3%
合計	55	

（有効回答数：55）



II Q1-5. 演芸のジャンル その他

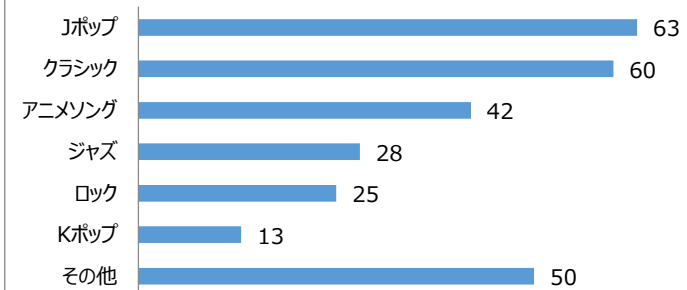
・コント×2 ・吉本新喜劇 ・笑点

II Q1-7. 音楽のジャンル（いくつでも）

	件	%
Jポップ	63	39.4%
クラシック	60	37.5%
アニメソング	42	26.3%
ジャズ	28	17.5%
ロック	25	15.6%
Kポップ	13	8.1%
その他	50	31.3%

（有効回答数：160）

好きなジャンルは何ですか？音楽（A個人：II Q1-7）〈件〉



II Q1-7. 音楽のジャンル その他

・演歌×10 ・歌謡曲×11 ・童謡×5 ・民謡×4 ・フォークソング×5 ・和太鼓×5 ・民族音楽×2
 ・ピアノ×2 ・オペラ×2 ・邦楽演奏 ・映画音楽 ・ドラム ・ラテン音楽 ・ディズニー音楽 ・美術展
 ・バラード ・即興演奏 ・コーラス ・ゴスペル ・アイドル系 ・中国の胡弓の音色が好きです。 ・心にひびく曲
 ・全て ・プロの本物のマジックを目の前で見たい ・おかさんといっしょなどの子ども向けのもとTV ・ボーカロイド

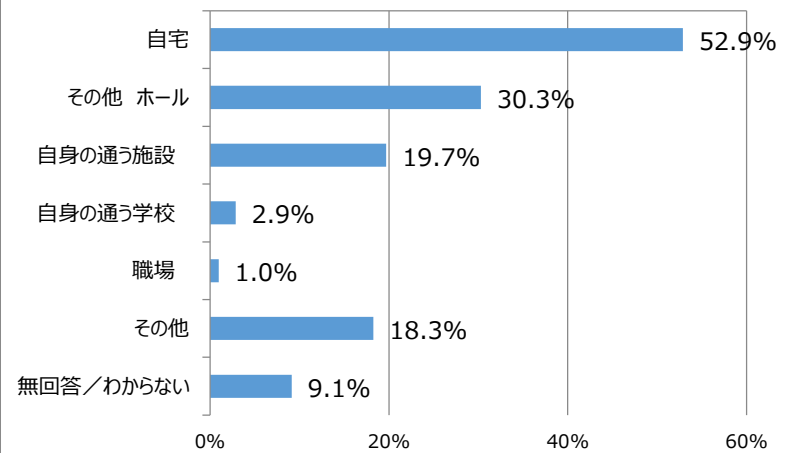
II Q2. 日頃どこで鑑賞しますか？（複数回答可）

	件	%
自宅	110	52.9%
ホール※	63	30.3%
自身の通う施設	41	19.7%
自身の通う学校	6	2.9%
職場	2	1.0%
その他	38	18.3%
無回答／わからない	17	8.2%

（有効回答数：208）

※ 「具体的に」記述で多かった「ホール、劇場・文化施設」に該当するものを別途「ホール」とした

日頃どこで鑑賞しますか？（A個人：II Q2）



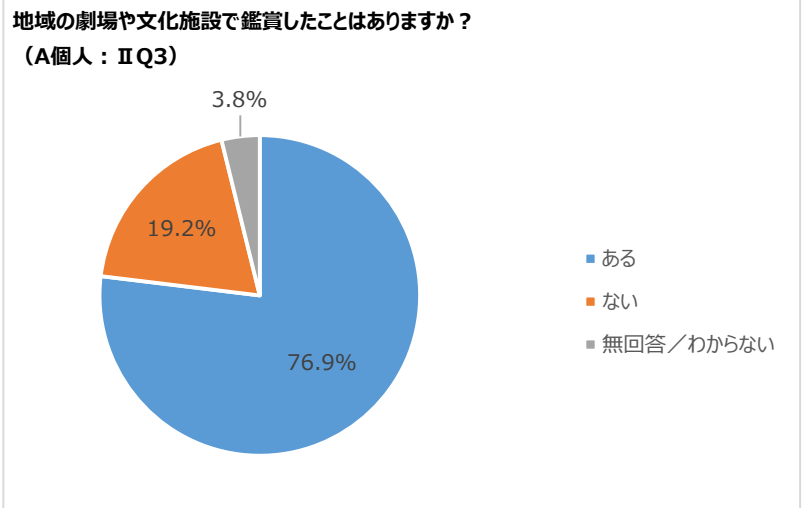
II Q2. その他 具体的に

・映画館×3 ・BiG-i×11 ・地域のお祭り ・福祉施設×4 ・パソコン・スマホ×3
 ・電車・車移動中×2 ・テレビ ・教会 ・ギャラリー ・文化祭で ・DVワークなど ・カラオケ、ピアノ

II Q3. 地域の劇場や文化施設で鑑賞したことはありますか？

	件	%
ある	160	76.9%
ない	40	19.2%
無回答／わからない	8	3.8%
合計	208	

(有効回答数：208)

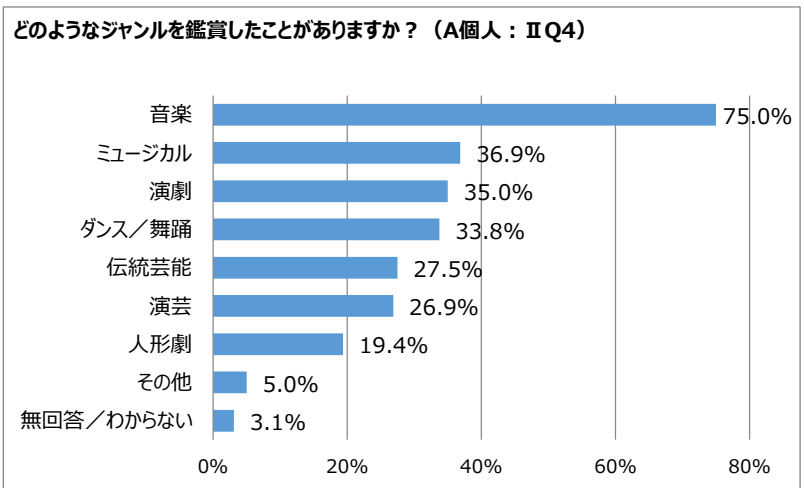


II Q3で「ある」と回答した方（劇場や文化施設で鑑賞したことがある人）に伺います。

II Q4. どのようなジャンルを鑑賞したことがありますか？（いくつでも）

	件	%
音楽	120	75.0%
ミュージカル	59	36.9%
演劇	56	35.0%
ダンス／舞踊	53	33.1%
伝統芸能	44	27.5%
演芸	42	26.3%
人形劇	31	19.4%
その他	8	5.0%
無回答／わからない	5	3.1%

(有効回答数：160)



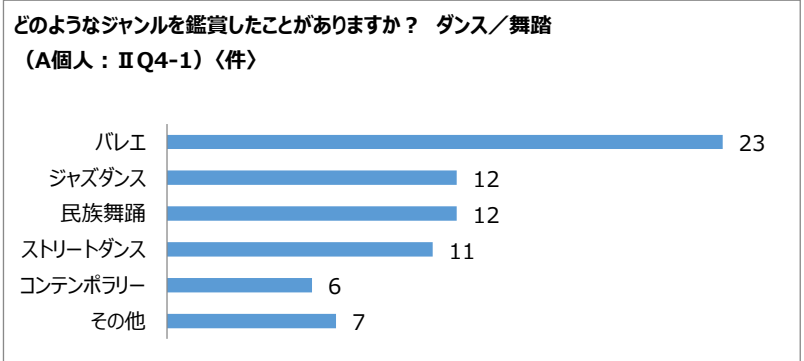
II Q4. その他 具体的に

・マジック ・アイドルライブ ・ビッグ・アイでの発表会 ゲスト大西ゆかりさん ・パイプオルガン演奏会 ・宝塚
 ・映画、講演など ・作業所内の仲間と ・一万人の第九に出ている。

II Q4-1. ダンス／舞踊のジャンル別（いくつでも）

	件	%
バレエ	23	43.4%
ジャズダンス	12	22.6%
民族舞踊	12	22.6%
ストリートダンス	11	20.8%
コンテンポラリー	6	11.3%
その他	7	13.2%

(有効回答数：53)



II Q4-1. ダンス／舞踊 その他

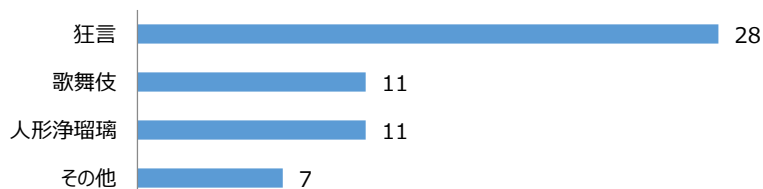
・いろいろ、ベリーダンス ・みんなでわになっておどった。「マイムマイム」みたいの。 ・ヒップポップ、ブレイクダンス
 ・木下サーカス ・手話ダンス ・フラメンコ ・フラダンス

II Q4-2. 伝統芸能のジャンル別（いくつでも）

	件	%
狂言	28	63.6%
歌舞伎	11	25.0%
人形浄瑠璃	11	25.0%
その他	7	15.9%

（有効回答数：44）

どのようなジャンルを鑑賞したことがありますか？ 伝統芸能
 （A個人：II Q4-2）〈件〉



II Q4-2. 伝統芸能 その他

・和太鼓×2 ・文楽×2 ・変面 ・能楽 ・長唄、琵琶

II Q4-3. 演芸のジャンル別（いくつでも）

	件	%
落語	25	59.5%
漫才	21	50.0%
その他	3	7.1%

（有効回答数：42）

どのようなジャンルを鑑賞したことがありますか？ 演芸
 （A個人：II Q4-3）



II Q4-3. その他

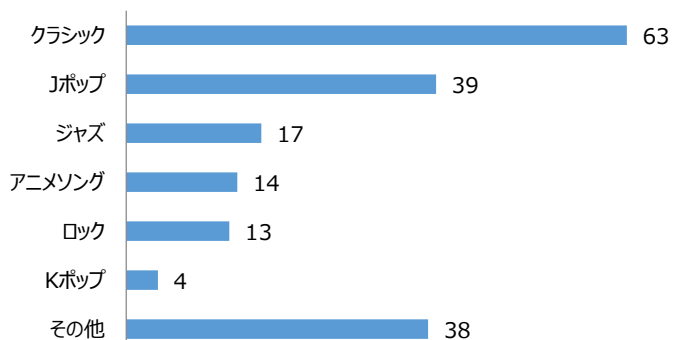
・「綾小路きみまろ」の漫談、手品 ・聴かく障害者の劇（知り合いが出演していたので） ・マジックショー

II Q4-4. 音楽のジャンル別

	件	%
クラシック	63	52.5%
Jポップ	39	32.5%
ジャズ	17	14.2%
アニメソング	14	11.7%
ロック	13	10.8%
Kポップ	4	3.3%
その他	38	31.7%

（有効回答数：120）

どのようなジャンルを鑑賞したことがありますか？ 音楽
 （A個人：II Q4-4）〈件〉



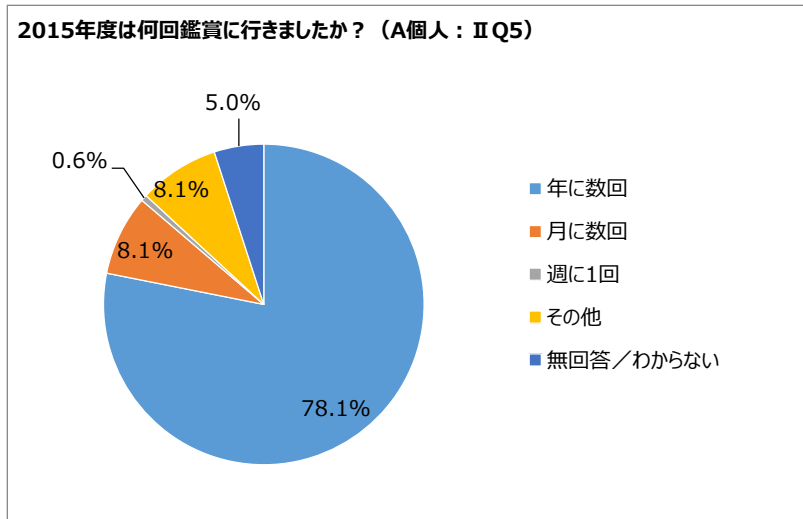
II Q4-4. 音楽のジャンル その他

- ・歌謡曲×3 ・演歌×2 ・フォークソング×4 ・ゴスペル×3 ・太鼓×4 ・アフリカンパーカッション・ミュージック×3
- ・コーラス×3 ・吹奏楽×2 ・民謡×2 ・歌 ・邦楽演奏 ・三味線 ・オーケストラ ・オペラ
- ・楽器演奏 ・映画 ・手話ダンス、HAND SIGN ・コンサート ・アイドルコンサート
- ・ファミリーコンサート ・宮川彬さんのコンサート ・軽音楽コンサー ・事業所主催のコンサート

II Q5. 2015 年度（2015/4～2016/3）は何回鑑賞に行きましたか？

	件	%
年に数回	125	78.1%
月に数回	13	8.1%
週に1回	1	0.6%
毎日	0	0.0%
週に4～6回	0	0.0%
週に2～3回	0	0.0%
その他	13	8.1%
無回答／わからない	8	5.0%
合計	160	

（有効回答数：160）



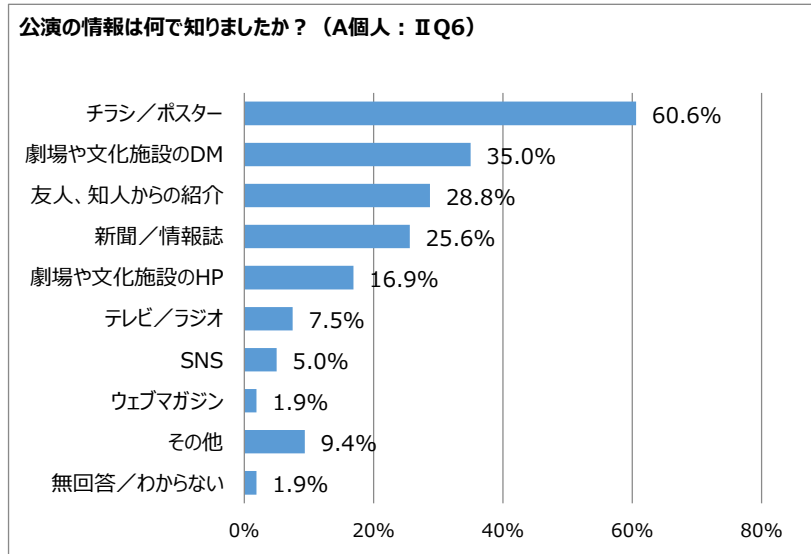
II Q5. その他 具体的に

- ・体調をくずしていたためいけなかった ・2～3年に1回 ・最近はいってない ・今まで2回 ・行なっていません
- ・今は行っていません ・行ってない ・2015年度はなし

II Q6. 公演の情報は何で知りましたか？（いくつでも）

	件	%
チラシ／ポスター	97	60.6%
劇場や文化施設のDM	56	35.0%
友人、知人からの紹介	46	28.8%
新聞／情報誌	41	25.6%
劇場や文化施設のHP	27	16.9%
テレビ／ラジオ	12	7.5%
SNS	8	5.0%
ウェブマガジン	3	1.9%
その他	15	9.4%
無回答／わからない	3	1.9%

（有効回答数：160）



II Q6. その他

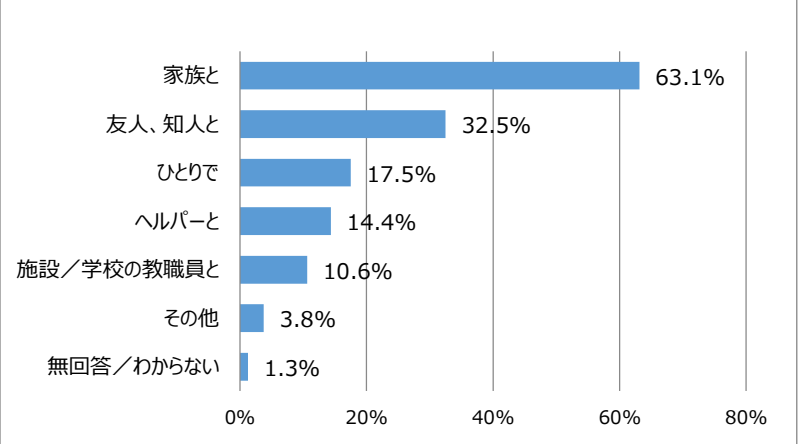
- ・通所施設 ・施設の職員に教えてもらって ・リハで等 ・学校からの案内で支援学校の生徒が対象の催しでした。
- ・学校でもらったチラシ ・事業所内の案内 ・職員にきいて、自分でしらべた ・家族 ・母から
- ・兄の所属する劇団、友人の芝居 ・市の広報 ・広報紙 ・文化ホール月刊情報 ・会員制のグループに所属している
- ・ハガキ

II Q7. 誰と鑑賞に行きましたか？（いくつでも）

	件	%
家族と	101	63.1%
友人、知人と	52	32.5%
ひとりで	28	17.5%
ヘルパーと	23	14.4%
施設／学校の教職員と	17	10.6%
その他	6	3.8%
無回答／わからない	2	1.3%

（有効回答数：160）

誰と鑑賞に行きましたか？（A個人：II Q7）



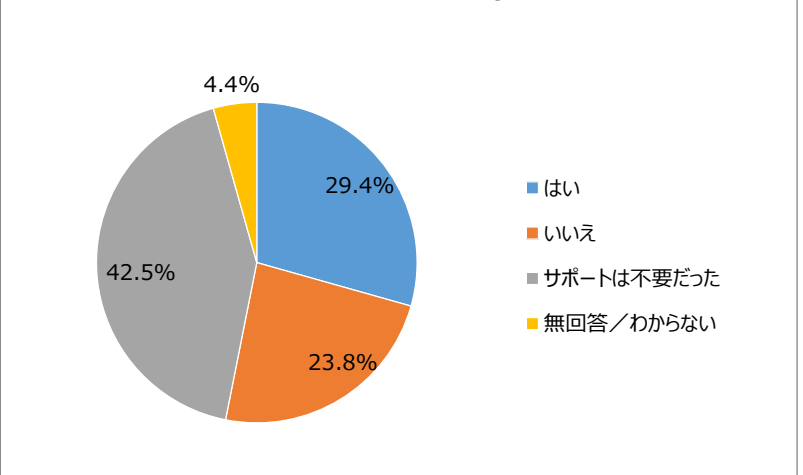
II Q8. 地域の劇場や文化施設では障がいに応じたサポートを受けましたか？

サポートを受けたと回答した人が 30%近くいるが、ほとんどが車いす席の利用であったり、座席への案内であった。欲しかったサポートの回答では、要望が多様であり劇場、文化施設側の障害者へのサポートが車いす利用者以外の障害者への対応が必要とされている。

	件	%
はい	47	29.4%
いいえ	38	23.8%
サポートは不要だった	68	42.5%
無回答／わからない	7	4.4%
合計	160	

（有効回答数：160）

障がいに応じたサポートを受けましたか？（A個人：II Q8）



II Q8. 「はい」 受けたサポートを具体的に

- ・受付 ・車椅子スペースを利用させて頂きました。 ・車イス席 ・車イス席への案内 ・車イス席への案内
- ・車イス席まで案内された ・車いす席を利用させて頂きました。（欲しかったもの：ベッド付きトイレ）
- ・車イス対応座席 ・車いす対応スペースに案内、先行入場 ・車イスでしたから、スタッフの方の案内を受けました。
- ・車イスでも入りやすかった。トイレ行きやすかった。 ・車椅子と介護者席の用意があった。トイレ介助の手助けがあった。
- ・車椅子なので配慮頂いた。
- ・車イスにのっていた時に、車イスの人間の受付の時間帯、E V、席に小劇場にも拘らず案内してくれた。
- ・車椅子の方々が入れる 2 階席。しかし、付添いの方がパイプイスで少し疲れた。
- ・車イスの方と一緒にだったので、座席を外してくれた。 ・車イスのまま鑑賞出来ました。
- ・たいてい受付から車いす用観覧スペースへ案内して下さいます。 ・座席は移動しやすい席でした。
- ・移動しやすい前の席を準備してもらっていた ・鑑賞しやすい座席の説明 ・誘導 ・座席までの案内
- ・私が視力が悪い為、席まで案内して頂いた。 ・目が少々悪いので親切にしてください助かりました。
- ・障がい者なので、席を見やすい席を用意してもらった。 ・一般の人より先に入場
- ・席を通路側の端にしてもらい、隣に夫に座ってもらった。 ・席を真ん中の前の方にしてもらった
- ・移動の為にガイドヘルパー ・ガイドさんと ・ガイドヘルパー ・職員の支援あり ・手話通訳
- ・手話通訳、字幕 ・手話通訳、障害者席 ・要約筆記 ・パニック時に母が介助
- ・クラシックで、不協和音にパニックになって、劇場外に出ておちつくまで支援 ・駐車場、座席（障害者用） ・駐車場
- ・市川動植物園無料、船橋プラネタリウム無料、千葉キポールのプラネタリウム無料案内、船橋アンデルセン公園無料

II Q8. 「いいえ」 欲しかったサポートを具体的に

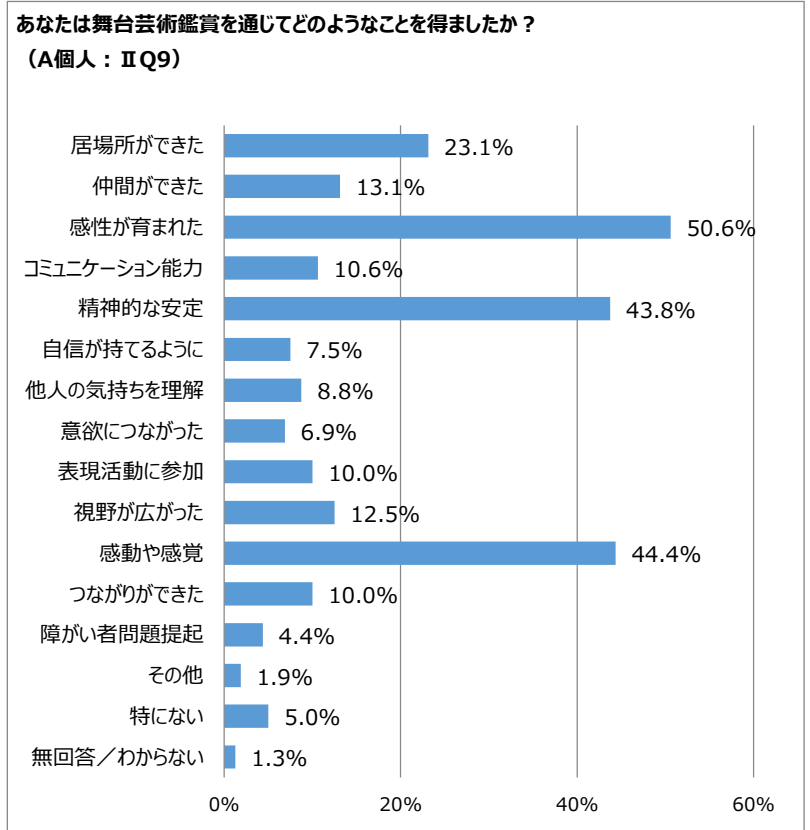
- ・すうじ、ろうまじがわからないため、おしえてほしかった ・音声ガイド ・手話通訳
- ・通路側のチケットを優先的に取れると良い ・足がわるいのでエレベーターがほしかった。駐車場が足りなかった。
- ・親子室等別室で鑑賞したかった（障害当事者は、大人なので無理）
- ・奇声を出すことがある為、他者へのご迷惑にならぬ様、別室がほしかった（その部屋は児童が占領していた）
- ・ドームのような広い所は、座席に行くまでの案内サポートがほしかった ・手引き ・視覚・聴覚障害へのサポート配慮
- ・声かけ、絵カード、写真、画像、イヤマフをみても変と思わない心 ・救護室
- ・車イスからおりて、横になる場所がほしかった。（車イスにのって 1 時間以上いられないからだなので）
- ・トイレ介助（男性の場合）

II Q9. あなたは舞台芸術鑑賞を通じてどのようなことを得ましたか？（3 つまで）

上位 3 つの回答は、内面的な充実や安定につながることであった。また、自身の居場所や仲間、行動範囲に広がりとの回答数は多く、鑑賞の機会が社会参加や人とのつながる機会であると考えられる。

	件	%
感性が育まれた	81	50.6%
感動や感覚	71	44.4%
精神的な安定	70	43.8%
居場所ができた	37	23.1%
仲間ができた	21	13.1%
視野が広がった	20	12.5%
表現活動に参加	16	10.0%
つながりができた	16	10.0%
コミュニケーション能力	17	10.6%
他人の気持ちを理解	14	8.8%
自信が持てるように	12	7.5%
意欲につながった	11	6.9%
障がい者問題提起	7	4.4%
その他	3	1.9%
特にない	8	5.0%
無回答／わからない	2	1.3%

（有効回答数：160 ただし 18 件が 3 つ以上選択）



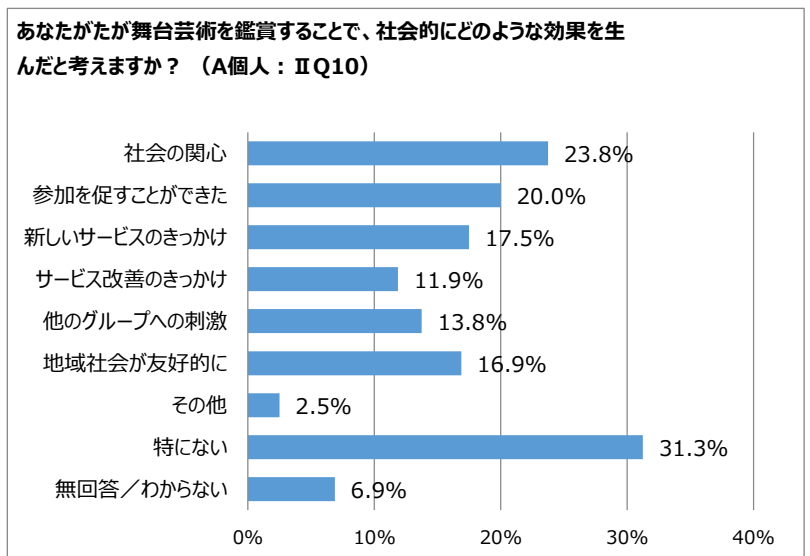
その他 具体的に

- ・地域から出て新しい街を見れてうれしい。
- ・楽しみができ、障がいのない（現時点で）人とのつながりができた。
- ・劇場でのマナーを身につけることができた。

II Q10. あなたがたが舞台芸術を鑑賞することで、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（3 つまで）

	件	%
社会の関心	38	23.8%
参加を促すことができた	32	20.0%
新しいサービスのきっかけ	28	17.5%
地域社会が友好的に	27	16.9%
他のグループへの刺激	22	13.8%
サービス改善のきっかけ	19	11.9%
その他	4	2.5%
特にない	50	31.3%
無回答／わからない	11	6.9%

（有効回答数：160 ただし 2 件が 3 つ以上選択）



II Q10. その他 具体的に

- ・わかりません ・自分では社会的になんの効果もないと思う。障がい者はあくまでも障がい者だ
- ・障害者も健常者と同じように芸術を楽しむ、楽しみたいと思っていることがわかればよかったと思う。
- ・共に鑑賞する巾が広がった

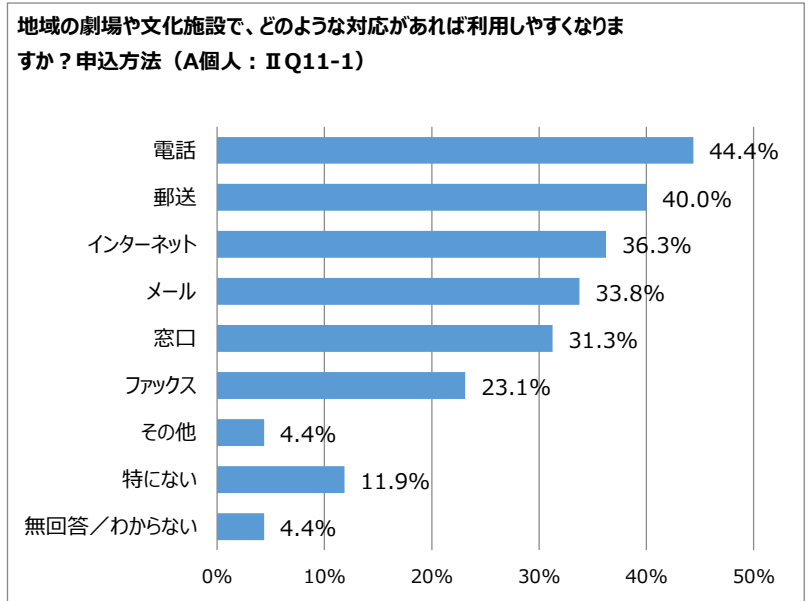
II Q11. 地域の劇場や文化施設で、どのような対応があれば利用しやすくなりますか？

申込方法においては、多様な障害に対応するには施設と同様に窓口が多様であることが求められている。

II Q11-1. 申し込み方法（いくつでも）

	件	%
電話	71	44.4%
郵送	64	40.0%
インターネット	58	36.3%
メール	54	33.8%
窓口	50	31.3%
ファックス	37	23.1%
その他	7	4.4%
特にない	19	11.9%
無回答／わからない	7	4.4%

（有効回答数：160）



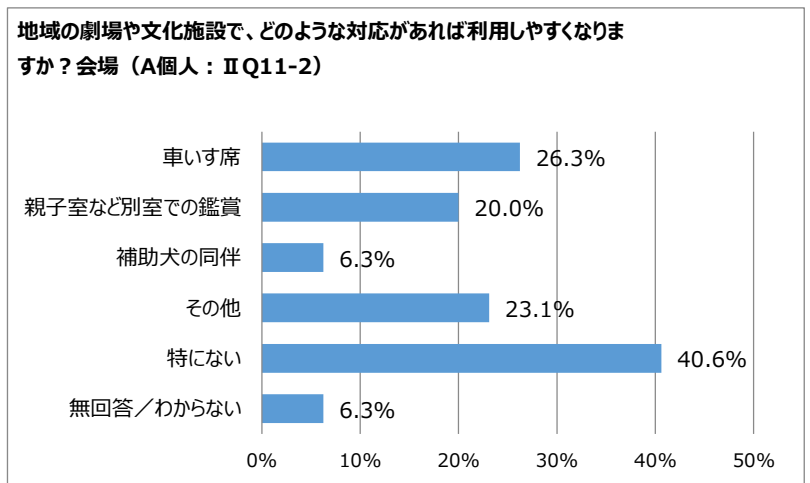
II 11-1. 申し込み方法 その他 具体的に

- ・経済的な負担の軽減、駐車場 ・無料鑑賞だったら
- ・支援希望を聞いて欲しい。記入する欄を作ってほしい。 ・
- ・泉ヶ丘駅周辺に住んでいる方々は申し込みする場合、わざわざ郵送しないといけなので直接ビッグアイに持って行けたらいいと思います。 ・各作業所、支援学校等でとりまとめ ・病気や障害などで不安のあるような方の相談できる窓口（電話などで）

II Q11-2. 会場（いくつでも）

	件	%
車いす席	42	26.3%
親子室など別室での鑑賞	32	20.0%
補助犬の同伴	10	6.3%
その他	37	23.1%
特にない	65	40.6%
無回答／わからない	10	6.3%

（有効回答数：160）



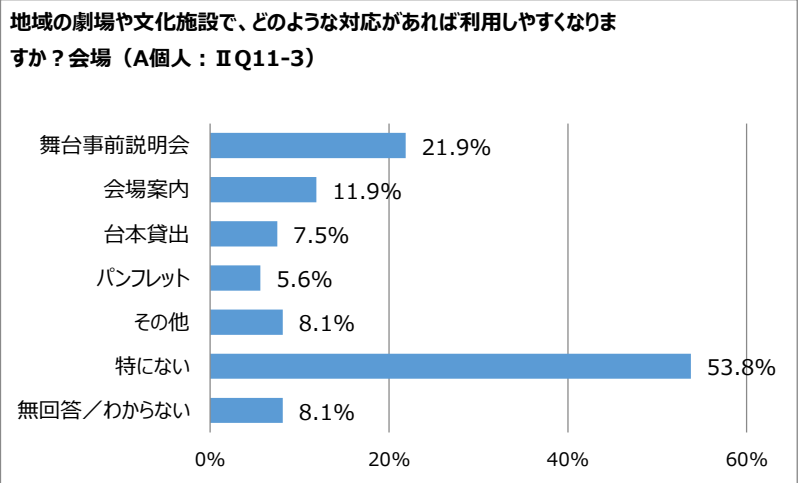
II Q11-2. 会場 その他 具体的に

- ・スロープ、身障用トイレ ・車イス用トイレ、通路のバリアフリー、トイレ内にベッド（成人のおしめ交換）、発作時の対応
- ・段差が少く、トイレに出やすいところ ・洋式トイレ
- ・足がわるいので、会場のイスとイスの間がもっと広いとトイレ時とか立つときに助かる ・トイレの利用しやすさ
- ・普通席に座った時、車イスの置き場所が欲しい。 ・救護室か人目を気にしない休息室
- ・奇声を発する障害者の為の別室（防音）←可能なら ・横になれるスペース
- ・弱視者に対する配慮対応、片側失聴者に対する配慮対応 ・トイレまでの行き来で段差が少ない設備がほしい
- ・同じ客席でも、端の一角をそのコーナーなどを確保し、理解を求めたい ・前列（視覚障がい者）
- ・前後左右に苦手な子・幼児が確認できたら ・前の方の真ん中の席
- ・いつも前方が（前の人の頭で。）見えにくいのが残念。 ・必ず通路側の端の席、別室など（閉室のないところ）
- ・視覚障害の為、優先で前にしてほしい ・聴覚過敏なので、子供のいない席
- ・舞台近くでないで集中できないので席位置の配慮 ・きぼーのプラネタリウム非常口から席へ導いてくれた。
- ・前席（後ろだと手話通訳者が見えない） ・退席しやすい席が確保してもらえら安心できる→利用しやすい
- ・S席のチケットの購入なのに後ろの端の車イス席とは？
- ・車イス席は劇場でも映画館でも端にあることが多いので、もう少し良い場所にあるといい。 ・視覚の方用イヤホン（各座席）
- ・情報保障があること ・手話通訳、要約 ・I P A D ・ていねいな情報提供
- ・小さい子が苦手です。小さい子が隣にくる場合、1席空ける。 ・障がい者は、開場時間前に入場させてほしい。
- ・交通機関の充実（コミュニティバス等） ・案内・誘導 ・東西南北 ・地域の文化ホール

II Q11-3. 上演前の鑑賞サポート（いくつでも）

	件	%
舞台事前説明会	35	21.9%
会場案内	19	11.9%
台本貸出	12	7.5%
パンフレット	9	5.6%
その他	13	8.1%
特にない	86	53.8%
無回答／わからない	13	8.1%

（有効回答数：160）



II Q11-3. 上演前の鑑賞サポート その他 具体的に

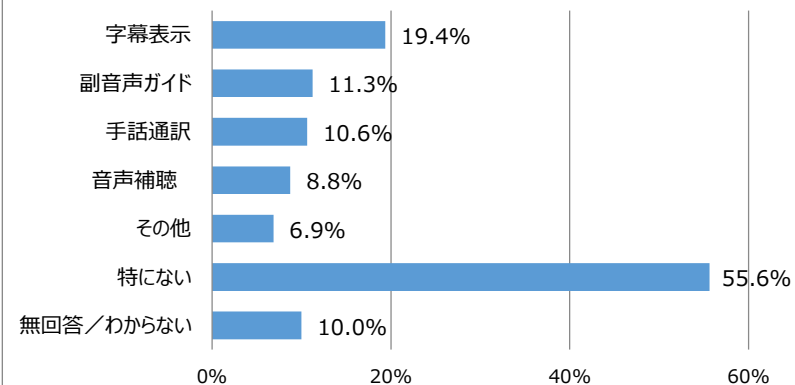
- ・席の場所が決まっている方が良い。(通路側等、車椅子や杖を使用している為。) ・スタッフの方の理解
- ・配慮を求めた時の柔軟な対応 ・パンフレットはほしい、あらずじを書いたもの。 ・文字情報、漢字にひらがなをふって欲しい
- ・音声解説 ・座席への案内 ・音の大きさにしんどくなるので、どの位の大きさの演目かわかるといいかも
- ・体調不良、発作の時の説明 ・絵や写真等による登場人物の紹介等 ・視覚提示での写真など ・パンフレットにるび
- ・写真がたくさんあって視覚で情報が得られるパンフレット、説明が画像でわかるタブレット

II Q11-4. 上演中の鑑賞サポート（いくつでも）

	件	%
字幕表示	31	19.4%
副音声ガイド	18	11.3%
手話通訳	17	10.6%
音声補聴	14	8.8%
その他	11	6.9%
特にない	89	55.6%
無回答／わからない	16	10.0%

（有効回答数：160）

地域の劇場や文化施設で、どのような対応があれば利用しやすくなりますか？会場（A個人：II Q11-3）



II Q11-4. 上演中の鑑賞サポート その他 具体的に

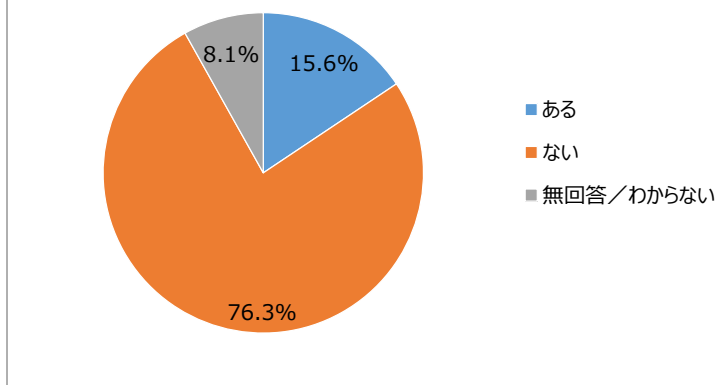
- ・明暗、（ライト）照明のサポート。見やすくしてほしい。
- ・席を外さないといけなくなった場合のドアサポート
- ・しんどくなったときすぐ出られる環境
- ・別室での鑑賞
- ・トイレ介助のサポート
- ・I P A D
- ・音量にしんどくなる時がある
- ・よく私が理解してなかった
- ・サポートを選択できるシステムがよい

II Q12. 地域の劇場や文化施設での鑑賞に関して、相談したことはありますか？

	件	%
ある	25	15.6%
ない	122	76.3%
無回答／わからない	13	8.1%
合計	160	

（有効回答数：160）

地域の劇場や文化施設での鑑賞に関して、相談したことはありますか？（A個人：II Q12）



II Q12-1. 「ある」 相談場所（人）と相談内容を具体的に

- ・当場所への TEL でチケット購入（車イス席）案内やトイレについて ・駐車場の有無。雨天関係なく車移動しかできないので。
- ・席を通路側の端にしてもらった。 ・車イス席の確保
- ・「ビッグ・アイ」利用時、車椅子の主人が止められる。パーキングについて尋ねました。
- ・ジストシネマに音声ガイド付き映画上映会の開催 ・障害者に対しての配慮をして下さいました
- ・車いすは可能か、エレベーターはあるかなど ・障害者割引の制度化 ・イス、テント等がもっとほしい
- ・手話通訳、手話通訳が無い場合は前席 ・大阪城ホール、京セラドーム／トイレサポートと車椅子と介助席を隣同士にする。
- ・情報開示してますか？ ・音が大きくてしんどいとか ・わからないこと等いろいろ聞いた。
- ・Big-i 障害者は、他の場所へ出掛けて鑑賞するのは、難しいのだから優先的に鑑賞させてほしい事
- ・なるべく端の席をおさえたいとお願いしている ・鑑賞場所(車いすスペース)の有無について、といあわせた。
- ・役場のホールでの鑑賞の方法 ・手話通訳あるかないか ・車いす席について ・移動に楽な席をおねがいます。
- ・10人くらいで行くのですが、出入がしやすいところだと話しをしておいたら、段差のない前の席をとってもらっていた
- ・地域文化センターで、横になっていられる場所の確保、地域のホールで駐車場のかくほ、車イス席にいくための段差もなくしてほしい

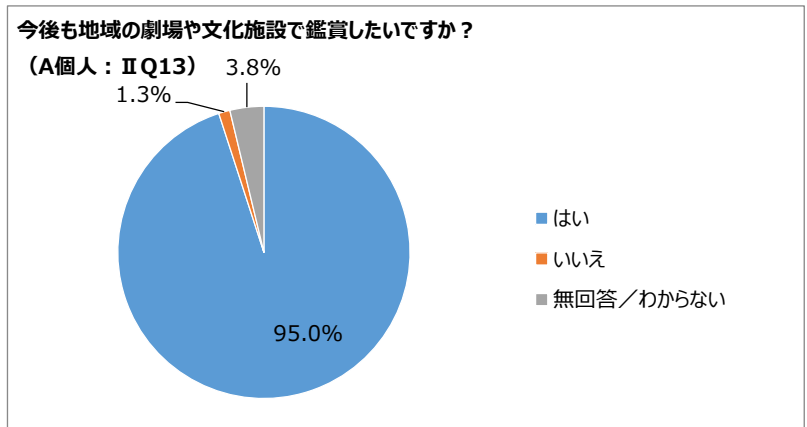
II Q12-2. 「ない」 相談しなかった理由があれば、具体的に

- ・希望を話せない ・そこまでの知恵と勇気がなかった。思いうかばなかった。 ・相談しても、理解してくれないだろうと思ってるから。
- ・わからないから ・相談先が分からない ・具体的にどこにいけばいいかわからない ・相談出来る人が居なかった
- ・しても相談ののってくれない ・社会福祉協議会に相談したら、障がい者が芸術活動をするのはぜひだからやめろと言われたので
- ・自己啓発の一環とくらべている。
- ・建物自体の問題でないので、相談できると思わなかった。長久市の文化の家の改築の際、意見箱を置いてくれたので、多目的ベッド付きトイレをつくってほしいということを書いて出しました。実現したかどうか未確認です。
- ・事前に相談できなかったため、当日の問題だけになってしまった。
- ・静かに鑑賞することができます。興味のありそうなものに限定して鑑賞しています。
- ・事前に調べ大丈夫な施設にのみ参加している ・駐車場もあり、車イスでの移動が楽になった。トイレも良かった。
- ・相談する事が無かった為 ・小さい頃から特に困ったことはなかった。 ・今のところ、HPなどで知り得るので、不安が無い
- ・特にサポート受ける必要なし ・私がコンサートを選択し、チケット代、日程を考えて行っている
- ・気のままに、一人が楽しい ・気のままに、一人が楽しい ・不自由なことは何もない ・今のところ家族で周囲を固められているので
- ・自分で資料を見ながらする。 ・相談してもむだだと感じたから・無理だと思ったから
- ・地域では、あまり参加しにくい為、他の人の迷惑にならないかと？ ・ビッグ・アイから郵送があるので、それから

II Q13. 今後も地域の劇場や文化施設で鑑賞したいですか？

	件	%
はい	152	95.0%
いいえ	2	1.3%
無回答／わからない	6	3.8%
合計	160	

(有効回答数：160)



II Q14. 地域の劇場や文化施設に対して意見や希望などがあればお聞かせください。

- ・来年は文化フェスタに出たいです。受かるようにがんばりたいです。
- ・長時間、行列に並ばなくても良い様にして欲しい。
- ・待ち時間を少なくして欲しい。→両手足が不自由な為、椅子やソファなど腰をかけるスペースが有って欲しい。"
- ・会場内が、寒いことが多いので、もう少し温度を上げて欲しいです。
- ・パニック等で、外に出た時、シアター等で見られたらいい。後ろの方の通路側の席が、いつも開いていたらいい。→早く行って確保するのに大変。事前申し込みでも、団体が確保している事が多く、なかなか要望が通らない事が多い。2階、3階席でいいから、精神障がい者用の席の確保をしていてくれたら嬉しい。見た目では、判断できないようで、いちいち手帳の提示を求められた事が多いのが、面倒。精神障がい者手帳を見せると、ほとんどが「えっ？」と、しかめっ面をされる事が多い。
- ・いろいろなものを見たい。
- ・身体障がい手帳で交通費（バス・電車等）の減免があるのに精神障がい手帳では、上記はほぼありません。同様に施設の駐車場も身体障がい者のみ優遇で精神障がい（発達障がい）は一般扱いになってしまう所が多く、障がい特性による、困難さを分かってもらえていないと感じています。
- ・ネット予約の際、車イス席の指定ができなのが困る。
- ・ちょっとしたコーナーに、たとえば卓球台常設へのルームなど置いて、て手軽にスポーツできるようにしてほしい。体育館など手続きが大変で、なかなか場所がとれない。
- ・障害者用に準備されている席で余りにも前過ぎて舞台や画面が見づらい事があります。中央もしくは後部にしていただくと助かります。隣に介助者の席も確保していただける場合とそうでない場合があります。必要な介助がしにくい事がありますので出来るだけ近くにもうけていただきたいと思ひます。
- ・車イスでもちゃんと鑑賞できる場所
- ・必ず音響補聴、例えば、磁気ループ、赤外線補聴システムなど充実をお願いしたい。
- ・障害者が宿泊する場合の予約があまりにも期間が長すぎます。半年の、体調や都合のことなど分からず利用は出来ません。
- ・ビッグ・アイの車イス席について 車イスの席に障害者とその横に付添いが座っていて他の車イスが後ろで見ているのはおかしい。
- ・別の日に私（車イス）と横で付添いが横で見ていると付添いは後で見える様にと言われ、空いたスペースに車イス以外の（足の切断？）人にイスを持ってきてここで見る様に案内していたのは、おかしく思う（他の席は空いていた）
- ・車イスでも視力が弱いのでもう少し前で見たい
- ・トイレから帰って来ると他の人に席を取られる事が多い・不ゆかいに感じる事が多い"
- ・安く観たい。安く行きたい。移送支援を無料でうけたい。食べる所があるとよい（レストラン）。障害者同志の交流時間をもうけてほしい。（名刺支援など・メルアド）でも障害者同志でケンカにならないように、間に立ち会ってくれるボランティア（指導員とか）さんがいてくれたら助かる。
- ・映画やミュージカル、観劇をもっと実施して欲しい。・実施している事（日時）そのものが分からない。情報が少ない。かたよっている様に思われる。
- ・建物が新しくても、トイレの数が少なかったりと、休憩時間が無くなってしまうのでとても困る。
- ・浪速区には、老人福祉センターや区民センターなどが機能しておりますので、B i G-i は、その延長と心得ております。
- ・プロのダンス、演劇、伝統芸能、ミュージカル、演芸が多く見たい。
- ・障がい者の方が吉本新喜劇を観に行くのに、バリアがあったり申し込みにくくので、すっちゃんや辻本茂雄さんの笑いを観て楽しませてほしい。
- ・知的障害児者が、気軽に行ける雰囲気ではない。
- ・声を出しても良い、動いても良い、そんな企画があれば嬉しい。
- ・別室で鑑賞できると嬉しい（大人になった障害者でも）"
- ・障害者割引が主催者の任意とされており、意識が欠けた主催者がかなり多く、貸し出し規定に盛り込むべきだと思っています。
- ・今でもじゅう分です。今の場所が気に入っています。

- ・ビッグ・アイで前みたいに歌手さんに来てもらいたい。
- ・車イス席利用ですが、さほど、いい席でもないのに（ほとんどの所が、中央くらいのはしこの席）S席の料金というのは納得できません。
- ・トイレの介助の手伝いをして欲しい。・トイレ内にベッドを置いてほしい。（ベッドがあればトイレの手伝いがなくても、個人のヘルパーで対応できるので）
- ・情報入手法が知りたい
- ・マンオとか古い歌手の出演が見たいです。会場は満足しています。
- ・堺市の他の劇場（ウエスティ）のチケットを買おうと思いましたが、その劇場まで行かなくてはいけないので、買うのをあきらめました。チケットを買う為に遠いところまで行かなくてはいけない。（電車、バス代もばかにならないし）もっと手近なところ、本庁でもいいので買うことができればいいのですが。
- ・1人では行けなくて、家族やヘルパーさん一緒にないと行けない。そうすると費用が2倍かかってしまう、何とかありませんか？
- ・歩行にしょうがない施設の行き届いた場所ホール
- ・ビッグ・アイがして下さっているような、障害者でも気がねなく鑑賞できる環境作りに心がけて欲しい
- ・座席とか広さが、せまいと思います。移動が苦しい。通路側の座席をとれない時少こまります。
- ・ミュージカル、落語などどれも楽しめるものが、大阪市内までいかずとも気軽に見られるとうれしい。障害者への理解も更に深めたいと、常日頃、よく思っている。
- ・車イス席は最後列や端の席であることが多く、遠すぎて見えづらい。→車イス席が何か所か設けてあって、選ぶことができるといいです。
- ・歯ざりしが止められず、クラシックのコンサート会場で他の観客に白い眼で見られ、退席せずにはいられなかった。→親子観覧ルームをより多く施設に用意してもらえるといいです。
- ・駐車場に車イス利用者用の駐車場が足りない。高齢化で車イス利用者などの障がいを持つ人以外も障がい者用スペースを利用されるので。→車イス用駐車場でないと乗降スペースがなくて、車からおりられずに観劇をあきらめたことがあります。車イス用駐車場を増やしてほしいです。
- ・他目的ベッド付トイレを設けてほしい。→切実です。立てない障がいを持つ人は、ベッドに寝てオムツ替えをします。多目的ベッド付トイレがあれば、重度障がい者の人も、安心して劇場へ行けます。"
- ・情報をうまくキャッチしたいですねえ
- ・聴覚障がい者が楽しめる内容は、少ない。バイオリンやミュージカルやわからない。太鼓しか楽しめなくて、申し込みでも抽せん落ちて見られなかった。視かくや車イスの人たちは、色々楽しめるのでうらやましい。
- ・障害者向けのサービスがあることは、一般的な情報としては、入ってこない。もしあるのなら周知する方法を考えてもらいたい。
- ・重度の障害者は、他の施設に出掛ける事、その料金を負担する事が難しい。Big-iでの鑑賞なら、スタッフも理解があり、設備も整っており、お金をかからず、安心して鑑賞できる。交流という名の元に、健常者を入れるのではなく、「まず障害者を優先的に入れ、空いた席の分を健常者に回す」というシステムにしてほしい。
- ・待てない。大きな声を出してしまったり、走ってしまったり、てんかん発作がでたり、障害は、1人1人ちがいます。それでも文化（音楽等）を楽しみたい！という気持ちはあり、心の発達につながります。「特別扱い」というより、「その人が鑑賞できるためには」ということを共に考えて改善してほしいと思います。
- ・ホールを借りて、発表会をする時に費用がかかって、みんなで、出し合うのですが、もっといいものにしたいが、1つ1つお金がかかるので、とてもつらい。なかなか、単独の発表会が出来なくて…。小さなホールで、照明、大道具、着替え、駐車場の整理ととても大変だなあ～と思います。今年の9月に（フェスタ・コンテスト）予選会のゲストとして、声をかけていただき、ゲストということもあって、おもいきり、踊れたメンバー達、拍手と歓声に酔っちゃいました。又、大きな舞台を踏みたいと思わせていただきました。ステキな時間をありがとうございました。
- ・チケットの買いやすさ、駐車スペースの確保
- ・本人は、ジャニーズのようなアイドルのコンサートにも行きたがっています。しかし、疲れやすいので、ずっと立って観るのは難しいです。車イス席とは別にゆっくり座って観られる席を増やしていただけたら嬉しいです。
- ・スタッフの皆様には感謝しております。

・障害者割引を鑑賞に関して設けてもらえるように各劇団やミュージカルなどにはたらきかけてくれれば、障害者の文化に触れる機会、鑑賞機会が増え、より豊かな、文化的な生活ができると思う。（最近、時々、障害者割引をもうけてくれている劇団などある。）

・全て、手話通訳つけていただけること

・出演者と共になって、地域の参加したい方がどなたでも安心して楽しめる参加を促すように努力してほしいと思います。

・地域の小学校などで子供と共に、感動しあいたい、障害者が身近にいてる声を感じてほしい。施設、トイレをお願い・・・小学校 保育園に障害者用のおトイレを

・地域でも楽しく友達と一緒に色々な芸術を見たいです。芸術はお金がかかる分野であると思いますが、障がい者はやめるとか、お金がないならやめるとかではなく、ないなりにどうすれば活動できるか、子供の成長、可能性につなげていけるか一緒に考えてほしいと思います。どんなに良い施設（設備的に）ものを建てても、働く人の心が“だめ”になってしまうとすべてに否定的になります。良い大阪になるように楽しみながらがんばりましょう。がんばります。

・鑑賞するために、家族で周囲を固めたり、準備をしっかりして出かけますが、それもそろそろ疲れてきました。主に行くのは、障がい者対応のものばかりです。一般コンサートなどには、他人への迷惑を考え、正直行けません。立ち上がっても、しゃべっても、OKの席があればこちらはとても安心ですが、難しいです。ただ、本人は、大きなホールに行くと、とてもうれしくニコニコです。だから本当につれていってあげたいのですが、舞台上に上りたかったりするので、体が大きくなった今は、止めることができなくなるので、今後は、ムリかなと思っています。

・スタッフやボランティアの方とコミュニケーション、いずみホールでは、視覚障害者に招待ワクがあるようで、招待されたことがあります。障害者は経済的に厳しい状況におかれることが多く、特に視覚障害者のお仕事が少なくていてなかなか行きたくても手が出ないこともあります。又、手洗いも休けい時間にこみあると健全な方々が、他目的を使用されない様声かけもされていて助かりました。

・イベントのお知らせを早く教えてもらえたら、外出の計画を立てて、見に行けるので、早く教えてほしい（こちらからアンテナをはっておけばいいのですが）。施設なので2ヵ月前に計画を立てて、行く利用者と支援者の人数を確保しなければならないので

・もし、東京五輪や東京パラリンピックでかわりあったら参加したい。2020年

・泉南市の文化ホール：昔は、大阪フィルハーモニー楽団、「紙ふうせん」、ジャズの有名バンドさんが来られましたが、最近は、予算不足でしょうか、ほとんど有名な楽団、バンドは来ません。近いところ（ホール）の鑑賞を希望しますので来てほしいです。

・年をかさねていますが、劇場や文化施設には家族と時々出かけます。車いす等が気軽に出入り出来るといいですが、いつもありがとうございます。

・この施策で演劇活動に興味を持ち、人生が豊かになった。

・稲城市の駒沢学園ホール：車イス席が中2階にあり、エレベーターが中2階にとまらないため、10段以上の段差を車イスをもちあげなければなりません。車イス席をエレベーターでいける階への移動をしてほしいです。・稲城市の中央文化センターホール：現在、段差をなくす（スロープの新設）、可動式車イス席の新設、誰でもトイレの新設の改修中です。改修にあたっては、市の担当者が意見をよく聞いてくれて感謝しています。

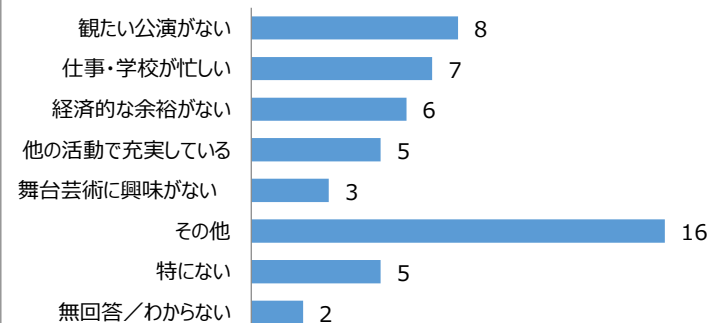
II Q3で「ない」と回答した方に伺います

II Q15. 地域の劇場や文化施設で鑑賞しない理由は何ですか？（いくつでも）

	件	%
観たい公演がない	8	20.0%
仕事・学校が忙しい	7	17.5%
経済的な余裕がない	6	15.0%
他の活動で充実している	5	12.5%
舞台芸術に興味がない	3	7.5%
その他	16	40.0%
特にない	5	12.5%
無回答／わからない	2	5.0%

（有効回答数：40）

地域の劇場や文化施設で鑑賞しない理由は何ですか？
（A個人：II Q15）〈件〉



II Q15. その他 具体的に

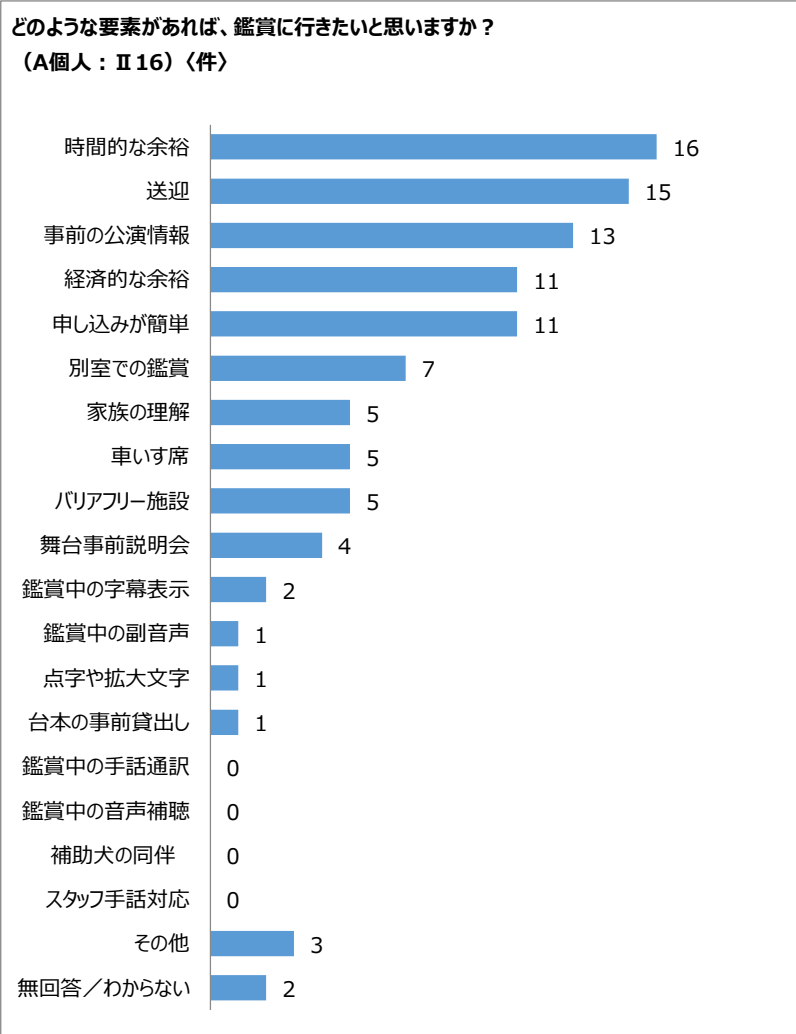
- ・静かにできない（奇声など声が出ます）為周りの迷惑になってしまう ・本人が行きたがらない
- ・小さい子どもをつれて行くと、人目が、キツイ。 ・付添を探さないといけない事と回りの理解 ・情報がわからない
- ・情報が入らないため ・常に声が出る、動き回る、その事で気をつかう、出たり入ったりすることもある。
- ・そこまで行く送迎がない ・大ぜいの中でしゅうちゅうしてみられない※えんじるのは別
- ・劇場文化施設等で行われる公演その他情報がない ・機会がない ・鑑賞する機会がない
- ・観たい公演と日程あわない ・施設入所のため、個人的に見ることがない ・かんしよ会ないので参加できない

II Q16. どのような要素があれば、鑑賞に行きたいと思いますか？（いくつでも）

鑑賞においても移動や情報が大きな要素となっている。

	件	%
時間的な余裕	16	40.0%
送迎	15	37.5%
事前の公演情報	13	32.5%
経済的な余裕	11	27.5%
申し込みが簡単	11	27.5%
別室での鑑賞	7	17.5%
家族の理解	5	12.5%
車いす席	5	12.5%
バリアフリー施設	5	12.5%
舞台事前説明会	4	10.0%
鑑賞中の字幕表示	2	5.0%
鑑賞中の副音声	1	2.5%
点字や拡大文字	1	2.5%
台本の事前貸出し	1	2.5%
鑑賞中の手話通訳	0	0.0%
鑑賞中の音声補聴	0	0.0%
補助犬の同伴	0	0.0%
スタッフ手話対応	0	0.0%
その他	3	7.5%
無回答／わからない	2	5.0%

（有効回答数：40）



II Q16-5. 事前の公演情報 具体的に

- ・パンフレット ・DM ・新聞・テレビ ・メールリスト ・メールリスト

II Q16-6. 申し込みが簡単なこと 具体的に

- ・電話×2 ・ファックス×2 ・メール ・葉書

Ⅱ Q16-19 その他 具体的に

- ・同時字幕があれば理解できる。 ・子供が、あきたら、すぐとなりに遊べる空間
- ・ガイドヘルパーさんを利用しているので、（年間スケジュール、3 ヶ月ぐらい）のお知らせがあればよい。

Ⅱ Q17. 地域の劇場や文化施設に対して意見や希望などがあればお聞かせください。

- ・車で行きたく思っていますが駐車場止められないのがネックです。
- ・障がいだけだとあるかも知れないし、小さな子供だけもあるかも知れないけど、障害（私）+小さな子供(息子) が OK などこがない。
- ・1 年を 1 クルーとして、講師を呼んで教えて頂き、絵画を書いたり、音楽をして、発表や絵画展を開く様なことをしてもらえたら
- ・ビッグ・アイの更なる活性化を期待しています
- ・今は、一般の人と鑑賞するのは無理かなと思っている
- ・行事を増やして欲しい。入場料も安くして欲しい。
- ・障害者施設でも高齢者が増えてきています。早い時間が行われる公演や演歌歌手が来てくれれば、足を運ぶ事も多くなると思います。
- ・特になし

※自由記述（「具体的に」など）については原文のママとした。

※集計の「合計」表記で（複数回答可）もしくはそれを認める回答について、件数の合計と有効回答数が一致しないものについて省略した。

※有効回答数が少ない回答（およそ 50 以下のもの）についてのグラフは回答数の数値を表記した。

※質問の順番について、アンケート対象者について先に表示するため、Ⅲ→Ⅰ→Ⅱとした。

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

福祉施設等アンケート 集計・分析（詳細版）

調査対象 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）の登録者 2567 名
 調査機関 平成 28 年度 9 月 20 日（火）～9 月 30 日（金）
 調査方法 調査票郵送・回収
 有効回答 341 件
 回収率 13.3%
 分析者 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）事業プロデューサー 鈴木 京子

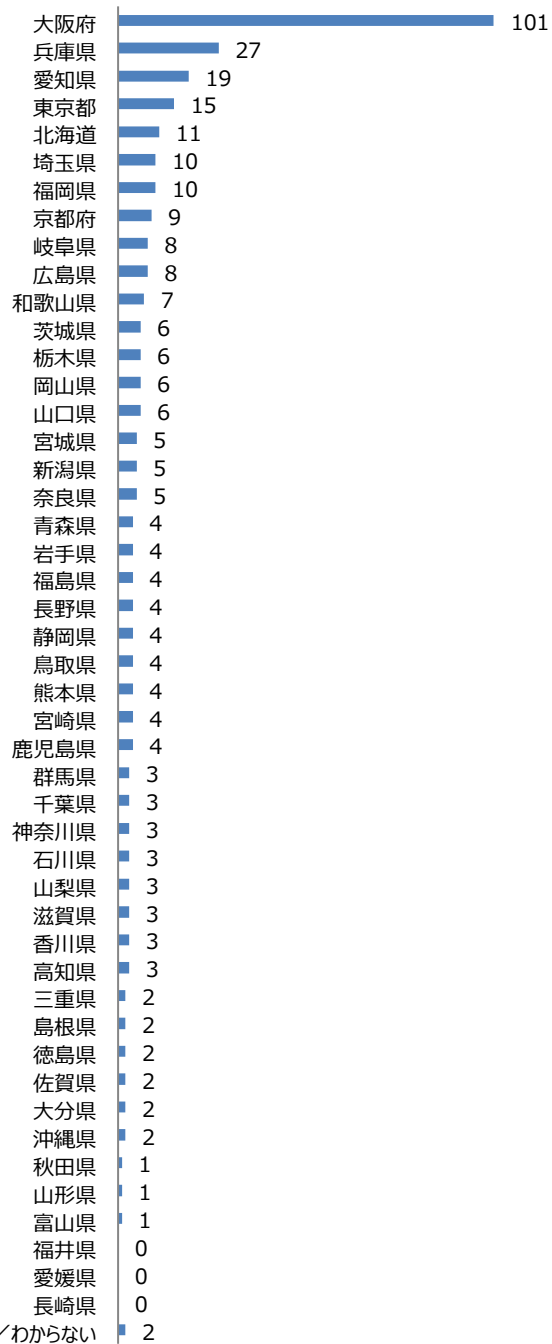
I 貴団体について

I Q1. 貴団体の設置場所、設立年

I Q1-1. 都道府県名

	件	%
大阪府	101	29.6%
兵庫県	27	7.9%
愛知県	19	5.6%
東京都	15	4.4%
北海道	11	3.2%
埼玉県	10	2.9%
福岡県	10	2.9%
京都府	9	2.6%
岐阜県	8	2.3%
広島県	8	2.3%
和歌山県	7	2.1%
茨城県	6	1.8%
栃木県	6	1.8%
岡山県	6	1.8%
山口県	6	1.8%
宮城県	5	1.5%
新潟県	5	1.5%
奈良県	5	1.5%
青森県	4	1.2%
岩手県	4	1.2%
福島県	4	1.2%
長野県	4	1.2%
静岡県	4	1.2%
鳥取県	4	1.2%
熊本県	4	1.2%

設置場所（B福祉団体：I Q1-1）〈件〉



障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査（B 福祉施設）

宮崎県	4	1.2%
鹿児島県	4	1.2%
群馬県	3	0.9%
千葉県	3	0.9%
神奈川県	3	0.9%
石川県	3	0.9%
山梨県	3	0.9%
滋賀県	3	0.9%
香川県	3	0.9%
高知県	3	0.9%
三重県	2	0.6%
島根県	2	0.6%
徳島県	2	0.6%
佐賀県	2	0.6%
大分県	2	0.6%
沖縄県	2	0.6%
秋田県	1	0.3%
山形県	1	0.3%
富山県	1	0.3%
福井県	0	0.0%
愛媛県	0	0.0%
長崎県	0	0.0%
無回答／わからない	2	0.6%
合計	341	

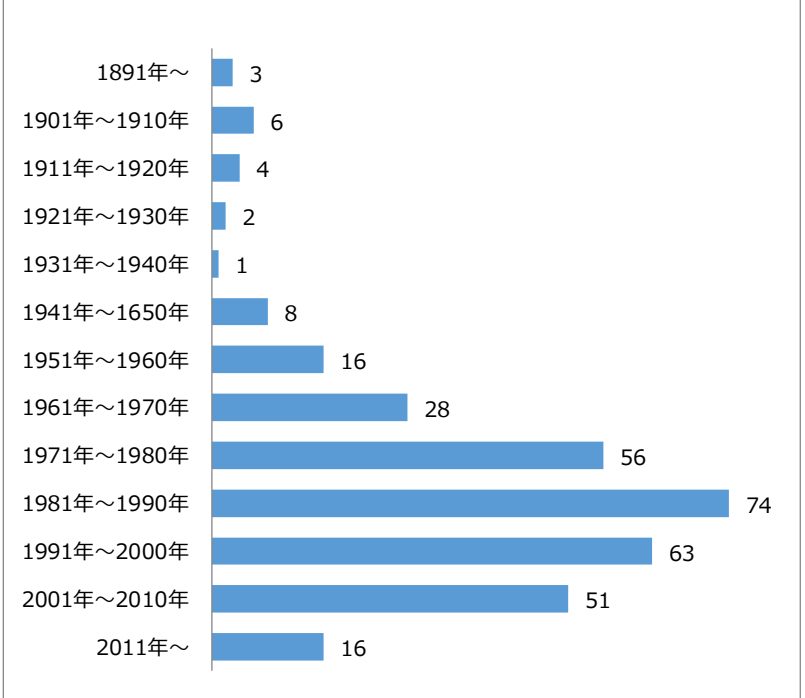
(有効回答数：341)

I Q1-2. 設立年 西暦 _____ 年

	件	%
1891年～	3	0.9%
1901年～1910年	6	1.8%
1911年～1920年	4	1.2%
1921年～1930年	2	0.6%
1931年～1940年	1	0.3%
1941年～1950年	8	2.3%
1951年～1960年	16	4.7%
1961年～1970年	28	8.2%
1971年～1980年	56	16.4%
1981年～1990年	74	21.7%
1991年～2000年	63	18.5%
2001年～2010年	51	15.0%
2011年～	16	4.7%
無回答／わからない	13	3.8%
合計	341	

(有効回答数：341)

設立年（B福祉団体：I Q1-2）〈件〉

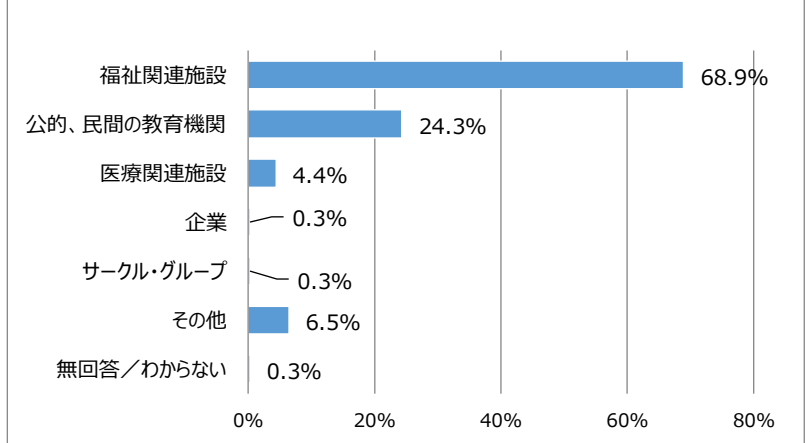


I Q2. 貴団体の種類（複数回答可）

	件	%
福祉関連施設	234	68.6%
公的、民間の教育機関	83	24.3%
医療関連施設	15	4.4%
企業	1	0.3%
サークル・グループ	1	0.3%
その他	22	6.5%
無回答／わからない	1	0.3%
合計	341	

(有効回答数：341)

貴団体の種類（B福祉施設：I Q2）

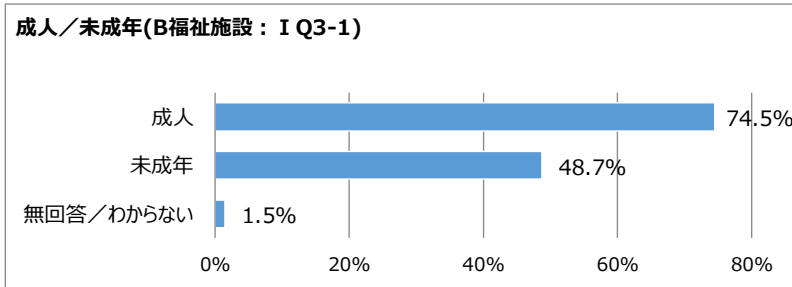


I Q3 貴団体の利用者（複数回答可）

I Q3-1. 成人/未成年

	件	%
成人	254	74.5%
未成年	166	48.7%
無回答／わからない	5	1.5%

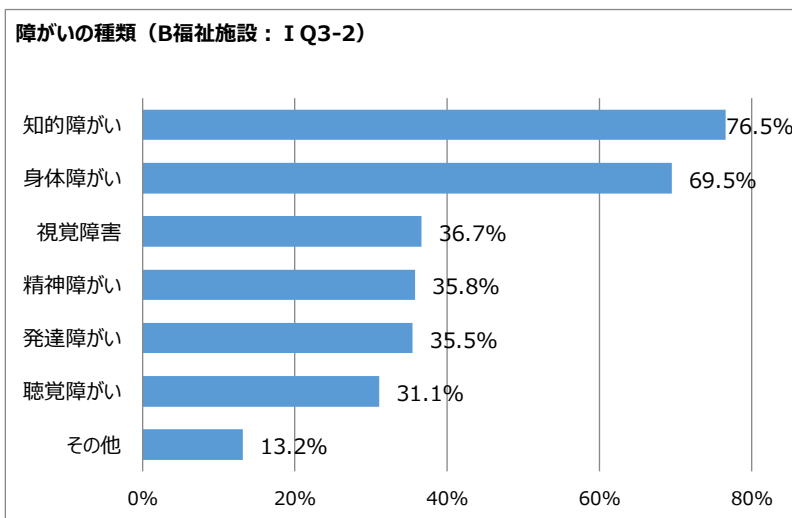
(有効回答数：341)



I Q3-2. 障がいの種類（複数回答可）

	件	%
知的障がい	261	76.5%
身体障がい	237	69.5%
視覚障害	125	36.7%
精神障がい	122	35.8%
発達障がい	121	35.5%
聴覚障がい	106	31.1%
その他	45	13.2%
無回答／わからない	0	0.0%

(有効回答数：341)



I Q3-1. 身体障がい 内訳

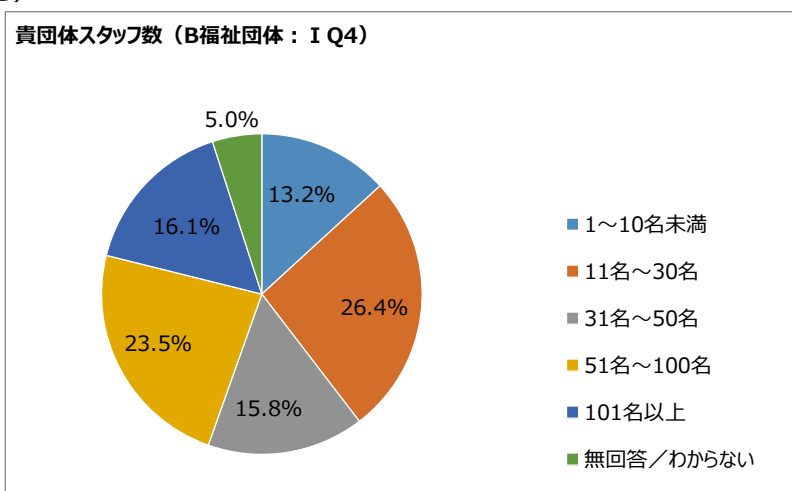
	件	%
身体障がい 車いす利用あり	202	59.2%
身体障がい 車いす利用なし	21	6.2%

(有効回答数：341)

I Q4. 貴団体スタッフ数（常勤・非常勤・パート含む）

	件	%
1～10名未満	45	13.2%
11名～30名	90	26.4%
31名～50名	54	15.8%
51名～100名	80	23.5%
101名以上	55	16.1%
無回答／わからない	17	5.0%
合計	341	

(有効回答数：341)

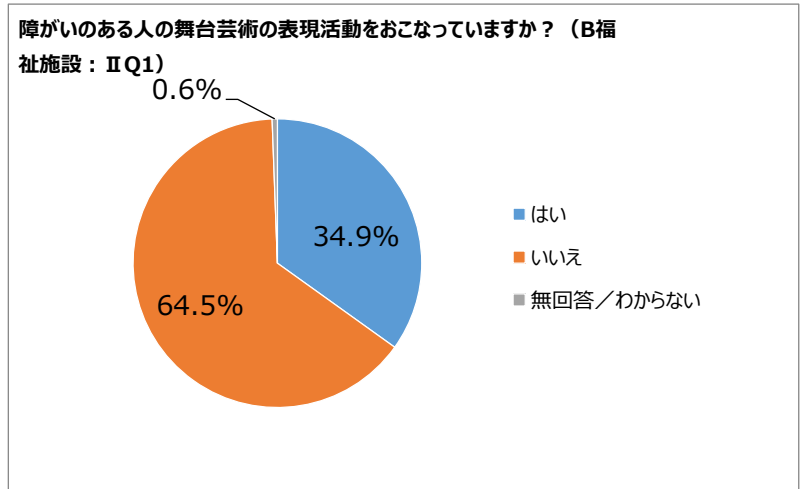


II 障がいのある人の舞台芸術の表現活動について

II Q1. 障がいのある人の舞台芸術の表現活動をおこなっていますか？

	件	%
はい	119	34.9%
いいえ	220	64.5%
無回答／わからない	2	0.6%
合計	341	

(有効回答数：341)

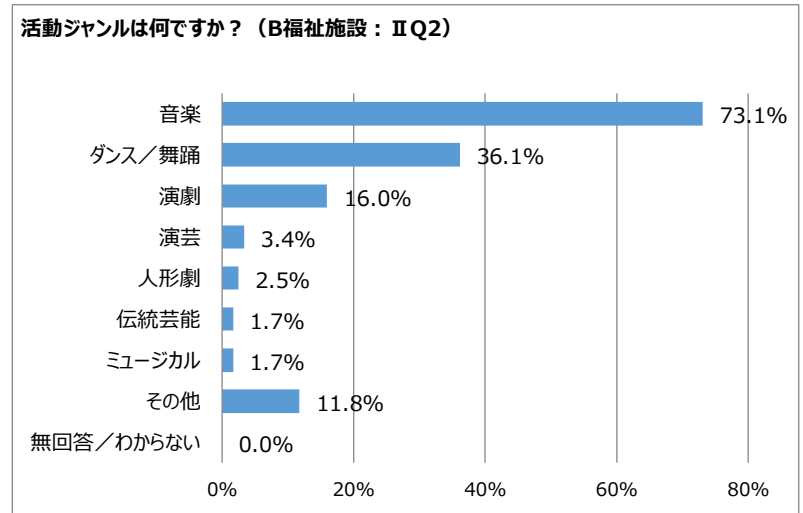


II Q1 障がいのある人の舞台芸術の表現活動をおこなっていますか？で「はい」と回答した方に伺います

II Q2. 活動ジャンルは何ですか？（複数回答可）

	件	%
音楽	87	73.1%
ダンス／舞踊	43	36.1%
演劇	19	16.0%
演芸	4	3.4%
人形劇	3	2.5%
伝統芸能	2	1.7%
ミュージカル	2	1.7%
その他	14	11.8%
無回答／わからない	0	0.0%

(有効回答数：119)



II Q2. 活動ジャンル 具体的に

(1) ダンス／舞踊 ・コンテンポラリー×6 ・創作ダンス×5 ・ストリートダンス×5 ・音楽に合わせたリズムダンス×3 ・よさこい ソーラン×2 ・車いすダンス×1 ・バレエ×1 ・フォークダンス×1 ・ラインダンス×1	・ジャズダンス×1 ・エアロビクスダンス×1 ・フラダンス×1 ・ラテンダンス×1 ・郷土芸能舞踊×1 ・ゆっくりく体操×1 ・その他 ジャンル不明×6
(3) 伝統芸能 ・狂言×1	・太鼓×1

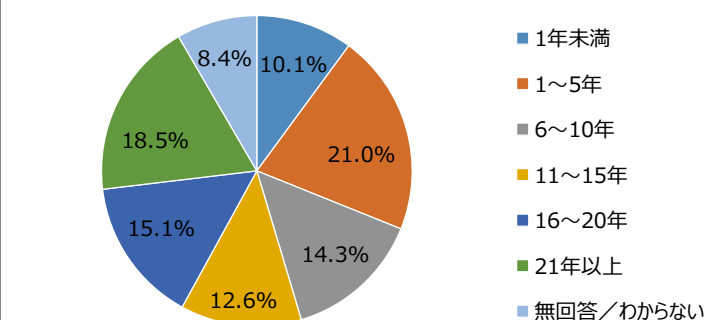
(4) 演芸 ・新喜劇×1 ・セリフ、声に振り付け×1	・落語×1 ・手話落語×1
(7) 音楽 ・歌唱・合唱×42 ・楽器演奏・合奏×40 ・和太鼓×26 ・ハンドベル×3 ・ジャンベなどの打楽器×3 ・手話歌×3 ・吹奏楽×2	・琴×2 ・ピアノ×1 ・ヘルマンハーブ×1 ・トーンチャイム×1 ・即興演奏×1 ・エイサー×1
(8) その他 ・パントマイム・身体表現×4 ・書道×2 ・美術・絵画×2 ・リズムあそび×1	・ミュージック・ケア×1 ・寸劇×1 ・手話歌×1

II Q3. 活動歴についてお答えください。

	件	%
1年未満	12	10.1%
1～5年	25	21.0%
6～10年	17	14.3%
11～15年	15	12.6%
16～20年	18	15.1%
21年以上	22	18.5%
無回答／わからない	10	8.4%
合計	119	

(有効回答数：119)

活動歴についてお答えください（B福祉施設：II Q3）

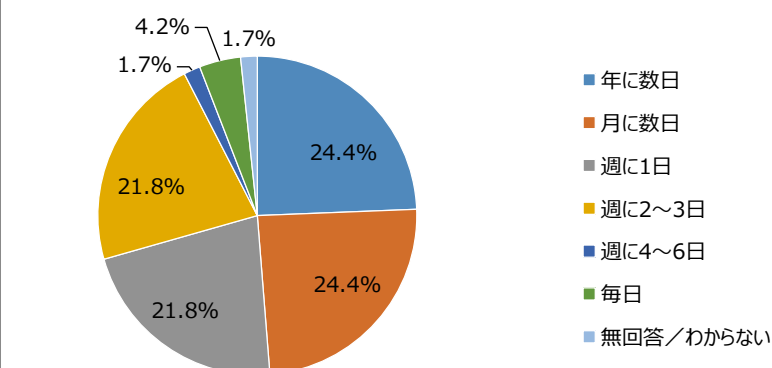


II Q4. 日頃の練習の頻度についてお答えください。（複数の活動がある場合は、合計をお答えください）

	件	%
年に数日	29	24.4%
月に数日	29	24.4%
週に1日	26	21.8%
週に2～3日	26	21.8%
週に4～6日	2	1.7%
毎日	5	4.2%
無回答／わからない	2	1.7%
合計	119	

(有効回答数：119)

日頃の練習の頻度についてお答えください。（B福祉施設：II Q4）



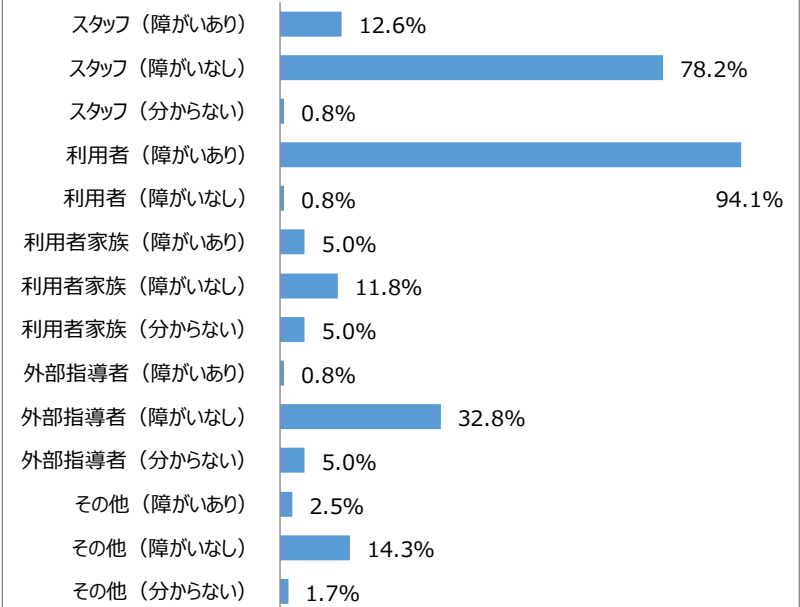
II Q5. 主に活動しているメンバーについてお答えください。（複数回答可）

福祉施設では、活動場所が施設内であることから活動するメンバーも施設内の利用者が中心で、メンバーのほとんどは障害者である。ともに活動している健常者は施設の職員や家族が中心で地域の舞台芸術活動団体や個人、文化施設との交流はほとんどないことが伺える。

	件	%
スタッフ（障がいあり）	15	12.6%
スタッフ（障がいなし）	93	78.2%
スタッフ（分からない）	1	0.8%
利用者（障がいあり）	112	94.1%
利用者（障がいなし）	1	0.8%
利用者（分からない）	0	0.0%
利用者家族（障がいあり）	6	5.0%
利用者家族（障がいなし）	14	11.8%
利用者家族（分からない）	6	5.0%
外部指導者（障がいあり）	1	0.8%
外部指導者（障がいなし）	39	32.8%
外部指導者（分からない）	6	5.0%
その他（障がいあり）	3	2.5%
その他（障がいなし）	17	14.3%
その他（分からない）	2	1.7%

（有効回答数：119）

主に活動しているメンバーについてお答えください
（B福祉施設：II Q5）



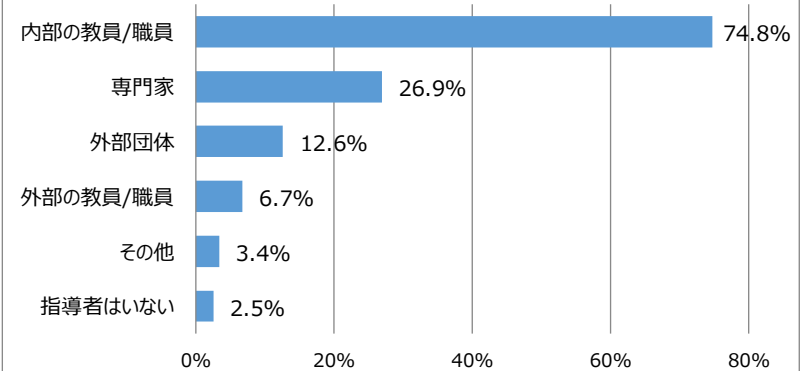
II Q6. 指導者はいますか？（複数回答可）

	件	%
内部の教員/職員	89	74.8%
専門家※	32	26.9%
外部団体	15	12.6%
外部の教員/職員	8	6.7%
その他	4	3.4%
指導者はいない	3	2.5%
無回答／わからない	0	0.0%

（有効回答数：119）

※専門家（作曲家・振付家・演出家など）

指導者はいますか？（B福祉施設：II Q6）



II Q6. その他 具体的に

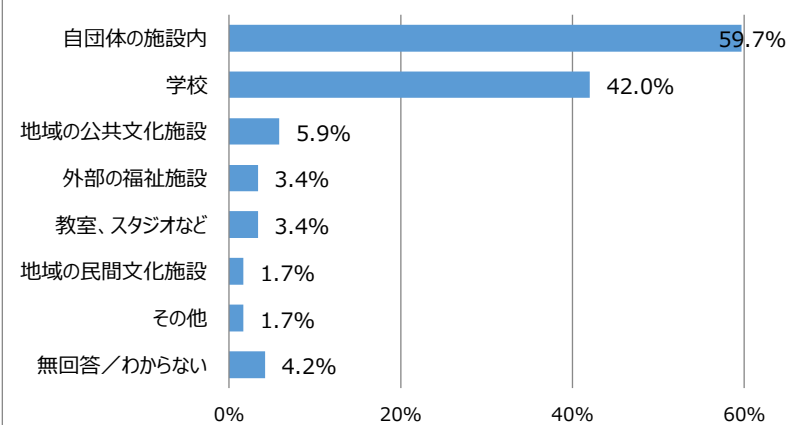
・外部の人 ・地域の指導者 ・ボランティア ・個人ボランティア

II Q7. 主にどこで練習をしていますか？（複数回答可）

	件	%
自団体の施設内	71	59.7%
学校	50	42.0%
地域の公共文化施設	7	5.9%
外部の福祉施設	4	3.4%
教室、スタジオなど	4	3.4%
地域の民間文化施設	2	1.7%
その他	2	1.7%
無回答／わからない	5	4.2%

（有効回答数：119）

主にどこで練習をしていますか？（B福祉施設：II Q7）



II Q7. その他 具体的に

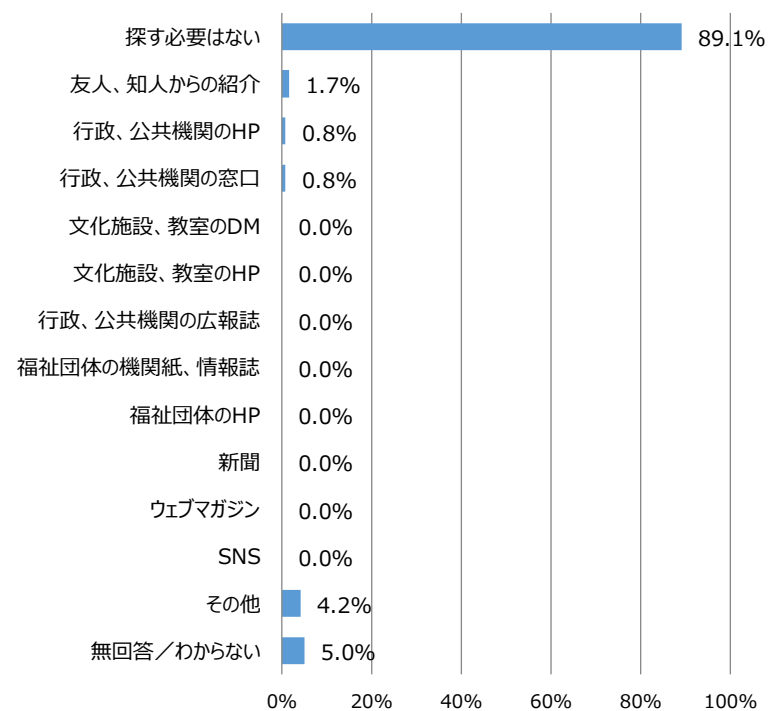
・事業所 ・企業会議室

II Q8. 日頃の練習場所は、どのように探しましたか？（複数回答可）

	件	%
探す必要はない	106	89.1%
友人、知人からの紹介	2	1.7%
行政、公共機関のHP	1	0.8%
行政、公共機関の窓口	1	0.8%
文化施設、教室のDM	0	0.0%
文化施設、教室のHP	0	0.0%
行政、公共機関の広報誌	0	0.0%
福祉団体の機関紙、情報誌	0	0.0%
福祉団体のHP	0	0.0%
新聞	0	0.0%
ウェブマガジン	0	0.0%
SNS	0	0.0%
その他	5	4.2%
無回答／わからない	6	5.0%

（有効回答数：119）

日頃の練習場所は、どのように探しましたか？（B福祉施設：II Q8）



II Q8. その他 具体的に

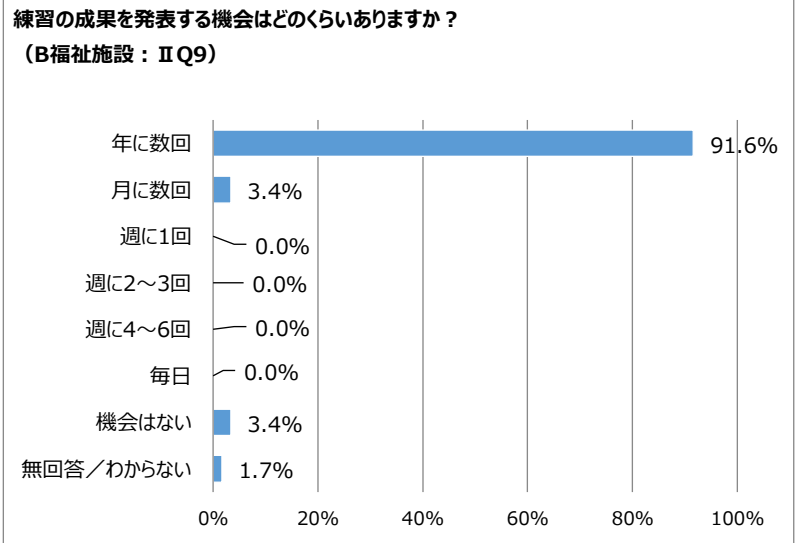
・当施設の貸館事業として外部団体が利用 ・法人の指示 ・さがしていない ・直接交渉
 ・公民館、市立施設 .etc の利用

II Q9. 練習の成果を発表する機会はどのくらいありますか？

活動の発表はほとんどの施設が年に数回行っている。日々の活動においての地域交流はないが、発表が文化施設や観客としてくる地域の人々との交流の機会となっている。

	件	%
年に数回	109	91.6%
月に数回	4	3.4%
週に1回	0	0.0%
週に2～3回	0	0.0%
週に4～6回	0	0.0%
毎日	0	0.0%
機会はない	4	3.4%
無回答／わからない	2	1.7%
合計	119	

（有効回答数：119）



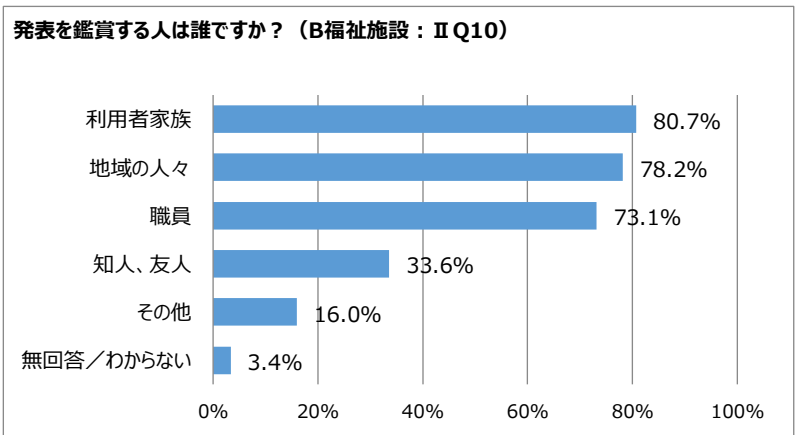
II Q9. 「ない」 発表しない理由

- ・療育のため ・まだ発表できるレベルじゃない
- ・演劇家との交流の中で、演劇の創作と発表を行っているため

II Q10. 発表を鑑賞する人は誰ですか？（複数回答可）

	件	%
利用者家族	96	80.7%
地域の人々	93	78.2%
職員	87	73.1%
知人、友人	40	33.6%
その他	19	16.0%
無回答／わからない	4	3.4%

（有効回答数：119）



II Q10-4. 地域の人々 具体的に

- ・地元自治会等 ・各種イベントにて実施 ・地域まつりに出演するため ・町会役員
- ・対象を限定していない ・市民 ・ボランティア等 ・利用者（障がい当事者） ・地元市民、府民
- ・住民 ・特養の利用者 ・福祉まつり ・町内会の方々 ・地域のお祭り等で上演するのが主
- ・高校生ボランティア ・学校近隣住民 ・交流校生徒、教職員 ・文化祭で来場してくださる方々
- ・学校の周りの地域住民 ・学校近隣の住民 ・他利用者 ・市主催の福祉大会等 ・別施設で
- ・自・他施設利用者 ・地域の住民、学校関係者 ・大仙校区自治会 ・地域のおまつり等で発表
- ・盛岡地区 ・誰でも鑑賞可能 ・学校が所在する町内の方々 ・日ごろ出入りしている地域の方
- ・福祉施設の利用及び職員、町内の小中学生 ・文化祭の来場者等 ・来校者
- ・地域のまつりに参加 ・文化祭の参加者 ・理事、評議員
- ・近隣住民、本校就学予定者、本校旧職員、本校卒業生 ・地域住民の方々
- ・学校周辺に住む方々 ・琴に興味がある方 ・ミュージシャンや発表に興味を持たれている人々
- ・市内の小学校特別支援学級児童 ・町民 ・教育関係者、地域の方
- ・他校の生徒と教員、家族 ・ボランティアとして地元の会社員有志の方
- ・社協まつり、近隣施設のまつりで ・呼びかけているが ・年に1回たんぼまつりで発表
- ・関係機関等 ・学校周辺の住民 ・市の市民活動フェスティバル、人権関係のイベント、自主事業
- ・行事での来訪者 ・近隣者(高齢者・学生など)
- ・学校運営協議会、地域で普段お世話になったり、交流している方々 ・近隣住民
- ・地区の夏まつりの際に発表を行う ・福祉施設 ・他施設のご利用者、職員 ・文化祭観客等
- ・所在地域には広報をしている ・施設周辺の住民 ・学校近辺の住民 ・十津川村内住民
- ・イベントにて

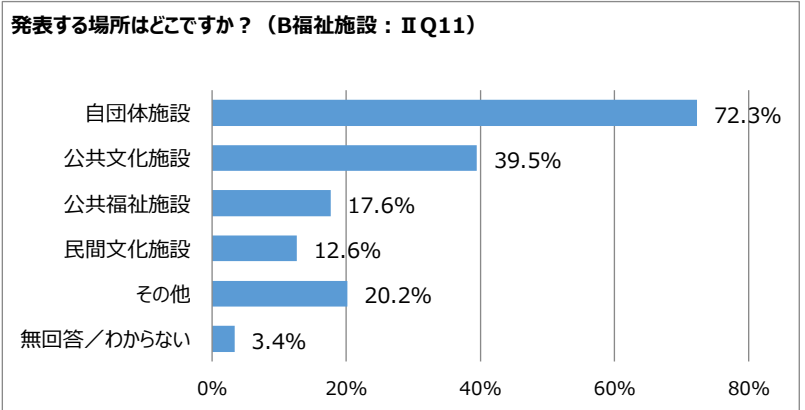
II Q10-5. その他 具体的に

- ・福祉施設関係者 ・他施設の利用者及び職員 ・小・中学生 ・卒業生
- ・ボランティアで来て下さる方 ・啓発講演時に発表するので来場してこられた広く市民
- ・関係者以外の一般の方 ・他施設・事業所の利用者、職員、家族 ・ヘルマンハーブ愛好家
- ・各特別支援学校の参加者（郊外での発表の場合） ・児童、生徒 ・大会に来られている方々
- ・福祉施設の利用者 ・一般客 ・他校の生徒と教員、家族 ・ひめされん祭りの来場者
- ・他団体のイベント、他施設からオファー ・一般の方々 ・各施設より参加（他 10 施設くらい）

II Q11. 発表する場所はどこですか？（複数回答可）

	件	%
自団体施設	86	72.3%
公共文化施設	47	39.5%
公共福祉施設	21	17.6%
民間文化施設	15	12.6%
その他	24	20.2%
無回答／わからない	4	3.4%

（有効回答数：119）



II Q11. その他 具体的に

- ・地域まつり（公園等） ・駅前、駐車場、商業施設(大型ショッピングモール)
- ・地域のお祭り等のステージ ・一般企業の絵画を展示 ・学校内体育館
- ・あそぼう会→体育館、武道場内 ・他の小中学校、福祉施設 ・福祉まつり会場
- ・昨年 大阪府障害者芸術文化コンテスト出場 ・地域の小中学校
- ・市民センター、大学・ホテル等ホール ・野外ステージ ・ライブハウス等
- ・府立体育館、大阪府咲洲庁舎（フェスパ） ・ショッピングモール広場等
- ・公共広場（ひめされん祭り広場） ・公民館、市交流センター、国際交流センター ・自校体育館
- ・地域のイベント ・小学校 ・地域の夏祭りや運動会 ・イベント

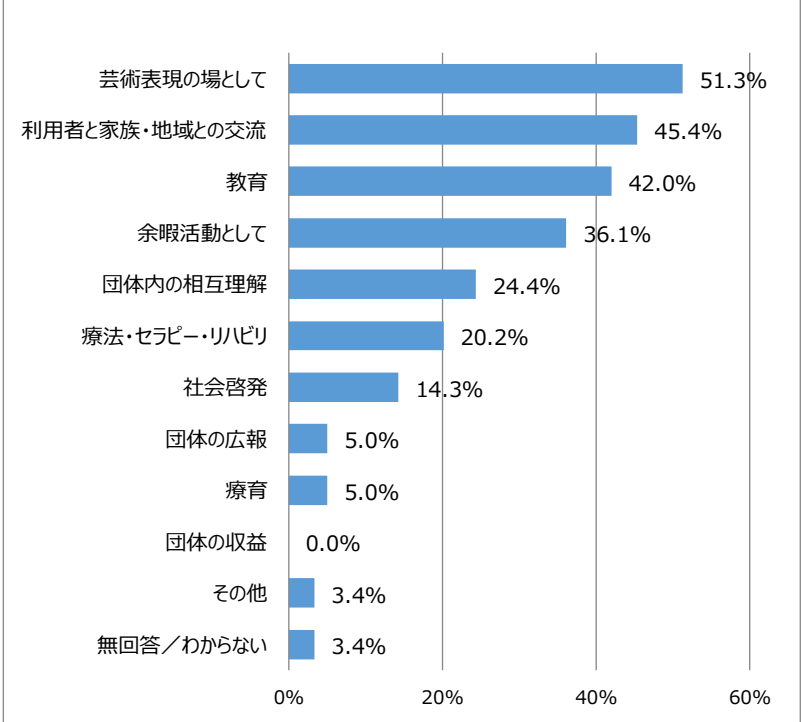
II Q12. 表現活動の目的は何ですか？（3つまで回答可）

表現活動の目的は、個人の表現活動と地域、家族との交流が多かった。自分自身も含め、日常の身近なところに目的をもって活動していると見受けられる。

	件	%
芸術表現の場として	61	51.3%
利用者と家族・地域との交流	54	45.4%
教育	50	42.0%
余暇活動として	43	36.1%
団体内の相互理解	29	24.4%
療法・セラピー・リハビリ	24	20.2%
社会啓発	17	14.3%
団体の広報	6	5.0%
療育	6	5.0%
団体の収益	0	0.0%
その他	4	3.4%
無回答／わからない	2	1.7%

（有効回答数：119 ただし8件が3つ以上選択）

表現活動の目的は何ですか？（B福祉施設：II Q12）



II Q12. その他 具体的に

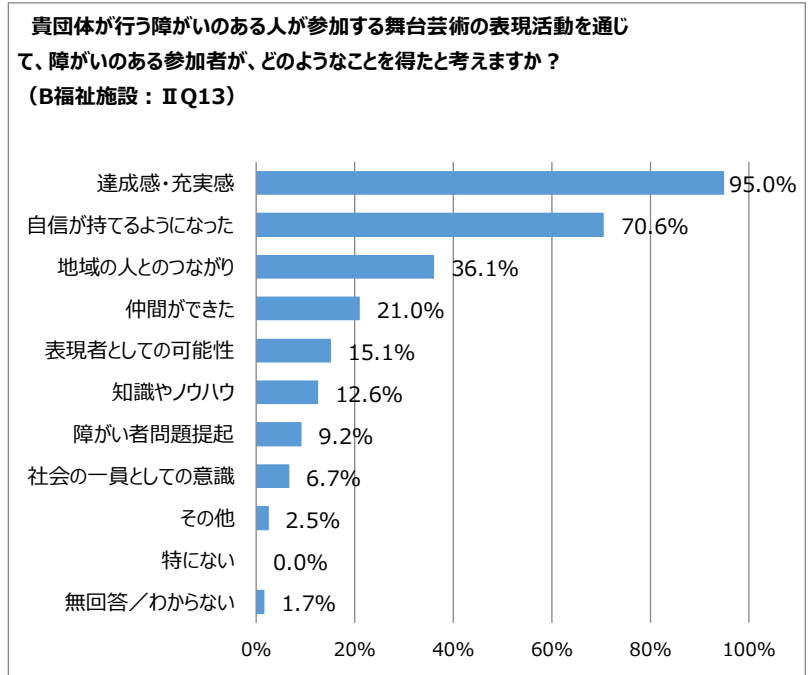
- ・利用者の自発的活動をうながす ・運動不足解消 ・児童生徒の発信の場
- ・音楽療法について知ってもらうため。

II Q13. 貴団体が行う障がいのある人が参加する舞台芸術の表現活動を通じて、障がいのある参加者が、どのようなことを得たと考えますか？（3 つまで回答可）

表現活動として得たものとして、達成感・充実感、自信を持つことができたが多く、表現活動をととして成長や自己肯定へとつながることが期待できる。また、地域に人、仲間ができるという、人とのつながりを得たものと感じる人も多かった。

	件	%
達成感・充実感	113	95.0%
自信が持てるようになった	84	70.6%
地域の人とのつながり	43	36.1%
仲間ができた	25	21.0%
表現者としての可能性	18	15.1%
知識やノウハウ	15	12.6%
障がい者問題提起	11	9.2%
社会の一員としての意識	8	6.7%
その他	3	2.5%
特にない	0	0.0%
無回答／わからない	1	0.8%

（有効回答数：119 ただし10件が3つ以上選択）



II Q13. その他 具体的に

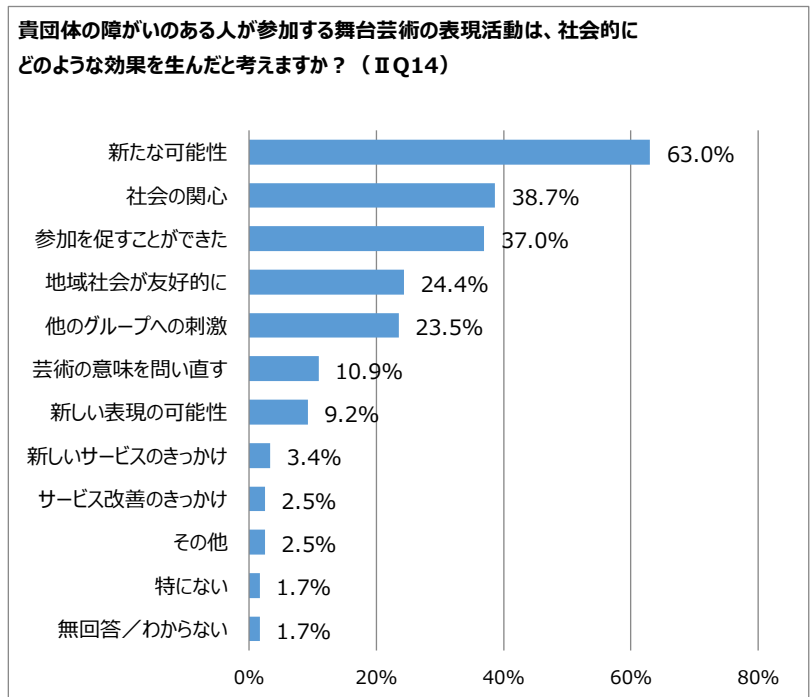
・余暇活動に楽しみができた ・楽しさ ・家族とのつながりを強く感じられる場となっている。

II Q14. 貴団体の障がいのある人が参加する舞台芸術の表現活動は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（3 つまで回答可）

社会へ効果については、参加を促すきっかけや地域社会、他のグループなど具体的に周辺に波及効果があることがわかる。

	件	%
新たな可能性	75	63.0%
社会の関心	46	38.7%
参加を促すことができた	44	37.0%
地域社会が友好的に	29	24.4%
他のグループへの刺激	28	23.5%
芸術の意味を問い直す	13	10.9%
新しい表現の可能性	11	9.2%
新しいサービスのきっかけ	4	3.4%
サービス改善のきっかけ	3	2.5%
その他	3	2.5%
特にない	2	1.7%
無回答／わからない	1	0.8%

（有効回答数：119 ただし4件が3つ以上選択）



II Q14. その他 具体的に

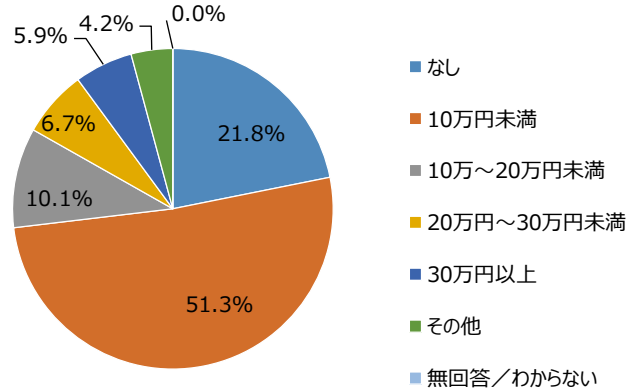
・地域交流、異年齢間の交流 ・伝える喜びを達成できた

II Q15. 貴団体における障がいのある人の舞台芸術表現活動の2015年度の経費はいくらでしたか？

	件	%
なし	26	21.8%
10万円未満	61	51.3%
10万～20万円未満	12	10.1%
20万円～30万円未満	8	6.7%
30万円以上	7	5.9%
その他	5	4.2%
無回答／わからない	0	0.0%
合計	119	

（有効回答数：119）

貴団体における障がいのある人の舞台芸術表現活動の2015年度の経費はいくらでしたか？（B福祉施設：II Q15）



II Q15. その他 具体的に

・コーラス教室の活動の一つとして行っているため単独の経費はない
 ・各学部、学年にわかれており、それぞれで異なります。

II Q16. 障がいのある人の舞台芸術表現活動の経費をどのように賄いましたか？（1）～（7）を割合の高い順に並べて、各順位に番号を記入してください。（複数回答可）

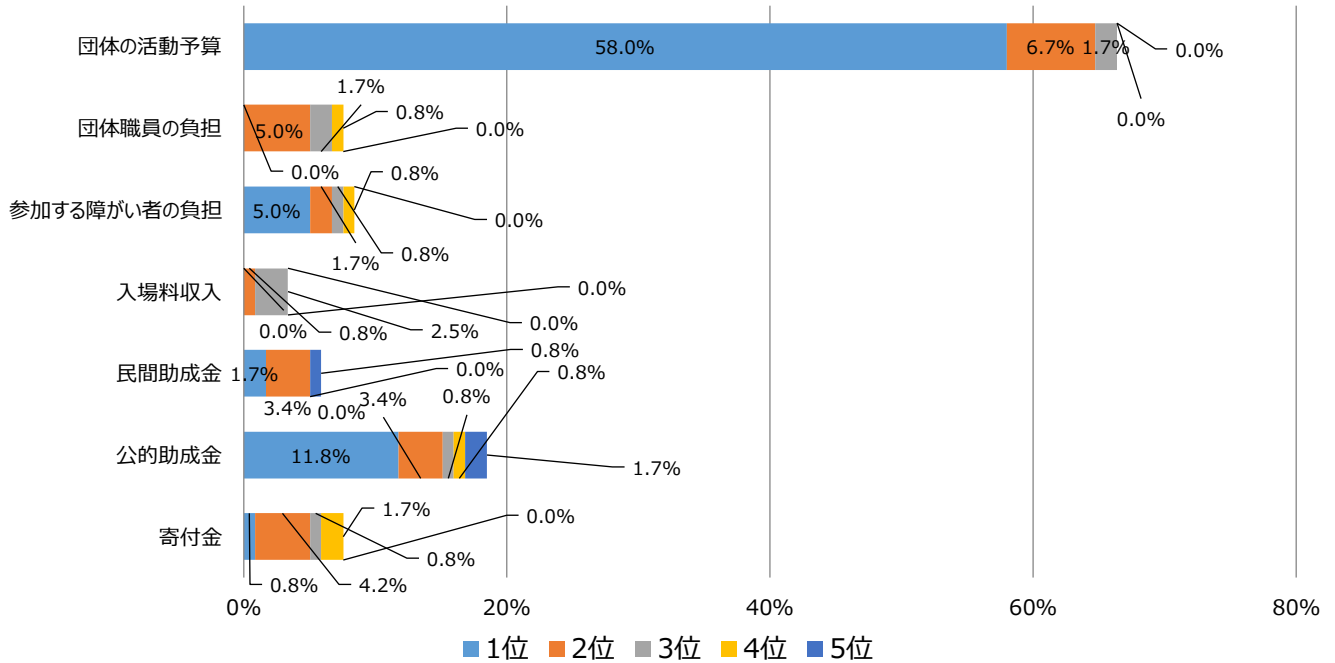
	1位	2位	3位	4位	5位
団体の活動予算	69	8	2	0	0
団体職員の負担	0	6	2	1	0
参加する障がい者の負担	6	2	1	1	0
入場料収入	0	1	3	0	0
民間助成金	2	4	0	0	1
公的助成金	14	4	1	1	2
寄付金	1	5	1	2	0
有効回答数（件）	92	30	10	5	3

（無回答＝「該当なし」とは限らない（書き忘れ、わからない等）ため除外して計算）

（割合）	1位	2位	3位	4位	5位
団体の活動予算	58.0%	6.7%	1.7%	0.0%	0.0%
団体職員の負担	0.0%	5.0%	1.7%	0.8%	0.0%
参加する障がい者の負担	5.0%	1.7%	0.8%	0.8%	0.0%
入場料収入	0.0%	0.8%	2.5%	0.0%	0.0%
民間助成金	1.7%	3.4%	0.0%	0.0%	0.8%
公的助成金	11.8%	3.4%	0.8%	0.8%	1.7%
寄付金	0.8%	4.2%	0.8%	1.7%	0.0%
有効回答数（件）	92	30	10	5	3

（無回答＝「該当なし」とは限らない（書き忘れ、わからない等）ため除外して計算）

障がいのある人の舞台芸術表現活動の経費をどのように賄いましたか？（1）～（7）を割合の高い順に並べて、各順位に番号を記入してください。（B福祉施設：II Q16）

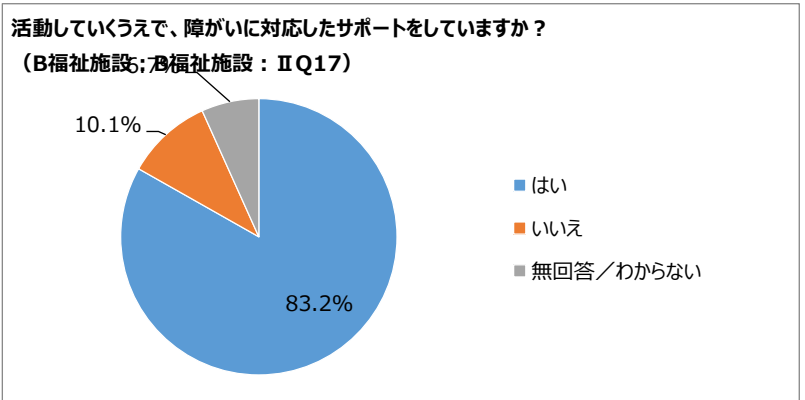


II Q17. 活動していくうえで、障がいに対応したサポートをしていますか？

活動するうえでのサポートについては、視覚情報、音声情報など障害に応じた情報保障やコミュニケーション支援など、意思疎通や情報を届ける方法などのサポートが多く、また、練習方法や作品内容などプログラムづくりの工夫も多かった。

	件	%
はい	99	83.2%
いいえ	12	10.1%
無回答／わからない	8	6.7%
合計	119	

（有効回答数：119）



II Q17. 「はい」 具体的に

- ・障がいのある児童が理解しやすい演目や教え方の工夫 ・ 台詞の工夫・衣装の工夫など ・参加者間の関係調整
- ・個々に合ったパート決め ・合理的配慮 ・担当支援員を決め、継続的に支援している
- ・特定の時間に多くの職員、利用者が参加できるようにしている ・用具を個々に利用しやすく調整（テーブルの高さなど）
- ・運営、打合せなど代行や補助 ・無理させない ・障がいの程度に合わせて指導 ・職員が利用者に寄り添い、一緒に演奏する
- ・有償福祉士等による支援 ・スキルに応じた内容（活躍できる場）の提供 ・集団における個別指導
- ・できることをする。できることに合わせて劇をつくる。
- ・学校教育の一環であり、日常から行っている障害者特性に応じた配慮（視覚的な支援、スモールステップ、くり返し etc）
- ・機能とレベルにあわせた対応を心がけている ・車イス等 ・それぞれの実態に応じて、音楽を編曲している

- ・聴覚障害に対応するため、視覚的な支援をしている ・病弱で、体力が、続かないので負担にならないような内容にしている
- ・個々の障害に応じた楽器選定や内容 ・発表会等にて、主催者側への情報提供
- ・わかりやすい表現で伝える。無理強いはない。
- ・（視覚障害）うでの動きなどが分かるように言葉で説明したり手をとって指導したりしている。（肢体不自由）イスの高さを配慮しています。
- ・手話通訳 ・手話通訳、歌詞の文字表示、現在の音符の位置指示など ・楽譜の拡大コピーなど ・見えにくさを補う工夫
- ・コーラス参加に際し、視覚障害者へ楽譜を音に出して吹き込んだものを提供している。また理解が難しい方には、楽譜の見方がわかるようにただし書きを添えている。
- ・発表会の会場までの送迎や移動の介助 ・発表の順番や職員の参加
- ・知的障がいの人に合したダンスやリズム打ちをしています。 ・聴覚障がい児への情報保障
- ・職員も支援員として利用者と一緒に練習し、舞台出演をする
- ・演劇において、セリフや動きがわかるように具体的に示す ・姿勢づくり、刺激の量、道具の工夫
- ・障害に応じた楽譜シートの作成 ・一人一人の個性を大切したり、得意なことを生かしたりしている
- ・障がいの多様性に配慮している。 ・振付けをわかりやすく、簡単でかついいものにする。
- ・指導の際、視覚的に理解をしたり、わかりやすい合図のようなものを作る。
- ・道具の工夫など ・視覚障害に対応している（移動、物品管理）
- ・各障害者に応じた脚本の制作、配役を行った
- ・障がいに応じて、電子ドラム等にかえたりして対応している ・能力に合う課題を用意する
- ・オカリナの作成（障がい者に合わせたもの） ・点字の歌詞カード作成、パートCDの作成等
- ・障害の特性により役割、配役を考慮している ・必要な支援（個性にも）
- ・一人一人に応じて表現方法を考えて、教材を選んでいる。 ・一緒に演奏する。日伝を掲示する。
- ・ダンスステップを工夫する。 ・視覚・聴覚支援 ・送迎、準備等
- ・レクリエーション要素を取り入れた練習を行っている。 ・児童生徒の興味に応じた内容を選んで指導
- ・動きの少ない方へは指導者が手を持ちリズムをとる。発語のない方は、呼吸、目など通し発声へのトレーニングを行う。
- ・楽符のアレンジ等 ・通常の個別対応が主 ・実態に合わせた指導・支援
- ・障がいの程度や実態に応じ、ダンスを変えたり、楽器をもちやすくしたりしています。
- ・楽器演奏をしやすいような補助具や台の工夫
- ・その生徒の持つ力をできるだけ発揮できるようにサポートしている。 ・教育活動の一環として個々に行う
- ・楽器指導、演奏活動のサポート ・一般の方を対象にする場合、音声通訳や字幕作成等を行う
- ・クラス担任をこえたかかわり ・車いすで乗れるバスを使っている ・ピンマイクの利用など
- ・障がいに応じ可能な活動参加 ・歌詞の準備や練習など
- ・体力的に過度な負担がかからないよう健康管理に留意しています。 ・環境の整備
- ・学校全体で取り組んでいる ・コミュニケーション手段 ・視覚障害支援
- ・表現しやすい振付、楽器の工夫、全員が前に出る場面を設定 ・字幕の呈示
- ・移動時の支援。発表時に職員をそばにつける。 ・生徒全員が生生き踊れる内容を作る。
- ・担当楽器等を障がいに応じて決めている。点字楽譜も使用している。ダンスは全盲者と弱視者をペアにしている。
- ・利用者の配慮事項を指導者と共有する場を持った
- ・毎年参加利用者が活動に適しているか検討している。自具作成など。 ・移動支援を行う
- ・障がい特性を理解したうえで、活動されている方が輝くことのできる、斬新で独特の魅力にあふれた舞台芸術に向けて対応している。
- ・要約筆記者の派遣、依頼、点字・拡大資料の作成

II Q18. 活動を継続していくうえで、何が問題になっていますか？以下（１）～（６）をもっとも深刻なものから順に並べて、各順位に番号を記入してください。

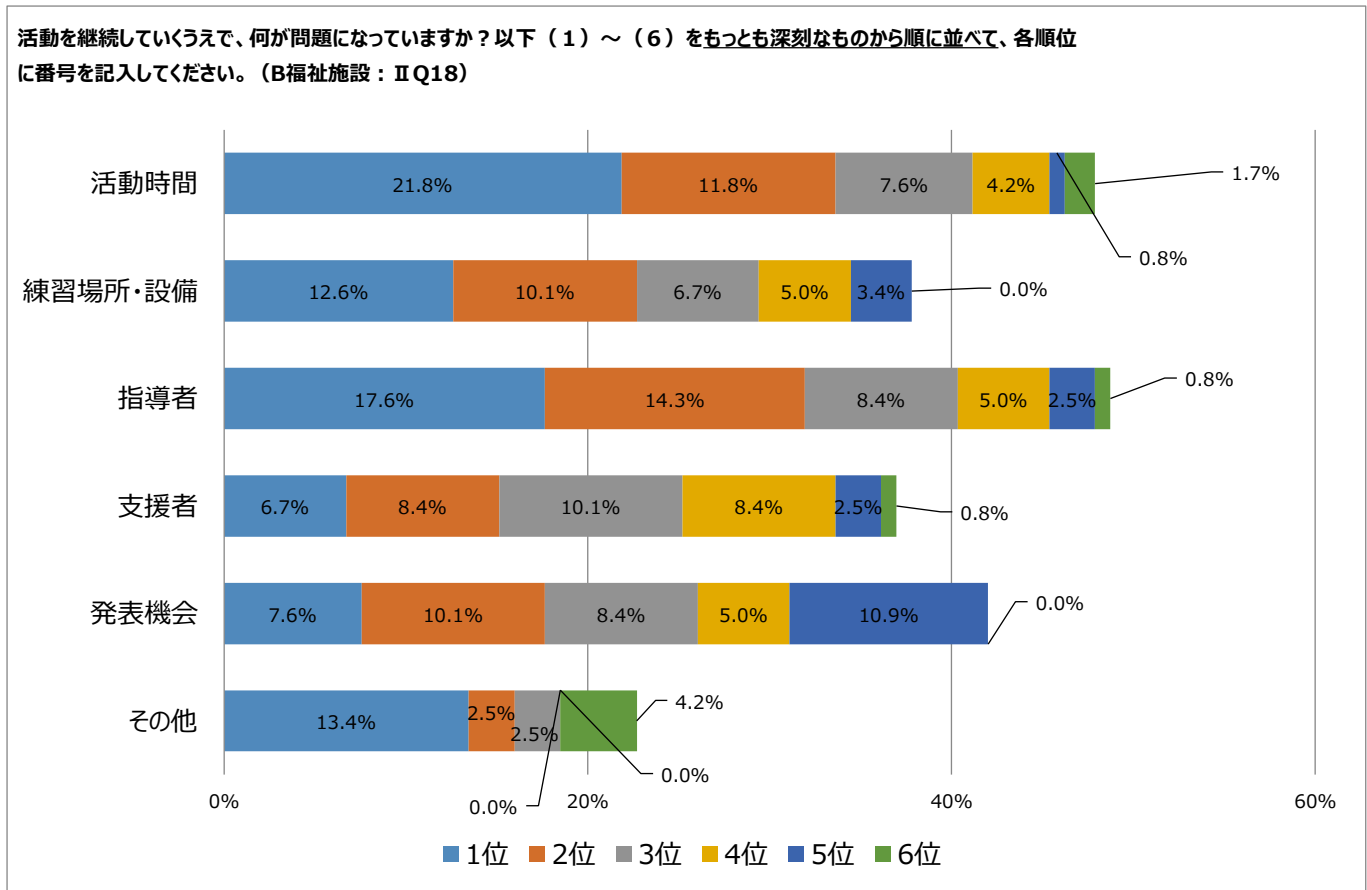
活動を継続する上での問題に活動時間と指導者が上位に多く挙げられている。施設での活動の多くは、職員が指導者となっていたが、表現活動においては、専門の指導者を求めていることがわかる。少ない予算の中での活動であるため、活動時間を増やすことや指導者を受け入れる活動資金が不足していると思われる。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
活動時間	26	14	9	5	1	2
練習場所・設備	15	12	8	6	4	0
指導者	21	17	10	6	3	1
支援者	8	10	12	10	3	1
発表機会	9	12	10	6	13	0
その他	16	3	3	0	0	5
有効回答数（件）：	95	68	52	33	24	9

（無回答＝「該当なし」とは限らない（書き忘れ、わからない等）ため除外して計算）

（割合）	1位	2位	3位	4位	5位	6位
活動時間	21.8%	11.8%	7.6%	4.2%	0.8%	1.7%
練習場所・設備	12.6%	10.1%	6.7%	5.0%	3.4%	0.0%
指導者	17.6%	14.3%	8.4%	5.0%	2.5%	0.8%
支援者	6.7%	8.4%	10.1%	8.4%	2.5%	0.8%
発表機会	7.6%	10.1%	8.4%	5.0%	10.9%	0.0%
その他	13.4%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	4.2%
有効回答数：	95	68	52	33	24	9

（無回答＝「該当なし」とは限らない（書き忘れ、わからない等）ため除外して計算）



II Q18. その他

1 位 ・参加者の意欲低下 ・問題がない ・発表者とスタッフの減少 ・生徒の実態、人数
 ・賞金 ・演奏できる楽器が限られている ・活動資金 ・生徒数の減少
 ・発表者の高齢化、A D L の低下など ・利用者的高齢化 ・予算
 ・文科省の助成金事業なので、毎年申請する必要があり、採択されるかどうかは不確定である。
 ・障がいのある人（障害の重度化） ・資金源

2 位 ・経費 ・情宣（地域への）

3 位 ・予算 ・脚本 ・高齢化しており、車いす利用者が増え、移動等に困難さが増している。

6 位 ・体調管理

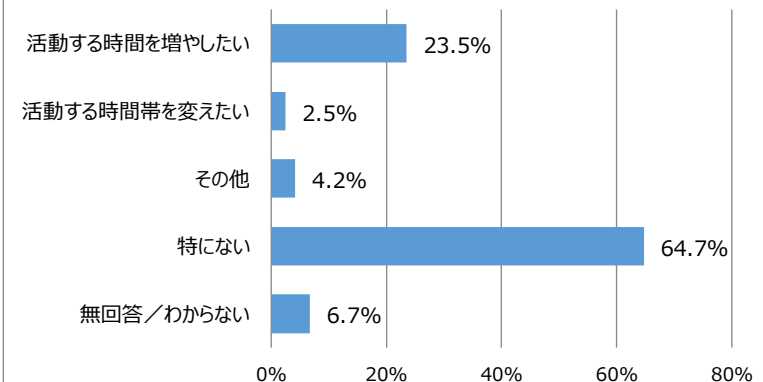
II Q19. 資金が潤沢にあれば何を充実させたいですか？（複数回答可）

II Q19-1. 活動時間

	件	%
活動する時間を増やしたい	28	23.5%
活動する時間帯を変えたい	3	2.5%
その他	5	4.2%
特にない	77	64.7%
無回答／わからない	8	6.7%

（有効回答数：119）

資金が潤沢にあれば何を充実させたいですか？活動時間
 （B福祉施設：II Q19-1）



II Q19-1. 活動時間 その他 具体的に

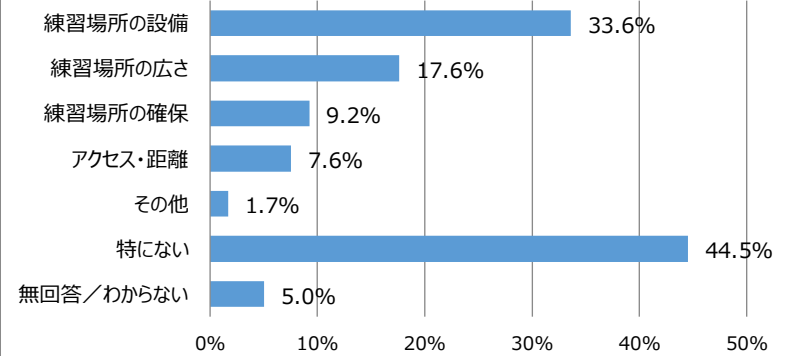
・サポートする人を増やしたい ・支援者、指導者増員
 ・メンバーがスケジュールを選択できる時間枠 ・師料の衣装代 ・楽器等の購入
 ・講師の指導回数を増やす ・楽器類や衣装、舞台装置など充実
 ・子ども障がいに合わせた道具等を購入したい。 ・発表に必要な衣装やグッズ ・作品の質を高めたい
 ・舞台設備が老朽化しており、刷新したい。 ・資源を増やしたい（活動行うあたって器具備品）
 ・発表機会を増やしたい ・設備投資にあてたい ・一流の芸術に触れ、指導をしてほしい
 ・小道具 ・現状の資金（回数）で十分である。 ・衣装、装置（舞台）照明

II Q19-2. 練習場所・設備

	件	%
練習場所の設備	40	33.6%
練習場所の広さ	21	17.6%
練習場所の確保	11	9.2%
アクセス・距離	9	7.6%
その他	2	1.7%
特にない	53	44.5%
無回答／わからない	6	5.0%

(有効回答数：119)

資金が潤沢にあれば何を充実させたいですか？ 練習場所・設備
(B福祉施設：II Q19-2)



II Q19-2. 練習場所・設備 具体的に

- ・冷暖房 ・太鼓の保管、かがみ、防音 ・充実させたい ・スピーカーなどの音響、鏡、楽器
- ・楽器がほしい ・楽器等の購入 ・音の視覚化ソフトなどIT関連機器 ・楽器、音響設備の充実
- ・スモークやライトの特殊装置 ・楽器及び付属品の購入 ・楽器類や衣装、舞台装置など充実
- ・性能の良いピンマイク、衣装 ・子ども障がいに合わせた道具等を購入したい。
- ・一人一人の障がい特性に応じた教具の充実 ・冷房 ・発表必要な衣装やグッズ
- ・さまざまな楽器や音響機材を揃えたい ・音響機器の充実
- ・様々なステージに向けた練習が出来るような充実した設備
- ・舞台設備が老朽化しており、刷新したい。発表グループが多数あるので、練習できる広い場所が少ない。老朽化。
- ・冷房がない音楽室では夏の練習は大変である。 ・空調使用等 ・活動に応じた器具、空調音響設備
- ・音響・空調 ・衣装代、プロジェクター音響卓を買いたい ・設備投資にあてたい。音響等の充実
- ・学校全体が古くなってきており、手狭 ・楽器（琴）の新規購入 ・小道具 ・空調設備
- ・道具や置場の充実 ・楽器を増やしたい ・衣装、装置（舞台）照明

II 19-2. 練習場所・設備 その他 具体的に

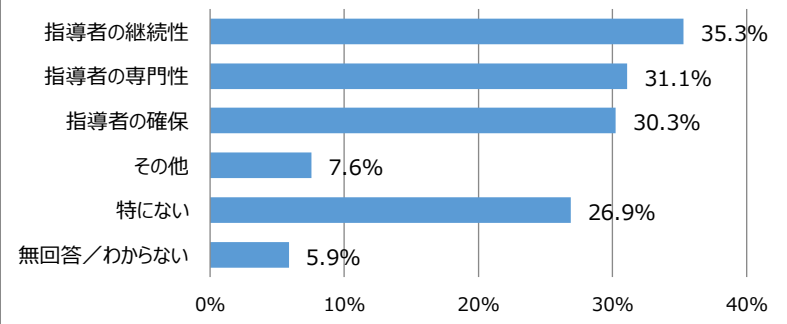
- ・教材の費用にあてたい ・送迎サービスを実施する ・性能の良いピンマイク、衣装 ・空調
- ・衣装代、プロジェクター音響卓を買いたい ・楽器（琴）の新規購入

II Q19-3. 指導者

	件	%
指導者の継続性	42	35.3%
指導者の専門性	37	31.1%
指導者の確保	36	30.3%
その他	9	7.6%
特にない	32	26.9%
無回答／わからない	6	5.0%
合計	119	

(有効回答数：119)

資金が潤沢にあれば何を充実させたいですか？ 指導者
(B福祉施設：II Q19-3)



II Q19-3. 指導者 その他 具体的に

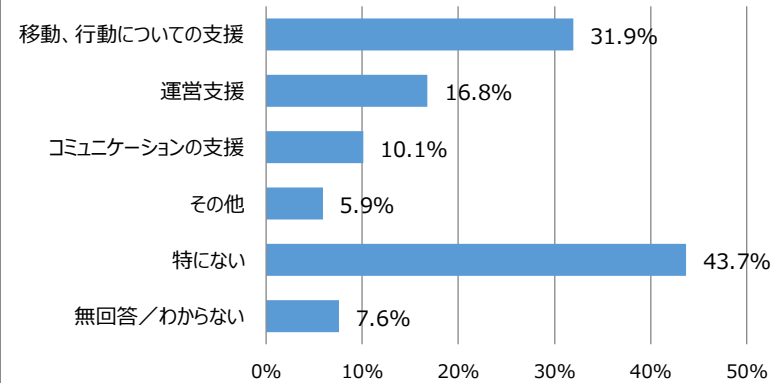
- ・様々な指導者研修会に参加したい ・指導者への謝礼の増額（安価でやっていただいているので）
- ・講師謝礼を増やす ・指導者が多忙で調整が難しい ・方向性の確認。（価値の共有を深めたい）
- ・指導者のスキル
- ・体操と演習の専門家はいるが、その他発声や身体表現などいろいろな専門家にかかわってほしい。
- ・一流の芸術に触れ、指導をしてほしい ・知的障害者に理解があるか否か

II Q19-4. 支援者

	件	%
移動、行動についての支援	38	31.9%
運営支援	20	16.8%
コミュニケーションの支援	12	10.1%
その他	7	5.9%
特にない	52	43.7%
無回答／わからない	9	7.6%
合計	119	

（有効回答数：119）

資金が潤沢であれば何を充実させたいですか？支援者
（B福祉施設：II Q19-4）



II Q19-4. 支援者 その他 具体的に

- ・支援者の増員（指導者だけではきめ細やかに教えられない） ・サポートする人を増やしたい
- ・支援員の休日出勤の代休 ・興味がないわけでないが、練習のスタートラインにたつまでも時間がかかる
- ・ボランティア ・楽器運搬が大変である ・支援者にかかる必要経費

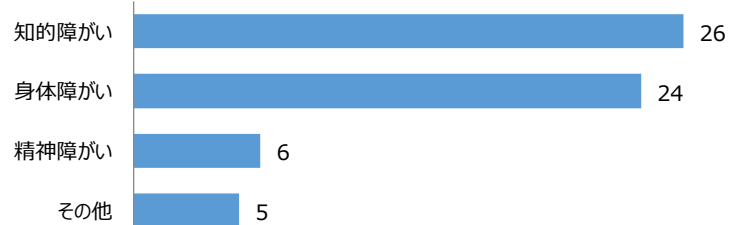
II Q19-4-A 支援者 移動、行動についての支援

移動行動支援については、視覚障害者のガイドヘルパーを比較的想像するが、知的障害のある人の多くが移動や行動支援を求めていることがわかる。

	件	%
知的障がい	26	68.4%
身体障がい	24	63.2%
精神障がい	6	15.8%
その他	5	13.2%

（有効回答数：38）

資金が潤沢であれば何を充実させたいですか？支援者 移動、行動についての支援（B福祉施設：II Q19-4A）〈件〉



II Q19-4-A. その他 具体的に

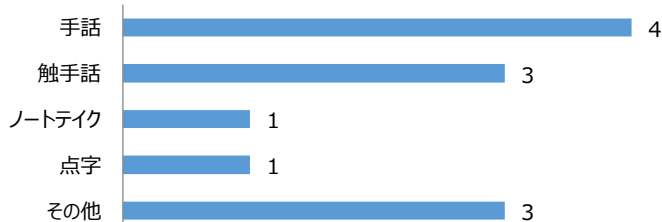
- ・視覚障害 ・看護師の配置 ・視覚 ・視覚障がい

II Q19-4-B コミュニケーションの支援

	件	%
手話	4	28.6%
触手話	3	21.4%
ノートテイク	1	7.1%
点字	1	7.1%
その他	3	21.4%

（有効回答数：38）

資金が潤沢であれば何を充実させたいですか？コミュニケーションの支援
（B福祉施設：II Q19-4B）〈件〉



II Q19-4-B. その他 具体的に

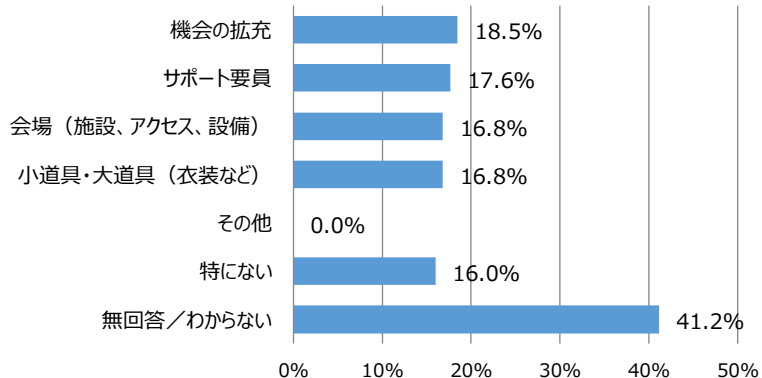
・録音機器を使用する ・移動支援 ・個々に応じた表現方法

II Q19-5. 発表の機会

	件	%
機会の拡充	22	18.5%
サポート要員	21	17.6%
会場（施設、アクセス、設備）	20	16.8%
小道具・大道具（衣装など）	20	16.8%
その他	0	0.0%
特にない	19	16.0%
無回答／わからない	5	4.2%

（有効回答数：119）

資金が潤沢であれば何を充実させたいですか？発表の機会
（II Q19-5）



II Q20. 資金繰りで工夫をしていることがあればお答えください。

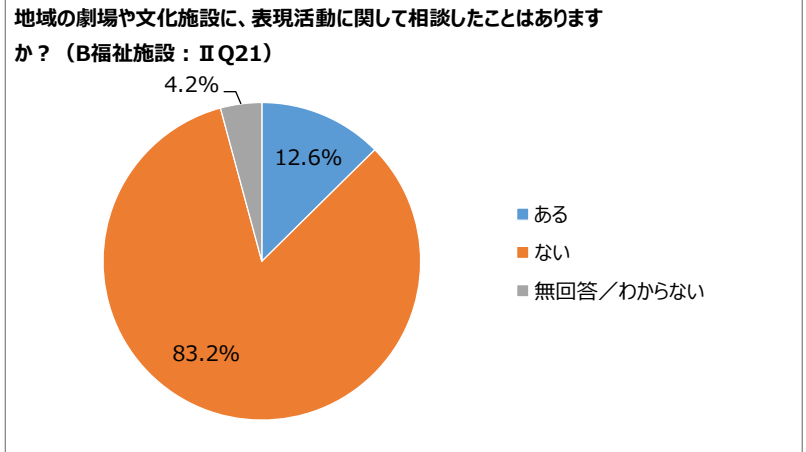
- ・特にない
- ・アルミ缶を回収して換金している。
- ・授業で使用するもつを使うようにしている。
- ・一流の芸術に触れたいという希望があるが、難しい。
- ・助成金を必ず申し込む
- ・特になし
- ・無

II Q21. 地域の劇場や文化施設に、表現活動に関して相談したことはありますか？

相談しことがない理由には、日々の活動は施設内や学校内で行っており、地域の劇場や文化施設を利用するのは、成果発表時だという施設が多く、発表時も単独公演ではなく、地域の文化祭や福祉イベントでの出演なので相談が不要であるという理由が多かった。一方、相談した中では、単独で発表公演をするための相談や、日々の活動で使用するときの料金や設備についての相談が多かった。

	件	%
ある	15	12.6%
ない	99	83.2%
無回答／わからない	5	4.2%
合計	119	

（有効回答数：119）



II Q21-1. 「ある」相談場所（人）と相談内容を具体的に

- ・利用経費 ・ホールの利用料について ・楽器等の搬入を済やかに配置できるように事前打ち合わせを行う
- ・市の施設を使って年 1 回発表の機会を設けている ・スタッフとの打ち合わせ（音楽会について）
- ・施設などで演奏会をしている為 ・今のところ必要性を感じていないため ・会場の使用料について
- ・ミュージシャンと地域でのイベント出演が行えるように相談した。 ・会場としての使用条件
- ・市内の文化ホールや市民交流センターでは、音響や照明は、ホール所属の会社も使わなくてはならないので、日当が払いきれない。専門知識のある人がいれば研修など受けて、ホール設備がつかえるようにしてもらいたいと、市民公益活動支援センターに訴えているが、ホールからの返答はないようだ。
- ・札幌市豊平館に演奏会の相談をした ・障害者への理解
- ・可能な時間帯や内容変更を探っているが、有料であったり遠かったりして実現しない。
- ・発表できる場の相談

II Q21-2. 「ない」相談しなかった理由があれば、具体的に

- ・特になし ・場所はあり、内容についてはプロの舞踊家に関わってくれているため
- ・施設内で解決している ・必要を感じることがないから ・移動がむずかしい。慣れた場所がのぞましい。
- ・文化祭のみの発表だから ・校内で発表を行っているため ・学校での発表のため
- ・特になし ・自治体の事業として参加しているので必要なかった。 ・できる範囲で実施している
- ・自施設での開催が可能であると共に、学習発表会として行っているため
- ・校内での発表であること、美術や音楽等の芸術関連の免許を持っている教員がいるため。
- ・依頼があるため
- ・健常者が興味を持ち足を運ぶ事が出来たら、もっと表現活動が活発になると思われます。
- ・指導者に任せている。 ・学校で行うのが何れも安全で行い安いと考えた。
- ・余暇活動を行なっている ・指導者がいるため ・障がいのある方が使いやすい施設が少ない
- ・音楽療法の目的が表現活動に重点をおいていないため（昨日向上目的）
- ・日頃交流がなく、なじみがないため

II Q22. 障がいのある人の表現活動についての意見や希望などがあればお聞かせください。

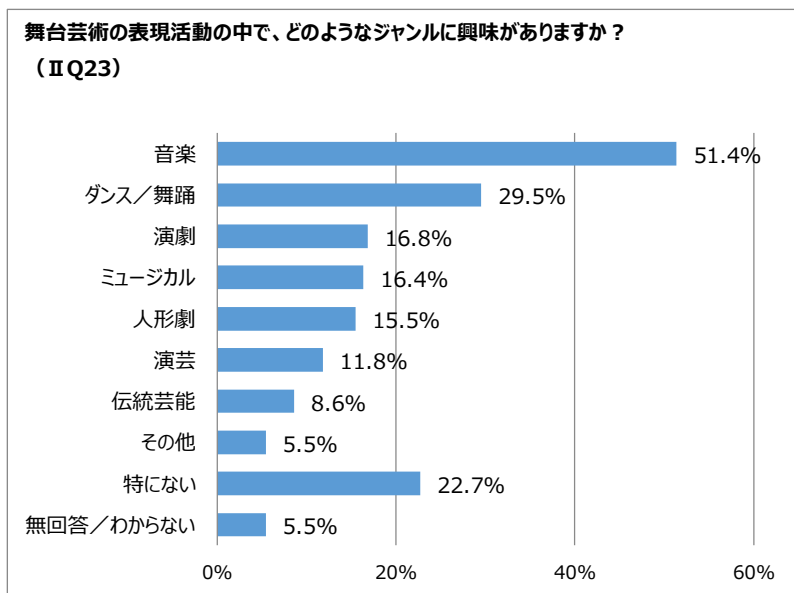
- ・発表の機会が増えれば、日々の練習にも力が入ります。
- ・もっと広く宣伝して、ビッグ・アイのホールが満席になるほど、活動そのものが有名になってほしいと思いました。（芸文フェスタ 2016）
- ・障がいあるなし、ジャンルかのカベをとりはらい。自由な表現、未知の表現を探りたい。その可能性がおおいにある。
- ・唄うことにより表情が豊になり、楽器等を使用することによって手指機能維持向上に繋がっている。また、演奏中は無我夢中にて一生懸命さの姿が伺える。
- ・発表できる場がたくさんあればと思います。その際、応募資格等の基準が厳格だと応募しにくいので、簡単な手続きで応募できることが望ましいと思います。
- ・授業としての活動（少人数）をどこまで発表させるか、今後の方針は決まっていない
- ・スポーツにはパラリンピック等、世界的な大会が行われていますが、舞台芸術には世界的どころか、国内、全国的な大会は見当りません。大阪府障がい者芸術文化コンテスト等で優秀な団体が次のステップへ進める様な全国的な大会が行われることを望みます。
- ・子ども達一人一人の持っている能力等を発表する場面が、増えることで、自信につながったり、他者とのつながりができるため、たくさんの表現活動の場があるとよい。
- ・指導者の専門性に欠けるため、専門の方に指導していただきたい。
- ・健常者が興味を持ち足を運ぶ事が出来たら、もっと表現活動が活発になると思われます。
- ・音楽（コーラス）を団体で行っていくうちに利用者さん個々が音楽の楽しさを学び、共通性の話題（コミュニケーション）が増大した。そして、発表回数を重ねるごとに個々が自信を身に付け、地域に出て、たくさんの地域の人々とつながりを持ち、あらゆるイベントや地域でのイベントに出演したい等、更なる「夢と希望」を抱き「いきがい」を日々感じ取るようになった。これからも、さまざまな地域で障がい者の方々が積極的に参加できるイベントを増やして欲しい。
- ・指導者および協力していただいた方々とのコミュニケーションや共通理解を十分に図りたい。
- ・福祉サービスの提供時にしばられ、もっと自由の時間の使い方が出来き、それを支えるスタッフが充実するとより積極的に活動展開できる。
- ・社会地域の方々との交流の場や発表の場の提供が増えると障がい者理解にもなり、利用者の意識向上や新たな可能性を見つける事ができるきっかけとなる。
- ・発表者は、毎年、本当によく練習し、いきいき発表します。多くの方に見てほしいと思う反面、防犯上の問題やプライバシーの問題で広く見てもらえないのが現状です。
- ・学校外の表現活動のグループに所属したい生徒もいるが、適切なグループがなかったり、保護者の送迎の問題があり参加できない状況もあるようである。
- ・教育活動の一環として、学習発表会（ステージは小学部・中学部）、地域での発表（有志）。校内発表（高等部）という風に定着しています。表現活動することで、積極的になり、いろいろな場面で好影響があるので、ぜひ継続させていきたいと思っています。
- ・数少ない発表の場ですので一人一人の個性が“発揮できる場”としてこれからも参加していきたいです。
- ・年に1回法人のまつりで発表にたずさわったばかりで、これからだと思っています。
- ・手帳のある人（養育、身体、精神保健福祉）とない人で、いっしょに9年間演劇活動をしている。（いっしょに舞台上で芝居をする）。「障害」を売りにしない、普通のおもしろい芝居をめざしているが、障害者が演じていても人権問題は取り上げず、障害者が演じていてもお客様に届くよう「演じる」ことを求めているので、なかなか脚本が難しいです。
- ・基本的にもっと機会が増えてほしいのと、一般の方々との一緒にの機会で行えるのがのぞましいと思います。
- ・動きたくなるような日常的な練習は何が必要か、学ぶ必要があると思う。
- ・希望があれば実施したい気持ちはあるが、日常生活の支援だけで精一杯な状況です。

II Q1 障がいのある人の舞台芸術の表現活動をおこなっていますか？で「いいえ」と回答した方に伺います

II Q23. 舞台芸術の表現活動の中で、どのようなジャンルに興味がありますか？（複数回答可）

	件	%
音楽	113	51.4%
ダンス／舞踊	65	29.5%
演劇	37	16.8%
ミュージカル	36	16.4%
人形劇	34	15.5%
演芸	26	11.8%
伝統芸能	19	8.6%
その他	12	5.5%
特にない	50	22.7%
無回答／わからない	11	5.0%

（有効回答数：220）



II Q23. 興味のあるジャンル 具体的に

<p>(1) ダンス／舞踊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャズダンス ・ストリートダンス×4 ・アップテンポで楽しいダンス ・全般 ・エアロビクス ・ヒップホップ×3 ・フラダンス ・コンテンポラリー ・活動でラテンダンスをしています ・バレエ ・現代的なリズムのダンス ・シャンソン ・車椅子ダンス×3 ・ダンス、フィットネスダンス ・小さくばで当校に来て上演いただいたもの ・社交×2 ・沖縄舞踊 	<p>(3) 伝統芸能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎×2 ・狂言 ・神楽など ・和太鼓 <p>(5) 演芸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難病の就労についてテーマにしたコント等行っていきたい ・落語×3 ・漫才×4、 ・お笑い系 ・和太鼓、邦楽、アンサンブル ・歌、楽器演奏 ・利用者の方が鑑賞して楽しめればどんな内容でも構いません。
<p>(7) 音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バンド活動 ・楽器演奏×18 ・歌×16 ・太鼓×5 ・和太鼓×4 ・フリージャズ ・全般 ・軽音楽 ・音楽療法を受けていて、好きな子もいる 	<p>(8) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵などのアート、書道 ・利用者が興味をもってやりたいと思うものであればなんでも OK。 ・あまりレベルが高くなく、簡単に表現できるもの（こと）があれば何でも・・・。 ・視覚で楽しめるもの、体感できるもの、手話通訳や字幕など情報保障されたもの ・舞台芸術に興味はあります。しかし、重度の多い生活看護で実践すると困難が予想されます。 ・あるでしょうが、それらに触れ合う機会に恵まれていないこと、自己発

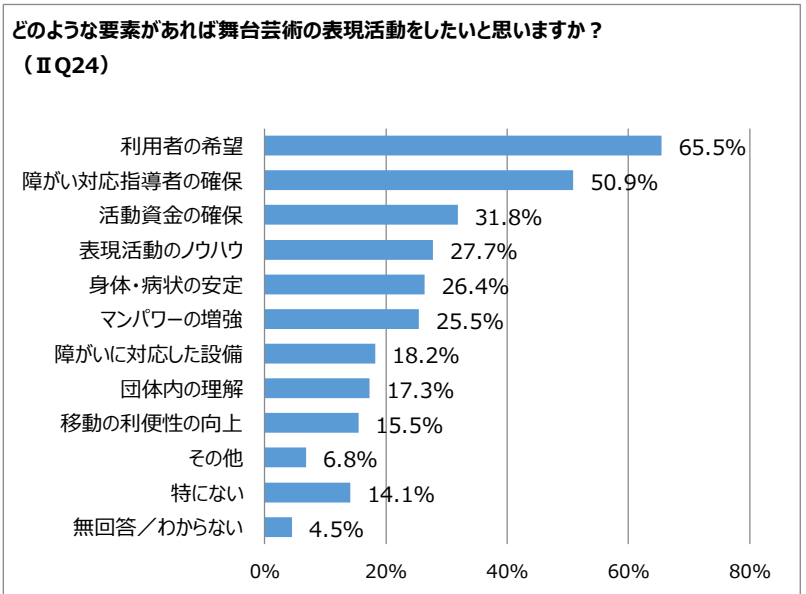
<ul style="list-style-type: none"> ・打楽器×2 ・音楽療法にて楽器演奏あり。それらの発表会的なイベントの開催 ・簡単なハンドベル演奏 ・ハンドベル ・音楽療法 ・障がいの特性に合わせた楽器の合奏 ・サルサガムテープの楽器を用いて ・利用者の方に（年齢層）合いそうなので ・ロックバンド ・音の出る物なら何でもおもしろそう ・様々なもの ・利用者の中に興味を持っている方がいる。 	<p>信力が弱いので、把握が難しいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵画 ・オペラ（個人的に）長時間は、むずかしそう ・黒人霊歌 ・ストリートダンサーではありませんが、創作が出来る発表しやすい形があればと考えます。
--	--

II Q24. どのような要素があれば舞台芸術の表現活動をしたいと思えますか？（複数回答可）

施設職員が利用者の表現活動に取り組みきっかけは、利用者の希望が多いながらも、2位は障害に対応できる指導者確保となっている。利用者の希望に応じたいと同時に指導できる人材を外に求めていることがわかる。

	件	%
利用者の希望	144	65.5%
障がい対応指導者の確保	112	50.9%
活動資金の確保	70	31.8%
表現活動のノウハウ	61	27.7%
身体・病状の安定	58	26.4%
マンパワーの増強	56	25.5%
障がいに対応した設備	40	18.2%
団体内の理解	38	17.3%
移動の利便性の向上	34	15.5%
その他	15	6.8%
特にない	31	14.1%
無回答／わからない	6	2.7%

（有効回答数：220）



II Q24. その他 具体的に

<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の要望、HP上の顔写真掲載の有無、検討の際にはさらし物にする気かと反対多数 ・活動時間（練習する時間等）の確保 ・防音設備ある建物 ・利用者の意欲性の向上 ・指導者（障害に理解ある）のネットワークがほしい ・児童生徒の自立と社会参加に向けた教育活動上、必要であると認められた場合 ・入荘されている方の希望、ニーズが必要 ・ふだんから舞台芸術の表現活動につながるような活動はしていません。メンバー個々に他のグループに参加している方はいます。 ・児童生徒の実態より、厳しいかと思われます。 ・手話通訳など情報保障がついているがどうか ・緊急時の医療的対応 ・練習のため送迎方法の確保（人・手配館） ・ムーブメント（持続的な社会作り） ・訓練施設で通過施設のため、余暇活動の範疇での実施であり、そこまでの表現活動は考えていない。
--

II Q25. 障がいのある人の表現活動についての意見や希望などがあればお聞かせください。

- ・当施設の通所児の年齢が低いため、将来に向けての活動を、又教えていただきたいです。
- ・"私が日々接している障害者の方は、（今まで接したことのある方も含め）その表現方法は、時々私の発想外だったり。
- ・とてもナチュラルで「へえ～」と発表したり感動したりします。上記の時々と私が思うのは、私の発見がとばしいからで、もしかしたらもっともっといろいろな表現されていると思います。その表現、サイン、表出されているものを感じ取ったり、引き出せたり、チャッチできるスタッフよりまわりの人がいて、それを形にすることができれば、あすなる授産所も表現活動（舞台芸術での）ができるかと思います。
- ・アートのなことでは、表現活動を実行しています。
- ・エンターテインメント性を高めるためにプロジェクションマッピング等のテクノロジーを活かした舞台があれば集客、障がい者の舞台芸術の向上に役立つと思います。
- ・個人的に鑑賞したことはないが、ダンス、絵画、書等色んなジャンルで行なわれていることを心強く思っています。もう少し身近なものになれば・・・
- ・本人にとって表現活動がやりたいと思うなら取り組むべきである。だが、仕事の一つとしてするようなら考え直した方がよい。
- ・表現活動は幅広く、どれも魅力的です。障がいのある人が、あまり機会として触れることが少なく、またやりたい、参加したいと思うきっかけになることが必要だと思う。また、本人のがんばりだけでなく、環境や社会、地域が理解の歩みよりをするための整備、公的な保障等を充実してほしい。現状としては、環境整備は貧しいと思う。
- ・できる限り、本人から自発的活動である方がよい感じる
- ・ボランティア等で指導して下さる方がいれば取り組みたい。
- ・近年、非常に表現活動が盛んになり、自己表現、自己実現がされるようになったのは喜ばしい。趣味や余暇の時間をどう過ごすのかも関係することだと思う。ひとりひとりに支援者がいて、その人が、楽しく自己表現できる場の構築がされると、社会参加ができていと評価できるのではないだろうか。まずは、身近なところでサークル活動を組織し、発表できる大会を組織するようには・・・。
- ・表現することへの目標ができるので大変良いことだと思います。
- ・表現活動は主に絵を描く、形を造形するを中心に行っているの、舞台芸術には興味がないのが現状です。仕事から（木工、ガラス）造形は身近ですが、体操は月 1 回ダンスの先生にきてもらっていますが、日頃指導できるものはありません。各施設に合った表現活動をすればよいと思います。残念ながら我施設では、舞台芸術には近寄りたがたい印象です。ただ、東京パラリンピックに向けて、体操の先生が、ダンスパフォーマンスを考えてらっしゃるようです。参加できなくても「東京」は身近なので皆さん楽しみにしています。
- ・私たちの団体は、高齢者が多いので、表現活動に興味ある人は少ない。しかし、仲間内では、手話コーラス、フォークダンスなどを女性部活動の中でとり入れている。女性部活動では、日頃の練習の成果を披露したいと考えているようなので、そういう場を提供していただきたい。
- ・表現活動に興味関心のある利用者はいらるのと思うが、職員がノウハウを持っておらず、活動の中に時間を作り難い状況です。移動の問題が出てきますが、事業所外でサークルのようなものがあれば希望者も出てくるかもしれません。
- ・個々のご利用者様の能力を見出せないため専門的知識のある方の派遣やそれを継続していくための専門職の配置など、その施設やその利用者により対応できる人材がほしい。
- ・子ども達はとても音楽が好きです。上手にできなくてもリズムに合わせて身体を動かす事や友達と一緒にその場を共有する事で"楽しい!!"を実感し、日々を豊かに過ごせます。ディ活動の中で、週 1 回でもそんな場を作れ積み重ねられたら、次の発表する、見てもらえる等の段階に進んでいけると思いますが、その事が生きがいにつながると感じます。
- ・実際に活動されている方は、生き生きとしているので、どのように引き出すことができるのか、第一歩を踏み出すためのアドバイスがあったら良いと思います。
- ・子どもダンス教室（障がい児）を開いています。
- ・地域にメンバーが気軽に通いやすく楽しめる活動場所があるといいなあとと思います。
- ・障がい状態が様々な為、みんなで一つの事に取り組むのが困難な状況。
- ・時間外の活動になると思われる。
- ・勤務時間等、現状以上の負担を強いるのは、職員にとってとてもきびしいと考える。

- ・「やりたい」だけでは継続できない。
- ・当施設のように身体（肢体、聴覚、視覚）、知的、精神障害のある方に対応した芸術活動に対するノウハウがないため、多くの方が興味をもって参加できるものがあれば良いと思います。
- ・表現活動というよりも鑑賞し、感性を高めたい。
- ・生活介護の中で、夏祭り、クリスマス会などのイベント時にグループ発表を行うもの、舞台芸術だと考えています。イベント時に今後グループ発表を検討していきたいと思います。・各自治体に舞台芸術の社会資源の有無もあり、ハード、ソフト両面での有無が活動に影響されると思います。
- ・ダンスをなっている利用者が数名います。活動の中に取り入れても良いと思いますが、場所がないことで指導者がいないので、実際には難しいところです。
- ・舞台に限らず、利用者の方が、歌や絵や書や工作や色々なツールで表現できる場（費用がかからず、手軽に）が欲しいです。すでにそのような場があるのであれば、それらを知らせてもらえる方法を（HP、メール、DM等）知りたいです。
- ・発表の機会
- ・まず、興味を持つ前に、芸術にふれることが必要ですが、なかなか機会がない。芸術にふれる機会を増せば、興味を持つ人も出てくると思うのですが…。ボランティアで色々な芸術を見せてくれる方がいれば、是非おねがいしたいです。
- ・表現の場や機会を増やし、多くの人の目に触れるようにしてほしい。
- ・障害の特性に応じて、楽器演奏や歌唱表現そしてダンスなどを表現すれば良いのではないかと？
- ・健康状態の厳しい方も多く、難しいと思います。外出が困難。
- ・障害の有無なしに表現活動は守られるものと考えます。現在のところ理解を得る為の活動が必要な段階です。
- ・施設で行なっている行事の中で、利用者の方からのご意見で手話付のコーラスをやりたいという要望があり行っています。毎日昼休みに練習を行い、本番後の表情は楽しそうで達成感もあるように見えます。当事者の方が楽しく達成感をもてるのであればどんな表現活動も良いのではないかと思います。
- ・表現活動の場を欲しているのは多く感じる。施設側は欲求の範囲を定め難く。

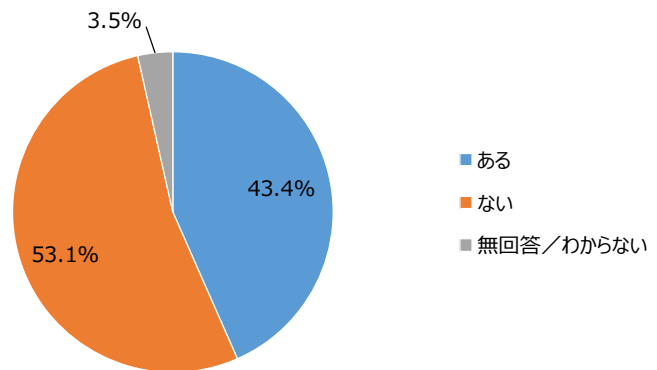
Ⅲ 障がいのある人の舞台芸術の鑑賞活動について

ⅢQ1. 地域の劇場や文化施設に出向いて鑑賞したことはありますか？

	件	%
ある	148	43.4%
ない	181	53.1%
無回答／わからない	12	3.5%
合計	341	

（有効回答数：341）

地域の劇場や文化施設に出向いて鑑賞したことはありますか？
（B福祉施設：ⅢQ1）

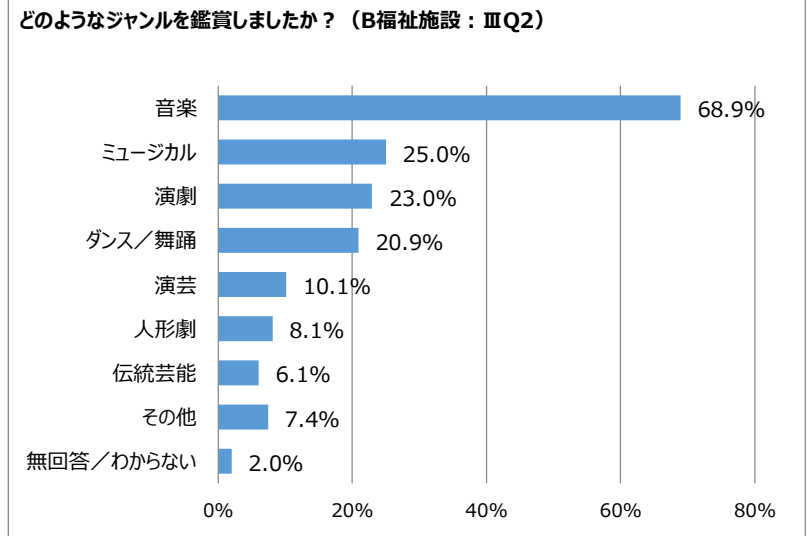


ⅢQ1 地域の劇場や文化施設に出向いて鑑賞したことはありますか？で「ある」と回答した方に伺います

ⅢQ2. どのようなジャンルを鑑賞しましたか？（複数回答可）

	件	%
音楽	102	68.9%
ミュージカル	37	25.0%
演劇	34	23.0%
ダンス/舞踊	31	20.9%
演芸	15	10.1%
人形劇	12	8.1%
伝統芸能	9	6.1%
その他	11	7.4%
無回答/わからない	1	0.7%

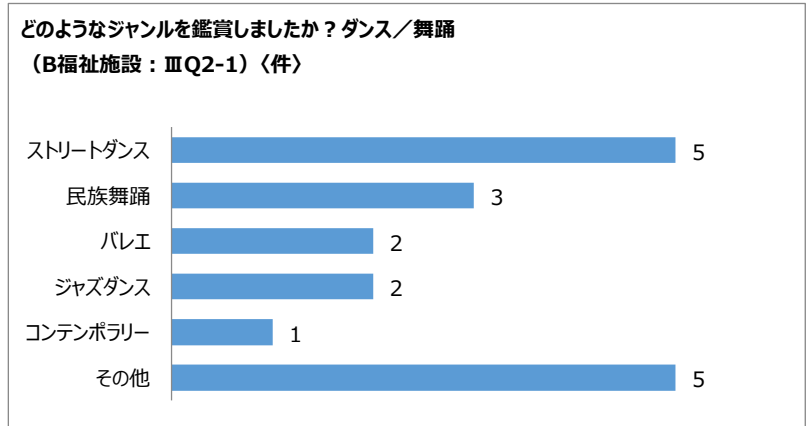
（有効回答数：148）



ⅢQ2-1 ダンス/舞踊 内訳

	件	%
ストリートダンス	5	16.1%
民族舞踊	3	9.7%
バレエ	2	6.5%
ジャズダンス	2	6.5%
コンテンポラリー	1	3.2%
その他	5	16.1%

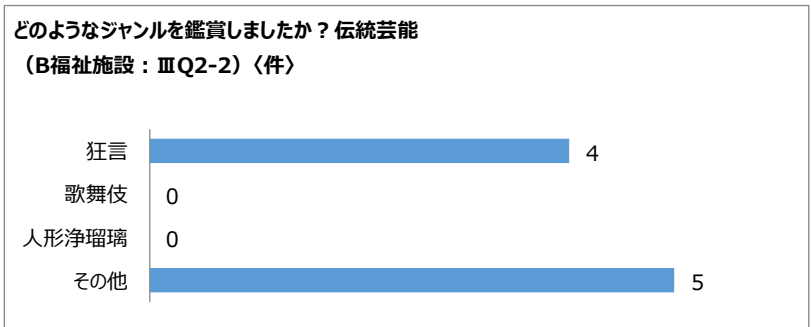
（有効回答数：31）



ⅢQ2-2. 伝統芸能 内訳

	件	%
狂言	4	44.4%
歌舞伎	0	0.0%
人形浄瑠璃	0	0.0%
その他	5	55.6%

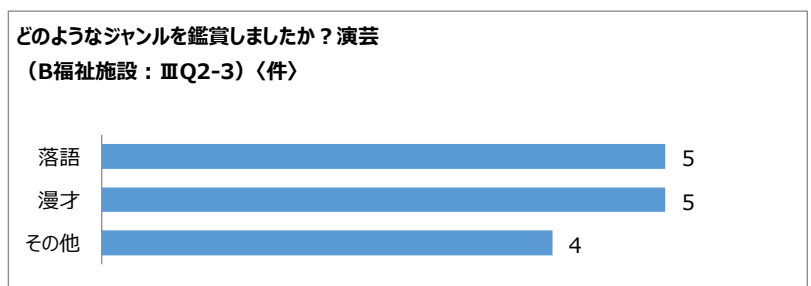
（有効回答数：9）



ⅢQ2-3. 演芸 内訳

	件	%
落語	5	33.3%
漫才	5	33.3%
その他	4	26.7%

（有効回答数：15）

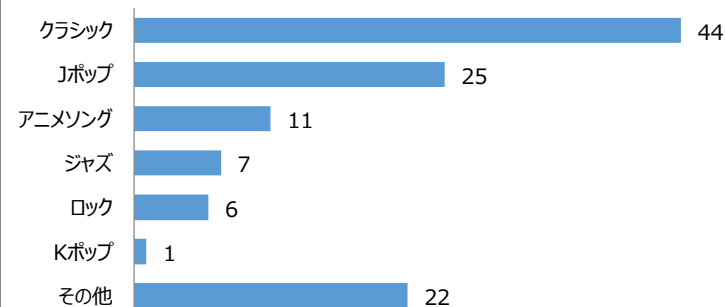


ⅢQ2-4. 音楽 内訳

	件	%
クラシック	44	43.1%
Jポップ	25	24.5%
アニメソング	11	10.8%
ジャズ	7	6.9%
ロック	6	5.9%
Kポップ	1	1.0%
その他	22	21.6%

（有効回答数：102）

どのようなジャンルを鑑賞しましたか？音楽
（B福祉施設：ⅢQ2-4）〈件〉



ⅢQ2. 鑑賞したジャンル 具体的に

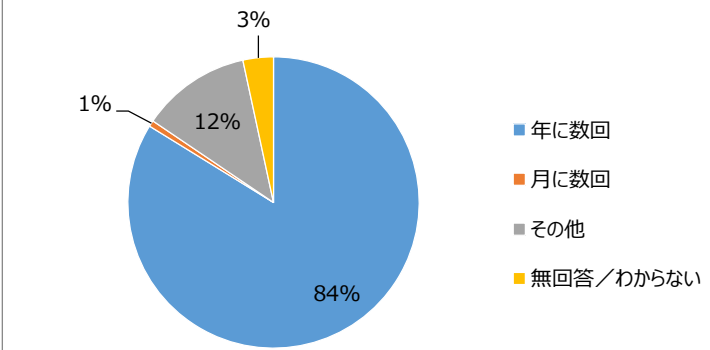
<p>(1) ダンス／舞踊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンス ・よさこい ・簡単なもの ・車イスダンス ・フラダンス <p>(3) 伝統芸能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和太鼓演奏会 ・備中神楽 ・民謡 ・だんじり祭 ・能楽 <p>(5) 演芸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マジック、大道芸 ・ビッグ・アイ（アートプロジェクト） ・社会風刺コント ・寄席 <p>(7) 音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オペラ ・新垣勉コンサート ・演歌 ・日本太鼓 	<ul style="list-style-type: none"> ・ギター、ソロ、民謡 ・おかしんといつしょ ・ブラスバンド ・民族楽器 ・高校生の吹奏楽 ・歌のお兄さんコンサート、障がい児のO Kのコンサート ・兵庫県障害者芸術文化祭等 ・歌謡曲 ・合唱 ・民族楽器とダンス ・和太鼓×2 ・吹奏楽×2 ・邦楽 ・オーストラリア、童謡 ・演歌×2 ・わたぼうしコンサート <p>(8) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画×3 ・サーカス×7件 ・作品展等 ・手話狂言 ・サイレントコメディ
--	---

ⅢQ3. 2015 年度に、何回鑑賞に行きましたか？

	件	%
年に数回	124	83.8%
月に数回	1	0.7%
毎日	0	0.0%
週に 4～6 回	0	0.0%
週に 2～3 回	0	0.0%
週に 1 回	0	0.0%
その他	18	12.2%
無回答／わからない	5	3.4%
合計	148	

（有効回答数：148）

2015年度に、何回鑑賞に行きましたか？（B福祉施設：ⅢQ3）



ⅢQ3. その他 具体的に

・0 回（15 件） ・数年に 1 回 ・2 年に 1 回のペースで実施。2016 年に 1 度参加。

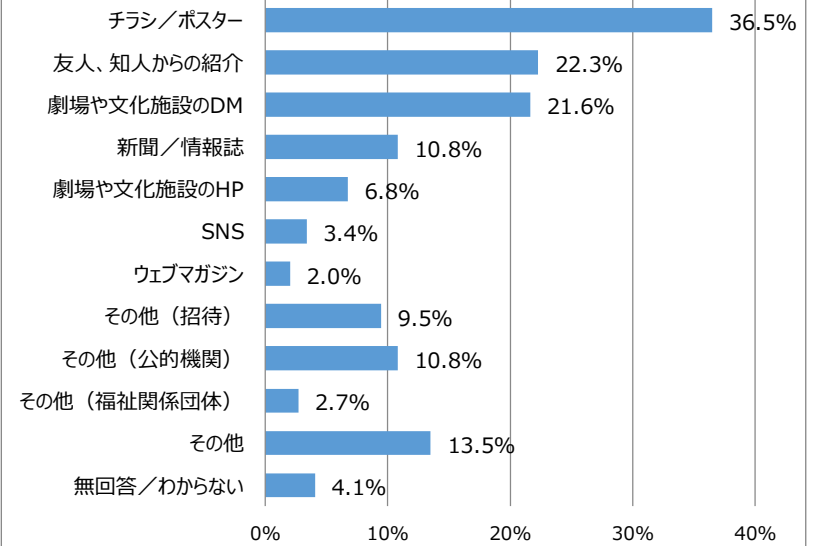
ⅢQ4. 公演の情報は何で知りましたか？（複数回答可）

情報をキャッチするのは、SNS やウェブマガジンなどのネット環境ではなく、チラシや DM など、紙媒体、アナログ媒体が多い。社会の中で主流となっているネット媒体よりも直接的に情報を届けることが必要とされている。

	件	%
チラシ／ポスター	54	36.5%
友人、知人からの紹介	33	22.3%
劇場や文化施設の DM	32	21.6%
新聞／情報誌	16	10.8%
劇場や文化施設の HP	10	6.8%
SNS	5	3.4%
ウェブマガジン	3	2.0%
その他※（招待）	14	9.5%
その他※（公的機関）	16	10.8%
その他※（福祉関係団体）	4	2.7%
その他	20	13.5%
無回答／わからない	6	4.1%

※その他「具体的に」に記述でみられた「招待」「公的機関」「福祉関係団体」に該当するとされる回答を別途項目をたて、表記した

公演の情報は何で知りましたか？（B福祉施設：ⅢQ4）



ⅢQ4. その他 具体的に

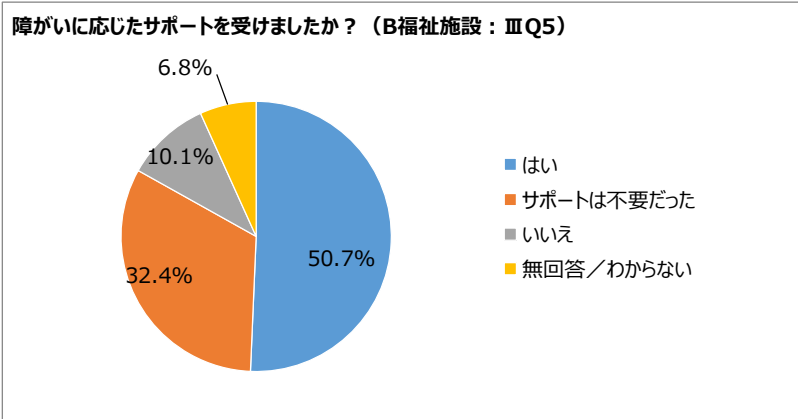
- ・チケットの寄贈 ・交流相手の高校 ・市から連絡 ・苑に招待状が来る。講師からの紹介
- ・ご招待、ご案内 ・東京善意銀行 ・当施設主催の寄席及びコンサート ・福祉関連の情報
- ・利用者さんの外出計画にあわせて、職員が探す ・福岡県教育庁の事業
- ・兵庫県は全県の中 1 生対象にクラシック音楽鑑賞の場を設けている ・市の広報 ・招待
- ・案内文書 ・電話 ・旅行会社通じて ・同法人で行っている行事
- ・公演をしている団体に直接招待してもらった。 ・障がい施設加盟の協会 ・学校からの問い合わせ
- ・府教育委員会より連絡、案内 ・任意団体の招待 ・毎年のことなので ・市教委からの連絡
- ・市町村の情報提供 ・県教育委員会、県文化振興財団から案内 ・文化施設の営業の方の紹介
- ・案内 ・大阪教育庁からの通知 ・香川県障害福祉課からの招待 ・学校行事
- ・企業や福祉団体からの招待 ・関係団体より ・毎年の活動なので年間計画で実施することになっている
- ・福祉関係者 ・同施設(法人内) より ・ネット検索 ・札幌市教育委員会からの案内
- ・案内文書 ・招待など ・演者の方よりのご招待 ・学校行事 ・インターネットで検索
- ・共生マラソン会場 ・自分たちで行なっているので ・招待（団体）
- ・近隣の施設で集り、2 年に一度実施している。 ・招待 ・招待 ・当法人で主催して実施
- ・阿倍野作業連絡会の情報

ⅢQ5. 地域の劇場や文化施設を利用したとき、障がいに応じたサポートは受けましたか？

サポートを受けたという回答が半数を超えているが、具体的にどのようなサポートかという問では、車いす席や障害者用トイレ、駐車場の確保など、ハード面、設備に関する回答が多かった。反面、欲しかったサポートでは、わかりやすい表示、字幕、劇場、文化施設側の職員の増員など、人やソフトに対する要望が多いのが特徴的である。また、劇場、文化施設でスタッフが対応できなかったことについても車いすだけに限らず、様々な障害に応じた対応が必要とされている。

	件	%
はい	75	50.7%
サポートは不要だった	48	32.4%
いいえ	15	10.1%
無回答／わからない	10	6.8%
合計	148	

(有効回答数：148)



ⅢQ5-1. 「はい」 具体的に

- ・車椅子の提供 ・席への案内 ・車イス介助の手伝い ・座席割を前の方にしてもらった ・駐車場
- ・車いす移動の補助、場所の確保など ・誘導と席を前列にいただいた ・車椅子の補助
- ・車イスの用意 ・サポート要員の配置 ・車椅子用の席を予約
- ・前に指定席を用意していただいた。入場順を配慮していただいた。 ・休憩時間が長めに設定される
- ・手話通訳 ・座席の配慮 ・施設で参加した為、職員から支援をうけた
- ・車イススペースを作ってもらった。ガイドスタッフが案内してくれた。 ・席の確保等をサポートしてもらえた。
- ・車イスやトイレの配慮 ・座席の配慮 ・車イス利用の方の席の確保
- ・鑑賞場所を事前に打ち合わせを行う ・防音室の利用、出入口に近い席の確保
- ・場所（車椅子）の案内 ・席を一番前にしてもらった。 ・車イス席の確保や移動の際の介助

- ・劇場の席を扉の横にしてもらった。（途中でトイレと叫んだり、落ちつきがなくなって退席する場合があるので）
- ・手話通訳 ・車イス席の確保、車イス駐車場の確保
- ・座席の位置を出入口近くにしていただいたり、入退場の順番を配慮頂いた。
- ・車椅子席確保、大声をだしてもOKの許可 ・車イス利用者の誘導、落ちつかない生徒の移動
- ・座席や入退場など ・障害者の確保、出入りしやすい場所の確保 ・利用しやすい座席の確保
- ・できるだけ鑑賞しやすい場所の設定（視覚、聴覚、段差など）
- ・車イスから座席に移乗した時に、体を起こしておけるようにクッションを貸してもらえた、車イスでも会場に入れるようスペース（1番後ろの席のみ対応だった）をあけてもらった。 ・鑑賞場だけの配慮 ・弱視生徒がいたので、座席を前方にしてもらった。車イス生徒の誘導
- ・車イススペースで鑑賞できた。出入口に近く、緊急時に出退場しやすい位置だった。
- ・救護室を排泄オムツ交換スペースとして借用することができた。 ・車椅子席の確保
- ・車椅子用の席確保、観覧無料（招待）等 ・開場前に入場できた ・座席、出演の順番等
- ・着替え室用意してもらった。 ・車椅子席の準備 ・会場において専用の席を確保してもらおうボランティア協力
- ・トイレや休憩場所の提供、バス駐車停車場 ・障害者席がある ・無料、割引 ・車イスや歩行困難な方の座る場所等
- ・車イススペースの確保 ・無料の招待だった ・車イス席の確保、医療機器を使用するための電源確保、休憩場所
- ・車イス移動のサポート ・介助など ・トイレ、休憩場などの確認 ・座席の確保
- ・演目途中の出入り、車イス席、座席配置 ・車イス席、バリアフリー ・車イス専用席の準備
- ・先の確保、誘導 ・リフト使用、イスをはずして車イス ・座席位置（トイレ近く）
- ・乗降場所の確保など ・無料招待 ・マイクロバスの駐車位置や車イス席への誘導
- ・車イス用席の設置と確保 ・駐車場が近くあった

ⅢQ5-2. 「いいえ」欲しかったサポートを具体的に

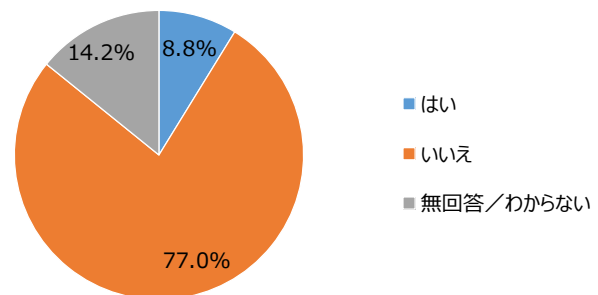
- ・座席の位置
- ・入場口が複数ある場合、段差を通過しないと客席に行くことができない。この入口は段差なく客席に行くことができると、わかりやすい表示があれば、通路を選ぶことができよかった。
- ・職員配置を増やして、サポートがなくても実施できるように工夫している。
- ・すべての音声を手話もしくは文字に変えて、聴覚障害者でも楽しめるような環境整備をしてほしい。
- ・車イス用の席でなくてよいが、段差なしで移動できる席の枠を設けてほしい。
- ・車イスのサポート、トイレ介助など ・観客が立ち上がると車イス利用者の目線では見えなくなってしまう。

ⅢQ6. 地域の劇場や文化施設での鑑賞において、文化施設スタッフが対応できなかったことはありますか？

	件	%
はい	13	8.8%
いいえ	114	77.0%
無回答／わからない	21	14.2%
合計	148	

（有効回答数：148）

地域の劇場や文化施設での鑑賞において、文化施設スタッフが対応できなかったことはありますか？（B福祉施設：ⅢQ6）



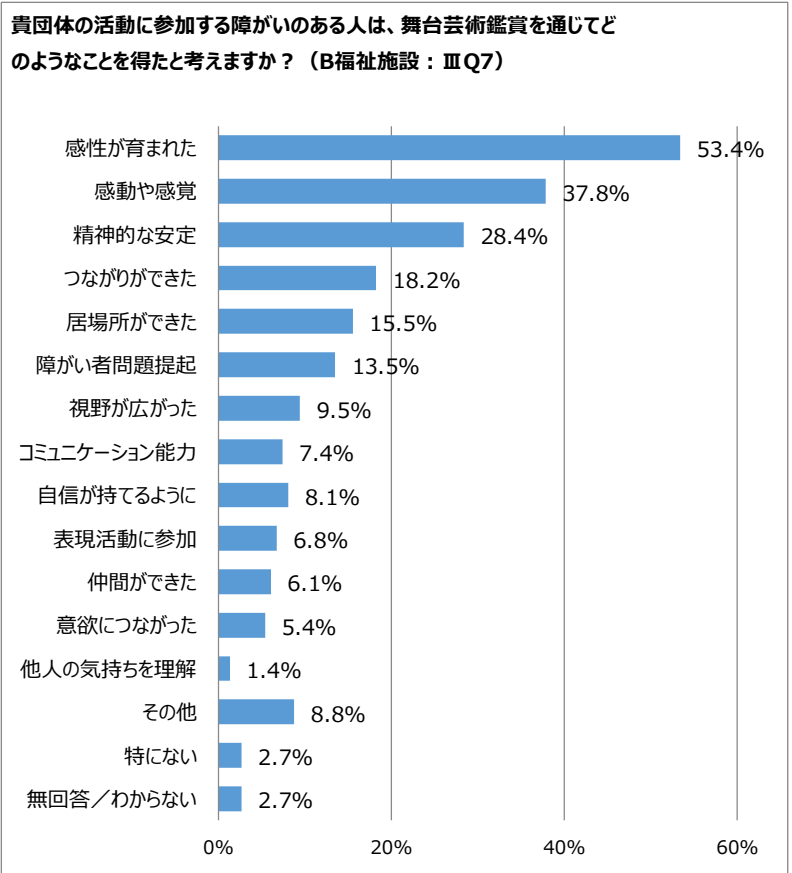
ⅢQ6-1. 「ある」 具体的に

- ・E Vで待たされる・特別な場所なので知らないスタッフもいた。視覚障害の方が単独で行った時に、車いすにのせられそうになった。補助犬が複数いて(座席がランダムだった) 少し混乱した
- ・トイレの確保(誰でもトイレを優先的に使用できず一般の方が使用していた) ・文字情報
- ・聴覚障害者でもわかる案内を求めたが、そのあたりは「できない」と謝りながら言ってきたこともあります。
- ・席までの案内 ・施設のバリアフリー対応 ・駐車場の確保をしてもらう予定だったが、してもらえなかった。
- ・車イスサポート、トイレ介助など ・施設が物理的に困難な対応ではできない。人的には大変協力的。
- ・車イスでは見にくい位置を指定された ・コンサートで声が出てしまった時に、退席せざるを得なかった。
- ・車いすの取り扱いに慣れていないこともあり、施設職員が対応した。

ⅢQ7. 貴団体の活動に参加する障がいのある人は、舞台芸術鑑賞を通じてどのようなことを得たと考えますか？（3 つまで回答可）

	件	%
感性が育まれた	79	53.4%
感動や感覚	56	37.8%
精神的な安定	42	28.4%
つながりができた	27	18.2%
居場所ができた	23	15.5%
障がい者問題提起	20	13.5%
視野が広がった	14	9.5%
コミュニケーション能力	11	7.4%
自信が持てるように	12	8.1%
表現活動に参加	10	6.8%
仲間ができた	9	6.1%
意欲につながった	8	5.4%
他人の気持ちを理解	2	1.4%
その他	13	8.8%
特にない	4	2.7%
無回答／わからない	4	2.7%

(有効回答数：148 ただし11件が3つ以上回答)



ⅢQ7. その他 具体的に

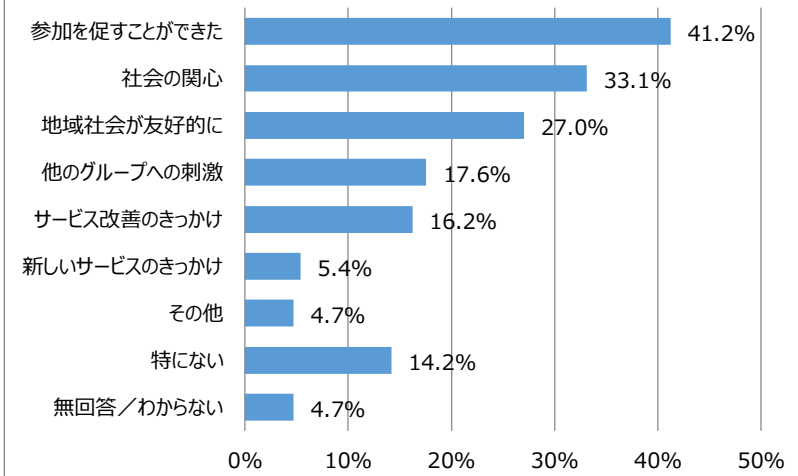
- ・気分転換 ・あこがれ、目標、逆して自信がなくなる ・充実した生活や楽しい時間
- ・吸収はしていると思うが、具体的な変化は見られない。 ・生活を豊かにするための選択肢が増えた
- ・楽しんでいた ・一緒に見た人と思い出が作れた。話題が生まれ、関係性が少し変わったように感じる。
- ・外部との接触、社会的なつながりを持てる ・利用者の笑顔があった。 ・外出の機会
- ・余暇時間の充実 ・楽しみができた ・地域資源を知ることができた

ⅢQ8. 貴団体が行う障がいのある人の舞台芸術鑑賞は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（3つまで回答可）

	件	%
参加を促すことができた	61	41.2%
社会の関心	49	33.1%
地域社会が友好的に	40	27.0%
他のグループへの刺激	26	17.6%
サービス改善のきっかけ	24	16.2%
新しいサービスのきっかけ	8	5.4%
その他	7	4.7%
特にない	21	14.2%
無回答／わからない	7	4.7%

（有効回答数：148 ただし1件が3つ以上回答）

貴団体が行う障がいのある人の舞台芸術鑑賞は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（B福祉施設：ⅢQ8）



ⅢQ8. その他 具体的に

- ・障害者が参加するための支援について知ってもらえた
- ・(3)や(4) まではいかないが、知るきっかけとなった。問題提起になった。 ・価値観の変化を生んだ
- ・新たな社会体験 ・障害に関わらず楽しみの提供支援へ取り組みきっかけとなった。
- ・地域の方とつながりができた

ⅢQ9. 地域の劇場や文化施設で、どのような対応があれば利用しやすくなりますか？

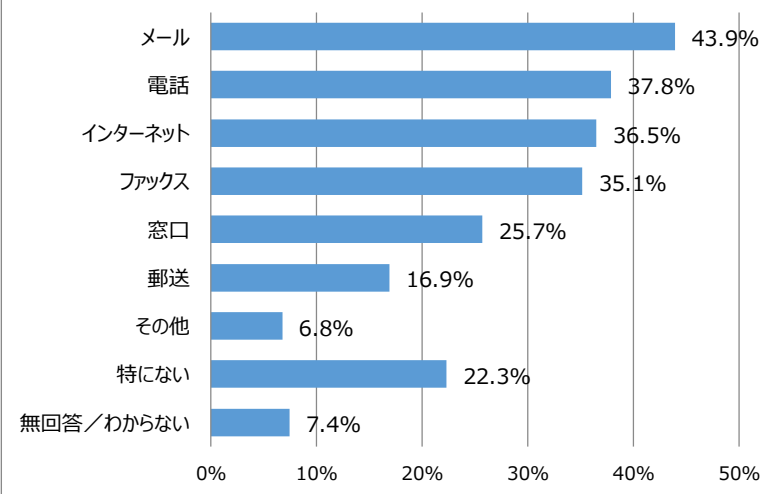
表現活動と同じで情報をキャッチするのは、SNSやウェブマガジンなどのネット環境ではなく、チラシやDMなど、紙媒体、アナログ媒体が多いが、鑑賞に関しては、インターネットの割合も多い。これは、公演チケットの購入がチケット販売サイトからとなる公演が多いことや比較的簡単に購入作業ができるからだと考えられる。

ⅢQ9-1. 申し込み方法（複数回答可）

	件	%
メール	65	43.9%
電話	56	37.8%
インターネット	54	36.5%
ファックス	52	35.1%
窓口	38	25.7%
郵送	25	16.9%
その他	10	6.8%
特にない	33	22.3%
無回答／わからない	11	7.4%
合計	344	

（有効回答数：148）

地域の劇場や文化施設で、どのような対応があれば利用しやすくなりますか？申し込み方法（B福祉施設：ⅢQ9-1）



ⅢQ9-1. その他 具体的に

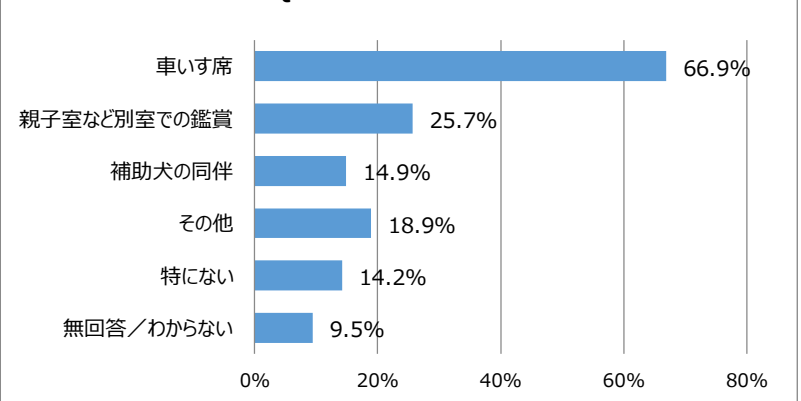
- ・施設に宣伝を積極的に行う ・手話通訳、筆談
- ・車イス介助者の席に隣に確保できるようになれば良い。（申し込み時に確保できるかが介助者 1 名のみの為、付添いが困難な時がある。）
- ・大型ホール等何日も前から（日を取るため）並ばなければならない点について、営利活動ではないので配慮してほしい
- ・今までと同じようにきめこまかく相談して ・広告等や時間、曜日など
- ・料金。車椅子の方は、S 席料金のみであった。 ・見やすい、ほしい情報へいきつきやすい仕組み
- ・点字対応

ⅢQ9-2. 会場

	件	%
車いす席	99	66.9%
親子室など別室での鑑賞	38	25.7%
補助犬の同伴	22	14.9%
その他	28	18.9%
特にない	21	14.2%
無回答／わからない	14	9.5%
合計	222	

（有効回答数：148）

地域の劇場や文化施設で、どのような対応があれば利用しやすくなりますか？会場（B福祉施設：ⅢQ9-2）



ⅢQ9-2. その他 具体的に

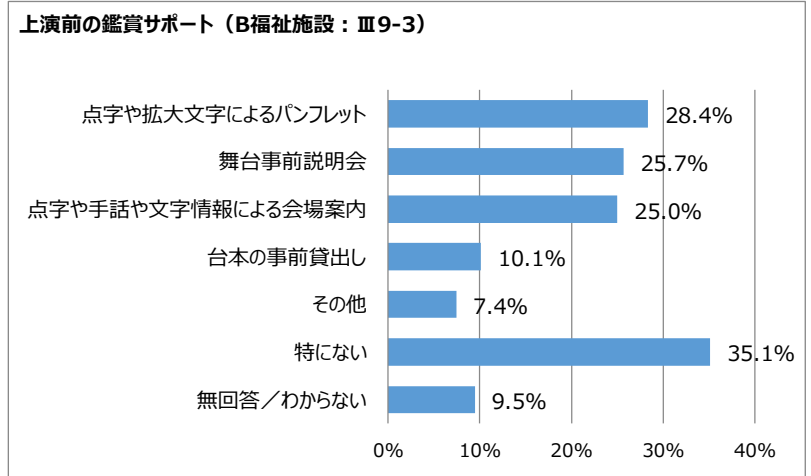
- ・障がい特性に応じた席の配慮 ・座席の確保、座る位置
- ・体格の良い方や行動障害の方のための少し座席と間があいているようなタテにゆったりとした座席
- ・席まで誘導 ・使いやすい場所にトイレがある良い ・出入口に近い座席の確保
- ・手話通訳や文字情報が見やすい場所への配慮 ・磁気ループ ・付添い者の席の確保
- ・大きな声を出す方も気がねなく見られる場 ・後部座席がみにくいため別モニター（別スクリーン）の設置
- ・声の出る人がいるので他の人の迷惑にならないように
- ・車イスではないが、段差の移動などが困難な方のための席
- ・車イスに長時間乗ってられない方がいるので、フロア横になって鑑賞できればいいと思う。
- ・休憩室があると疲れた生徒が休める
- ・車いすを利用することができ、緊急時も出入口に近く、安心して利用することができた。
- ・手話・要約筆記等の支援 ・段差にある箇所の照明・注意喚起・トイレ案内
- ・バリアフリー化、他目的トイレの設置
- ・大人が横になれる位のベッドが設置されている。（オムツ交換用の身障者トイレ）
- ・トイレ（ベッド付き）
- ・舞台鑑賞が好きな利用者でも、声を出したり、座ってられない課題があります。すべての舞台芸術に配慮を求めるわけではありませんが、親子連れのクラシックコンサートでさえ、批判の対象となる中、劇場文化施設側の対応だけに止まらず、一般鑑賞者側の許容への啓蒙が一番大きな課題でないでしょうか。
- ・車イス用トイレ、車イスの方の介助者用の座席 ・利用しやすい個室
- ・段差がなく移動がスムーズにできること、車イス可能なトイレが広く数多くあること
- ・照明及び案内板（トイレ、フロア（休憩所）等） ・バリアフリー、車イス用トイレなど広めのトイレ ・移動支援スタッフの増員

ⅢQ9-3. 上演前の鑑賞サポート（複数回答可）

パンフレット、舞台説明会など、開演前の情報収集を求める回答が多い。上演中に関しても、字幕や副音声ガイドなど、情報に関するサポートが多く、情報の受け取りや理解を促す配慮が求められている。

	件	%
点字や拡大文字によるパンフレット	42	28.4%
舞台事前説明会	38	25.7%
点字や手話や文字情報による会場案内	37	25.0%
台本の事前貸出し	15	10.1%
その他	11	7.4%
特にない	52	35.1%
無回答／わからない	14	9.5%

（有効回答数：148）



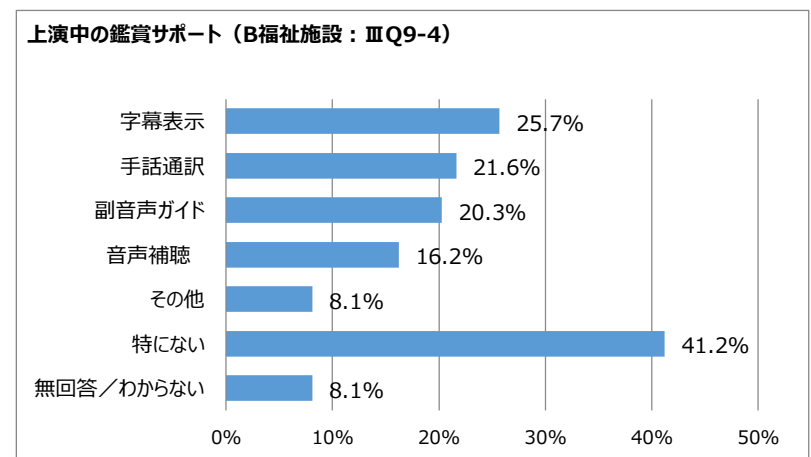
ⅢQ9-3. その他 具体的に

- ・ポスター、プロフィール版などに文字や写真で紹介してあるが、実物（例えば楽器や衣装、装置など）できる範囲で展示してあると理解できる方もいる
- ・照明、音量、演出効果などの情報提供 ・一般のお客様に対する対応
- ・事前説明会でダメな事を教えてほしい。大声、ウロウロを許すか（少しなら）、拍手、（喜んで）
- ・音量等の説明
- ・インターネットであらすじ等の情報を事前に入手でき、事前学習でイラストや歌をとり入れた活動をする事ができた。
- ・映像・スライド等による弱視的な支援 ・車イストイレの拡充
- ・設備に関する説明（会場案内）トイレ、P、段差など。 ・ネットなどで事前に上演内容が解ること

ⅢQ9-4. 上演中の鑑賞サポート（複数回答可）

	件	%
字幕表示	38	25.7%
手話通訳	32	21.6%
副音声ガイド	30	20.3%
音声補聴	24	16.2%
その他	12	8.1%
特にない	61	41.2%
無回答／わからない	12	8.1%

（有効回答数：148）



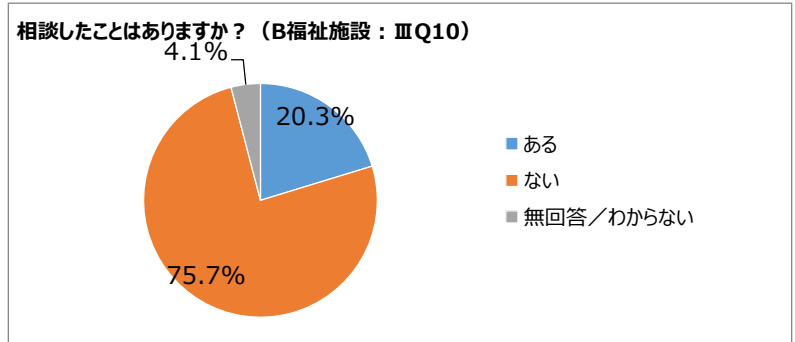
ⅢQ9-4. その他 具体的に

- ・トイレ等の誘導 ・休憩時間の分かりやすい表示 ・大きな声を出し始めたらすぐ退席できる
- ・状態に応じて出入りしやすい場所での鑑賞 ・弱視の方の為に前の方の席が確保できるとありがたい。
- ・磁気ループ ・暗さ、音の大きさ ・興奮を静める場所
- ・鑑賞していた席の近くに係員が常時おら、何かの折には声をかけてくださるなど気にかけて下さったのが有難かった。
- ・映像やスライド等の視覚的な支援・援助 ・体調不良時の緊急サポート ・舞台が見えるような配慮

ⅢQ10. 地域の劇場や文化施設での鑑賞に関して、相談したことはありますか？

	件	%
ある	30	20.3%
ない	112	75.7%
無回答／わからない	6	4.1%
合計	148	

（有効回答数：148）



ⅢQ10-1. 「ある」相談場所（人）と相談内容を具体的に

- ・文化施設の職員 入場に際して、入場者の制限 ・車椅子席の有無、身障トイレの有無
- ・車イス対応の席数とどれだけ確保できるか ・手話通訳を付けて欲しい。
- ・バリアフリー始めサポートの有無 ・バリアフリー始めサポートの有無
- ・文化施設と車いすスペース(鑑賞しやすい場所) について
- ・相談ではないが、車椅子でも大丈夫か心配なので確認してしまう。 ・参加人数、鑑賞場所
- ・楽団事務局長に、障害者団体が一般のお客様と一緒に鑑賞できるかどうか ・車椅子の不可
- ・その公演をきいて静かなものなのかどうか。途中で退席する場合もあるため、席を端（扉の横）にしてほしいなど。
- ・車椅子の席について、前の行事について、利用者の声について
- ・身障者用のバギーが車椅子ほど知られていないので、その説明を求められる事が多くあった。
- ・スタッフ、座席の場所、トイレ、リフトなど ・会場事務局、市役所
- ・担当の方（営業の方）に、音や光具合、見やすい座席位置、トイレの位置、いざというときの休憩室
- ・支配人：障害で反射的に大きな声ででしてしまう方がいるが、一般の方と一緒に鑑賞できるかどうか
- ・車イス対応かどうか
- ・これまで回答したところは、別の施設ですが、階段を利用しないと鑑賞できないところがあり、職員の方が車いすの昇降を手伝ってくれた。
- ・施設長や職員に聞いて混乱を招くことなく利用者さんが楽しめる方法、手段の相談
- ・近隣の学校と行う合同演奏会に向けて、担当者や運営や楽器管理について ・車いす席の有無 ・トイレ、水分、休憩場所
- ・文化施設の方と会場の出入口について（混雑状況）、休憩場所について、車いすの大きさについて
- ・札幌交響団やP M F など
- ・意図せぬ発声があることを事前に伝えておいた→親子用の狭いスペースしかなく、車椅子では入れなかったが・・・
- ・車椅子での鑑賞設備、会場配置（設備） ・バスの停車について ・車イスで入れるか（通路、席など）

ⅢQ10-2. 「ない」相談しなかった理由があれば具体的に

- ・特に不自由さはない ・特になし ・障がいがあるといったことを言っていなかった為
- ・担当との打合せで済んだため
- ・ご招待していただくことが多いので、言いにくい・また点字・手話などのご用意下さっても理解できない（読めない方）もいるので
- ・それほど切迫した問題ではなかった ・市内の劇場(音楽ホール) は、使い慣れているので、車椅子の人にも慣れている。
- ・利用者様からの要望がなかったため ・年1 回程度の鑑賞だから
- ・事前に限定的な利用をすすめられた（立席しない、奇声をあげない等） ・鑑賞に関して情報不足
- ・それ程、鑑賞する機会がなかった為 ・施設の状況がわかっている。
- ・先方から案内をいただいて実施することが多いから

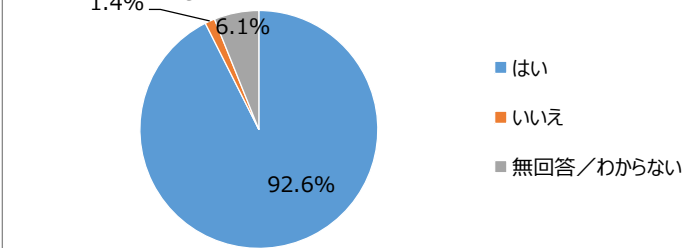
ⅢQ11. 今後も地域の劇場や文化施設で鑑賞したいですか？

	件	%
はい	137	92.6%
いいえ	2	1.4%
無回答／わからない	9	6.1%
合計	148	

(有効回答数：148)

今後も地域の劇場や文化施設で鑑賞したいですか？

(B福祉施設：ⅢQ11)



ⅢQ12. 地域の劇場や文化施設に対して意見や希望などがあればお聞かせください。

- ・鑑賞しやすい環境づくり
- ・その団体以外の人が入りにくい様子があると聞く
- ・知的・発達障害で、ゆっくり座ってられない興奮するなどあるとためらいます。また、トイレや食事など付随することも考えると、外出の場としてはかなりハードルが高いです。ある視覚支援学校では、オペラ鑑賞に向け、事前に校内で(音楽科で) イタリア語の歌詞の意味を調べたり、有名な台詞や歌(メロディー)を聞くなどするプログラムをもっておられました。「初心者への為」講座を無料(安価)で劇場が聞いてくださること良いですね
- ・全ての障がい者にこれ以上ないほどのサポートをしてほしい訳ではないんです。マニュアル通りのサポートではなくて当事者の声を聞いてサポートにあたってほしいです。障がい者が自分の事を知ってもらう数少ない場として芸術表現などの方法はなくてはならないものです。地域の施設には、ご理解とご協力をお願いします。
- ・昨年、地域の文化施設が閉館してしまい、場所がないことで催物のある機会が減ってしまったことは残念。また、文化施設をつかった発表の機会も同時に減っているので、地域に身近に文化行事や舞台芸術に触れる環境を充実してほしいです。より、バリアフリーをすすめてほしいです。誰もがつかいやすいことは、みんなによいことです。
- ・演奏中の手話通訳や文字情報があれば、聴覚に障害がある人も楽しむことができる。
- ・車イス用の配慮してほしい
- ・ステージにあがるためのエレベーターの設置など、改善してくれている点は多々ある。車椅子席が、席の一番後方なので、毎回見る場所が決まってしまう。欲を言うならもう少し前でみられたらと願うが、改築にかなりの費用と手間がかかりそうで……。その劇場の構造によっても異なるのでは？
- ・今の処、参加、鑑賞できることに感謝しています
- ・今回の鑑賞に対し、楽団側は大変好意的に受けとめていただき、配慮していただいた。鑑賞中に声が出たり、動きある利用者がいらっしや、一般のお客様よりホール側にクレームもあったようだが、「たくさんの方に聞いていただきたい」と伝えていただいたよう。本当にありがたく思いました。
- ・障がいの方も自由に選択、決定できる様なシステム作り。細かな事も相談しやすいサポート作り。
- ・車イス席があまりなかったりするので、増やしてほしい。バリアフリーになれば助かると思います。上演中、叫んだりする方がおられるので、その場合、外で待ったりしないといけなので別室などで鑑賞できる場所があれば、とてもうれしいです。一般の方と一緒に鑑賞する場合は、とても気を遣います。もっと障がいのある方の理解があればなとも思います。(みなさん、お金を払って来ているので気持ちは分からなくないですが……。やっぱり行きにくいと感じてしまいます。劇場で販売など(お菓子などの販売)があれば事前に情報がほしいです。
- ・公共の場では、静かにする事等、教育はしていますが、嬉しくて、拍手、声を出す事は、止められない事もあり、ゆるやかなルールで参加できるものが欲しい。クラシック等も鑑賞させたいが、子どもクラシック等、小さい子、障害児もOKなコンサート等がほしい。
- ・障がいの関係で大きな音に過敏に反応する方がいるので、その点を考慮していただけるとありがたいです。
- ・視覚障害の生徒にとっては、副音声、体験的活動(いっしょに歌う、踊る、楽器を触る)があるとより鑑賞を楽しめると思います。
- ・車イス、またはストレッチャー利用者の送迎サービスがあれば、人手不足のなか、運転手分だけでも大変助かります。
- ・①完全バリアフリー(特に階段があるところは不便)にしてほしい。②排泄オムツの交換のためベッドがあるトイレを設置してほしい。③救護室

等専有使用できるスペースがあれば有難いです。

- ・利用させて頂く地域の劇場や文化施設で働かれている方々が障がい者の方をあたたかく笑顔で迎えてほしい。車椅子トイレ数の増大や更なるバリアフリーの向上も願っている。
- ・車椅子で参加の利用の方が多く、車椅子の方の専用の通路や車椅子のまま鑑賞できるスペースを多く設けていただくことで、スムーズに移動でき、楽に鑑賞できると思います。 ・特になし
- ・車椅子対応。駐車場近場での確保（施設に隣接する）
- ・エレベーターと大人がオムツを換えて横になれるベッドのあるトイレの設置
- ・知的障害者の人たちは、施設のハード面についての要望はほとんどないが、鑑賞が、必ずしも静かにできるわけではない。一般の方とは別で場を設けることは違うと思うが、かつといってやはり「静かに」というのは、最低限のマナーやルールでもあると思う。障害をもつ人たちが本物に触れてほしいと思うものの、考えてします。
- ・車椅子席の常設や、補助犬の同伴などの手だてを常態化してほしい。 ・トイレ、段差、Pの設備をととのえてほしい
- ・アクセスに関し、優先駐車場、会場配置等、鑑賞に際し不安があります。鑑賞する迄、鑑賞中、鑑賞内容以前に設備、対応にて徐々にでも少数の意見をもっと取り入れる仕組みがあれば嬉しいです。

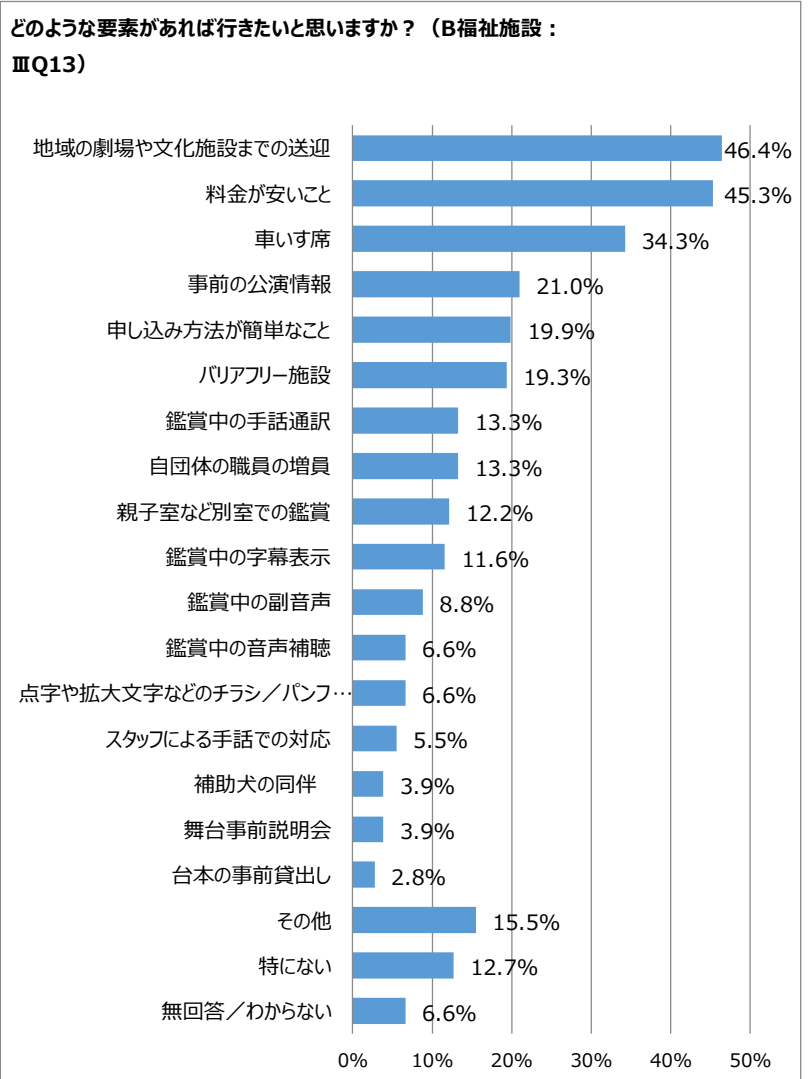
ⅢQ1 障がいのある人の舞台芸術の鑑賞活動について

地域の劇場や文化施設に出向いて鑑賞したことはありますか？で「ない」と回答された方に伺います

ⅢQ13. どのような要素があれば行きたいと思えますか？（複数回答可）

	件	%
地域の劇場や文化施設までの送迎	84	46.4%
料金が安いこと	82	45.3%
車いす席	62	34.3%
事前の公演情報	38	21.0%
申し込み方法が簡単なこと	36	19.9%
バリアフリー施設	35	19.3%
鑑賞中の手話通訳	24	13.3%
自団体の職員の増員	24	13.3%
親子室など別室での鑑賞	22	12.2%
鑑賞中の字幕表示	21	11.6%
鑑賞中の副音声	16	8.8%
鑑賞中の音声補聴	12	6.6%
点字や拡大文字などのチラシ／パンフレット	12	6.6%
スタッフによる手話での対応	10	5.5%
補助犬の同伴	7	3.9%
舞台事前説明会	7	3.9%
台本の事前貸出し	5	2.8%
その他	28	15.5%
特になし	23	12.7%
無回答／わからない	12	6.6%

（有効回答数：181）



ⅢQ13-3. 事前の公演情報 具体的に

- ・SNS、情報誌 ・FAX、メール ・情報誌、メール、FAX
- ・情報誌やチラシ等の目で確認できる物 ・情報保障の有無、相談可についてのついでにわかればわかりやすい。
- ・新聞、ラジオ、テレビ ・外に対して人為的に積極的な推進が要

ⅢQ13-4. 申し込み方法が簡単なこと 具体的に

- ・今の方法では申し込み締切が早い、当日参加も認めてほしい ・インターネット ・FAX、メール
- ・メール ・電話、FAX ・メールやファクスで申し込みやすいこと ・メール、ファクス

ⅢQ13-16. バリアフリー施設 具体的に

- ・車いすの方もたくさんおられるので、そのような配慮のある施設
- ・出入口がスロープになっている事、障がい者用トイレがある ・電動車いすでの活動ができるか
- ・マット、座敷等、横になって見れる場所 ・（大人用）ベッドの休息室 ・段差がない等
- ・車イスの方が使えるトイレが複数必要 ・車椅子の移動がしやすいこと
- ・ユニバーサルデザインの搭載されている施設

ⅢQ13-18. その他 具体的に

- ・近いこと ・予算づけが厳しい為、招待だと助かります ・劇場が広いこと、劇場スタッフの障がい理解
- ・魅力的な内容があれば ・平日に学校に来ていただければ可能
- ・招待であれば検討、利用者に興味があるか ・教育活動の中で行っている
- ・肢体不自由の方が多いため、来て頂くと鑑賞しやすいです。
- ・館内移動のお手伝い、使い安い障がい者用トイレ
- ・20名が車イス利用者であり、移動と車イス席が確保できれば行きやすい。
- ・時間があれば ・時間帯が児童生徒の在校時間であること
- ・活動地域では、この様な取り組みは、皆無なので、一度観てみたい。
- ・本校児童生徒が参加していること ・会場までの移動時間（時間がかかると体力的に負担もかかる為）
- ・内容、ストーリーなど ・医療的ケア ・時間、内容が子ども達にとって適切であれば考えたい。
- ・日程確保(前年度1月頃にわかれば) ・障害特性に応じた開催
- ・通所型の施設のため、情報をご家族等に提供することは可能です。
- ・良い観劇案内があれば、利用者のおたよりで紹介しています。（隔月で偶数月発行）
- ・生徒の興味、関心にマッチした内容であること
- ・超重症児のため、医療ケアを継続して受け続けられる環境が必要である。そのため、隣接し、かつ子どもたちが入所している施設内で、短時間のものでは、看護師同伴のもと鑑賞可能な児童生徒も出てくると考えられます。
- ・入退場の簡易さ ・人口呼吸器のために電源確保、休憩場所（車から降りられるスペース）
- ・医療必要度の高い利用者が多いため舞台芸術の鑑賞に行くことができないのが現状です。そのため、行事の際に劇団に来て頂いて鑑賞しています。
- ・一般の方の障害者に対する理解

ⅢQ14. 地域の劇場や文化施設に対して意見や希望などがあればお聞かせください

- ・障がい者の舞台芸術表現を近くの文化施設でしてほしい。
- ・施設利用者を対象に行う催しがあれば参加したい。参加する際には車で移動が望ましいので駐車場があるイベントには参加しやすい。移動距離が少ない駐車場なども配慮してほしい。
- ・本物の芸術文化に触れる場として、今後、検討していく必要があると考える
- ・学校で予算があればどんどん劇場や文化施設に行きたいところです。（できれば、料金が安かったりいきやすいところがあると嬉しいです）
- ・地域での文化活動に係る財源が確保されることが望みます。※施設は、充実していると思いますので。
- ・車の乗降スペースをしっかりと確保してほしい
- ・障がい者用駐車場が使いにくく台数も限られている。雨天時など車椅子の方はぬれてしまうので利用がむずかしい。
- ・身障者トイレがあっても、スペースが狭かったり、ベッドがないためにトイレが使いにくいことや用をたすのに時間がかかるため、トイレ待ちが増えて、膀胱炎になる利用者もいるので、トイレ数と広いスペース、ベッドのあるトイレが良い。
- ・安価もしくは無料で気軽に借りられると素人集団でも利用する機会が持ちやすくなると思います。
- ・機会があれば、ぜひ利用させていただきたいと思います。
- ・活動地域では、この様な取り組みは皆無なので、一度観てみたい。
- ・文化施設のトイレ（障害者用）増設、確保願えば
- ・手話通訳者の同伴を相談したところ入場を断られたと、相談に来られた聴覚障害者が居られます。障害に応じて様々な対応が必要だということを劇場や施設関係者にも理解して欲しいです。
- ・団体が大きく、年齢的にも幅があるため鑑賞を取り入れることは難しい。グループ活動として出かけるためにも、料金が一番のネックである。家庭から出向いてもらうにも、障害実態等二の足を踏むケースがほとんどである、気がねせず参加できる場が臨まれる。
- ・名古屋の近郊でバリアフリーの会場で行われる情報が多くあれば、利用者の方に情報提供していくことができると思います。
- ・劇場や文化施設に行くとなると、音が苦手、集団が苦手、etc…。他のお客さんがいる中だと、パニックになる場合もあるので、迷惑がかかります。自団体の施設に直接、音楽隊や演劇、パフォーマンス集団をお呼びして、鑑賞しているのが現状です。
- ・体験や参加型など観者も楽しめるような内容があるといいなと思います。
- ・朝の送迎、夕方の送迎時間に支障なく鑑賞ができる時間であること。
- ・料金が必要ならいける人、いけない人が生じ、全体を考えると「行かない」という判断になると思います。
- ・こちらが移動して観に行きやすい状況ではありません。こちらの施設に来ていただいで上演してもらう等の鑑賞の機会を紹介してもらえるならとてもうれしいです。
- ・見えづらい、見えない方が座席までの案内や安全な移動が確保され、舞台芸術を視覚に障害があっても楽しめる工夫があると良い。
- ・年 1 回程度発表の機会があるので継続利用できるとよい
- ・障がい者が暮らす、地域の劇場（阿倍野区）は都市のため、比較的、鑑賞しやすいサポートがありますが、魅力的な小劇場では、まだまだ難しい状況です。しかし、ハードの整備ではなくソフト（人的支援）でカバーできることがほとんどあり、この部分をどう社会に伝えていけるかが、今後の課題であると思われます。ビッグ・アイの様な問題提起が各地で高まっていくことを期待しております。

※自由記述（「具体的に」など）については原文ママとした。

※集計における「合計」の表記における〈複数回答可〉もしくはそれを認める回答について、件数の合計と有効回答数が一致しないものについて省略した。

※有効回答数が少ない回答（およそ 50 以下のもの）についてのグラフは回答数の数値を表記した。

※質問の F1 および F2 については個人情報保護等により表示しない。

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

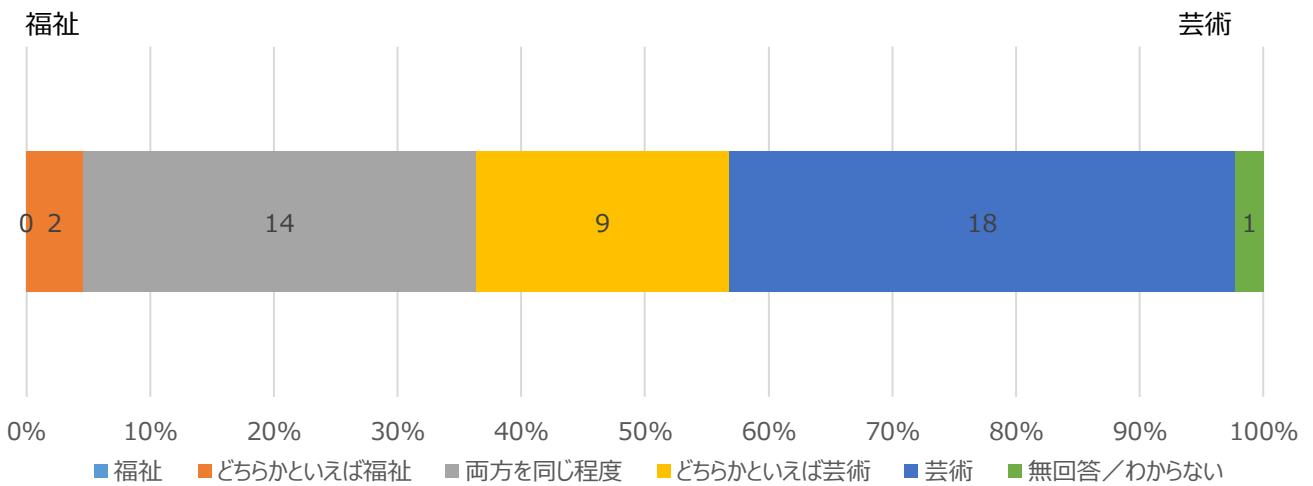
C 実演団体 アンケート集計・分析（詳細版）

調査対象 障がいのある人々とともに舞台芸術作品を制作し、不特定多数の観客に向けた公演活動を行っている全国の団体
 （子どもが主たる活動参加者である場合を除く） 60 団体
 調査期間 2017年9月6日（火）～9月26日（月）
 調査方法 趣旨をメール・電話で説明のうえ、調査票をメールまたは郵便で受発信
 有効回答 44 件
 回収率 73.3%
 分析者 日本財団パラリンピックサポートセンター パラリンピック研究会 上級研究員 佐藤 宏美

I 障がいのある人が参加する表現活動について

1. 活動の分野に関する意識

I Q 1. 貴団体の活動について、「福祉」と「芸術」のどちらを強く意識していますか。



（全編を通じて、特に記載のある項以外の有効回答数：44）

2. 活動ジャンル・形態

I Q 4. 活動のジャンルについて教えてください。（複数回答可）

	件数	割合	詳細
ダンス／舞踊	21	47.7%	コンテンポラリーダンス(7)、車いすダンス(4)、即興ダンス(2)、社交ダンス(2)、即興パフォーマンス(1)、ストリートダンス(1)、インクルーシブダンス(1)、フリーダンス(1)、手話パフォーマンス(1)、競技ダンス(1)
音楽	15	34.1%	太鼓(9)、楽器(5)、歌(5)、即興音楽(2)
演劇	14	31.8%	
ミュージカル	5	11.4%	
伝統芸能	3	6.8%	狂言(2)、神楽(1)、能(1)
人形劇	2	4.5%	
演芸	1	2.3%	
その他	1	2.3%	サーカス(1)

I Q 5. Q 4 で選んだ活動の形態はどれですか。（複数回答可）

	件数	割合
上演(*)を目的とした作品づくり	34	77.3%
ワークショップ	17	38.6%
サークル、余暇活動	13	29.5%
レッスン、教室(発表会を含む)	11	25.0%
その他	3	6.8%

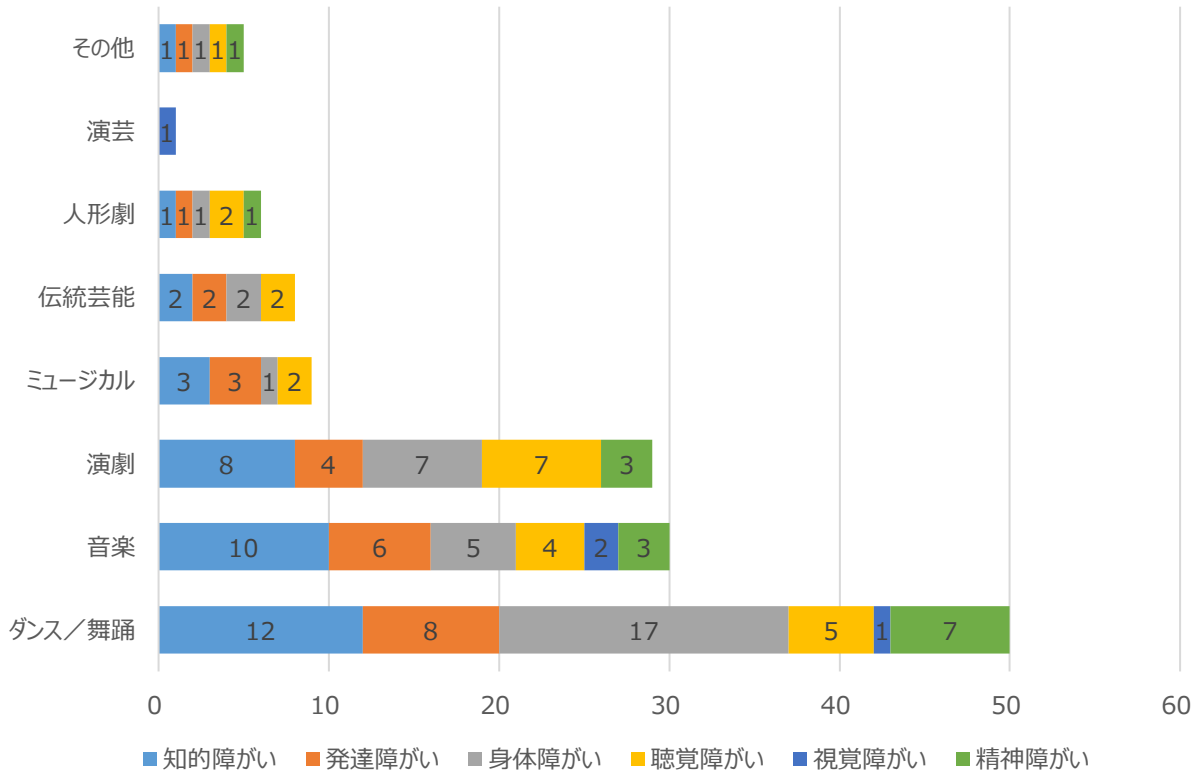
(*上演とは、部内の関係者や家族のみを観客とする発表会等を除きます。以下、同。)

3. 参加者の障がい種別

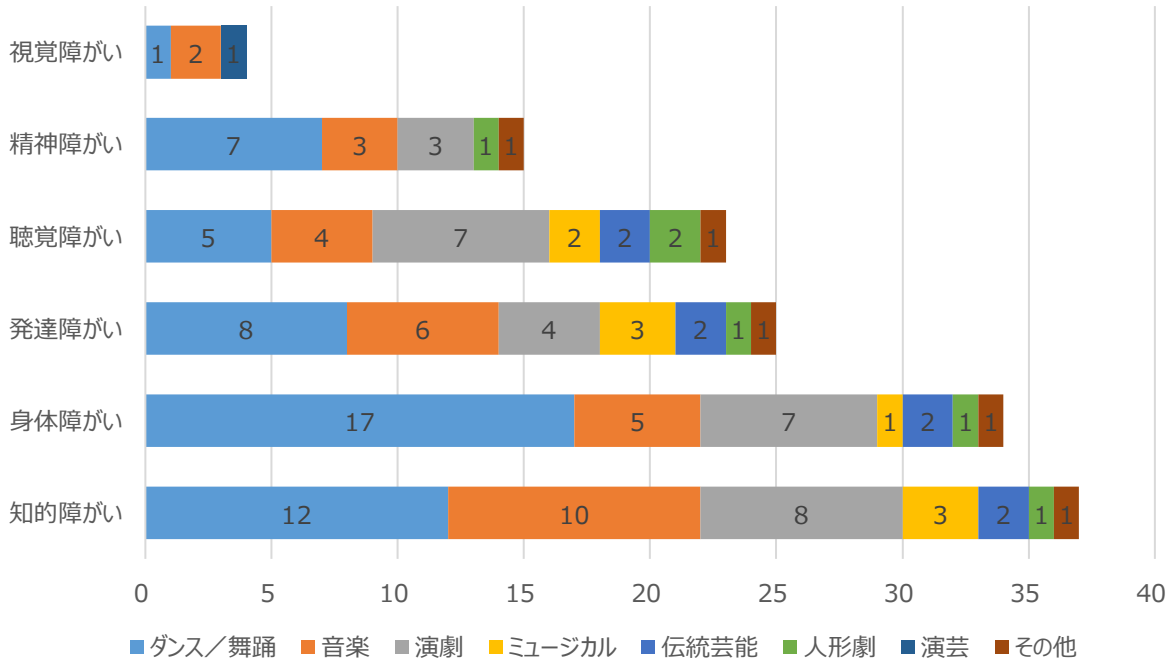
I Q 3. 参加者の障がい種別について教えてください。（複数回答可）

	件数	割合
知的障がい	28	63.6%
発達障がい	17	38.6%
身体障がい	23	52.3%
聴覚障がい	14	31.8%
視覚障がい	3	6.8%
精神障がい	10	22.7%
その他	0	0.0%

障がい種別（IQ4）と活動ジャンル（IQ3）のクロス集計

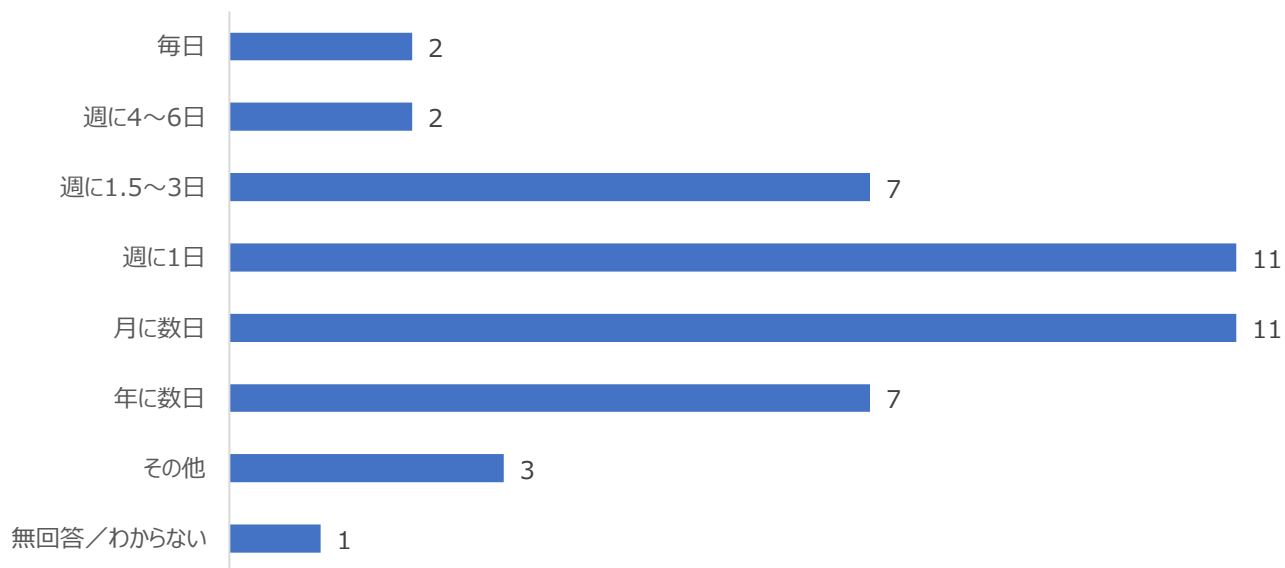


活動ジャンル（IQ3）と障がい種別（IQ4）のクロス集計



4. 活動頻度

I Q 6. 日ごろの練習活動の頻度を教えてください。



I Q 7. 2015 年度の一年間に何回、障がいのある人が参加する舞台芸術作品を上演しましたか。

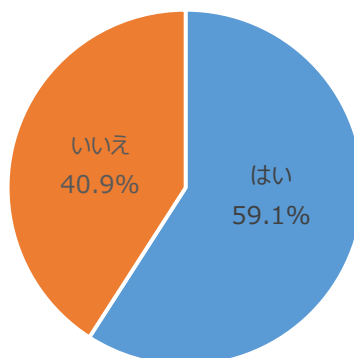
	件数	割合
0回	6	14.0%
1~5回	21	48.8%
6~10回	4	9.3%
11~15回	2	4.7%
16~	10	23.3%
無回答/わからない	1	2.3%

最少	0
最多	94
平均	11.5
中央値	3

5. 日常的な活動場所

I Q 2. 日常的に舞台芸術活動を行う場所について

I Q 2 -1. 活動を行う場所をもっていますか。



→Q2-1 で「(2)いいえ」と答えた方

I Q2-2. どこを借りていますか。（複数回答可）

	件数	割合
地域の公共文化施設	12	66.7%
福祉施設（自治体以外の地域支援センター、作業所など）	5	27.8%
地域の民間文化施設（民間経営の音楽教室など）	5	27.8%
教室、スタジオなど	3	16.7%
学校	2	11.1%
その他	0	0.0%

（有効回答数：18）

6. 情報発信手段

I Q8. 活動に関する情報発信の方法を教えてください。（複数回答可）

	件数	割合
チラシ、ポスター	33	75.0%
ホームページ	31	70.5%
口コミ	30	68.2%
SNS（フェイスブック、ツイッターなど）	26	59.1%
新聞、情報誌、ウェブマガジンなど外部の媒体	21	47.7%
ダイレクトメール、メーリングリスト	20	45.5%
テレビ、ラジオ	14	31.8%
その他	7	15.9%

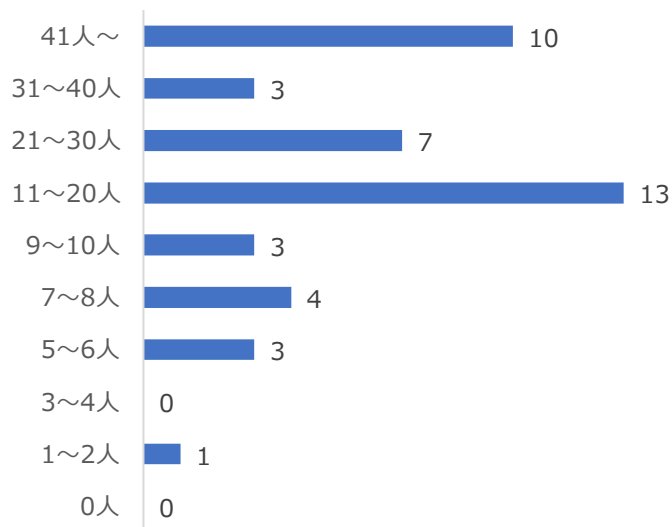
I Q9. 外国語でどのように情報を発信していますか。（複数回答可）

	件数	割合
ウェブページをつくっている	2	4.5%
SNS で発信している	1	2.3%
その他	6	13.6%
外国語で発信を行っていない	36	81.8%

7. 活動者数

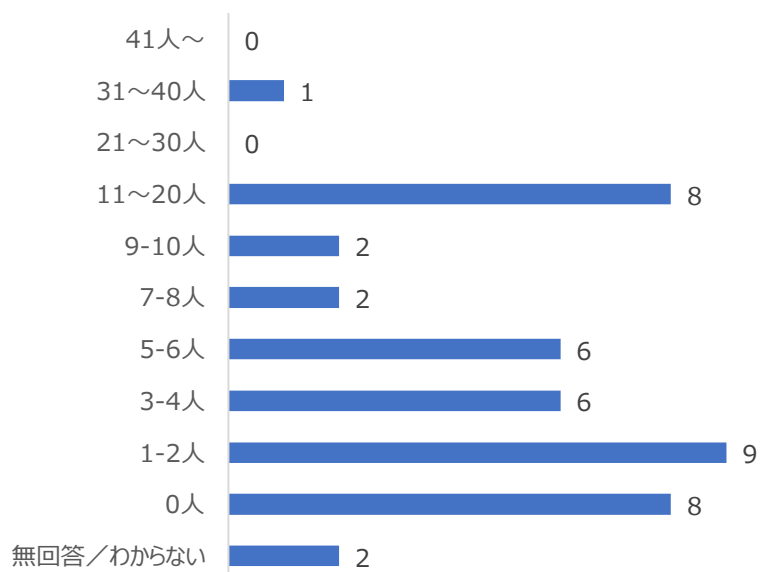
I Q10. 活動に携わる人について教えてください。

I Q10-1. 活動に携わる人は全部で何人いますか（アーティスト、指導者、運営者、支援者など。障がいのある人を含む）。



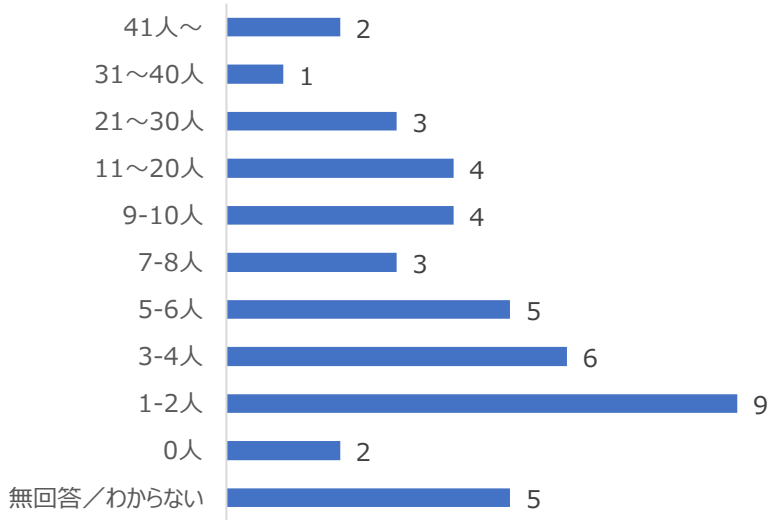
最少	1.0
最多	280.0
平均	32.3
中央値	20.0
標準偏差	42.7

I Q10-2. フルタイムで携わる人は何人ですか。



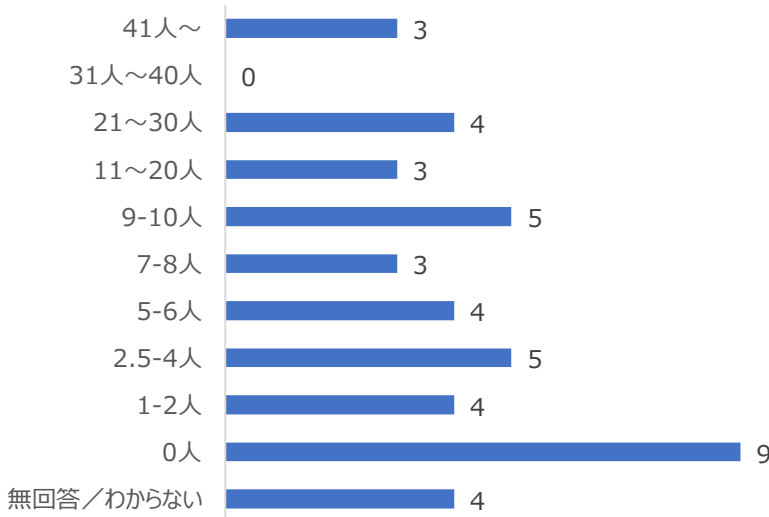
最少	0.0
最多	39.0
平均	6.6
中央値	4.0
標準偏差	8.1

I Q10-3. フルタイム以外で、恒常的に携わる人は何人ですか。



最少	0.0
最多	76.0
平均	10.8
中央値	6.0
標準偏差	15.0

I Q10-4. フルタイム以外で、上演の時だけ携わる人は何人ですか。



最少	0.0
最多	180.0
平均	14.1
中央値	5.3
標準偏差	29.8

8. 参加者が得たもの

I Q11. 貴団体が行う障がいのある人が参加する舞台芸術活動を通じて、障がいのある参加者がどのようなことを得たと考えますか。（3つまで回答可）

	件数	割合
達成感・充実感を味わえた	30	68.2%
自分により自信が持てるようになった	24	54.5%
表現者としての可能性に気づくことができた	22	50.0%
価値観を共有できる仲間ができた	16	36.4%
地域のさまざまな人とのつながりができた	15	34.1%
社会、地域に対して障がい者に関わる問題を提起することができた	10	22.7%
知識やノウハウが豊かになった	6	13.6%
社会・地域の一員としての意識が増した	3	6.8%
その他	5	11.4%
特になし	0	0.0%

（回答者のうち 1 件は 5 つ選択）

9. 社会的な効果

I Q12. 貴団体が行う障がいのある人が参加する舞台芸術活動は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか。（3つまで回答可）

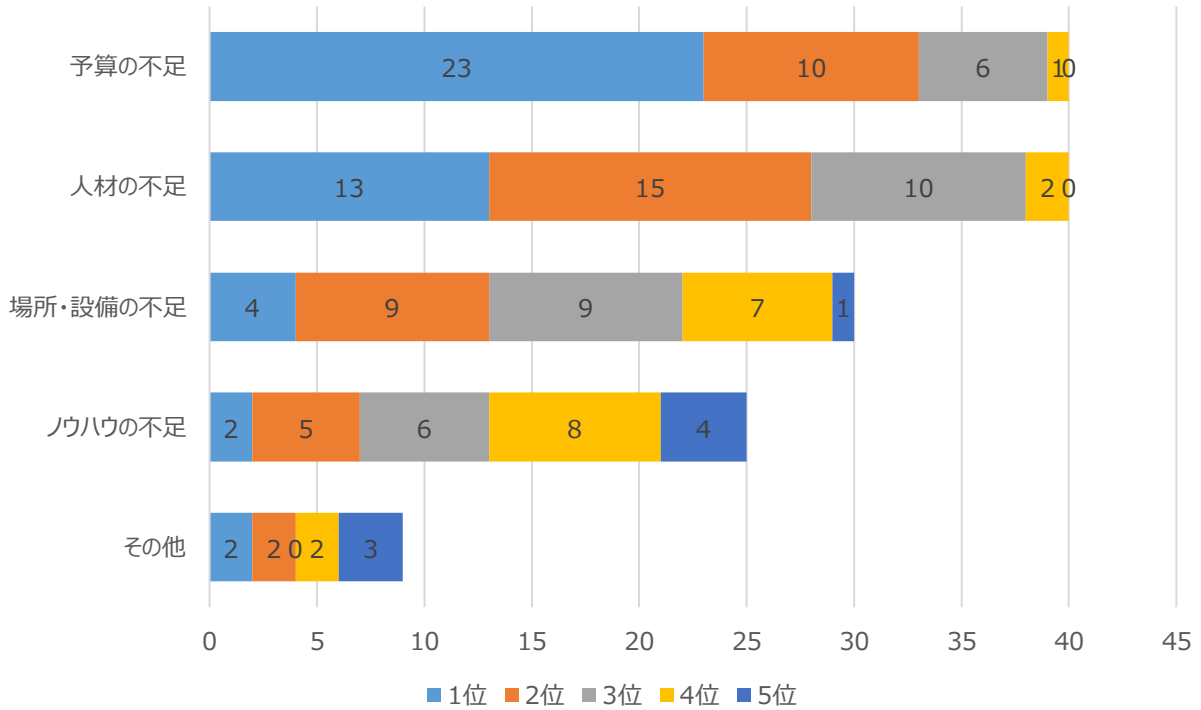
	件数	割合
障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた	27	61.4%
障がい者の家族など周囲の人々が、新たな可能性を見出すことができた	25	56.8%
既存の舞台芸術にはない、新しい表現方法を探ることができた	23	52.3%
芸術そのものの価値や意味を問い直すことができた	14	31.8%
今まで活動に参加しなかった人の参加を促すことができた	11	25.0%
地域社会が障がい者に対してより友好的になった	11	25.0%
自治会や NPO 等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった	7	15.9%
行政や社会福祉協議会等による新しいサービス開始のきっかけとなった	2	4.5%
行政や社会福祉協議会等による新しいサービス改善のきっかけとなった	2	4.5%
その他	5	11.4%
特になし	0	0.0%

（回答者のうち 1 件は 4 つ選択）

10. 活動上の問題

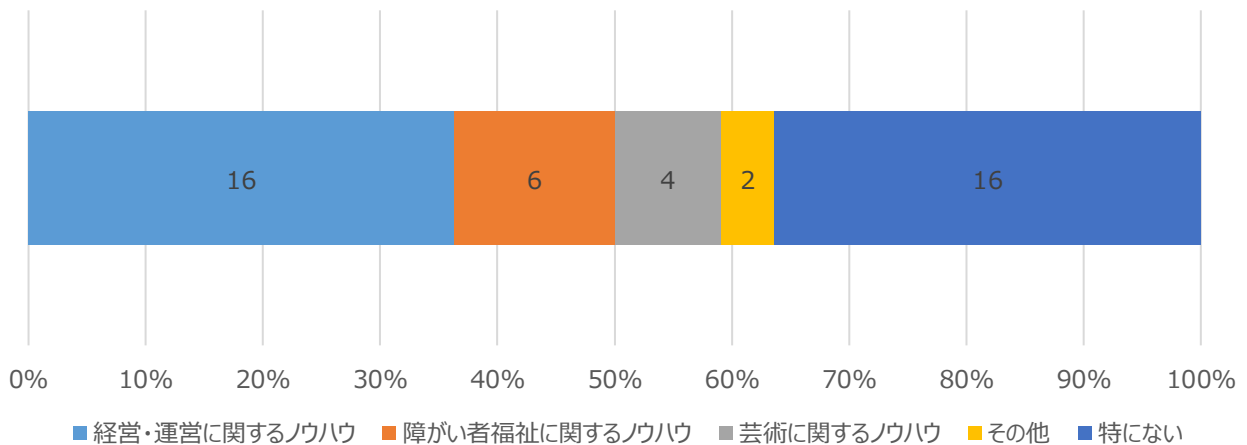
I Q13. 障がいのある人が参加する活動の問題について

I Q13-1. 活動を継続していくうえで、何が問題になっていますか。「ノウハウ」「人材」「予算」「場所・設備」「その他」について、深刻なものから順位をつけてください。該当がない順位は空欄としてください。

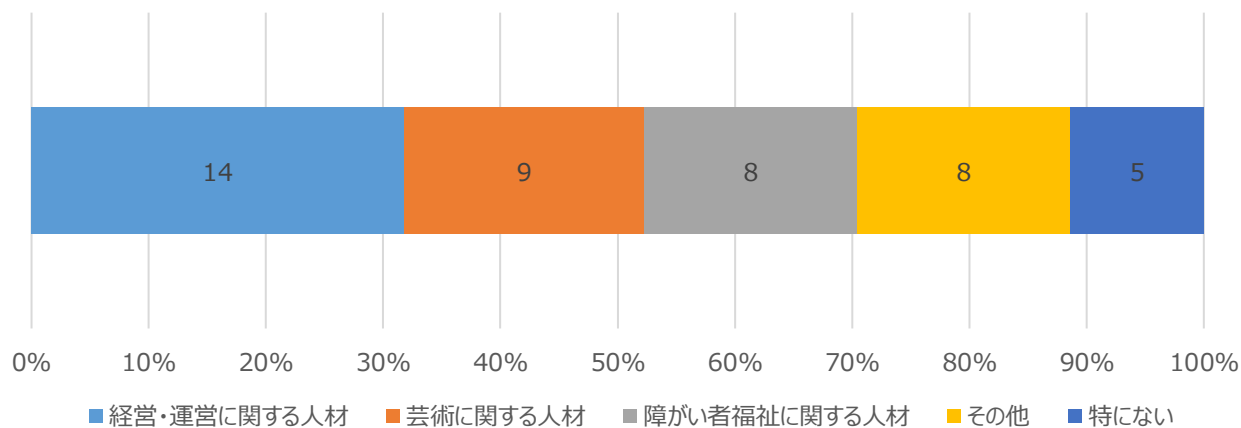


(有効回答数：1位44, 2位41, 3位31, 4位20, 5位8)

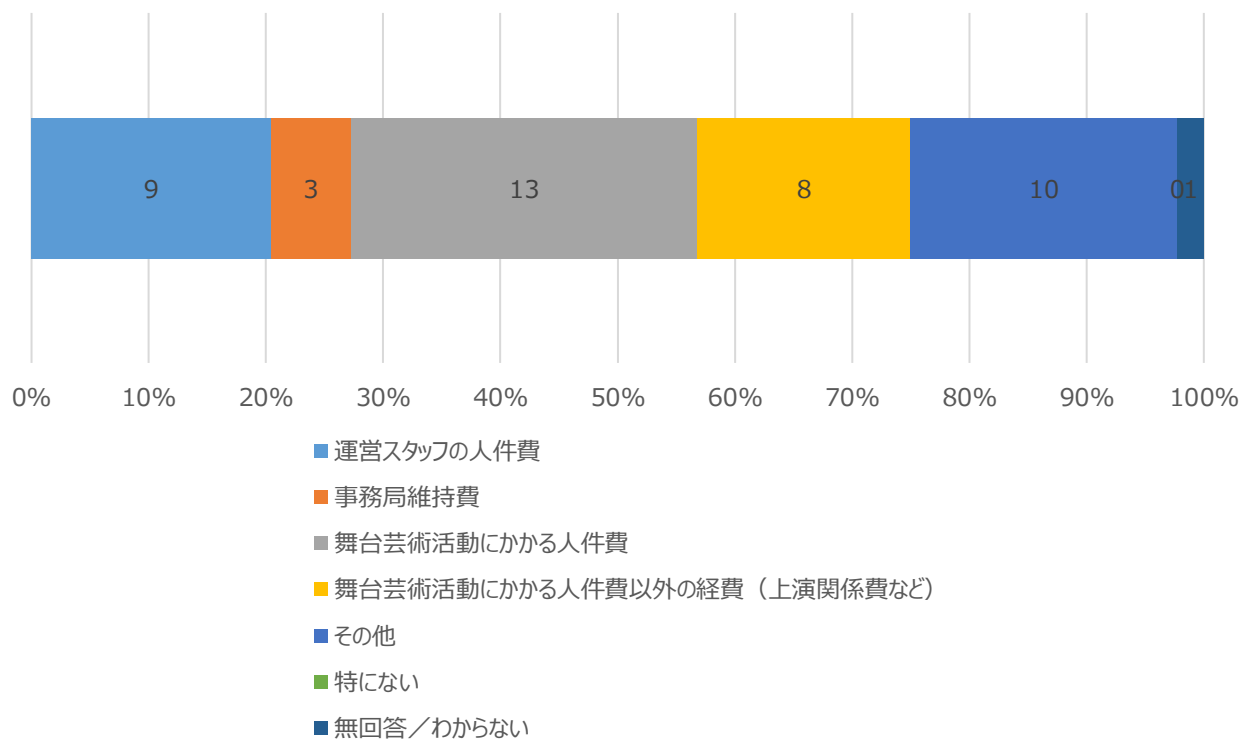
I Q13-2. ノウハウの不足に関して、もっとも深刻な課題を1つ選んでください。



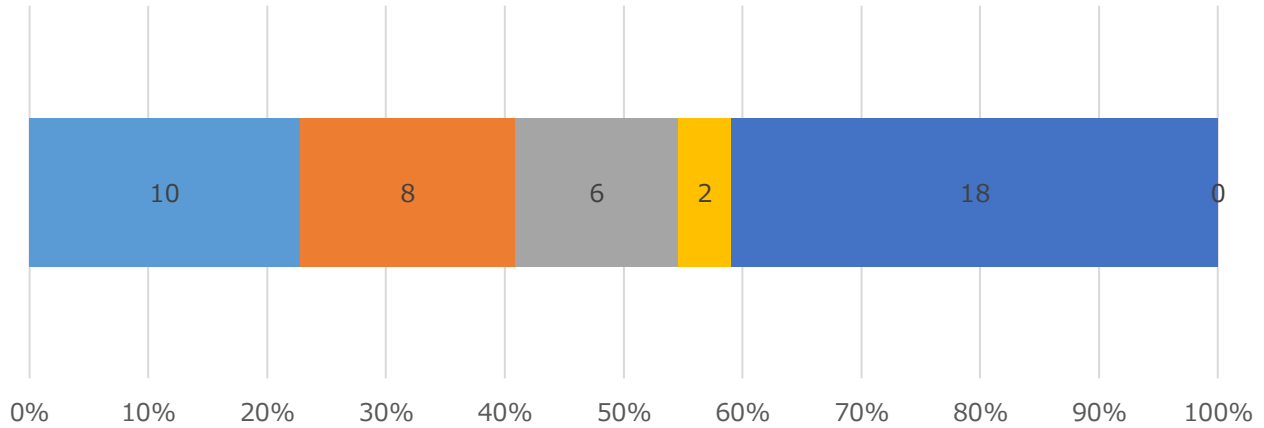
I Q13-3. 人材の不足に関して、もっとも深刻な課題を1つ選んでください。



I Q13-4. 予算の不足に関して、もっとも深刻な課題を1つ選んでください。



I Q13-5. 場所・設備の不足に関して、もっとも深刻な課題を1つ選んでください。



- 借りるための手続きに手間や時間がかかる
- 活動に適した場所が少ない
- 障がいのある参加者に必要な設備が整っていない
- 活動したい場所を貸してもらえない（障がいのある参加者がいることが理由で）
- その他
- 特になし

11. 活動上の工夫点

I Q14. 障がいのある人の表現活動参加に際して、どのような工夫をしていますか。

I Q14-1. 設備面

（主な回答を抜粋。以下、同）

空間等	20件	<ul style="list-style-type: none"> ・広めの部屋：車いす使用者が参加しやすいように ・バリアフリー、多目的トイレ ・スタジオ：段差の少ない床面/車いす利用者が寝転がれるようマット敷設/練習時から上演時同様の舞台装飾・演出 ・駐車場：家族の付き添いが多いため駐車場付き施設を借りる/無料使用の交渉 ・障がいのあるスタッフが中心となって、建物の設備(入り口やトイレ、段差等)や駐車場の有無を事前に確認
機器等	13件	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器：消音装置を付属/民間の不用品を利用/演奏が簡単な楽器 ・音響機器：PA などによるハーモニーの調整/音量の調整 ・携帯スロープ・手話通訳、UDトーク
アクセス	7件	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー会社と契約：移動が困難な人向け ・安全性への配慮：移動時/運搬・移動時

I Q14-2. 情報面

対外発信	23 件	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ：県内の福祉施設へ送付/福祉関係者の目にとまりやすいデザイン ・継続的な情報発信/わかりやすい説明 ・福祉用語をなるべく用いない ・若手の発掘・育成のため、養護学校に対する PR
障がいに応じたツールの選択	12 件	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚情報：手話通訳者/身振りが見えるところで手話・会話/見える化の工夫、動画等による演奏振り返りや学習/稽古後に振り返りの会話/動画を撮影し共有/振付などを書き出して配布 /活動予定カレンダー ・聴覚情報：BGM や効果音を稽古の中で説明 ・情報伝達：FAX、電話、メールなど伝わりやすい手段
外部との連携	8 件	<ul style="list-style-type: none"> ・営業活動：他施設との交流/外部の公演に積極的に参加し口コミで広める ・プロアーティストの参加：福祉界のみでの活動にならないように
情報収集・管理	2 件	<ul style="list-style-type: none"> ・会場下見、打ち合わせ ・プライバシーの保護

I Q14-3. 人的対応面（介助者など）

専門家	14 件	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者：技術指導者として雇用 ・手話通訳者 ・介助者：スタッフ全員が医療的ケアまで可能/重複障がい・重度障がいのメンバーを OT や保育士等が対応/遠方で公演する際は他の団体や個人の介助者を紹介してもらう
環境整備	11 件	<ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気醸成：相談・活動しやすい環境づくり /人に迷惑をかけるようなことではなければどのような表現も許される場であるということを感じてもらえるよう、極力表現を制限しない/介助者も遠慮しないで付き添えるような心がけと言葉がけをし、反省会等にも参加してもらう ・スタッフの役割：障がい特性の理解/駅・会場のサポート誘導/同性支援（介助）/指導者と介助者を分離/メンバーの状態に気を配る。不安定なメンバーはさりげなく見守り、危険のないように配慮/過保護にならないようにする
専門家以外	10 件	<ul style="list-style-type: none"> ・手話のできるスタッフ ・ボランティア：ヘアメイクや衣装の着替えなど
スタッフの育成	7 件	<ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚等を身につけるために職員の研修会や学習会等への参加を徹底 ・指導者によって作成された療育プログラムを資格制度化し、資格取得者が指導・支援にあたる ・身体的精神的ハードルをとりぞき対応するアクセスコーディネーターと、障がいのある参加者のサポートをしながら一緒に表現活動を行うアカンパニストを育成
参加者の限定	2 件	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ、キャストとも手話のできる人材のみを採用 ・自力で稽古可能な人のみを募集

I Q14-4. その他

活動の活性化・多様化	6 件	<ul style="list-style-type: none"> ・意識の共有：常に前向きなポジティブなエネルギー/稽古が楽しみになるようにする ・内外からの参加の促進：参加しやすい時間・空間・規模・内容 ・表現・振付のアレンジ：表現者と鑑賞者の障がいに応じて
活動の体系化	3 件	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀作法の習得 ・演技の高度化に向け脳機能・身体機能を発達促進させるための基礎訓練 ・コミュニケーション手段の統一化：聴覚障がいの有無に関わらず手話を用いる

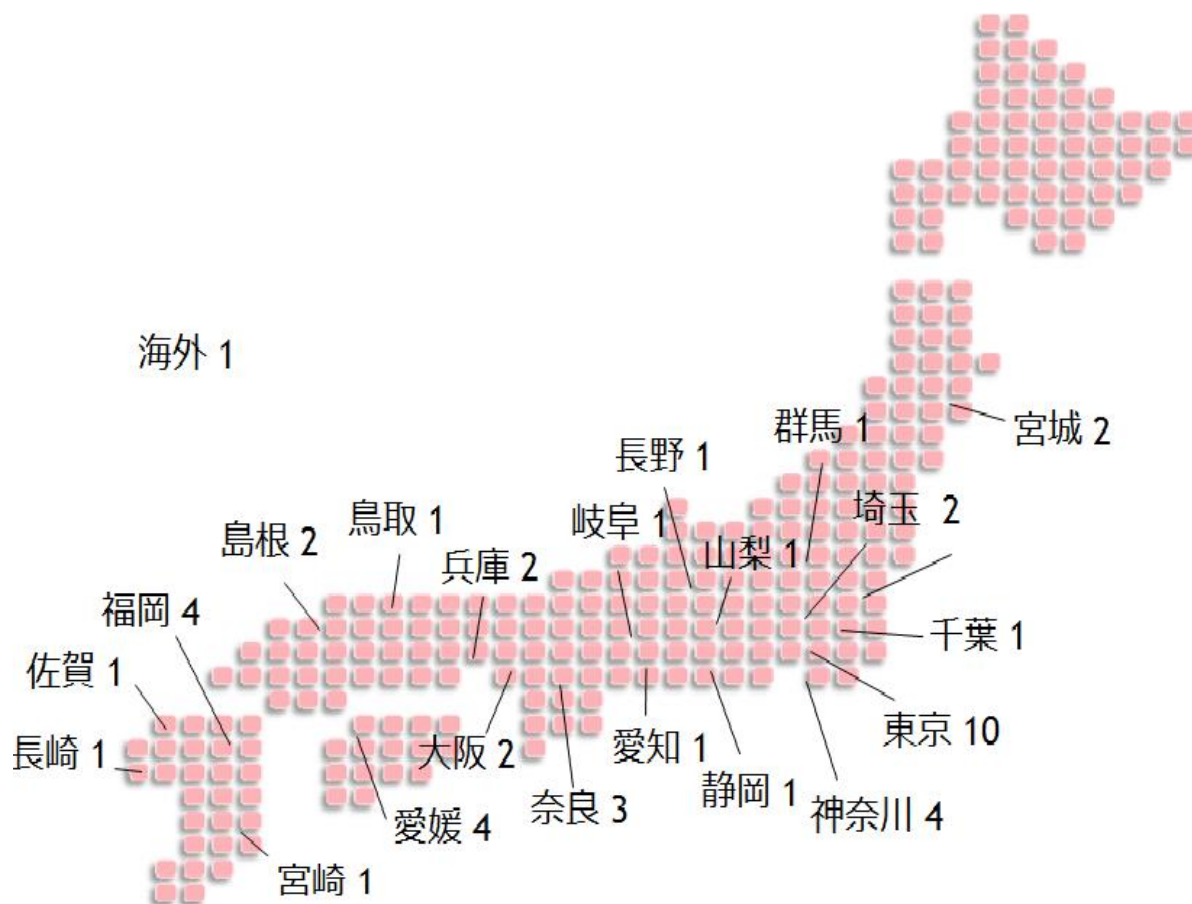
II 団体について

1 2. 団体の概要

II Q 1. 団体の運営形態は、次のいずれですか。

	件数	割合
任意団体	15	34.1%
その他の NPO 法人	11	25.0%
社会福祉法人	6	13.6%
公益財団法人	1	2.3%
認定 NPO 法人	1	2.3%
株式会社	1	2.3%
有限会社	1	2.3%
公益社団法人	0	0.0%
一般社団法人	0	0.0%
一般財団法人	0	0.0%
その他	8	18.2%

II Q3. 主たる活動を行う都道府県は、どこですか。（複数回答可）



地方別	件数
北海道	0
東北	2
関東	16
中部	5
近畿	6
中国	3
四国	4
九州	6
沖縄	0
全国	2

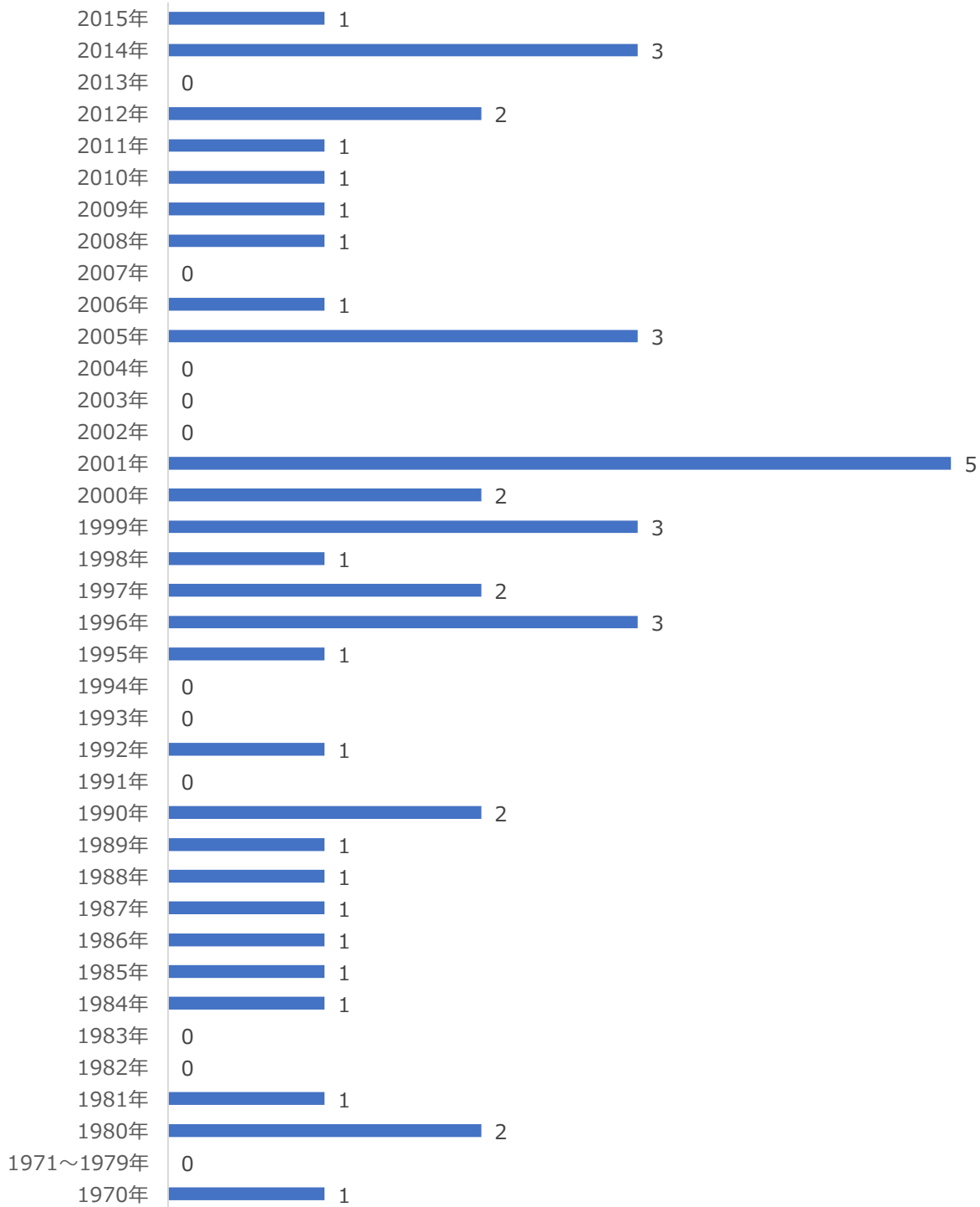
（複数回答の場合は初出の都道府県名で集計）

※報告書ダイジェスト版 P.12「（3）主たる活動を行う都道府県は、どこですか？」の記述について、以下のとおり訂正します。

誤 「九州に 7 件、近畿と中部に各 5 件」

正 「九州と近畿に各 6 件、中部に 5 件」

II Q 4 . 設立年を西暦でお答えください。



13. 活動目的

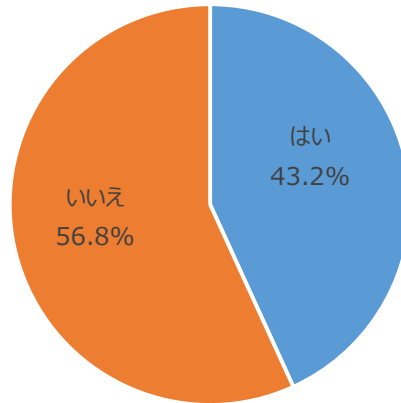
II Q5. 活動目的は何ですか。定款などがあれば、その通りに記述してください。（回答をキーワードで分類）

芸術 (37件)	主体者 (30件)	障がい者 (16件)	
		障がい者と非障がい者 (14件)	
	手段 (29件)	社会変革のため (13件)	<文化的な社会> ・より豊かな生活を享受できる環境をつくる ・芸術の自由な精神を礎に、個々人の特性を生かし自立した豊かな暮らしを地域社会で営むことに寄与する <社会的包摂> ・誰もが生き生きと輝いて生きていけるバリアフリーな成熟した地域社会づくりを目指す ・育みあう包容力のあるインクルーシブな社会の実現に寄与する ・誰もが居場所と役割を実感できる地域社会の実現に貢献する <協働> ・多様な分野の人々との協働により、商品開発、創造産業の支援を行い、市民の生きがいづくりに寄与する
		コミュニケーションのため (10件)	・ふれあいを通じた仲間づくり ・地域での交流、連帯をはかり、会員相互の親睦をはかる 地域社会の人々との交流を図る
		社会参加のため (8件)	・広く社会の人々に対し、勇気や感動をもたらすための活動を行い社会貢献につなげる ・積極的に外部での上演を行い、社会参加の機会を提供する
		学びのため (7件)	・社会経験の蓄積と自身の成長を促す ・障がいのある人との共生と協働を考え、理論と実践の双方向から学習する
		心身のため (4件)	・リハビリテーションの一環とする ・体力の維持/日常生活の充実
		目的 (20件)	芸術への挑戦 (10件)
	芸術の発信 (9件)		
	芸術の創造・向上 (8件)		
芸術の享受 (5件)			
福祉 (3件)	サービス (3件)		

14. 外部からの支援

II Q2. 貴団体の活動・運営に対する資金・その他の支援について教えてください。

II Q2-1. 外部団体から継続的に支援を受けていますか。



→ Q2-1 で「(1)はい」と答えた方

II Q2-2. その団体はどのような組織ですか。（複数回答可）

	件数	割合
民間企業や財団など	15	60.0%
国や地方自治体などの公的機関	10	40.0%
その他	0	0.0%

(有効回答数：19)

→ Q2-1 で「(1)はい」と答えた方

II Q2-3. その団体からどのような支援を受けていますか。（複数回答可）

	件数	割合
資金面の支援	14	46.7%
場所（活動場所や事務所など）の提供による支援	12	40.0%
人的支援（運営スタッフ、ボランティアなど含む）	4	13.3%
その他の支援	0	0.0%

(有効回答数：19)

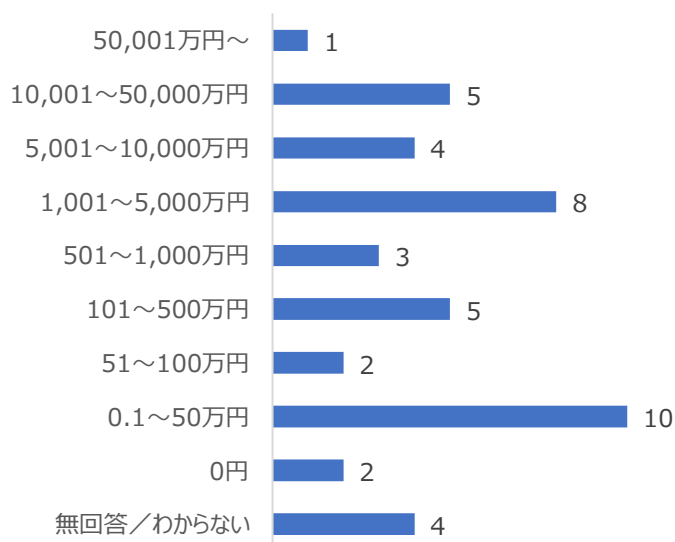
II Q2-4. 支援を受けるために、工夫していることはありますか。

（回答をキーワードで分類）

助成制度等の利用	13 件	・助成申請：同時採択可能なものを探す/規約・会計の透明化/福祉・芸術・まちづくりと意義を書き分ける/目的を明確に伝える ・記録・報告：活動記録をきちんと残す/活動内容の報告 ・クラウドファンディング
団体内の取組み	11 件	・会員：賛助会員の募集/公演・WS での募集/会報の定期送付/コンサートチケット割引制度 ・ボランティア活動：支援の呼びかけ ・社会常識・マナーの学習
外部との関係性	10 件	・営業活動/福祉関係機関へのあいさつ回り ・公共行事・企業行事への参加/演奏依頼をすべて引き受けて縁をつなぐようにする ・参加希望者、家族、施設などの良好な人間関係の構築 ・Facebook 等で活動の報告とお礼の徹底/企画書や報告書を関係機関に送付
表現面の試み	4 件	・表現方法：口話、手話、字幕の活用/参加者が理解しやすい表現を考える ・完成度を高められるよう、企画・内容のレベルアップを目指す
継続的な支援	3 件	

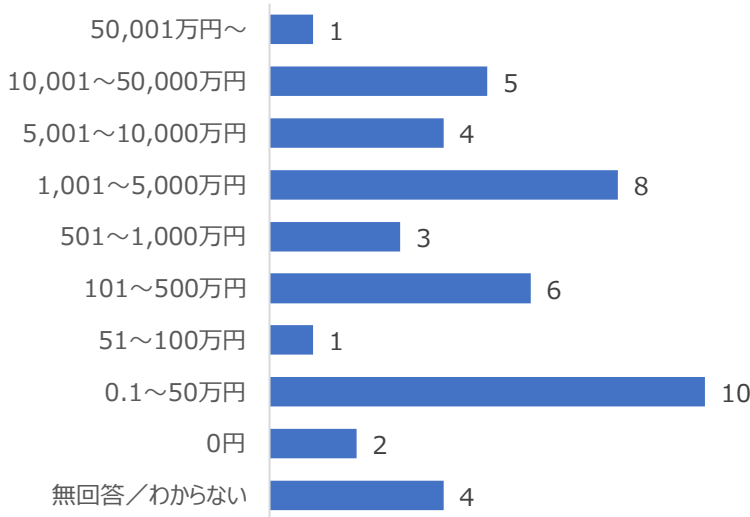
15. 団体の収支

II Q6-1. 2015 年度決算の収入を教えてください。



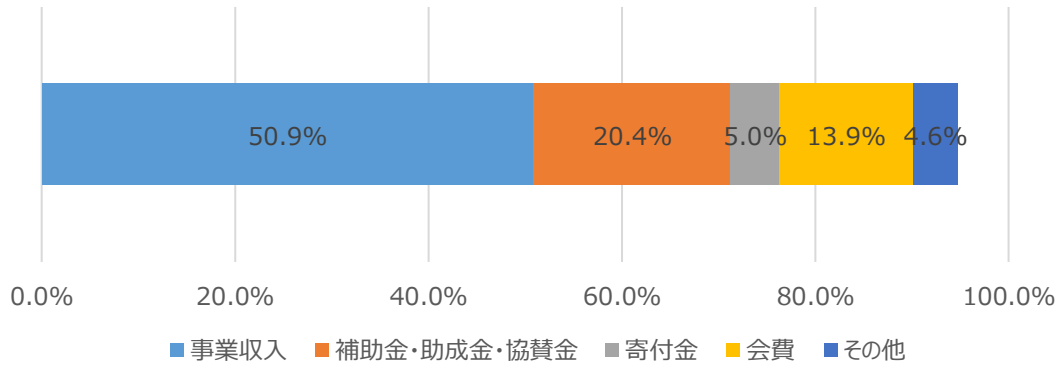
最少	0 万円
最多	59,000 万円
平均	5,208.60 万円
中央値	800 万円
標準偏差	11,493.57 万円

II Q6-2. 2015 年度決算の支出を教えてください。



最少	0 万円
最多	62,700 万円
平均	5,177.64 万円
中央値	750 万円
標準偏差	11,796.57 万円

II Q6-3. 収入のおおよその内訳



(有効回答数 : 38)

II Q6-4. 支出のおおよその内訳（事業費および管理費に占める人件費）

事業費

支出のうち 事業費	件数	割合
0%	4	10.5%
0.01～25%	2	5.3%
26～50%	2	5.3%
51～75%	3	7.9%
76%～	27	71.1%
無回答/ わからない	6	13.6%

事業費のうち 人件費	件数	割合
0%	13	29.5%
0.01～25%	6	13.6%
26～50%	6	13.6%
51～75%	7	15.9%
76%～	6	13.6%
無回答/ わからない	6	13.6%

	支出のうち 事業費	事業費のうち 人件費
最少	0.0%	0.0%
最多	100.0%	100.0%
平均	74.4%	33.4%
中央値	90.0%	30.0%
標準偏差	33.2%	33.2%

管理費

支出のうち 管理費	件数	割合	管理費のうち 人件費	件数	割合		支出のうち 管理費	管理費のうち 人件費
0%	11	25.0%	0%	24	54.5%	最少	0.0%	0.0%
0.01～25%	21	47.7%	0.01～25%	5	11.4%	最多	70.0%	81.0%
26～50%	4	9.1%	26～50%	4	9.1%	平均	12.8%	14.0%
51～75%	2	4.5%	51～75%	4	9.1%	中央値	10.0%	0.0%
76%～	0	0.0%	76%～	1	2.3%	標準偏差	16.0%	24.4%
無回答/ わからない	6	13.6%	無回答/ わからない	6	13.6%			

II Q6-5. 「(1)事業費」のうち、舞台芸術事業に関する支出のおおよその比率

	件数	割合		
0%	6	13.6%	最少	0.0%
0.01～25%	8	18.2%	最多	100.0%
26～50%	7	15.9%	平均	47.1%
51～75%	2	4.5%	中央値	50.0%
76%～	14	31.8%	標準偏差	39.8%

付記：長期にわたる活動歴を持つ団体の特徴

30年以上の活動歴を有する7団体に着目してみると、運営規模、活動形態、支援の有無などには共通点がなく、長期にわたる活動を可能にする条件は、さまざまであることがわかったが、一方で、以下のような傾向が見られた。

- ・社会福祉法人が2つ、公益財団法人と株式会社が各1つと、4団体が法人格を持つ。安定した組織形態が長期的活動を可能にする要素の一つと考えられる（回答者全体では、法人格を持つ団体は43.2%）。他方、3団体が任意団体であったという結果は、個人的な意思や意欲に依存するような一見不安定な形態であっても、長期的な活動継続は十分に可能ということを示している。
- ・年間上演回数は、回答者全体の平均で3回であったのに対し、7団体すべてで平均、またはそれを上回った。しかもそのうち4団体が11回以上で、単純計算でおよそ月1回以上のペースで、コンスタントに作品を披露していることがわかった。同時に、無回答（1）を除く6団体で、回答者全体平均の50.5%を遥かに超える事業収入が得られている。上演回数の多いことが、安定的な事業収入の確保につながっているようである。
- ・4団体が、聴覚障がい者の参加者に特化して活動している。
- ・和太鼓の団体として回答を得た7団体のうち4団体が、1970～1980年代に設立されており、他のジャンルに比べて活動が長期にわたる傾向がみられる。

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査 劇場・文化施設アンケート 集計・分析メモ（詳細版）

調査対象 国立・公立文化施設ならびに民間文化施設 2,385 施設
 公立文化施設協会加盟：1,288 施設 公立文化施設協会非加盟：1,097 施設
 調査期間 平成 28 年 9 月 20 日（火）～9 月 30 日（金）
 調査手法 送付した調査票に手書きし返送
 有効回答 665 件（国立文化施設 6 施設、公立文化施設 625 施設、民間文化施設 34 施設）
 回収率 27.8%
 分析者 株式会社リアライズ バリアフリーイベントディレクター 南部充央

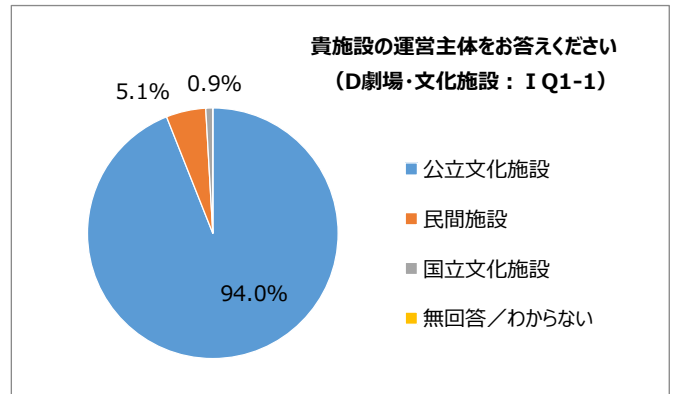
I 基本情報

I Q1. 運営について

I Q1-1. 貴施設の運営主体をお答えください。

	件	%
公立文化施設	625	94.0%
民間施設	34	5.1%
国立文化施設	6	0.9%
無回答／わからない	0	0%

（有効回答数：665）

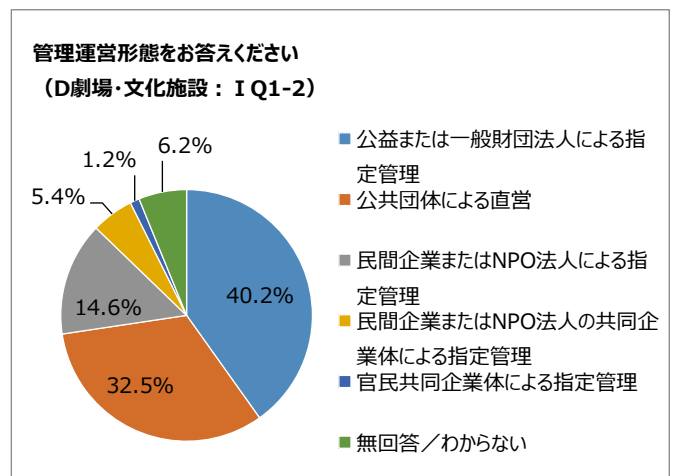


I Q1-1で「（2）公立文化施設」と回答された方

I Q1-2. 管理運営形態をお答えください。

	件	%
公益または一般財団法人による指定管理	267	40.2%
公共団体による直営	216	32.5%
民間企業または NPO 法人による指定管理	97	14.6%
民間企業または NPO 法人の共同企業体による指定管理	36	5.4%
官民共同企業体による指定管理	8	1.2%
無回答／わからない	41	6.2%

（有効回答数：665）

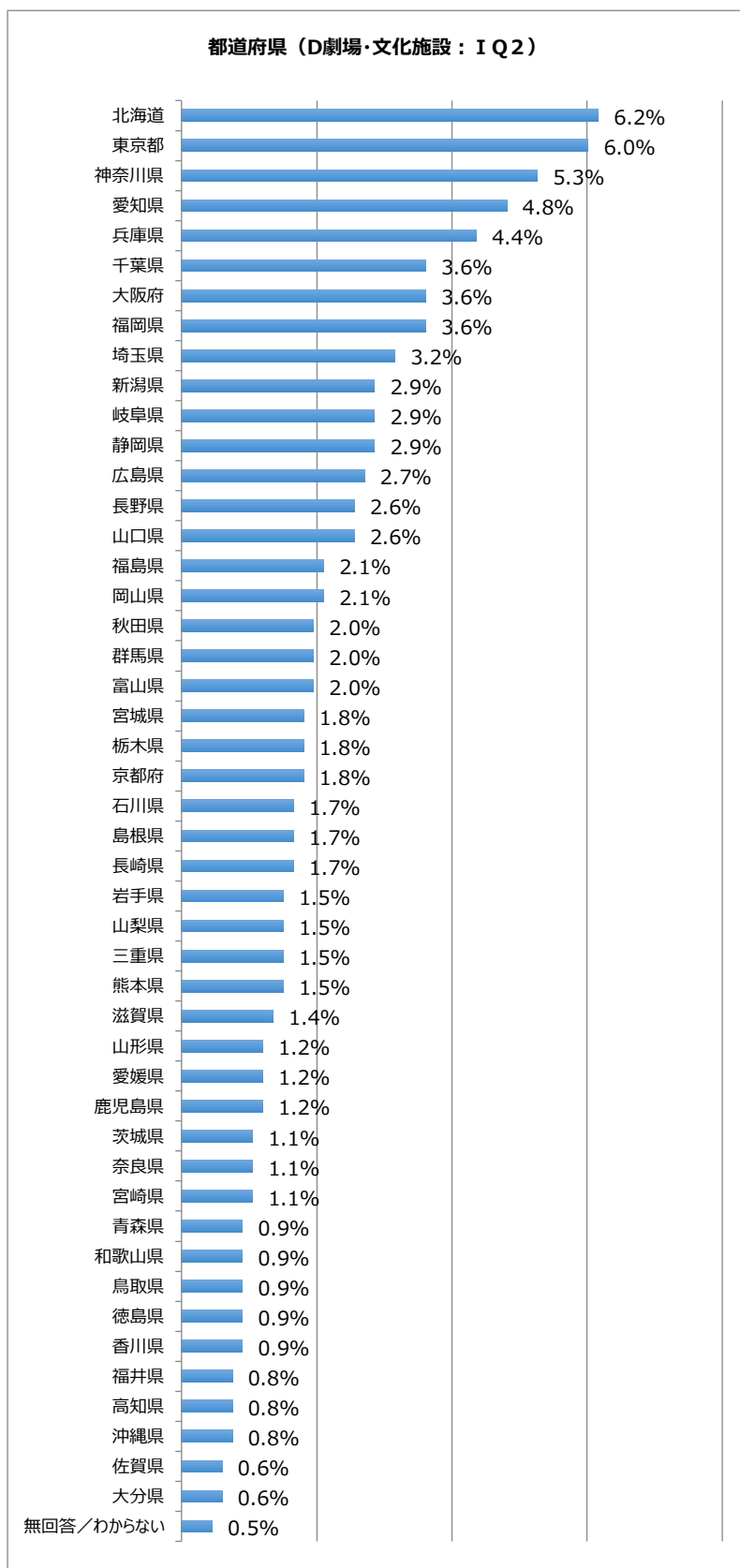


アンケートに回答した 94.0%（625 件）は公立文化施設であった。公立文化施設の管理形態では、公共団体による直営と公益または一般財団法人による指定管理で 78%（483 件）が占められていた。

1Q2. 貴施設の設置場所（都道府県）をお答えください。

	件	%
北海道	41	6.2%
東京都	40	6.0%
神奈川県	35	5.3%
愛知県	32	4.8%
兵庫県	29	4.4%
千葉県	24	3.6%
大阪府	24	3.6%
福岡県	24	3.6%
埼玉県	21	3.2%
新潟県	19	2.9%
岐阜県	19	2.9%
静岡県	19	2.9%
広島県	18	2.7%
長野県	17	2.6%
山口県	17	2.6%
福島県	14	2.1%
岡山県	14	2.1%
秋田県	13	2.0%
群馬県	13	2.0%
富山県	13	2.0%
宮城県	12	1.8%
栃木県	12	1.8%
京都府	12	1.8%
石川県	11	1.7%
島根県	11	1.7%
長崎県	11	1.7%
岩手県	10	1.5%
山梨県	10	1.5%
三重県	10	1.5%
熊本県	10	1.5%
滋賀県	9	1.4%
山形県	8	1.2%
愛媛県	8	1.2%
鹿児島県	8	1.2%
茨城県	7	1.1%
奈良県	7	1.1%
宮崎県	7	1.1%
青森県	6	0.9%
和歌山県	6	0.9%
鳥取県	6	0.9%
徳島県	6	0.9%
香川県	6	0.9%
福井県	5	0.8%
高知県	5	0.8%
沖縄県	5	0.8%
佐賀県	4	0.6%
大分県	4	0.6%
無回答／わからない	3	0.5%

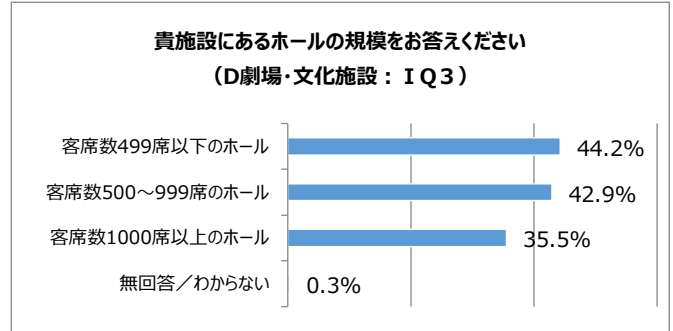
(有効回答数：665)



I Q 3. 貴施設にあるホールの規模をお答えください。（複数回答可）

	件	%
客席数 499 席以下のホール	294	44.2%
客席数 500～999 席のホール	285	42.9%
客席数 1000 席以上のホール	236	35.5%
無回答／わからない	2	0.3%

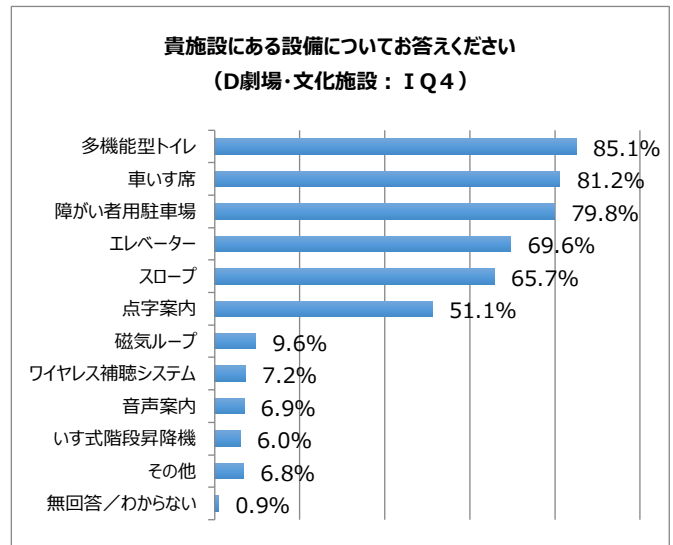
（有効回答数：665）



I Q 4. 貴施設にある設備についてお答えください。（複数回答可）

	件	%
多機能型トイレ	566	85.1%
車いす席	540	81.2%
障がい者用駐車場	531	79.8%
エレベーター	463	69.6%
スロープ	437	65.7%
点字案内	340	51.1%
磁気ループ	64	9.6%
ワイヤレス補聴システム	48	7.2%
音声案内	46	6.9%
いす式階段昇降機	40	6.0%
その他	45	6.8%
無回答／わからない	6	0.9%

（有効回答数：665）



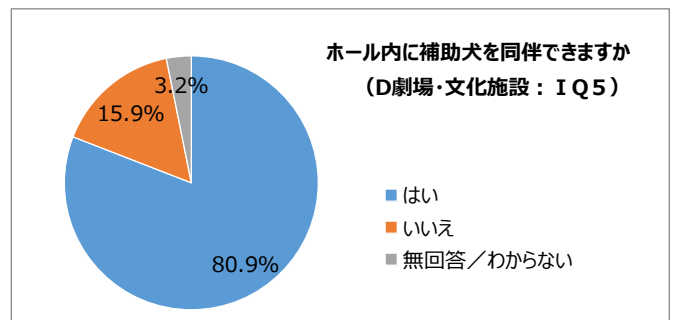
車いす席のある施設は 540 施設／681 ホールで、1 ホール平均 6.1 席あった。エレベーターのある施設は 463 施設で、平均 1.7 基あった。いす式階段昇降機のある施設は 40 で、平均 1.3 基あった。多機能トイレのある施設は 566 で、平均 2.7 個あった。障がい者用駐車場の施設は 531 で、平均 3.3 台あった。その他の設備としては「点字案内板」（10 件）、ついで「車いすリフト」（9 件）、「貸出し用車いす」（6 件）、「補聴システム」（3 件）などがあつた。

多機能トイレや車いす席、障がい者用駐車場、エレベーター、スロープ、点字ブロックのアクセシビリティの設備があると答えた施設は、いずれも 50%を超える高い結果であつた。磁気ループやワイヤレス補聴システム、音声案内の鑑賞・情報をサポートする設備は 10%未滿と非常に少ないことが明らかになつた。

I Q 5. ホール内に補助犬を同伴できますか。

	件	%
はい	538	80.9%
いいえ	106	15.9%
無回答／わからない	21	3.2%

（有効回答数：665）

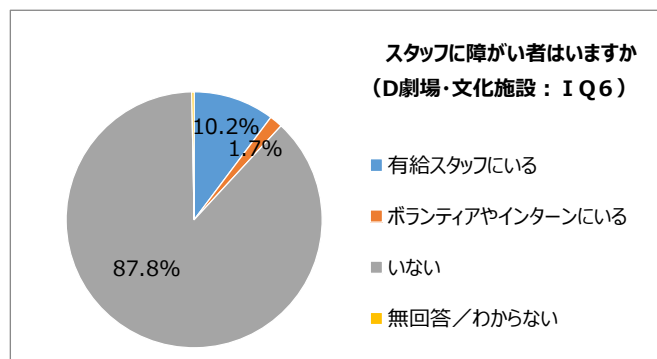


ホール内に補助犬が入れない施設が 15.9%（106 件）あつた。

I Q 6 . スタッフに障がい者はいますか。（複数回答可）

	件	%
有給スタッフにいる	68	10.2%
ボランティアやインターンにいる	11	1.7%
いない	584	87.8%
無回答／わからない	2	0.3%

（有効回答数：665）

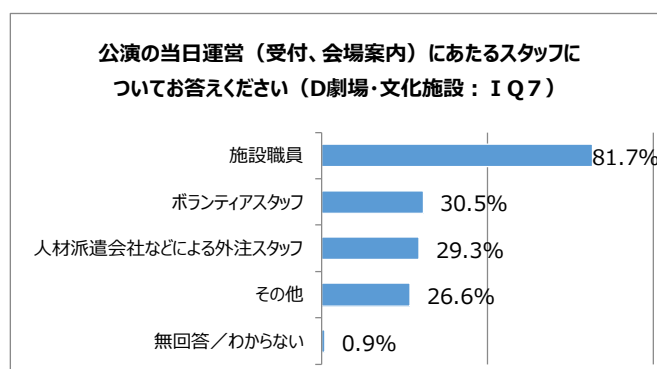


障がいのある人が制作者や運営者として劇場にかかわれている数はとても少ないことが明らかとなった。

I Q 7 . 公演の当日運営（受付、会場案内）にあたるスタッフについてお答えください。（複数回答可）

	件	%
施設職員	543	81.7%
ボランティアスタッフ	203	30.5%
人材派遣会社などによる外注スタッフ	195	29.3%
その他	177	26.6%
無回答／わからない	6	0.9%

（有効回答数：665）



その他の具体的な内容は、98.3%（174 件）が「貸館先のスタッフ」と回答した。

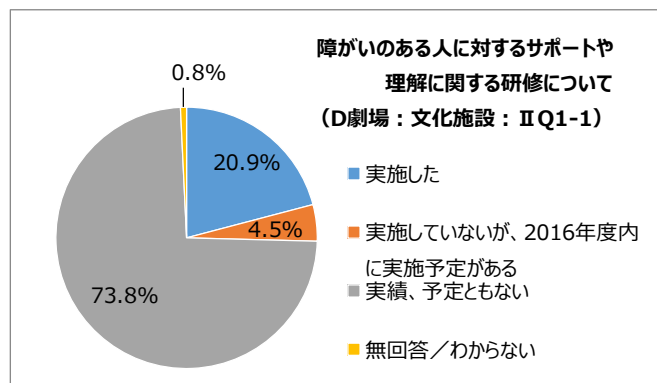
II スタッフ研修について

II Q 1 . 障がいのある人に対するサポートや理解に関する研修について

II Q1-1 . 2015 年 4 月以降の研修の実施状況についてお答えください。

	件	%
実施した	139	20.9%
実施していないが、2016 年度内に実施予定がある	30	4.5%
実績、予定ともない	491	73.8%
無回答／わからない	5	0.8%

（有効回答数：665）

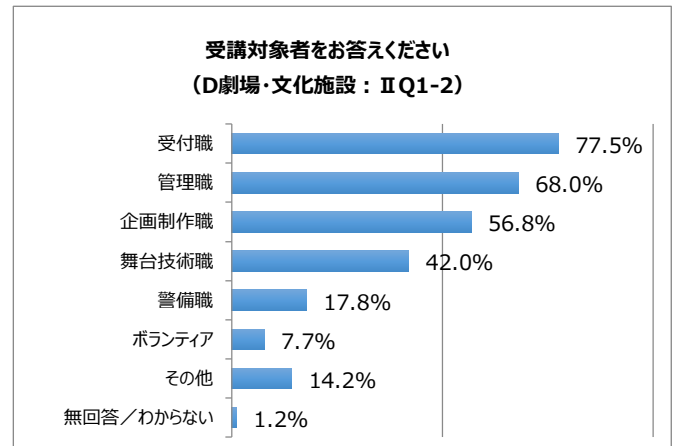


II Q1-1で「（１）実施した」または「（２）実施していないが、2016年度内に実施予定がある」と答えた方に伺います。

II Q1-2. 受講対象者をお答えください。（複数回答可）

	件	%
受付職	131	77.5%
管理職	115	68.0%
企画制作職	96	56.8%
舞台技術職	71	42.0%
警備職	30	17.8%
ボランティア	13	7.7%
その他	24	14.2%
無回答／わからない	2	1.2%

(有効回答数：169)

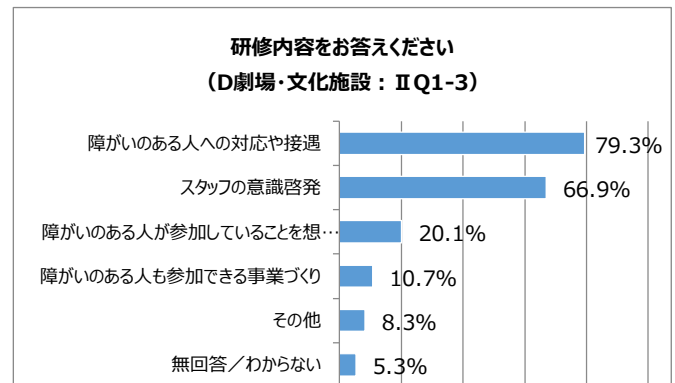


その他の具体的な内容では、「レストランスタッフ」や「清掃員」、「一般参加者」といった少数回答があった。

II Q1-3. 研修内容をお答えください。（複数回答可）

	件	%
障がいのある人への対応や接遇	134	79.3%
スタッフの意識啓発	113	66.9%
障がいのある人が参加していることを想定した危機管理・避難訓練	34	20.1%
障がいのある人も参加できる事業づくり	18	10.7%
その他	14	8.3%
無回答／わからない	9	5.3%

(有効回答数：169)



その他の具体的な内容では、「手話研修」（5件）、ついで「障害者差別解消法に関すること」（4件）があった。

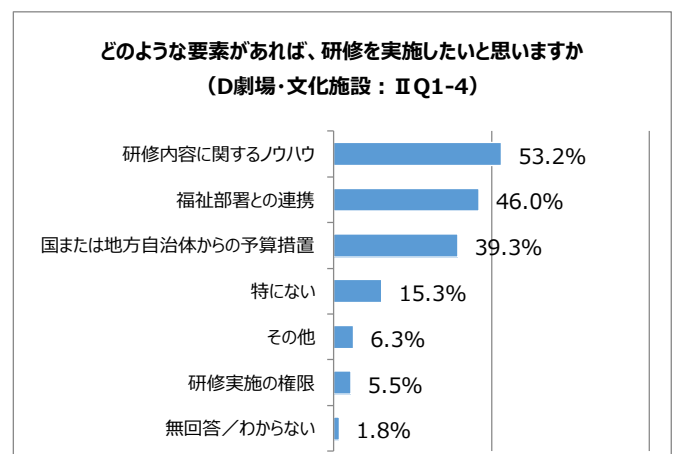
研修を実施しているところでは、意識啓発や接遇対応に関する内容は実施されていますが、具体的な事業づくりや危機管理・避難訓練は実施されていなかった。事業づくりや危機管理・避難訓練についての研修は、設問 2「今後必要な研修」で数値を伸ばしており、多くの劇場が今後取り組む必要性を感じていることがわかる。

II Q1-1で「（３）実績、予定ともない」と答えた方に伺います。

II Q1-4. どのような要素があれば、研修を実施したいと思いますか。（複数回答可）

	件	%
研修内容に関するノウハウ	261	53.2%
福祉部署との連携	226	46.0%
国または地方自治体からの予算措置	193	39.3%
特になし	75	15.3%
その他	31	6.3%
研修実施の権限	27	5.5%
無回答／わからない	9	1.8%

(有効回答数：491)



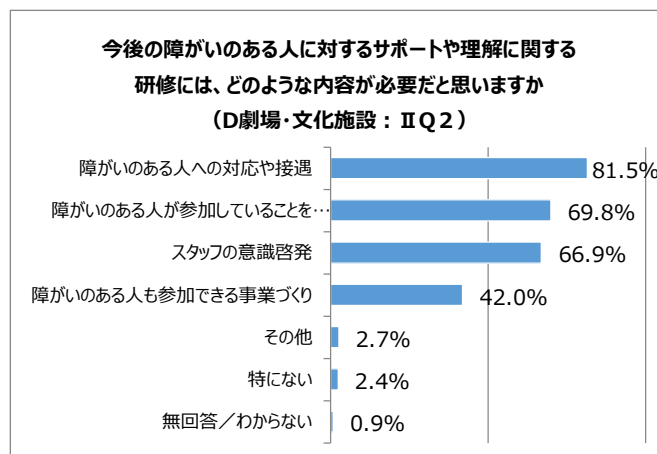
その他の具体的な内容では、「公文協や他の機関での研修があれば」（6件）、「次年度以降に実施予定」（3件）、「人数がい

れば」（2件）、「時間的な余裕があれば」（2件）などがあった。「観客に障がいのある方が増えれば」や「行政の動き待ち」「行政からの要請があれば」といった少数意見もあった。

Ⅱ Q 2. 今後の障がいのある人に対するサポートや理解に関する研修には、どのような内容が必要だと思いますか。（複数回答可）

	件	%
障がいのある人への対応や接遇	542	81.5%
障がいのある人が参加していることを想定した危機管理・避難訓練	464	69.8%
スタッフの意識啓発	445	66.9%
障がいのある人も参加できる事業づくり	279	42.0%
その他	18	2.7%
特にない	16	2.4%
無回答／わからない	6	0.9%

（有効回答数：665）



その他の具体的な内容では、「施設・設備に関すること」（7件）、ついで「実践・体験研修」（2件）、「当日者との意見交換」（1件）、「障害者差別解消法について」（1件）などがあった。

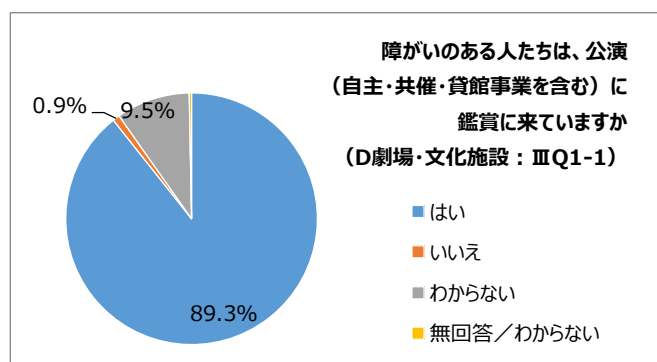
Ⅲ 障がいのある人の鑑賞について

Ⅲ Q1. 障がいのある人たちの鑑賞実態について

Ⅲ Q1-1. 障がいのある人たちは、公演（自主・共催・貸館事業を含む）に鑑賞に来ていますか。

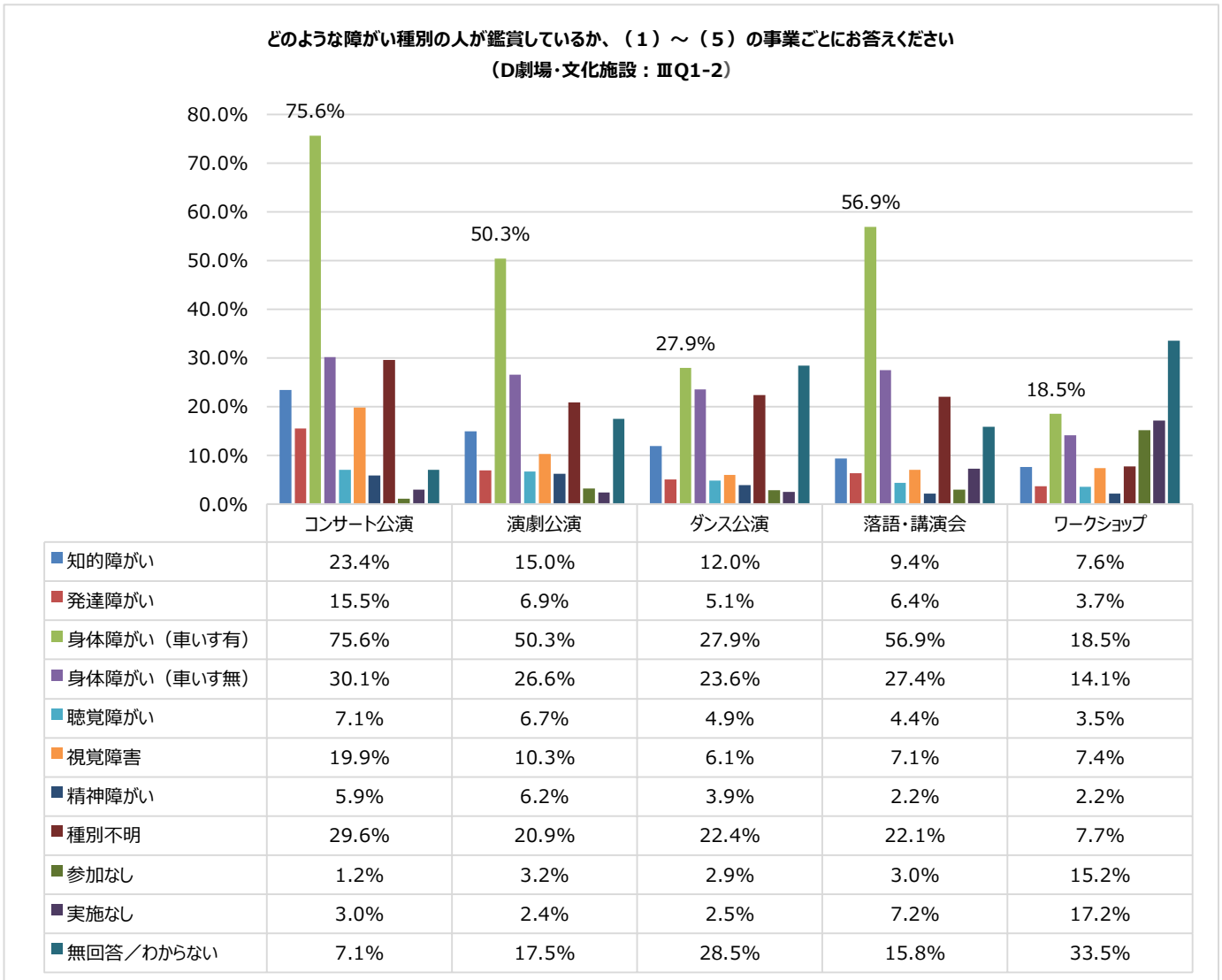
	件	%
はい	594	89.3%
いいえ	6	0.9%
わからない	63	9.5%
無回答／わからない	2	0.3%

（有効回答数：665）



ⅢQ1 1-1で「（1）はい」と答えた方に伺います。

ⅢQ1-2. どのような障がい種別の方が鑑賞しているか、（1）～（5）の事業ごとにお答えください。（複数回答可）

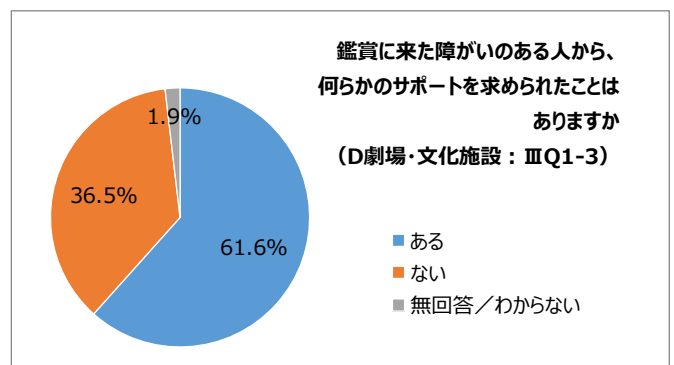


（有効回答数：594）

ⅢQ1-3. 鑑賞に来た障がいのある人から、何らかのサポートを求められたことはありますか。

	件	%
ある	366	61.6%
ない	217	36.5%
無回答／わからない	11	1.9%

（有効回答数：366）

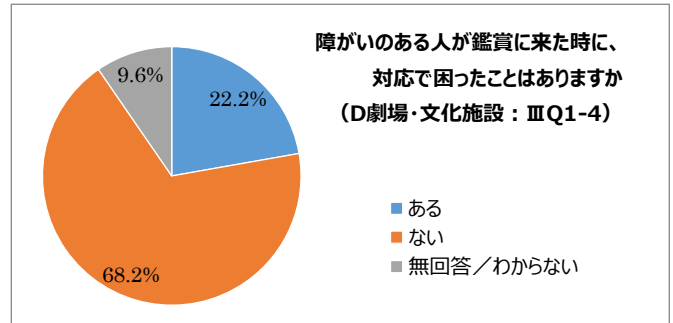


「（1）ある」の具体的な内容では、案内誘導と車いす対応で7割を超えていた。その他の少数意見としては、手話通訳や筆談といったコミュニケーション対応、優先入場や座席・駐車場の優先確保などがあつた。

ⅢQ1-4. 障がいのある人が鑑賞に来た時に、対応で困ったことはありますか。

	件	%
ある	132	22.2%
ない	405	68.2%
無回答／わからない	57	9.6%

（有効回答数：594）



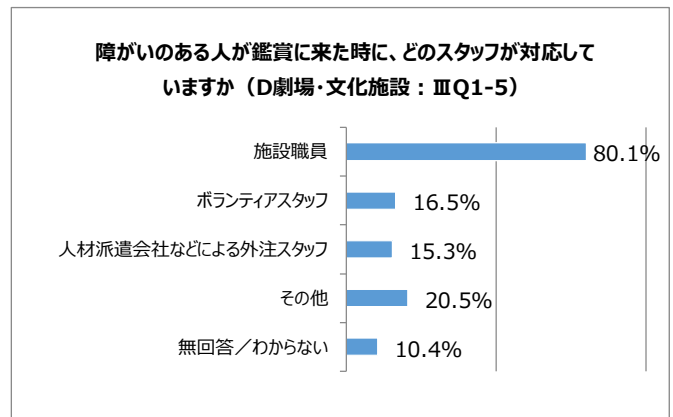
「（1）ある」の具体的な内容では、ハード面よりソフト面での対応に困ったことのある施設が 1.5 倍以上多い回答が寄せられた。多くの劇場では、障がいのある人たちが鑑賞に訪れていると認識していることがわかりました。訪れている障害種別は、どの事業でも車いす利用者が最も多い結果となった。

鑑賞に来た障がいのある人たちから、何らかのサポートを求められた劇場は 61.6%（366 件）で、その内容の 7 割は案内誘導と車いす対応で占められており、対応で困ったと答える劇場は 22.2%（132 件）に留まった。現状では、劇場は障がいのある人の対応でそれほど困っていないことが推測できる。

ⅢQ1-5. 障がいのある人が鑑賞に来た時に、どのスタッフが対応していますか。

	件	%
施設職員	476	80.1%
ボランティアスタッフ	98	16.5%
人材派遣会社などによる外注スタッフ	91	15.3%
その他	122	20.5%
無回答／わからない	62	10.4%

（有効回答数：594）

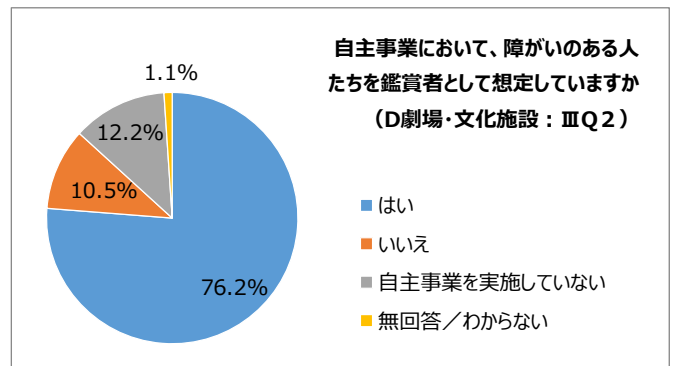


その他の具体的な内容では、「貸館先スタッフ」が 8 割以上を占めた。

ⅢQ2. 自主事業において、障がいのある人たちを鑑賞者として想定していますか。

	件	%
はい	507	76.2%
いいえ	70	10.5%
自主事業を実施していない	81	12.2%
無回答／わからない	7	1.1%

（有効回答数：665）

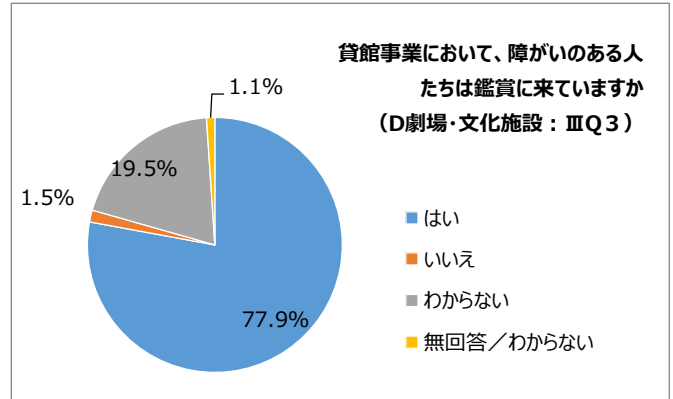


7 割を超える劇場が障がいのある人たちを鑑賞者として想定していることが分かった。自主事業を実施していないところを除くと、さらに想定している率は上がり、8 割を超えてくることがわかった。

ⅢQ3. 貸館事業において、障がいのある人たちは鑑賞に来ていますか。

	件	%
はい	518	77.9%
いいえ	10	1.5%
わからない	130	19.5%
無回答／わからない	7	1.1%

(有効回答数：665)

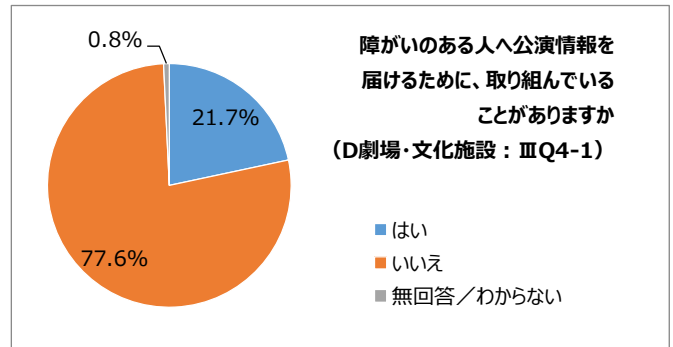


ⅢQ4. 障がいのある人への情報発信について

ⅢQ4-1. 障がいのある人へ公演情報を届けるために、取り組んでいることがありますか。

	件	%
はい	144	21.7%
いいえ	516	77.6%
無回答／わからない	5	0.8%

(有効回答数：665)

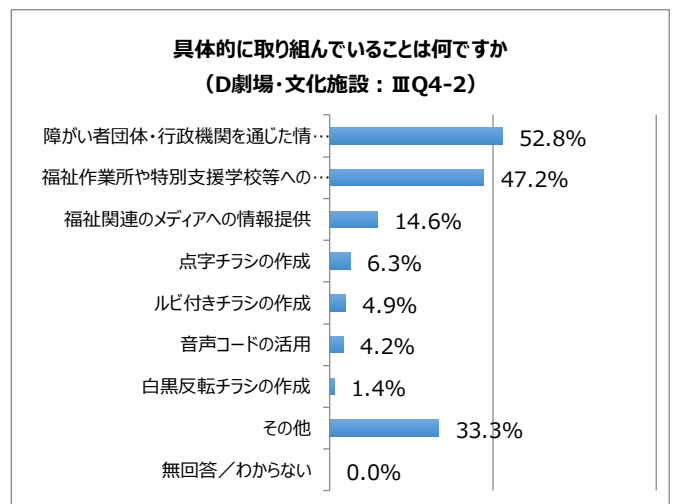


ⅢQ4-1で「(1) はい」と答えた方に伺います。

ⅢQ4-2. 具体的に取り組んでいることは何ですか。(複数回答可)

	件	%
障がい者団体・行政機関を通じた情報発信	76	52.8%
福祉作業所や特別支援学校等への情報発信	68	47.2%
福祉関連のメディアへの情報提供	21	14.6%
点字チラシの作成	9	6.3%
ルビ付きチラシの作成	7	4.9%
音声コードの活用	6	4.2%
白黒反転チラシの作成	2	1.4%
その他	48	33.3%
無回答／わからない	0	0%

(有効回答数：144)



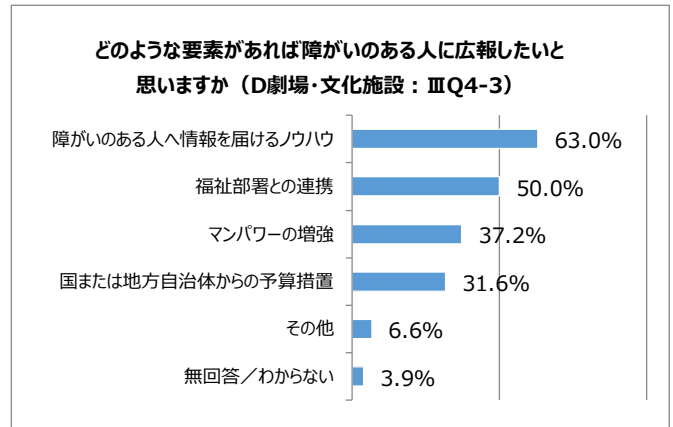
その他の具体的な内容では、「ホームページの音声ソフト導入」や「音声案内版」などによる音声情報（17件）が最も多く、ついで点訳（7件）、直接アプローチ（4件）といった取り組みがあった。

ⅢQ4-1で「（２）いいえ」と答えた方に伺います。

ⅢQ4-3. どのような要素があれば障がいのある人に広報したいと思いますか。（複数回答可）

	件	%
障がいのある人へ情報を届けるノウハウ	325	63.0%
福祉部署との連携	258	50.0%
マンパワーの増強	192	37.2%
国または地方自治体からの予算措置	163	31.6%
その他	34	6.6%
無回答／わからない	20	3.9%

（有効回答数：516）



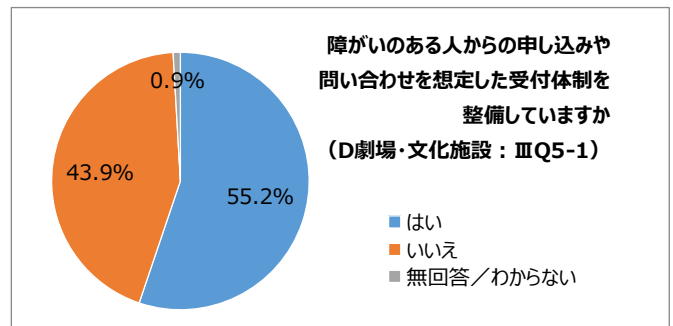
その他の具体的な内容では、「貸館のため主催者から要望があった場合」（8件）、ついで「障がいのある人を限定して情報発信しない」（7件）、「ハードの解消」（5件）、「必要ない」（2件）などがあった。

ⅢQ5. 受付体制について

ⅢQ5-1. 障がいのある人からの申し込みや問い合わせを想定した受付体制を整備していますか。

	件	%
はい	367	55.2%
いいえ	292	43.9%
無回答／わからない	6	0.9%

（有効回答数：665）

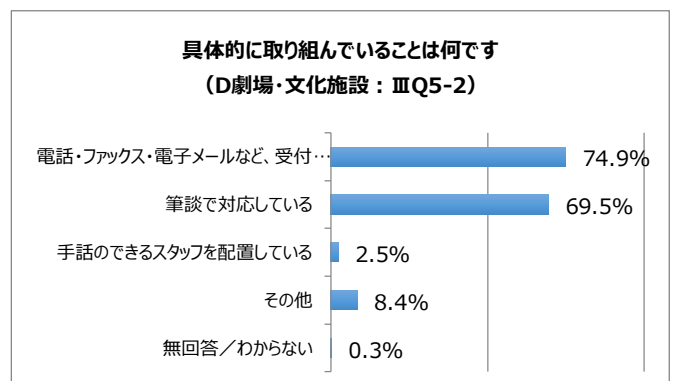


ⅢQ5-1で「（１）はい」と答えた方に伺います。

ⅢQ5-2. 具体的に取り組んでいることは何ですか。（複数回答可）

	件	%
電話・ファックス・電子メールなど、受付方法を多様化している	275	74.9%
筆談で対応している	255	69.5%
手話のできるスタッフを配置している	9	2.5%
その他	31	8.4%
無回答／わからない	1	0.3%

（有効回答数：367）



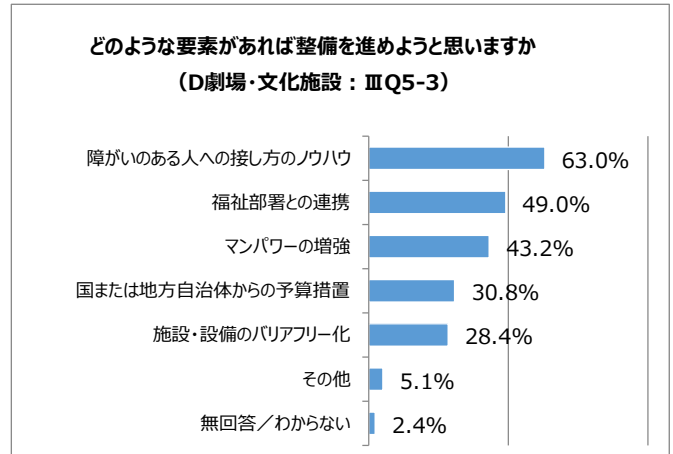
その他の具体的な内容では、車いす貸し出しなどの「車いす対応」（7件）、ついで「事前の研修・講座の実施」（4件）、「減免措置」（2件）があった。少数意見では、耳マークやヘルプマークなどのサイン掲出、UD トークの活用などといった意見も上がっていた。

ⅢQ5-1で「（２）いいえ」と答えた方に伺います。

ⅢQ5-3. どのような要素があれば整備を進めようと思いますか。（複数回答可）

	件	%
障がいのある人への接し方のノウハウ	184	63.0%
福祉部署との連携	143	49.0%
マンパワーの増強	126	43.2%
国または地方自治体からの予算措置	90	30.8%
施設・設備のバリアフリー化	83	28.4%
その他	15	5.1%
無回答／わからない	7	2.4%

（有効回答数：292）



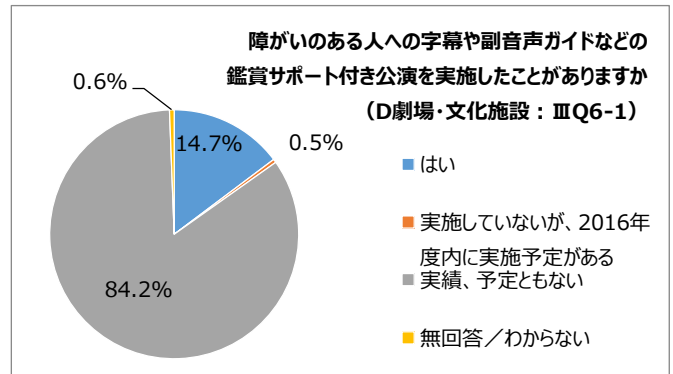
その他の具体的な内容では、「特に必要性を感じていない」（4件）、「貸館のため主催者から要望があった場合」（3件）などがあった。少数意見では、「どのようなものが受付体制整備というのかわからない」、「障がい者だからといって受付を優遇することはありません」、「現在の受付体制で対応できなくなったとき」といった意見もあった。

ⅢQ6. 障がいのある人への字幕や副音声ガイドなどの鑑賞サポートについて

ⅢQ6-1. 障がいのある人への字幕や副音声ガイドなどの鑑賞サポート付き公演を実施したことがありますか。

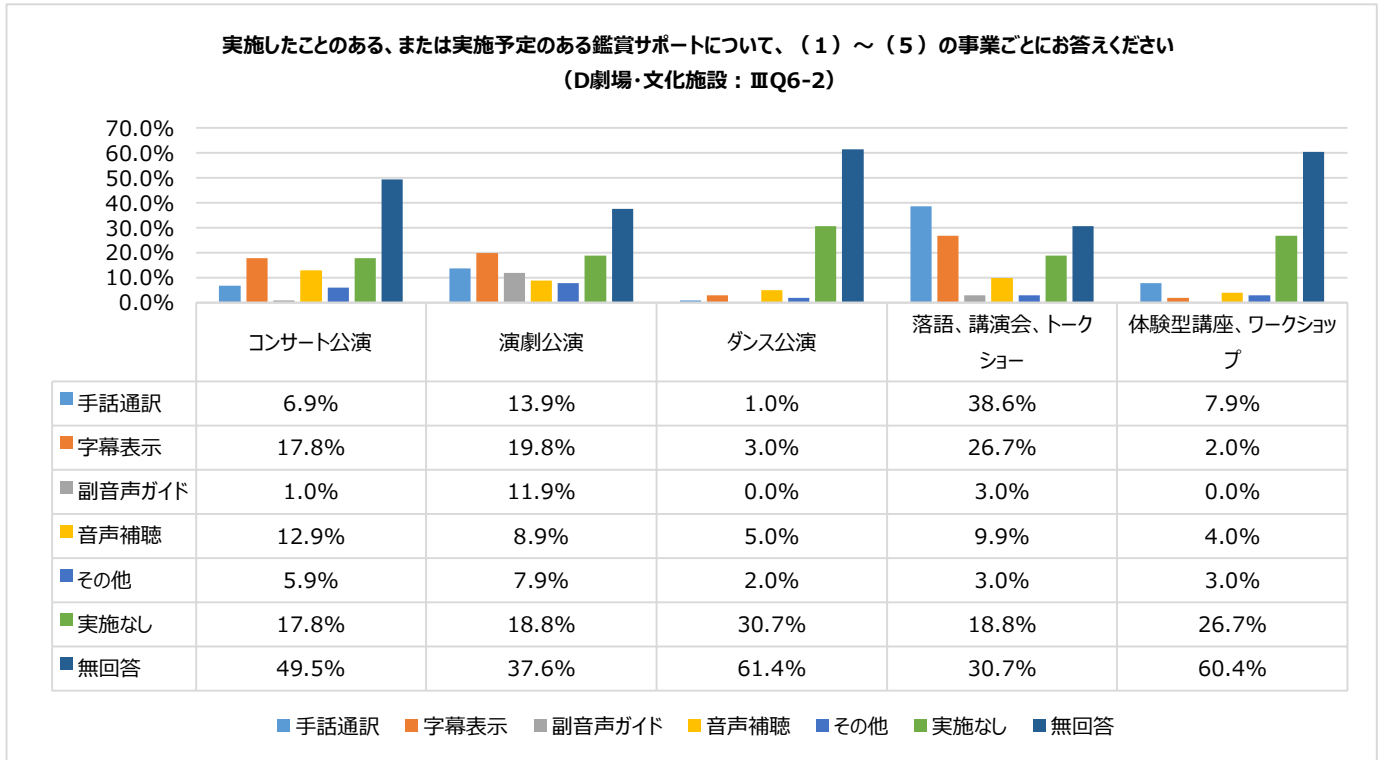
	件	%
はい	98	14.7%
実施していないが、2016年度内に実施予定がある	3	0.5%
実績、予定ともない	560	84.2%
無回答／わからない	4	0.6%

（有効回答数：665）



ⅢQ6-1で「（１）はい」または「（２）実施予定がある」と答えた方に伺います。

ⅢQ6-2. 実施したことのある、または実施予定のある鑑賞サポートについて、（１）～（５）の事業ごとにお答えください。（複数回答可）



（有効回答数：101）

コンサート公演におけるその他の具体的な取り組みには、「振動を身体に伝える」があった。演劇公演では、「台本提供」や「最寄り駅から当館までの誘導」など、公演前に取り組めるサポートがあげられていた。

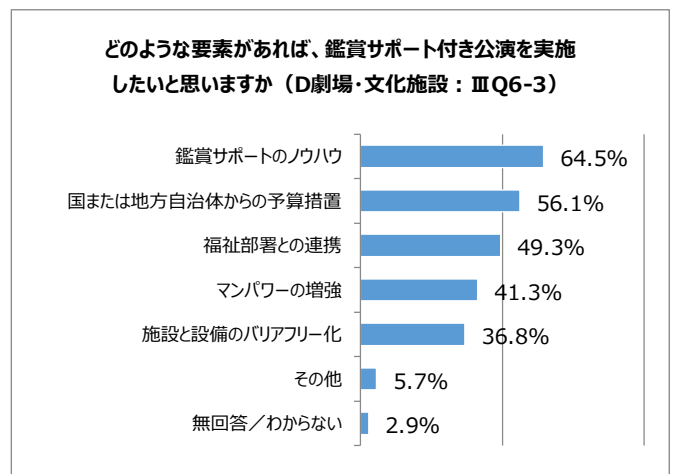
ダンスには、鑑賞サポートを実施しているところは非常に少ない結果となった。また、アンケートの項目にはなかったが、映画上映会やプラネタリウムに字幕や副音声ガイドを実施しているという少数意見も寄せられた。

ⅢQ6-1で「（３）実績、予定ともない」と答えた方に伺います。

ⅢQ6-3. どのような要素があれば、鑑賞サポート付き公演を実施したいと思いますか。（複数回答可）

	件	%
鑑賞サポートのノウハウ	361	64.5%
国または地方自治体からの予算措置	314	56.1%
福祉部署との連携	276	49.3%
マンパワーの増強	231	41.3%
施設と設備のバリアフリー化	206	36.8%
その他	32	5.7%
無回答／わからない	16	2.9%

（有効回答数：560）

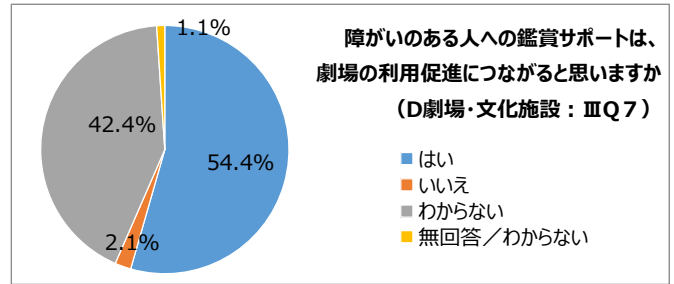


その他の具体的な内容では、「（貸館のため）自主事業を実施していない」（19 件）が半数以上を占めた。その他の意見には「需要があれば」（2 件）、「自主事業が拡大されれば」（1 件）があった。

ⅢQ 7. 障がいのある人への鑑賞サポートは、劇場の利用促進につながると感じますか。

	件	%
はい	362	54.4%
いいえ	14	2.1%
わからない	282	42.4%
無回答／わからない	7	1.1%

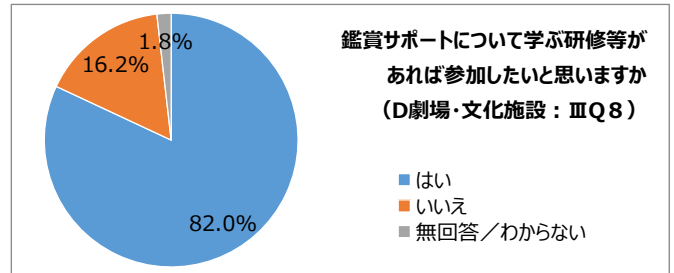
(有効回答数：665)



ⅢQ 8. 鑑賞サポートについて学ぶ研修等があれば参加したいと思いますか。

	件	%
はい	545	82.0%
いいえ	108	16.2%
無回答／わからない	12	1.8%

(有効回答数：665)



半数以上が利用促進につながると答えた一方、半数近くがわからないと答えた。鑑賞サポートが何なのかを理解していない可能性もある。

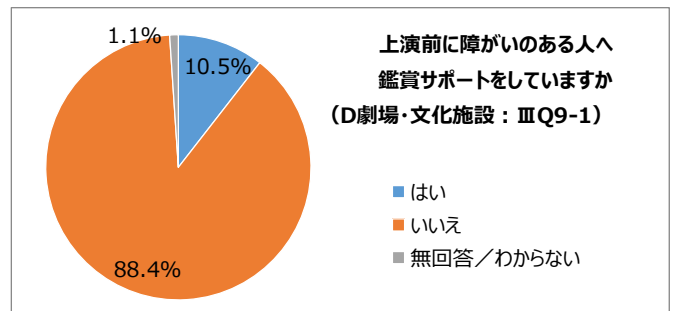
鑑賞サポートを学ぶ研修に参加したいと思う劇場が 8 割を超えていることから、今後、利用促進につながると感じる劇場が増えることが期待される。

ⅢQ 9. 上演前の障がいのある人への鑑賞サポートについて

ⅢQ9-1. 上演前に障がいのある人へ鑑賞サポートをしていますか。

	件	%
はい	70	10.5%
いいえ	588	88.4%
無回答／わからない	7	1.1%

(有効回答数：665)

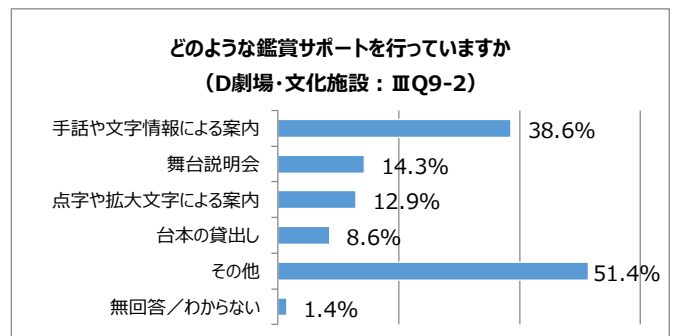


ⅢQ9-1で「(1) はい」と答えた方に伺います。(複数回答可)

ⅢQ9-2. どのような鑑賞サポートを行っていますか。(複数回答可)

	件	%
手話や文字情報による案内	27	38.6%
舞台説明会	10	14.3%
点字や拡大文字による案内	9	12.9%
台本の貸出し	6	8.6%
その他	36	51.4%
無回答／わからない	1	1.4%

(有効回答数：70)



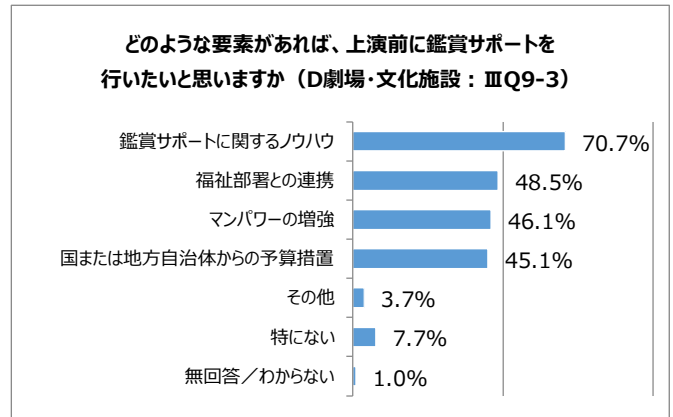
その他の大半は座席案内や車いす対応といった運営サポートに関する内容であった。

ⅢQ9-1「（2）いいえ」と答えた方に伺います。

ⅢQ9-3. どのような要素があれば、上演前に鑑賞サポートを行いたいと思いますか。（複数回答可）

	件	%
鑑賞サポートに関するノウハウ	416	70.7%
福祉部署との連携	285	48.5%
マンパワーの増強	271	46.1%
国または地方自治体からの予算措置	265	45.1%
その他	22	3.7%
特にない	45	7.7%
無回答／わからない	6	1.0%

（有効回答数：588）



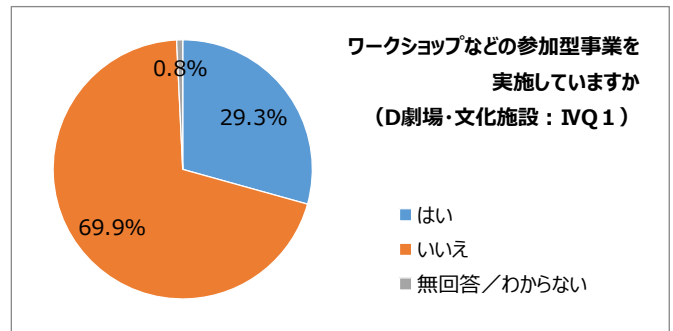
その他の具体的な内容では、「貸館である」（8件）、「支援団体等との協働」（2件）、「要望があれば」（2件）、「ニーズがない」（1件）、「対応できる設備」（1件）、「出演者団体等の協力」（1件）があった。

Ⅳ 障がいのある人の表現活動について

ⅣQ1. ワークショップなどの参加型事業を実施していますか。

	件	%
はい	195	29.3%
いいえ	465	69.9%
無回答／わからない	5	0.8%

（有効回答数：665）



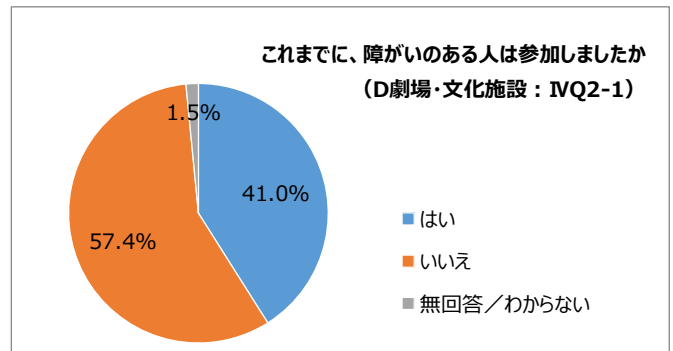
ⅣQ1で「（1）はい」と答えた方に伺います。

ⅣQ2. 障がいのある人の参加について

ⅣQ2-1. これまでに、障がいのある人は参加しましたか。

	件	%
はい	80	41.0%
いいえ	112	57.4%
無回答／わからない	3	1.5%

（有効回答数：195）



IVQ2-2. 障がいのある人が参加したことで、苦勞したことや対応で困ったことがあれば、具体的な内容とその時の対応方法をお答えください。

苦勞・困ったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供（小～中学生）合唱ワークショップで、少し知的障害がある男子中学生が参加申し込みをしてきて、こまかい状態がわからないまま、とりあえず参加可としてスタートした。4ヶ月間におよぶ長期ワークショップだったこともあり、全ての会に対象男子は来るが、保護者は送迎のみで、会館スタッフと彼のサポートの仕方についてうまく連絡できなかった。（彼の特性を聞きたくても、保護者と会えないなど）。結果、彼の受け入れはきちんと行えたが、色々不十分なところがあった。他の子供たちと、うまく溶け込むことがあまりできなかった。（溶け込める子と、そうでない子にわかれてしまった） ・ ワークショップではありませんが、ツアー公演時に看護師を滞同できず、1日1回カテーテルが必要な参加者を病院（休日）に連れていくのが苦勞した。 ・ 事前の申込みのハガキには何の記載もなかったが、手話通訳の方の付添が必要なケースがあり、座席の位置等に苦勞した。 ・ 貸館事業に限ってですが、障害者への安全に非常に気を使う。主催者側や障害者の主張（ホール側にサポートするのが当たり前という）が一方向的で閉口してしまう。障害者も回りのスタッフに気配りする配慮が多いに必要。 ・ ワークショップに応募の時点で、お申し出いただいた事もあり、スタッフがサポートに入れるように調整した。大変ではあったが、特に困ったことはなかった。 ・ ケガをしないか、他のお客様、出演者などのトラブル等になる可能性がないか、少し気を使いながら見守っています。 ・ 避難訓練を実施した際、2階席、3階席から避難の場合、スロープが無いため介助者3名が必要となる。有事を想定しなくてはならないが、人員配置の困難がある。 ・ 視覚障がい者向コンテンポラリーダンスWS（近隣在住の当事者の方8名と、ホールスタッフ（晴眼者）8名によるペアーワーク形式。ステージ上で実施のため、舞台端の位置を確認することに苦勞した。スピーカーによる音の効果や、床の違いで確認しあった。盲導犬をWS中に待機してもらったり方にも苦勞した。 ・ 舞台芸術講座を開催した際、足に障がいのある方が参加。舞台上にあがる時やおりる時、階段での介助をした。 ・ 施設／設備のバリアフリー化ができていない箇所がある→車いすの介助をした。 ・ 車いすの来場者が車いす用の座席数を上回った。→前列の取り外し可能な座席を外して対応した。 ・ 参加者の集中に欠ける場面が発生した。 ・ 施設が完全なバリアフリーになっていないので、危険を伴う。エレベーターの案内を対応策として行っている。 ・ 介助者がおらず（到着がおくれた）トイレ介助の要請を施設職員にされたこと ・ 現在行っているワークショップの内容が、個人個人の思ったままの動きや表現を行うもので、個々の障がい度合いに対応できるプログラムを実施しているので、現状に特に困ったことはありません。ただし、講師の方へ障がい種別を事前にお伝えする必要があるため、参加者（付添の方）に障がいの種別・程度をお伺いする時は、若干、気を使う場面があります。 ・ 建物の構造上、車イスのお客様がホールへ入場する際、導線が非常にわかりづらいため専用に人員を配置しなければならない点。 ・ 視覚障害のある方ワークショップに参加する際、要約筆記を行った。 ・ 健常の小中学校と特別支援学校の子ども達を招いて公演を実施した際に、手話通訳、要約筆記等を配置し、実施したが、障がいを持った子どもによっては、要約筆記が表示されるスピードが遅く公演内容を理解できない子どももいた。 ・ 障がい者福祉施設に出向いて演劇ワークショップを実施し始めてまだ2年目施設のスタッフと演劇ワークショップの講師（劇団員）が事前によく打ち合せを充実した内容にできるよう心がけている。 ・ 全て会館側で対応は困難。（一人二人の対応はできる。）スタッフの不足をボランティアでカバーする等、一般の方々の協力も必要。 ・ 子どもミュージカルのワークショップに発達障がいの子も参加練習が成立しなくなり苦勞した。講師・スタッフでがんばって対応していたが、結局子どもがやめてしまった。 ・ 苦勞したことはありませんが、施設が古いので段差などが多く、障がいのある人には、不便な思いをかけていると思います。 ・ 車椅子のご利用者から、特定の車椅子を用意して欲しいと要望があり、行政と相談して、ご希望の車椅子を用意することは不可能だが、現在ある車椅子を利用し、ホールスタッフが合理的配慮を行うことを伝えたところ、理解を得た。 ・ 高等部の障がい者を対象にコミュニケーションワークショップを開催したが、支援学校の前向きな協力が経験豊富な講師
----------	--

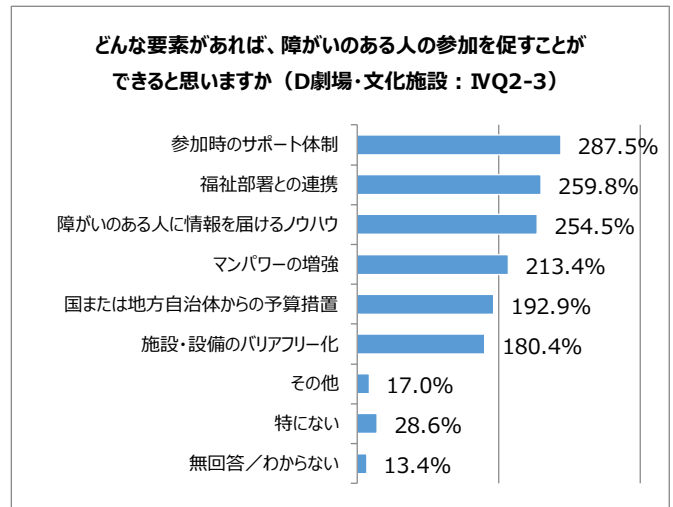
	<p>の指導もあり、障がい者の方への対応で苦勞したことは特になかった。しかし、広報やマスコミ等の対外的な露出に関しては、各家庭での事情もあり、保護者の方への配慮が十分に必要であった為、対応に苦勞した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚に障がいがある方がスムーズに来館できるように集合・解散場所を当館及び最寄駅（武蔵小杉）とし、同駅と当館の往復の誘導を行った。聴覚に障がいのある方からの参加申込があったため、委託契約により手話通訳者を配置した。 ・ 手が不自由な子どもがダンスワークショップに参加した際、他の子どもと同じように踊ることができなかったため、欠席が続いた。その子どものためにダンスのレベルを下げたり、特別に扱うわけにもいかず、対応に苦慮した。そこで、会館スタッフと保護者でコミュニケーションをとり、その子どもを特別に扱わないことを理解してもらい、ワークショップに参加するように促した。そうしたところ、その子どもはワークショップに馴染むことができ、現在も積極的に参加している。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引率者、保護者のサポート体制 ・ 障がい者と深いかわりのある社会福祉法人との連携による実施計画中 ・ 当会館は、施設貸出業務が主で、具体的な運営は各々の主催者にゆだねている。当会館の施設の老朽化により、障がいのある方にご迷惑をおかけしたと感じた事はあるが、特に苦情等はいただいている。 ・ 保護者、施設職員などと一緒に参加していたため、特になし。 ・ 車椅子利用者や同伴者がいる等により、特に困ったことはない。 ・ 障がいの種類により必要なサポートが異なるため、職員（マンパワー）の不足が懸念されたが、地域内の障がい者サポート団体の協力を得て、受付及び当日のワークショップを円滑に行うことができた。 ・ 福祉大会、ボランティア祭りなどといったイベントを社協として実施されています。そのときは、市内のボランティアや障害者福祉施設のスタッフが多数参加されており、施設の管理者として障害者のみ区分してサポートする必要性を感じていません。健常者の方もたくさん参加されておりますが、問題はない。 ・ なし 障がい者手帳、難病証明でチケットの割引をしている。 ・ 職員（施設）同伴の為、対応に困ることはない ・ 親等サポート者と同伴してみえるので、特になし ・ 特になし（ワークショップなどの参加型事業を実施しているが、障がいのある人の参加がないため） ・ 昨年度まで、育成事業の合唱団に障がいのある子が在籍しておりました。周囲の子が支え合い、助けてくれたので、とてもよい雰囲気でも活動することができました。 ・ 演劇のワークショップに聴覚障がいの方が参加されました。手話のできるご友人も参加されていたので、その方を介して演出家とコミュニケーションを取っていただきました。個々の特長を演技に活かそうという内容のワークショップでしたので、特に困ったことはありませんでした。 ・ アウトリーチにて出前授業（ダンス）実施（支援学校）特に困ったことなし（先生のサポート） ・ サポーターが同行しているので、困ったことは特にありません。 ・ 想定される内容と、それに応じたサポート要員をつけることで、特に目立つ混乱や困ることはありませんでした。 ・ 同伴の方と来館することが多いのでスタッフに対応を求められることはあまりありません。 ・ 公演会場への入・退場の際、一般の方に声掛けをすることで注意を促し、障がいのある方が円滑に入・退場ができるように努めている。

IVQ1で「（2）いいえ」と答えた方に伺います。

IVQ2-3. どんな要素があれば、障がいのある人の参加を促すことができますか。（複数回答会）

	件	%
参加時のサポート体制	322	287.5%
福祉部署との連携	291	259.8%
障がいのある人に情報を届けるノウハウ	285	254.5%
マンパワーの増強	239	213.4%
国または地方自治体からの予算措置	216	192.9%
施設・設備のバリアフリー化	202	180.4%
その他	19	17.0%
特にない	32	28.6%
無回答／わからない	15	13.4%

（有効回答数：112）



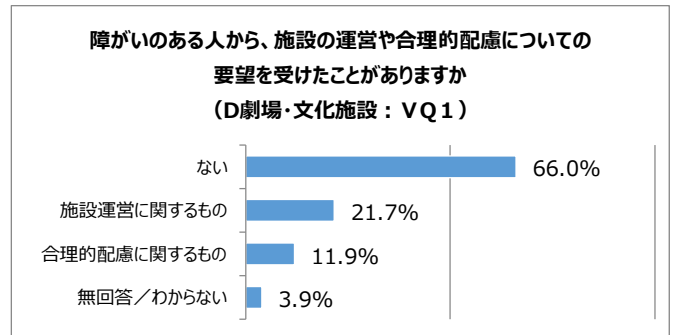
その他の具体的な内容では、「貸館のみである」（6件）、「適したプログラムの開発」（3件）、「他の人と同じ対応をすべき」（1件）、「研修時間の十分な確保」（1件）、「応募がない」（1件）、「経験や実績のある指導者やファシリテーターの確保」（1件）などがあつた。

V 施設の取り組みについて

VQ1. 障がいのある人から、施設の運営や合理的配慮についての要望を受けたことがありますか。（複数回答可）

	件	%
ない	439	66.0%
施設運営に関するもの	144	21.7%
合理的配慮に関するもの	79	11.9%
無回答／わからない	26	3.9%

（有効回答数：665）

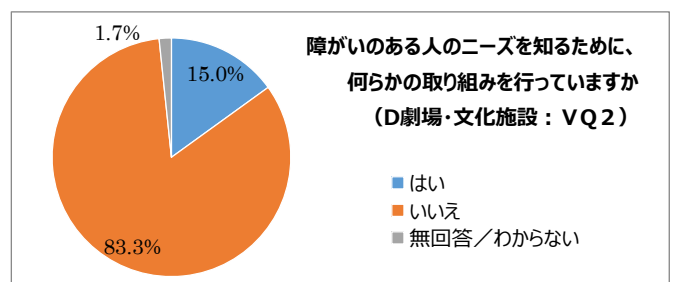


施設運営に関する具体的なものでは、設備関係が59.7%（86件）、駐車場関係が16.7%（24件）であつた。少数意見では、割引といった回答もあつた。合理的配慮に関する具体的なものでも設備関係が31.6%（25件）、駐車場関係が16.5%（13件）と大半を占めた。少数意では、車いすや補助犬の対応、割引に関する回答があつた。

VQ2. 障がいのある人のニーズを知るために、何らかの取り組みを行っていますか。

	件	%
はい	100	15.0%
いいえ	554	83.3%
無回答／わからない	11	1.7%

（有効回答数：665）

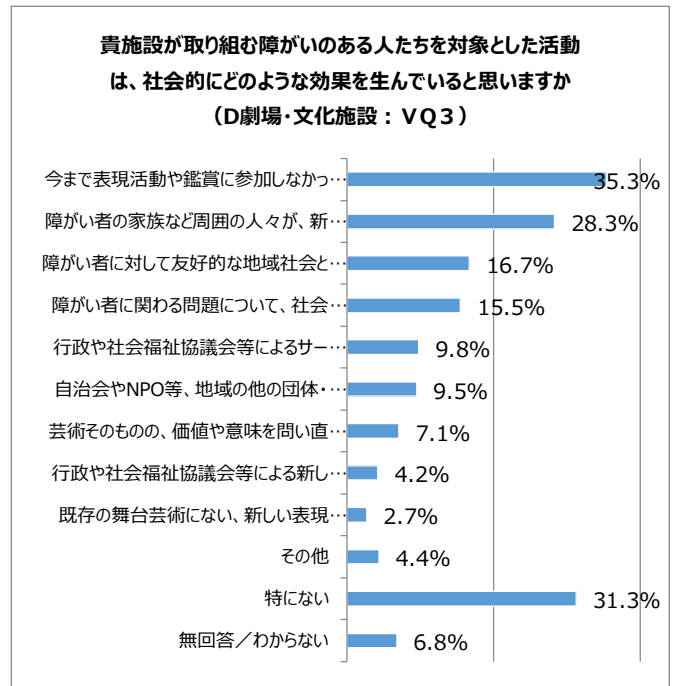


「はい」と答えた方の具体的な取り組み内容では、「アンケートなどによる意見徴収」で6割が占められた。「障がい者団体・施設等との連携」や「障がい者施設等の見学」、「窓口開設」といった取り組みを行っているところはわずかであつた。

VQ3. 貴施設が取り組む障がいのある人たちを対象とした活動は、社会的にどのような効果を生んでいると思いますか。（3つまで）

	件	%
今まで表現活動や鑑賞に参加しなかった人の参加を促すことができた	235	35.3%
障がい者の家族など周囲の人々が、新たな可能性を見出すことができた	188	28.3%
障がい者に対して友好的な地域社会となった	111	16.7%
障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた	103	15.5%
行政や社会福祉協議会等によるサービスのきかけとなった	65	9.8%
自治会やNPO等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった	63	9.5%
芸術そのものの、価値や意味を問い直すことができた	47	7.1%
行政や社会福祉協議会等による新しいサービス開始のきかけとなった	28	4.2%
既存の舞台芸術にない、新しい表現方法を探ることができた	18	2.7%
その他	29	4.4%
特にない	208	31.5%
無回答／わからない	45	6.8%

（有効回答数：665）



VQ3. その他具体的に

- ・ 活動を行っていない×11
- ・ まだ効果といえる状況ではない。
- ・ 公共施設は、平等に文化芸術を市民に提供しなくてはならないと考えています。また、観客同士が、作品について語り合うなど、作品を通すことで健常者と障がい者、様々な交流を創出できる。
- ・ 貸劇場のため、主催者側の意向次第ですが、エレベーターの使用、車いすのままの観劇などで本人、ご家族が希望した公演を観れることはよいことだと思います。
- ・ あまり活動できていないので、今後の課題としたいです。
- ・ 普通に鑑賞に来られているので、ごく普通のこと。周りの方も特に気にせず。特別に扱う方が不自然ではないですか。
- ・ 現在は、公演などへ参加しやすくなっている程度。
- ・ 実際に障がい者の方の身体的、精神的変化を生み出すことができた。体の可動域が広くなったり、表情や行動面に変化が感じられたりした。また、日ごろ障がい者をサポートする方からも驚きと喜びの声が多く寄せられた。
- ・ 障がい者に対する健常者のスキル向上。
- ・ 社会に効果を生むほどの活動はできていない。
- ・ 団体同士のつながり、広げるきっかけになった。
- ・ 小中学生と鑑賞の場を同じくし、障がい者への理解を深めることができた。
- ・ 障害者差別解消法に関するシンポジウム開催により、他館、主催者、行政等の意識を高めることにつながった。
- ・ 利用者サービスの向上。
- ・ 効果を生むほどの取り組みには至っていないことに、このアンケートを見て気づきました。今後の参考にしたいと思います。

（劇場アンケート内クロス）

スタッフに障がい者が「いる施設」と「いない施設」の研修実施率

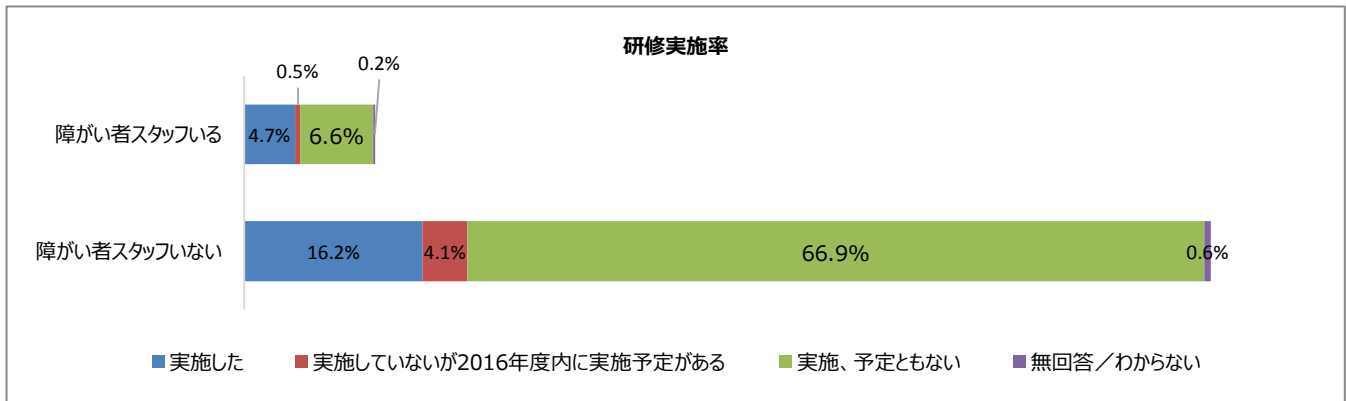
I Q 6 スタッフに障がい者はいますか？（複数回答可）

×

II Q1-1 障がいのある人に対するサポートや理解に関する研修について 2015 年 4 月以降の研修の実績状況についてお答えください。

	実施した	実施していないが2016年度内に実施予定がある	実施、予定ともない	無回答／わからない
障がい者スタッフいる	4.7%	0.5%	6.6%	0.2%
障がい者スタッフいない	16.2%	4.1%	66.9%	0.6%

（有効回答数：665）



スタッフに障がい者が「いる施設」と「いない施設」の鑑賞サポート実施率

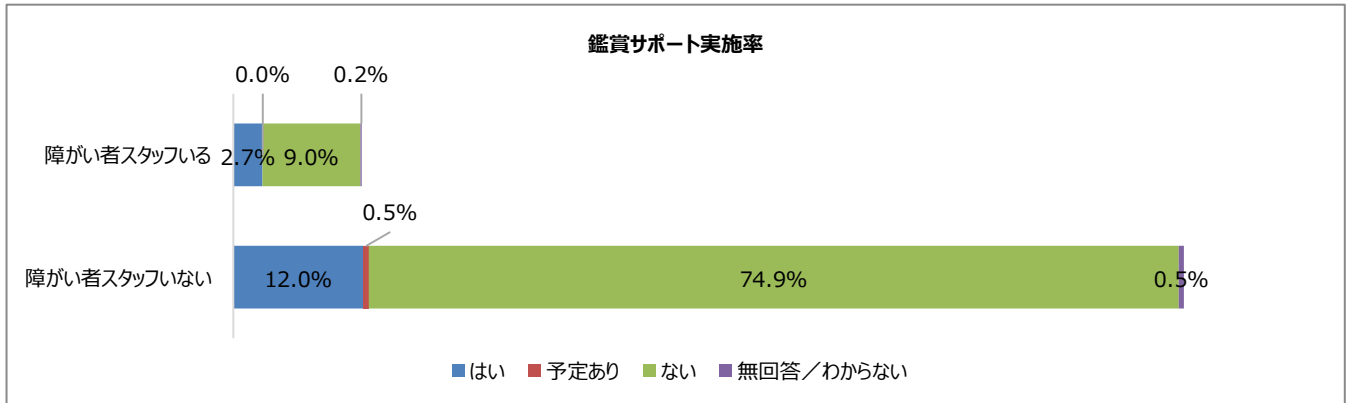
I Q 6 スタッフに障がい者はいますか？（複数回答可）

×

III Q4-1 障がいのある人への字幕や副音声ガイドなどの鑑賞サポート付き公演を実施したことがありますか？

	はい	予定あり	ない	無回答／わからない
障がい者スタッフいる	2.7%	0.0%	9.0%	0.2%
障がい者スタッフいない	12.0%	0.5%	74.9%	0.5%

（有効回答数：665）

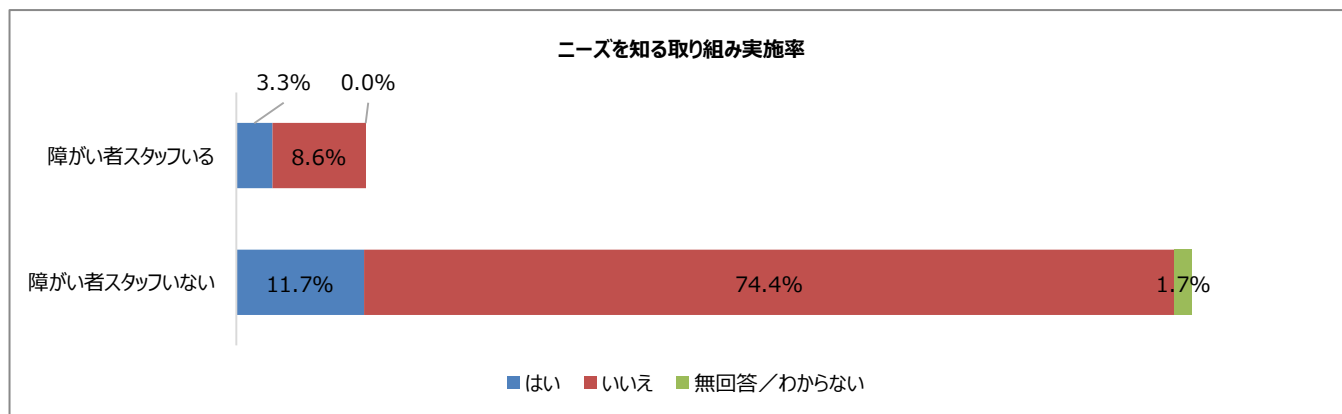


スタッフに障がい者が「いる施設」と「いない施設」のニーズを知る取り組み実施率

I Q 6 スタッフに障がい者はいますか？（複数回答可） × III Q5-1 障がいのある人のニーズを知るために、何らかの取り組みを行っていますか？

	はい	いいえ	無回答/わからない
障がい者スタッフいる	3.3%	8.6%	0.0%
障がい者スタッフいない	11.7%	74.4%	1.7%

（有効回答数：665）



※自由記述（「具体的に」など）については原文ママとした。

※集計における「合計」の表記における（複数回答可）もしくはそれを認める回答について、件数の合計と有効回答数が一致しないものについて省略した。

調査4種横断比較（詳細版）



A 個人 (障がい者)	① ②	④	⑤	⑥	⑦
B 福祉施設	① ② ③	④	⑤	⑥	⑦
C 実演団体	②	④			⑦
D 劇場・ 文化施設	① ③		⑤	⑥	⑦

サマリ（1/2）

①障がい種別鑑賞状況

個人、福祉施設ともに障がい種別は、知的障がいを筆頭に多岐にわたるが、劇場・文化施設側が把握している限りでは鑑賞者に占める割合では主に車いすを利用する身体障がい者が多く見られる。

どのような障がい者が利用しているかの正確な把握や、身体障がい者以外へのより一層のケアも検討の余地がある。

②表現活動のジャンル

個人、福祉施設ともに表現活動のジャンルでは音楽がダントツ 1 位であり、ダンス、演劇が続き、実演団体の活動ジャンルでもダンス、演劇の割合が高かった。いずれの活動母体でも、ダンスや演劇のような取り組みやすい活動をいかに浸透させていくかが重要なポイントと思われる。

③鑑賞機会への意識

劇場・文化施設等で舞台芸術を鑑賞したことのある福祉施設が 43.4% であるのに対し、公演情報を届ける工夫をしている劇場・文化施設は 21.7% であった。障がい者や福祉施設への情報提供を意識した取り組みに改善の余地もありそうである。

④情報の受発信

情報の発信側と受信側ともに DM（ダイレクトメール）やチラシ・ポスター、知人からの紹介（口コミ）などのアナログな手段が高い割合であった。

実演団体が比較的活用されているウェブマガジンや SNS が、受信側ではさほど利用されていないようなので、いかに活用を促すかが今後の課題と思われる。

⑤文化施設の対応：個人（受付、上演前サポート、上演中サポート）

舞台芸術の鑑賞にあたって、障がい者からの申し込み手段は多岐にわたっている一方で、障がい者を想定した申込み体制が整っている劇場・文化施設は 55.2% に過ぎなかった。申込みに係る受付体制のバリアフリーも検討の余地がありそうである。

劇場・文化施設に求める上演前のサポートについては、舞台事前説明会や会場案内、パンフレットなどへのニーズがある一方で上演前のサポートを行っている劇場・文化施設は 11% 程度であった。今後はサポート事例を情報共有するなど他の劇場・文化施設への波及が一層求められる。

また、求めるサポートについて「特にない」という回答が最も多かったが、劇場・文化施設が担えるサポート自体への認知不足も一因なのではなかろうか。

劇場・文化施設に求める上演中のサポートについては、「特にない」という回答も多数ある中で特に福祉施設側のニーズとして、手話通訳や字幕表示、副音声ガイドなどは 20% を超えるニーズがある。

その一方で劇場・文化施設側のサポートの中で、特に手話通訳や副音声ガイドについては実施率が 5% 前後に留まるなど、ニーズとの乖離がみられた。

サマリ（2/2）

⑥ニーズの把握状況

先述の通り（⑤）、鑑賞経験者には、受付や上演前/上演中サポートなどで多岐にわたるニーズが存在していることが判明しているが、鑑賞未経験者においても、鑑賞サポートをはじめ、送迎や、事前の公演情報、申込みの簡便性などのニーズが存在する。一方で、劇場・文化施設側では、ニーズ把握や鑑賞サポートを実施しているのは15%にとどまっているため、まずは障がい者のニーズ把握が求められる。

⑦成果：本人が得たもの（表現活動）

表現活動を通して得たものとして、障がい者本人、福祉施設、実演団体のいずれもがトップは「達成感・充実感を味わえた」であり、「自分により自信が持てるようになった」が次いで上位に挙げられた。

一方、個人に特徴的なのは「仲間ができた」、福祉施設に特徴的なのは「地域のさまざまな人とのつながり」、実演団体に特徴的なのは「表現者としての可能性」など、活動の目的を意識した成果が挙げられた。

⑦成果：本人が得たもの（鑑賞）

鑑賞を通して得たものとして、障がい者本人、福祉施設ともに順位はほぼ同じであった。特に上位3位の「感性が育まれた」「感動や感覚」「精神的な安定」は多くの回答を得ており、障がい者本人にとっては鑑賞は抵抗感を抱かずに情操を養える貴重な機会と見受けられる。

⑦成果：社会へのインパクト（表現活動）

表現活動を通して社会へ及ぼしたインパクトとして、障がい者本人、福祉施設、実演団体のいずれもが「障がい者の家族など周囲の人々が、新たな可能性を見出すことができた」を2位以内に挙げている。また「障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた」「今まで活動に参加しなかった人の参加を促すことができた」なども共通して上位に挙げられている。

一方、福祉施設に特徴的なのは「自治会やNPO等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった」、実演団体に特徴的なのは「既存の舞台芸術にはない、新しい表現方法を探ることができた」など、周囲の家族のみならず地域や芸術自体へのインパクトを与えていることがわかる。

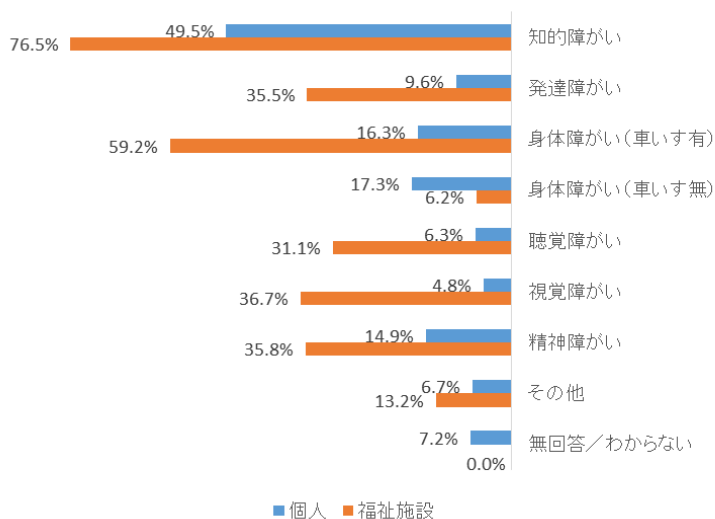
⑦成果：社会へのインパクト（鑑賞）

鑑賞を通して社会へ及ぼしたインパクトとして、障がい者本人、福祉施設、劇場・文化施設のいずれもが「障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた」「今まで活動に参加しなかった人の参加を促すことができた」を上位に挙げている。一方、劇場・文化施設は「特にない」が31.3%もあり福祉施設側の回答と2倍の乖離があった。さらには「地域社会が障がい者に対してより友好的になった」なども約4倍の乖離があり、地域社会への意識の差の現れかもしれない。

①障がい種別鑑賞状況

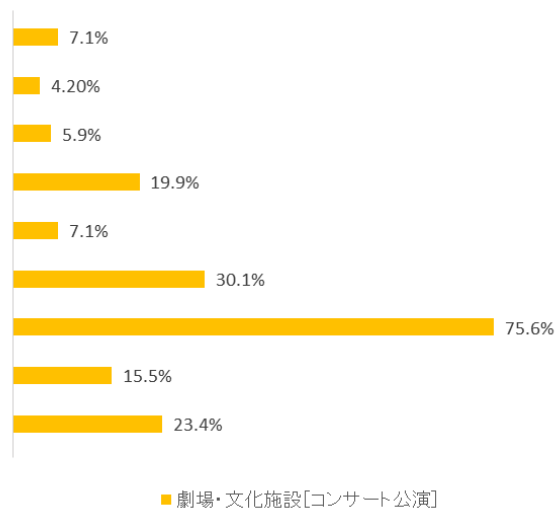
個人、福祉施設ともに障がい種別は、知的障がいを筆頭に多岐にわたるが、文化施設側が把握している限りでは鑑賞者に占める割合では主に車いすを利用する身体障がい者が多く見られる。
 どのような障がい者が利用しているかの正確な把握や、身体障がい者以外へのより一層のケアも検討の余地がある。

鑑賞者の障がい種別（個人／福祉施設）



有効回答数：個人 208 件、福祉施設 341 件

鑑賞者の障がい種別
劇場・文化施設[コンサート公演]

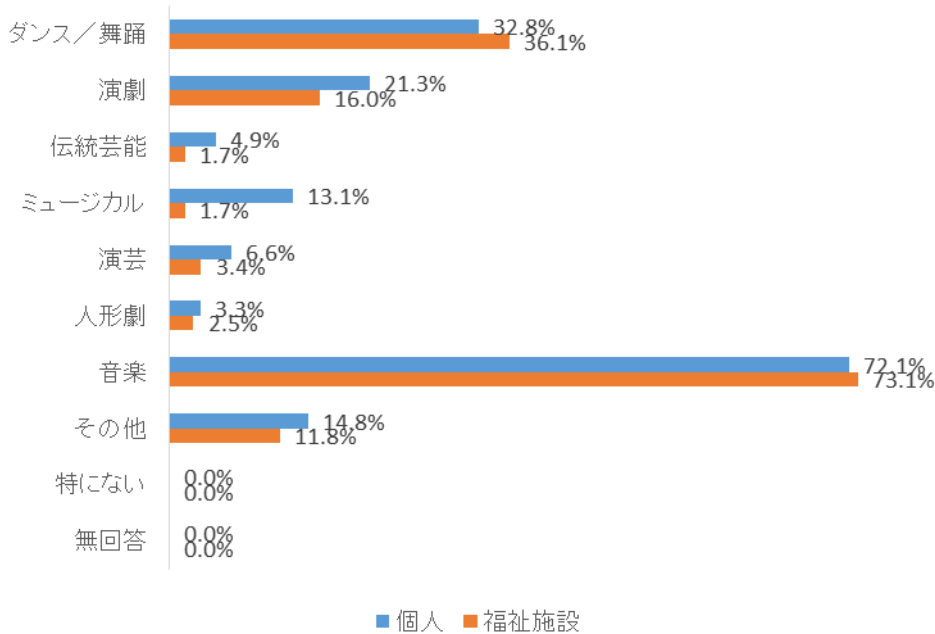


有効回答数：劇場・文化施設 594 件

②表現活動のジャンル

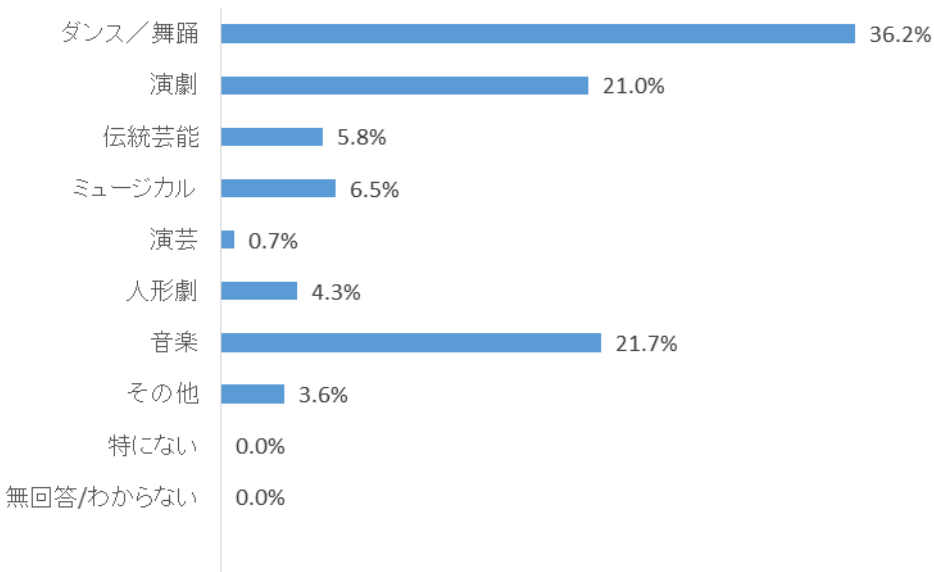
個人、福祉施設ともに障がい種別は、表現活動のジャンルでは音楽がダントツ 1 位であり、ダンス、演劇が続き、実演団体の活動ジャンルでもダンス、演劇の割合が高かった。いずれの活動母体でも、ダンスや演劇のような取り組みやすい活動をいかに浸透させていくかが重要なポイントと思われる。

表現活動のジャンル（個人、福祉施設）



有効回答数：個人 61 件、福祉施設 119 件

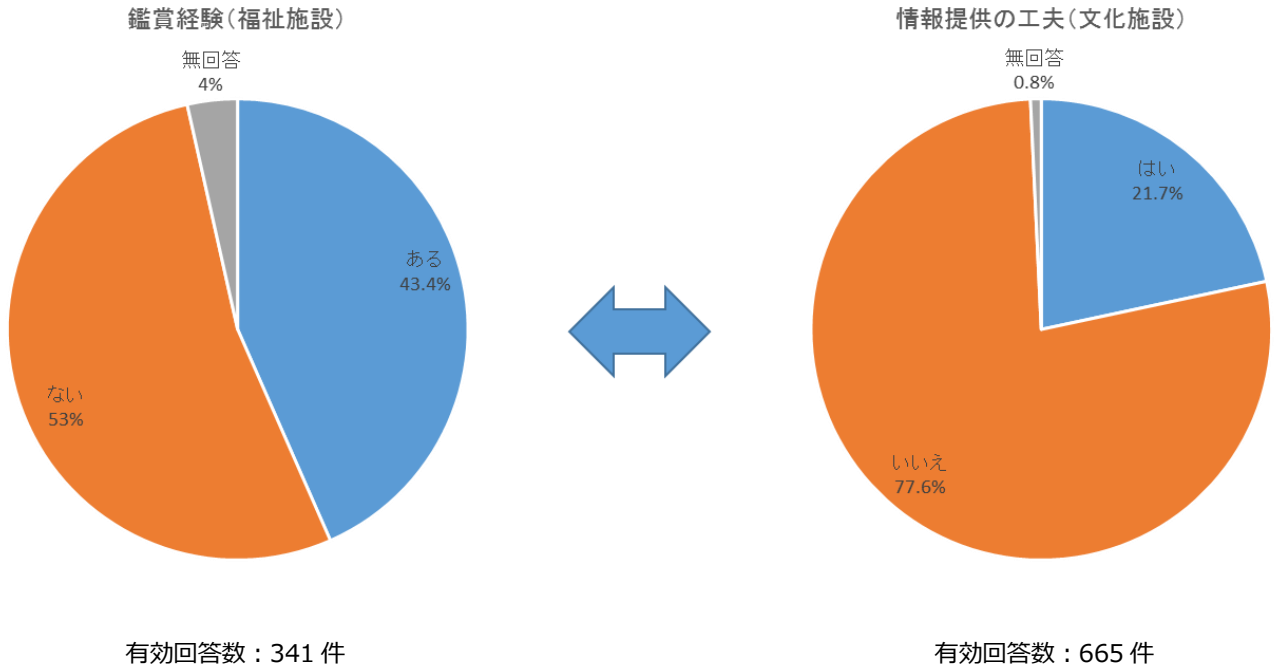
表現活動のジャンル（実演団体）



有効回答数：44 件

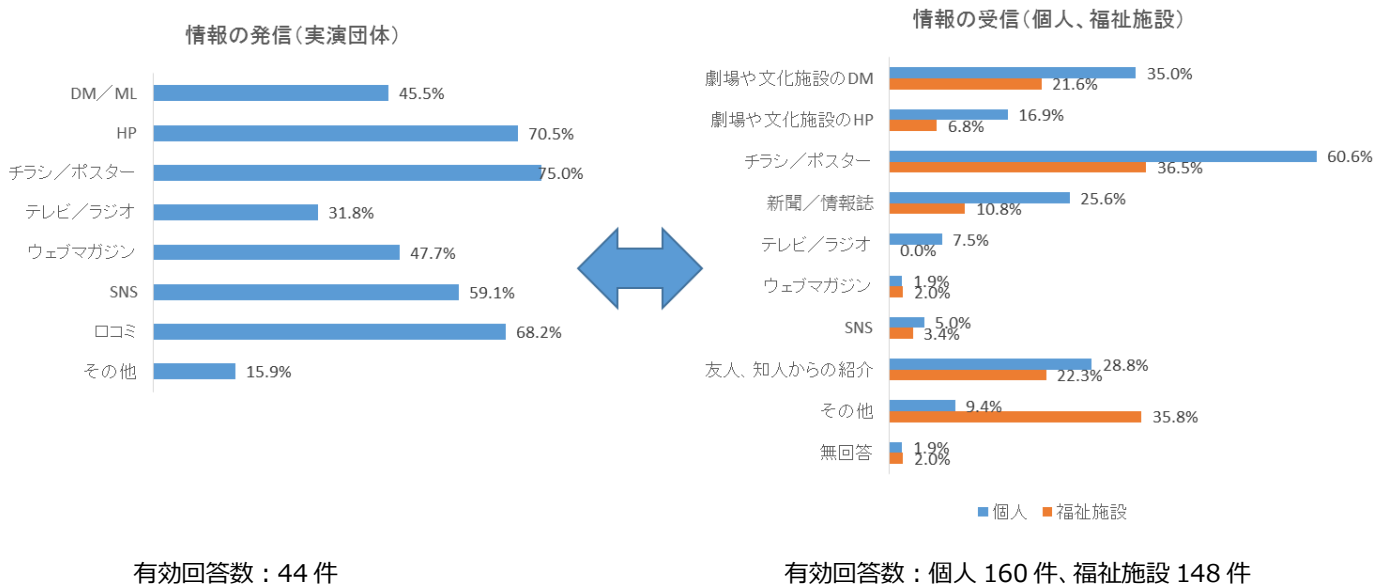
③鑑賞機会への意識

文化施設等で舞台芸術を鑑賞したことがある福祉施設が43.4%であるのに対し、公演情報を届ける工夫をしている文化施設は21.7%であった。障がい者や福祉施設への情報提供を意識した取り組みに改善の余地もありそうである。



④情報の受発信

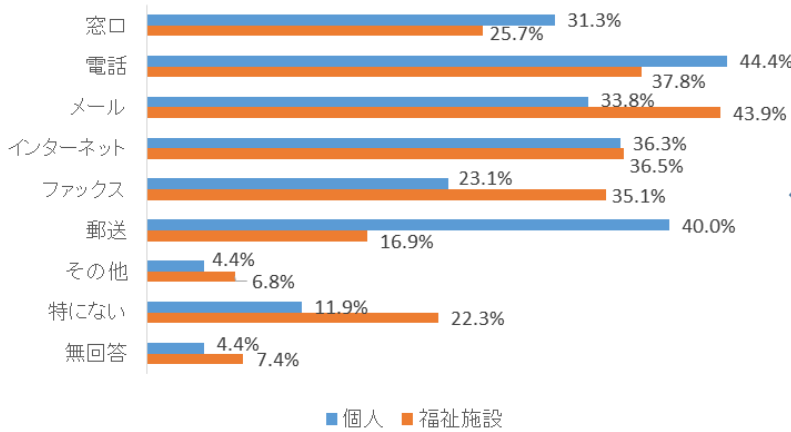
情報の発信側と受信側ともにDMやチラシ・ポスター、知人からの紹介（口コミ）などのアナログな手段が高い割合であった。実演団体で比較的活用されているウェブマガジンやSNSが、受信側ではさほど利用されていないようなので、いかに活用を促すかが今後の課題と思われる。



⑤文化施設の対応：個人（受付、上演前サポート、上演中サポート）

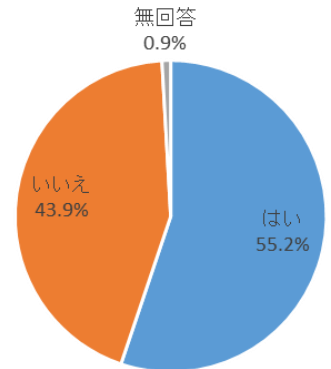
舞台芸術の鑑賞にあたって、障がい者からの申し込み手段は多岐にわたっている一方で、障がい者を想定した申し込み体制が整っている文化施設は55.2%に過ぎなかった。申込みに係る受付体制のバリアフリーも検討の余地がありそうである。

文化施設や文化施設に求める申込方法（個人、福祉施設）



有効回答数：個人 160 件、福祉施設 148 件

障がい者からの申し込みを想定した受付体制（劇場・文化施設）



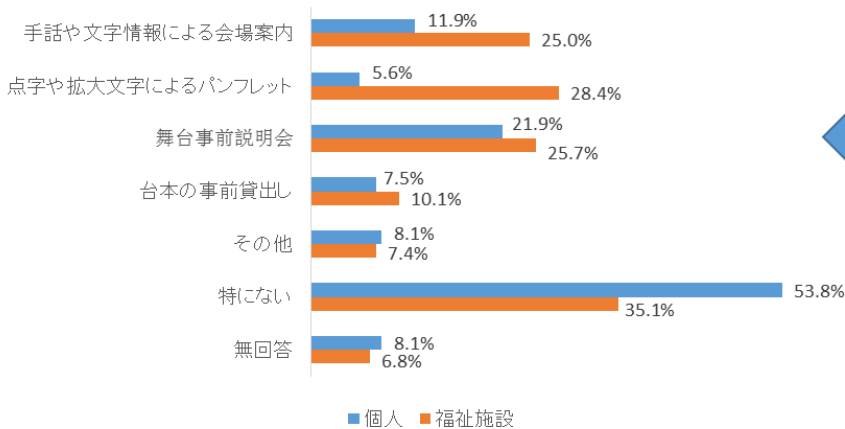
有効回答数：665 件

⑤文化施設の対応：上演前サポート

文化施設に求める上演前のサポートについては、舞台事前説明会や会場案内、パンフレットなどへのニーズがある一方で上演前のサポートを行っている文化施設は11%程度であった。今後はサポート事例を情報共有するなど他文化施設への波及が一層求められる。

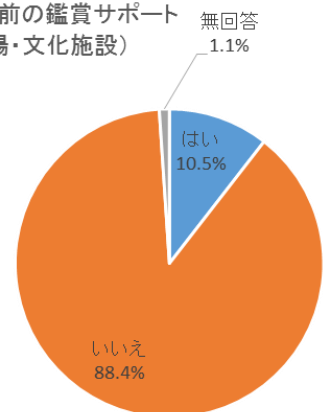
また、求めるサポートについて「特にない」という回答が最も多かったが、文化施設が担えるサポート自体への認知不足も一因なのではなかろうか。

文化施設や文化施設に求める上演前の鑑賞サポート（個人、福祉施設）



有効回答数：個人 160 件、福祉施設 148 件

上演前の鑑賞サポート（劇場・文化施設）

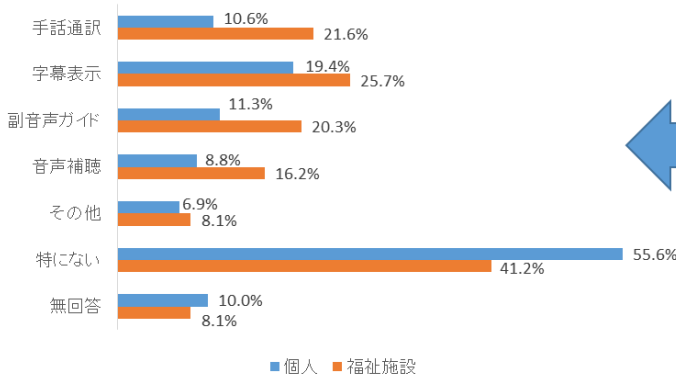


有効回答数：665 件

⑤文化施設の対応：上演中サポート

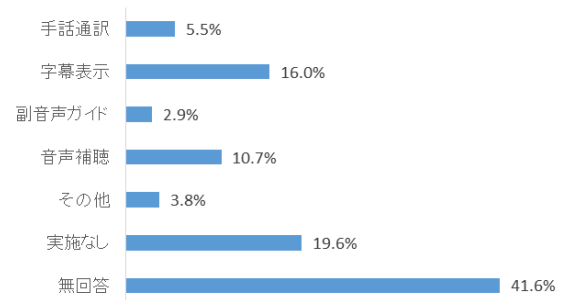
文化施設に求める上演中のサポートについては、「特にない」という回答も多数ある中で特に福祉施設側のニーズとして、手話通訳や字幕表示、副音声ガイドなどは20%を超えるニーズがある。その一方で劇場・文化施設側のサポートの中で、特に手話通訳や副音声ガイドについては実施率が5%前後に留まるなど、ニーズとの乖離がみられた。

文化施設や文化施設に求める上演中の鑑賞サポート
(個人、福祉施設)



有効回答数：個人 160 件、福祉施設 148 件

上演中に実施している鑑賞サポート
(劇場・文化施設)

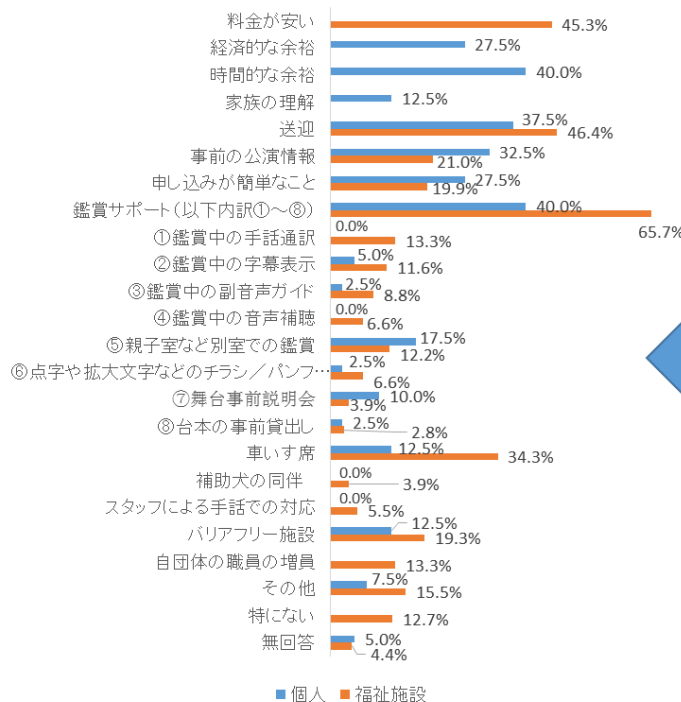


有効回答数：101 件

⑥ニーズの把握状況

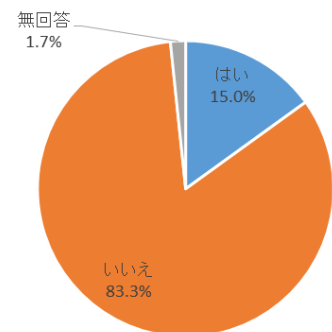
先述の通り（⑤）、鑑賞経験者には、受付や上演前/上演中サポートなどで多岐にわたるニーズが存在していることが判明しているが、鑑賞未経験者においても、鑑賞サポートをはじめ、送迎や、事前の公演情報、申込みの簡便性などのニーズが存在する。一方で、文化施設側では、ニーズ把握や鑑賞サポートを実施しているのは15%程度にとどまっているため、まずは障がい者のニーズ把握が求められる。

鑑賞未経験者が求めるニーズ(個人、福祉施設)



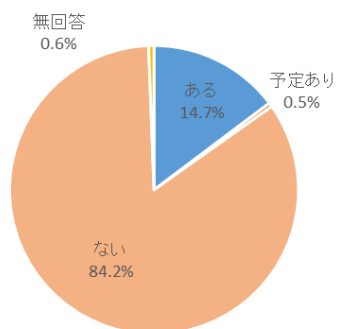
有効回答数：個人 40 件、福祉施設 181 件

ニーズ把握(劇場・文化施設)



有効回答数：665 件

鑑賞サポートの実施(劇場・文化施設)

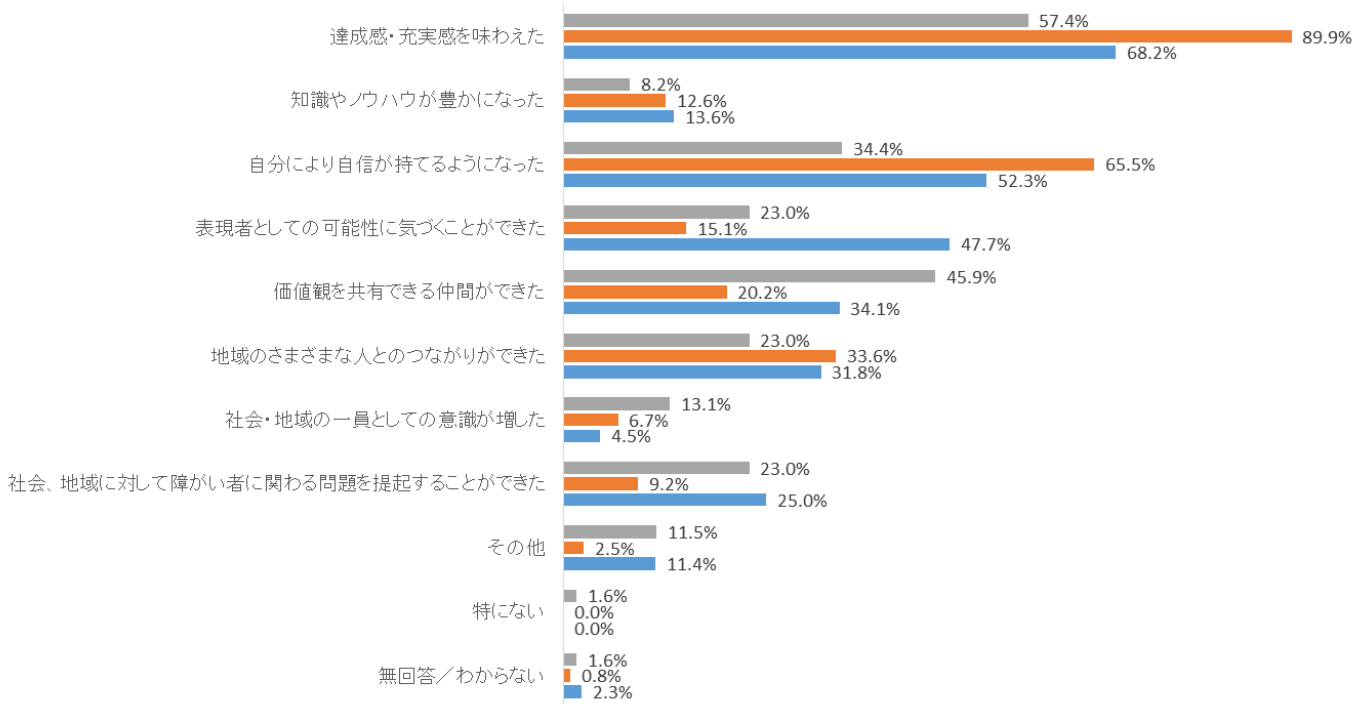


有効回答数：665 件

⑦本人が得たもの（表現活動）

表現活動を通して得たものとして、障がい者本人、福祉施設、実演団体のいずれもがトップは「達成感・充実感を味わえた」であり、「自分により自信が持てるようになった」が次いで上位に挙げられた。

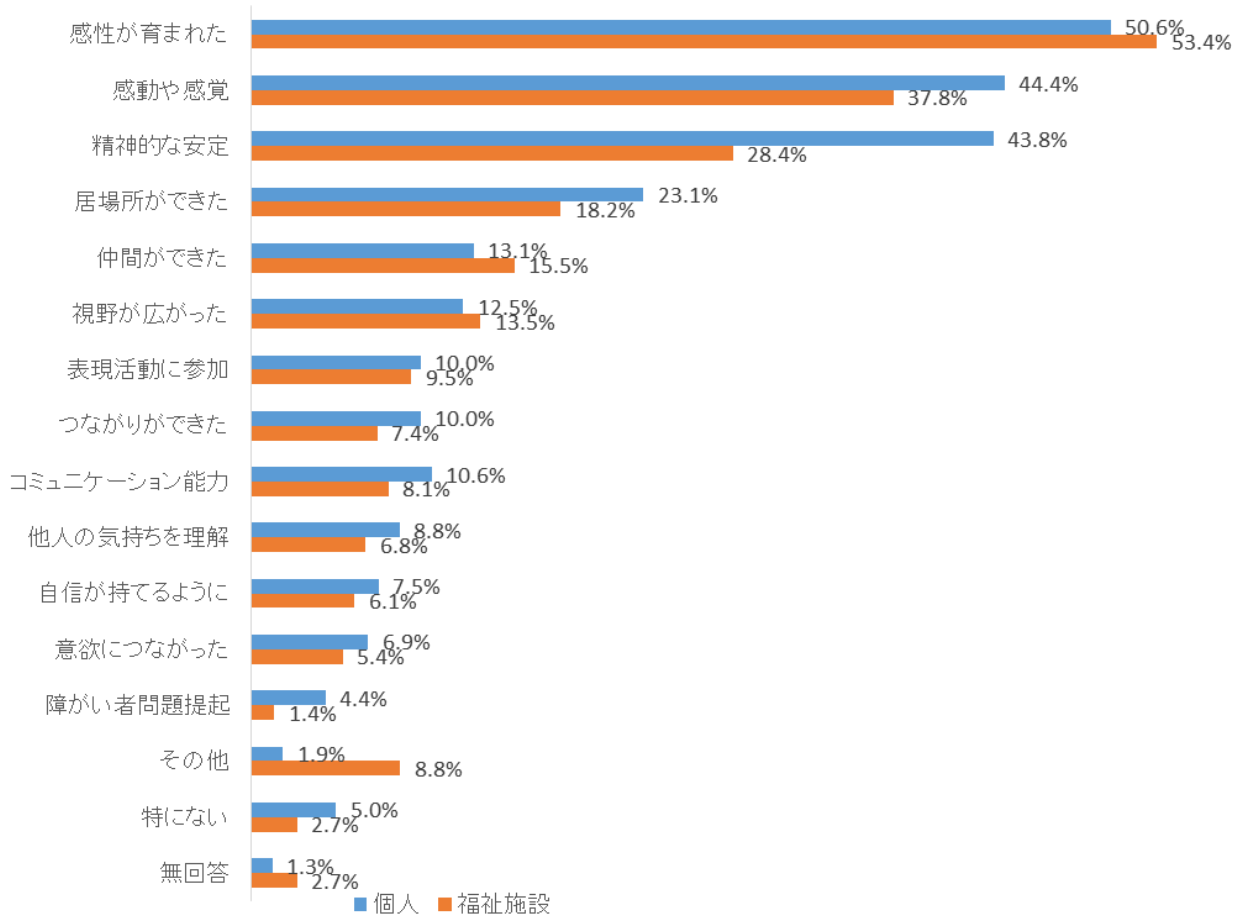
一方、個人に特徴的なのは「仲間ができた」、福祉施設に特徴的なのは「地域のさまざまな人とのつながり」、実演団体に特徴的なのは「表現者としての可能性」など、活動の目的を意識した成果が挙げられた。



有効回答数：個人 61 件、福祉施設 119 件、実演団体 44 件

⑦成果：本人が得たもの（鑑賞）

鑑賞を通して得たものとして、障がい者本人、福祉施設ともに順位はほぼ同じであった。特に上位3位の「感性が育まれた」「感動や感覚」「精神的な安定」は多くの回答を得ており、障がい者本人にとっては鑑賞は抵抗感を抱かずに情操を養える貴重な機会と見受けられる。

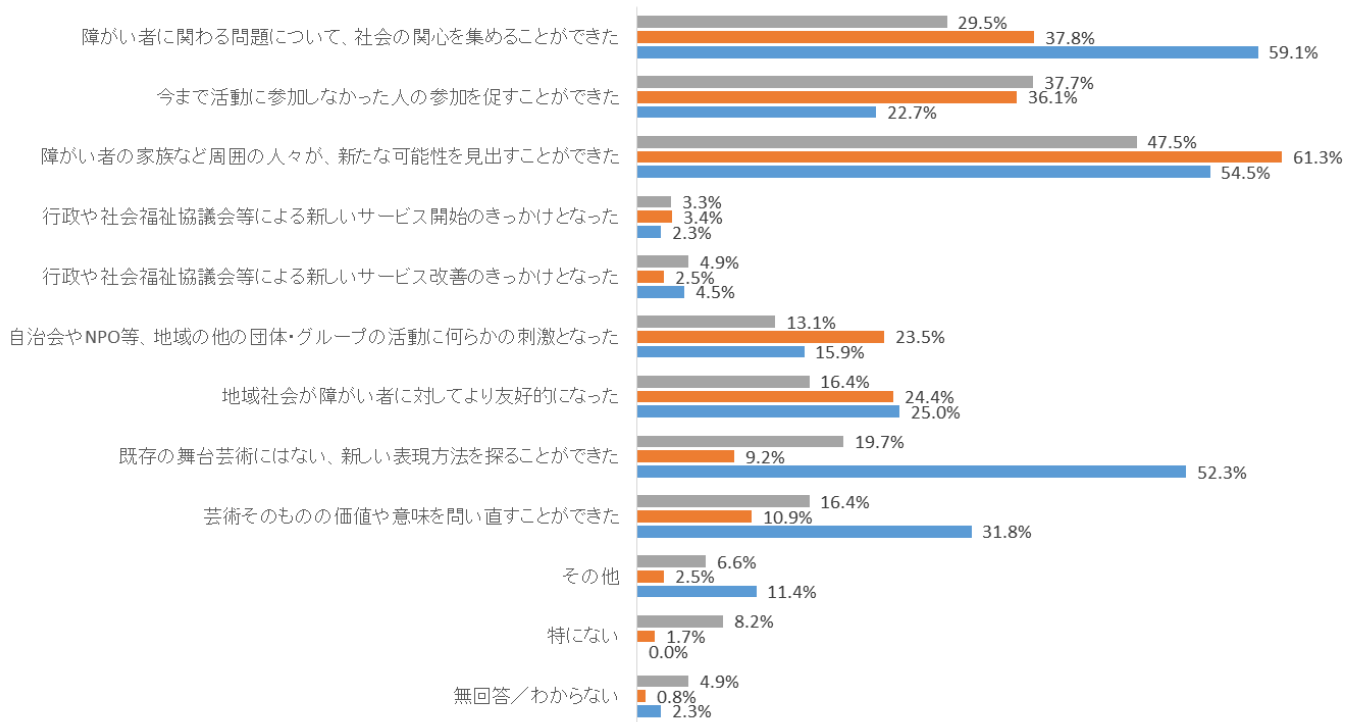


有効回答数：個人 160 件、福祉施設 148 件

⑦成果：社会へのインパクト（表現活動）

表現活動を通して社会へ及ぼしたインパクトとして、障がい者本人、福祉施設、実演団体のいずれもが「障がい者の家族など周囲の人々が、新たな可能性を見出すことができた」を2位以内に挙げている。また「障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた」「今まで活動に参加しなかった人の参加を促すことができた」なども共通して上位に挙げられている。

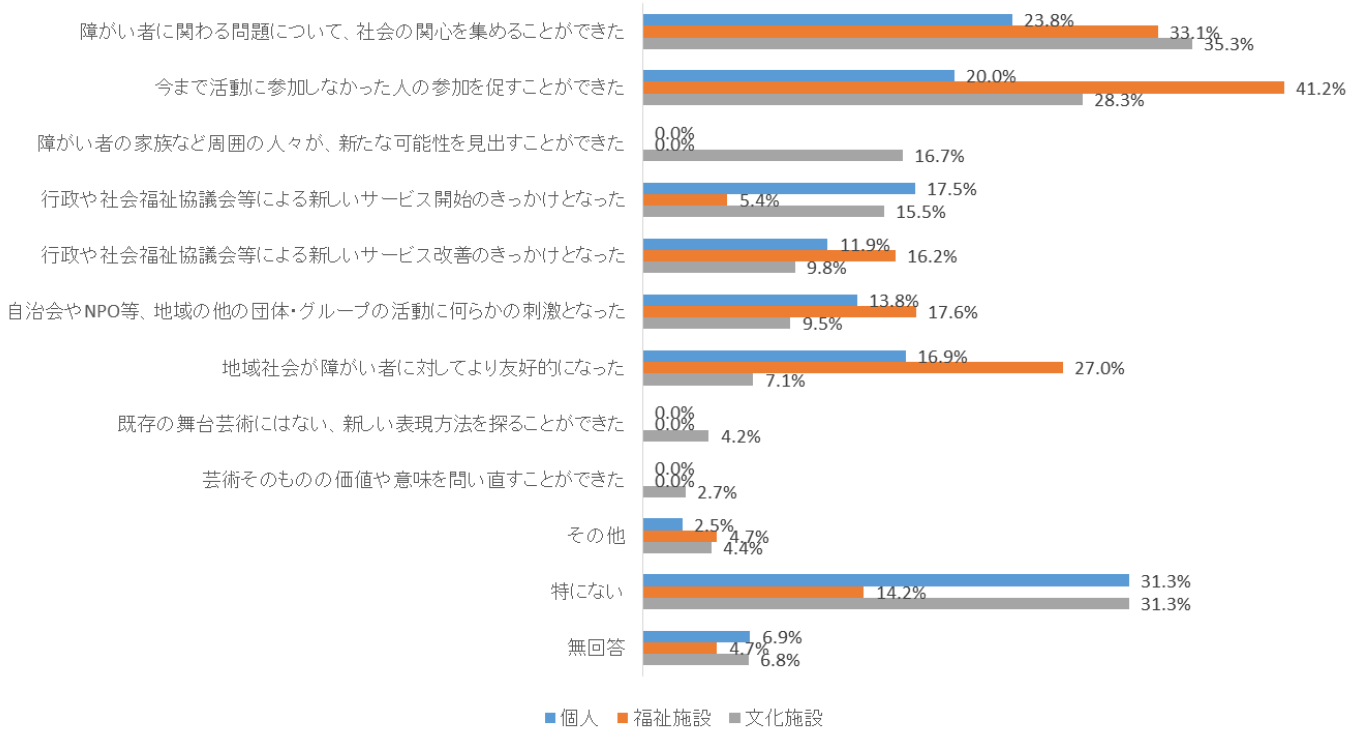
一方、福祉施設に特徴的なのは「自治会やNPO等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった」、実演団体に特徴的なのは「既存の舞台芸術にはない、新しい表現方法を探ることができた」など、周囲の家族のみならず地域や芸術自体へのインパクトを与えていることがわかる。



有効回答数：個人 61 件、福祉施設 119 件、実演団体 44 件

⑦成果：社会へのインパクト（鑑賞）

鑑賞を通して社会へ及ぼしたインパクトとして、障がい者本人、福祉施設、文化施設のいずれもが「障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた」「今まで活動に参加しなかった人の参加を促すことができた」を上位に挙げている。一方、劇場・文化施設は「特にない」が31.3%もあり福祉施設側の回答と2倍の乖離があった。さらには「地域社会が障がい者に対してより友好的になった」なども劇場・文化施設と福祉施設との間で約4倍の乖離があり、地域社会への認識の差も見受けられた。



有効回答数：個人 160 件、福祉施設 148 件、劇場・文化施設 665 件

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査（個人）

以下の質問に、ご本人（障がい当事者）が回答できない場合は、保護者もしくは支援者の方がご記入ください。当てはまるものに、☑をつけてください。

I 舞台芸術の表現活動について

1. 舞台芸術表現活動をおこなっていますか？

- (1) はい ※「はい」と回答した方は下記の問2～問21にお答えください
- (2) いいえ ※「いいえ」と回答した方はP.9/問22～26にお答えください

問1で「はい」と回答した方に伺います

2. どんな表現活動をしていますか？（いくつでも）

- (1) ダンス／舞踊（例：バレエ 社交 コンテンポラリー ジャズダンス
ストリートダンス）

具体的に

- (2) 演 劇
- (3) 伝統芸能（例：狂言 歌舞伎 人形浄瑠璃）

具体的に

- (4) ミュージカル
- (5) 演 芸 （例：漫才 落語）

具体的に

- (6) 人形劇
- (7) 音 楽 （例：歌 楽器演奏 太鼓）

具体的に

- (8) その他

具体的に

3. 表現活動をはじめたきっかけは何ですか？

- (1) 公演を見て興味を持った
- (2) ワークショップに参加した
- (3) 友人、知人に勧められた
- (4) その他 具体的に _____

4. 障がいに対応したサポートを受けていますか？

- (1) ある
サポートの内容を具体的に

(2) ない

5. これまで活動（練習・発表）の参加を断られたことがありますか？

- (1) ある
断られた理由を具体的に

(2) ない

6. どのくらい活動を続けていますか？

- (1) 1年未満
- (2) 約 _____ 年

7. どのくらい活動をしていますか？（いくつもの活動をしている場合は、合計をお答えください）

- (1) 毎日
- (2) 週 _____ 日程度
- (3) 月 _____ 日程度
- (4) 年 _____ 日程度

8. 表現活動は誰としていますか？

- (1) ひとりで
- (2) 家族と
- (3) 友人、施設、学校などでのグループ（障がい者のみ / 健常者を含む）
- (4) 劇団やダンスカンパニーなど（障がい者のみ / 健常者を含む）

9. 指導者はどのような方ですか？（いくつでも）

- (1) 自身の通う支援学校の教員
- (2) 自身の通う福祉施設の職員
- (3) 外部の支援学校教員
- (4) 外部の福祉施設職員
- (5) 外部の支援団体（NPOなど）
- (6) 専門家（作曲家・振付家・演出家など）
- (7) その他 具体的に _____
- (8) 指導者はいない

10. 主にどこで練習していますか？（いくつでも）

- (1) 自宅
- (2) 自身の通う学校内
- (3) 自身の通う福祉施設内（地域支援センター、作業所など）
- (4) 教室、スタジオなど
- (5) 地域の公共文化施設
- (6) 地域の民間文化施設（民間経営の音楽教室など）
- (7) その他 具体的に _____

11. 日々の練習場所は、どのように探しましたか？（いくつでも）

- (1) 学校内、施設内なので探す必要はない
- (2) 文化施設、教室などのDM/メーリングリスト
- (3) 文化施設、教室などのHP

→次のページに項目あり

- (4) 行政機関、公共機関の広報誌
 - (5) 行政機関、公共機関の HP
 - (6) 行政機関、公共機関の窓口
 - (7) 福祉団体の機関紙・情報誌など
 - (8) 福祉団体の HP
 - (9) 新聞
 - (10) ウェブマガジン
 - (11) SNS (フェイスブック・ツイッターなど)
 - (12) 友人／知人からの紹介
 - (13) その他 具体的に
-

12. 表現活動の一番の目的は何ですか？

- (1) 自分の成長のため
 - (2) 施設・学校などの活動だから
 - (3) 自分の楽しみのため
 - (4) 人との交流のため
 - (5) プロとして、プロを目指して
 - (6) その他 具体的に
 - (7) 特にない
-

13. 練習の成果を発表する機会がありますか？

- (1) 週 回程度
 - (2) 月 回程度
 - (3) 年 回程度
 - (4) その他 具体的に
 - (5) 発表機会はない
-

14. 発表を鑑賞に来る人は誰ですか？（いくつでも）

- (1) 家 族
- (2) 友人、知人
- (3) 地域の人々 具体的に
- (4) その他 具体的に
- (5) 分からない

15. どこで発表しますか？（いくつでも）

- (1) 自身を通う職場、施設、学校
- (2) 公共文化施設（劇場、コンサートホールなど）
- (3) 民間文化施設（劇場、コンサートホールなど）
- (4) 公共福社会館
- (5) その他 具体的に

16. あなたは、表現活動を通じてどのようなことを得ましたか？（3 つまで）

- (1) 達成感・充実感を味わえた
- (2) 知識やノウハウが豊かになった
- (3) 自分により自信が持てるようになった
- (4) 表現者としての可能性に気づくことができた
- (5) 価値観を共有できる仲間ができた
- (6) 地域のさまざまな人とのつながりができた
- (7) 社会・地域の一員としての意識が増した
- (8) 社会・地域に対して障がい者に関わる問題を提起することができた
- (9) その他 具体的に
- (10) 特にない

17. あなたの表現活動は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（3 つまで）

- (1) 障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた
- (2) 今まで表現活動や鑑賞に参加しなかった人の参加を促すことができた
- (3) 家族など周囲の人々が、新たな可能性を見出すことができた

→次のページに項目あり

- (4) 行政や社会福祉協議会等による新しいサービス開始のきっかけとなった
- (5) 行政や社会福祉協議会等によるサービス改善のきっかけとなった
- (6) 自治会や NPO 等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった
- (7) 地域社会が障がい者に対してより友好的になった
- (8) 既存の舞台芸術に対して、新しい表現の可能性を示すことができた
- (9) 芸術そのものの本来の価値や意味を問い直すことができた
- (10) その他 具体的に
- (11) 特にない

18. あなたが活動を継続していくうえで、何が問題になっていますか？以下 (1) ~ (6) からもっとも深刻なものから順に並べて、各順位に番号を記入してください。

順位 1位 _____ 2位 _____ 3位 _____ 4位 _____ 5位 _____ 6位 _____

- (1) 活動時間 (2) 練習場所・設備 (3) 指導者 (4) 支援者
(5) 発表機会 (6) その他 具体的に

19. あなたが活動を継続していく上で、資金面以外で、何が充実していることを望みますか？ (いくつでも)

19-1. 活動時間

- (1) 活動する時間を増やしたい
- (2) 活動する時間帯を変えたい
- (3) その他 具体的に
- (4) 特にない

19-2. 練習場所・設備

- (1) 決まった練習場所の確保
- (2) 練習する場所までのアクセス・距離
- (3) 練習する場所の広さ
- (4) 練習場所の設備 具体的に
- (5) その他 具体的に
- (6) 特にない

19-3. 指導者

- (1) 指導者の確保
- (2) 指導者の専門性
- (3) 指導者の継続性
- (4) その他 具体的に _____
- (5) 特にない

19-4. 支援者

- (1) 移動、行動についての支援 (知的障がい / 身体障がい / 精神障がい / その他 具体的に _____)
- (2) コミュニケーションの支援 (手話 / 触手話/ ノートテイク / 点字/ その他 具体的に _____)
- (3) 運営支援
- (4) その他 具体的に _____
- (5) 特にない

19-5. 発表機会

- (1) 機会の拡充
- (2) 会場 (施設、アクセス、設備など)
- (3) 小道具・大道具 (衣装など)
- (4) サポート要員
- (5) その他 具体的に _____
- (6) 特にない

20. 地域の劇場や文化施設に、表現活動に関して相談したことはありますか？

- (1) ある
相談場所 (人) と相談内容を具体的に

- (2) ない
相談しなかった理由を具体的に

21. 障がいのある人の表現活動について意見や希望があれば自由にお書きください。

P 1 1 II.舞台芸術の鑑賞機会についてに進んでください➡

P1/問 1 で「いいえ」と回答された方に伺います

22. 表現活動をしていない理由は何ですか? (いくつでも)

- (1) 舞台芸術や表現活動に興味がない
- (2) 他の活動で充実している
- (3) 仕事・学校が忙しい
- (4) 経済的な余裕がない
- (5) 活動できる環境がない

具体的に _____

- (6) その他

具体的に _____

- (7) 特にない

23. これまでに活動や参加を断られたことがありますか?

- (1) ある 理由を具体的に _____
- (2) ない

24. どのような要素があれば活動したいと思いますか? (いくつでも)

- (1) 手話通訳
- (2) 文字情報
- (3) 音声ガイド
- (4) 点字や拡大文字などによる資料提供
- (5) 補助犬の同伴
- (6) 車いすで参加できる場所と設備
- (7) 指導者、グループ (団体) 内での障がいへの理解
- (8) 経済的な負担の軽減
- (9) 時間的な余裕
- (10) 家族の理解
- (11) その他 具体的に _____
- (12) 特にない

25. 地域の劇場や文化施設に、舞台芸術や表現活動に関して相談したことはありますか？

(1) ある

相談場所（人）と相談内容を具体的に

(2) ない

相談しなかった理由があれば、具体的に

26. 障がいのある人の表現活動について意見や希望があれば自由にお書きください。

次ページ II.舞台芸術の鑑賞機会についてに進んでください➡

II 舞台芸術の鑑賞機会について

1. 好きなジャンルは何ですか？ (いくつでも)

- (1) ダンス/舞 踊 (バレエ / コンテンポラリー / ジャズダンス / ストリートダンス / 民族舞踊 その他 _____)
- (2) 演 劇
- (3) 伝統芸能 (狂言 / 歌舞伎 / 人形浄瑠璃 / その他 _____)
- (4) ミュージカル
- (5) 演 芸 (落語 / 漫才 / その他 _____)
- (6) 人形劇
- (7) 音 楽 (クラシック / Jポップ / K-ポップ / ジャズ / ロック / アニメソング / その他 _____)
- (8) その他
具体的に _____
- (9) 特にない

2. 日頃どこで鑑賞しますか？

- (1) 自 宅
- (2) 自身の通う学校
- (3) 自身の通う施設
- (4) 職 場
- (5) その他 具体的に _____

3. 地域の劇場や文化施設で鑑賞したことはありますか？

- (1) ある ※「ある」と回答した方は下記の問4～14とP19にお答えください
 (2) ない ※「ない」と回答した方はP17/問15～17とP19にお答えください

問3で「ある」と回答した方に伺います。

4. どのようなジャンルを鑑賞したことがありますか？(いくつでも)

- (1) ダンス/舞踊 (バレエ / コンテンポラリー / ジャズダンス / ストリートダンス / 民族舞踊 / その他 _____)
 (2) 演 劇
 (3) 伝統芸能 (狂言 / 歌舞伎 / 人形浄瑠璃 / その他 _____)
 (4) ミュージカル
 (5) 演 芸 (落語 / 漫才 / その他 _____)
 (6) 人形劇
 (7) 音 楽 (クラシック / Jポップ / Kポップ / ジャズ / ロック / アニメソング / その他 _____)
 (8) その他

具体的に _____

5. 2015年度(2015/4～2016/3)は何回鑑賞に行きましたか？

- (1) 週 _____ 回程度
(2) 月 _____ 回程度
(3) 年 _____ 回程度
(4) その他 _____ 具体的に _____

6. 公演の情報は何で知りましたか？(いくつでも)

- (1) 地域の劇場や文化施設のDM/メーリングリスト
 (2) 地域の劇場や文化施設のHP
 (3) チラシ/ポスター

→次のページにも項目あり

- (4) 新聞／情報誌
 - (5) テレビ／ラジオ
 - (6) ウェブマガジン
 - (7) SNS（フェイスブック・ツイッターなど）
 - (8) 友人／知人からの紹介
 - (9) その他 具体的に
-

7. 誰と鑑賞に行きましたか？（いくつでも）

- (1) ひとりで
 - (2) 家族と
 - (3) 友人、知人と
 - (4) ヘルパーと
 - (5) 施設／学校の教職員と
 - (6) その他 具体的に
-

8. 地域の劇場や文化施設では障がい応じたサポートを受けましたか？

- (1) はい
 受けたサポートを具体的に

- (2) いいえ
 欲しかったサポートを具体的に

- (3) サポートは不要だった

9. あなたは舞台芸術鑑賞を通じてどのようなことを得ましたか？（3つまで）

- (1) 行動範囲が広がり、居場所ができた
- (2) 価値観を共有できる仲間ができた
- (3) 豊かな感性が育まれた
- (4) コミュニケーション能力が高まった
- (5) 精神的な安定につながった

→次のページにも項目あり

- (6) 自分により自信が持てるようになった
- (7) 他人の気持ちを理解し想像するようになった
- (8) 仕事や学業などの意欲につながった
- (9) 自分自身も表現活動に参加するようになった（表現活動をしたと思った）
- (10) 自分自身の表現に関する視野が広がった
- (11) テレビ、CD、DVDでは得られない感動や感覚があった
- (12) 地域のさまざまな人とのつながりができた
- (13) 社会や地域に対して障がい者に関わる問題を提起することができた
- (14) その他 具体的に
- (15) 特にない

10. あなたがたが舞台芸術を鑑賞することで、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（3つまで）

- (1) 障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた
- (2) 今まで鑑賞に参加しなかった人の参加を促すことができた
- (3) 行政や地域の劇場、文化施設等による新しいサービス開始のきっかけとなった
- (4) 行政や地域の劇場、文化施設等によるサービス改善のきっかけとなった
- (5) 自治会やNPO等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった
- (6) 障がい者に対してより友好的な地域社会となった
- (7) その他 具体的に
- (8) 特にない

11. 地域の劇場や文化施設で、どのような対応があれば利用しやすくなりますか？

11-1. 申し込み方法（いくつでも）

- (1) 窓 口
- (2) 電 話
- (3) メール
- (4) インターネット

→次のページにも項目あり

- (5) ファックス
- (6) 郵 送
- (7) その他 具体的に
- (8) 特にない

11-2. 会場（いくつでも）

- (1) 親子室など別室での鑑賞
- (2) 車いす席
- (3) 補助犬の同伴
- (4) その他 具体的に
- (5) 特にない

11-3. 上演前の鑑賞サポート（いくつでも）

- (1) 点字や手話や文字情報による会場案内
- (2) 点字や拡大文字によるパンフレット
- (3) 舞台事前説明会
- (4) 台本の事前貸出し
- (5) その他 具体的に
- (6) 特にない

11-4. 上演中の鑑賞サポート（いくつでも）

- (1) 手話通訳
- (2) 字幕表示
- (3) 副音声ガイド
- (4) 音声補聴
- (5) その他 具体的に
- (6) 特にない

12. 地域の劇場や文化施設での鑑賞に関して、相談したことはありますか？

(1) ある

相談場所（人）と相談内容を具体的に

(2) ない

相談しなかった理由があれば、具体的に

13. 今後も地域の劇場や文化施設で鑑賞したいですか？

(1) はい

(2) いいえ

14. 地域の劇場や文化施設に対して意見や希望などがあればお聞かせください。

→P19のⅢ.回答者へお進みください。

P12/問3で「ない」と回答した方に伺います

15. 地域の劇場や文化施設で鑑賞しない理由は何ですか？（いくつでも）

- (1) 舞台芸術に興味がない
- (2) 他の活動で充実している
- (3) 仕事・学校が忙しい
- (4) 経済的な余裕がない
- (5) 観たい公演がない
- (6) その他

具体的に

- (7) 特になし

16. どのような要素があれば、鑑賞に行きたいと思えますか？（いくつでも）

- (1) 経済的な余裕
- (2) 時間的な余裕
- (3) 家族の理解
- (4) 送迎
- (5) 事前の公演情報（例：新聞、情報誌、テレビ、ラジオ、メーリングリスト、

SNS) 具体的に

- (6) 申し込みが簡単なこと（例：電話、ファックス、メール）

具体的に

- (7) 鑑賞中の手話通訳
- (8) 鑑賞中の字幕表示
- (9) 鑑賞中の副音声ガイド
- (10) 鑑賞中の音声補聴
- (11) 親子室など別室での鑑賞
- (12) 車いす席
- (13) 補助犬の同伴
- (14) 点字や拡大文字などのチラシ/パンフレット
- (15) 舞台事前説明会

→次のページにも項目あり

- (16) 台本の事前貸出し
- (17) 地域の劇場や文化施設のスタッフによる手話での対応
- (18) バリアフリー施設

具体的に

- (19) その他

具体的に

17. 地域の劇場や文化施設に対して意見や希望などがあればお聞かせください。

Ⅲ 回答者について

1. 居住地

都道府県名 _____

2. 性別

男 ・ 女

3. 年齢

_____ 歳

4. 障がい種別 （いくつでも）

- （1）知的障がい
- （2）発達障がい
- （3）身体障がい （車いす利用 有 / 無 ）
- （4）聴覚障がい
- （5）視覚障がい
- （6）精神障がい
- （7）その他 _____

ご回答ありがとうございました。

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査（福祉施設等）

地域の劇場や文化施設における障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関するアンケート調査にご回答ください。選択式の設問は、当てはまるものに☑をつけてください。

※設問中の「利用者」とは、貴団体（福祉・医療等施設、教育機関、企業、サークル・グループ等、以下団体）に所属し、そのサービスを受ける人としてします。

I 貴団体について

1. 貴団体の設置場所、設立年

(1) 都道府県名 _____

(2) 設立年 西暦 _____ 年

2. 貴団体の種類

(1) 福祉関連施設（ 通所 / 入所 / 相談施設 ）

(2) 医療関連施設

(3) 公的、民間の教育機関

(4) 企業

(5) サークル・グループ

(6) その他 _____

3. 貴団体の利用者（複数回答可）

3-1. 成人/未成年

(1) 成人 (2) 未成年

3-2. 障がいの種類

(1) 知的障がい

(2) 発達障がい

(3) 身体障がい（車いす利用 有 / 無 ）

(4) 聴覚障がい

(5) 視覚障がい

(6) 精神障がい

(7) その他

4. 貴団体スタッフ数（常勤・非常勤・パート含む）

- （1） 1～10名未満
- （2） 11名～30名
- （3） 31名～50名
- （4） 51名～100名
- （5） 101名以上

II 障がいのある人の舞台芸術の表現活動について

1. 障がいのある人の舞台芸術の表現活動をおこなっていますか？

(1) はい ※「はい」と回答した方は下記の問2～問22にお答えください

(2) いいえ ※「いいえ」と回答した方はP11/問23～問25にお答えください

問1で「はい」と回答した方に伺います

2. 活動ジャンルは何ですか？(複数回答可)

(1) ダンス/舞踊 (例: バレエ 社交 コンテンポラリー ジャズダンス ストリートダンス)

具体的に

(2) 演劇

(3) 伝統芸能 (例: 狂言 歌舞伎 人形浄瑠璃)

具体的に

(4) ミュージカル

(5) 演芸 (例: 漫才 落語)

具体的に

(6) 人形劇

(7) 音楽 (例: 歌 楽器演奏 太鼓)

具体的に

(8) その他

具体的に

3. 活動歴についてお答えください。

(1) 1年未満

(2) 約 _____ 年

4. 日頃の練習の頻度についてお答えください。(複数の活動がある場合は、合計をお答えください)

- (1) 毎 日
- (2) 週 _____ 日程度
- (3) 月 _____ 日程度
- (4) 年 _____ 日程度

5. 主に活動しているメンバーについてお答えください。(複数回答可)

- (1) スタッフ (障がいあり / 障がいなし / 分からない)
- (2) 利用者 (障がいあり / 障がいなし / 分からない)
- (3) 利用者家族 (障がいあり / 障がいなし / 分からない)
- (4) 外部指導者 (障がいあり / 障がいなし / 分からない)
- (5) その他 (ボランティアなど) : 障がいあり / 障がいなし / 分からない)

6. 指導者はいますか？

- (1) 内部の教員
- (2) 内部の施設職員
- (3) 外部の教員
- (4) 外部の施設等職員
- (5) 外部団体
- (6) 専門家 (作曲家・振付家・演出家など)
- (7) その他 具体的に _____
- (8) 指導者はいない

7. 主にどこで練習をしていますか？ (複数回答可)

- (1) 自団体の施設内
- (2) 学 校
- (3) 外部の福祉施設 (自団体以外の地域支援センター、作業所など)
- (4) 教室、スタジオなど
- (5) 地域の公共文化施設
- (6) 地域の民間文化施設 (民間経営の音楽教室など)
- (7) その他 具体的に _____

8. 日頃の練習場所は、どのように探しましたか？ (複数回答可)

- (1) 学校内、施設内で活動しているので探す必要はない
- (2) 文化施設、教室などの DM/メーリングリスト
- (3) 文化施設、教室などの HP
- (4) 行政機関、公共機関の広報誌
- (5) 行政機関、公共機関の HP
- (6) 行政機関、公共機関の窓口
- (7) 福祉団体の機関紙・情報誌など
- (8) 福祉団体の HP
- (9) 新 聞
- (10) ウェブマガジン
- (11) SNS (フェイスブック・ツイッターなど)
- (12) 友人/知人からの紹介
- (13) その他 具体的に _____

9. 練習の成果を発表する機会はどのくらいありますか？

- (1) 週 _____ 回程度
- (2) 月 _____ 回程度
- (3) 年 _____ 回程度
- (4) ない 発表しない理由 _____

10. 発表を鑑賞する人は誰ですか？

- (1) 利用者家族
- (2) 職 員
- (3) 知人、友人
- (4) 地域の人々 具体的に _____
- (5) その他 具体的に _____

11. 発表する場所はどこですか？（複数回答可）

- (1) 自団体施設
- (2) 公共文化施設（劇場、コンサートホールなど）
- (3) 民間文化施設（劇場、コンサートホールなど）
- (4) 公共福祉施設
- (5) その他 具体的に _____

12. 表現活動の目的は何ですか？（3つまで回答可）

- (1) 団体内の相互理解
- (2) 利用者と家族・地域との交流
- (3) 余暇活動として
- (4) 芸術表現の場として
- (5) 団体の収益
- (6) 団体の広報
- (7) 社会啓発
- (8) 療 法・セラピー・リハビリ
- (9) 教 育
- (10) 療 育
- (11) その他 具体的に _____

13. 貴団体が行う障がいのある人が参加する舞台芸術の表現活動を通じて、障がいのある参加者が、どのようなことを得たと考えますか？（3 つまで回答可）

- （1）達成感・充実感を味わえた
- （2）知識やノウハウが豊かになった
- （3）自分により自信が持てるようになった
- （4）表現者としての可能性に気づくことができた
- （5）価値観を共有できる仲間ができた
- （6）地域のさまざまな人とのつながりができた
- （7）社会・地域の一員として意識が増した
- （8）社会・地域に対して障がい者に関わる問題を提起することができた
- （9）その他 具体的に
- （10）特にない

14. 貴団体の障がいのある人が参加する舞台芸術の表現活動は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（3 つまで回答可）

- （1）障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた
- （2）今まで表現活動や鑑賞に参加しなかった人の参加を促すことができた
- （3）障がい者の家族など周囲の人々が、新たな可能性を見出すことができた
- （4）行政や社会福祉協議会等による新しいサービス開始のきっかけとなった
- （5）行政や社会福祉協議会等によるサービス改善のきっかけとなった
- （6）自治会や NPO 等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった
- （7）地域社会が障がい者に対してより友好的になった
- （8）既存の舞台芸術にはない、新しい表現方法を探ることができた
- （9）芸術そのものの価値や意味を問い直すことができた
- （10）その他 具体的に
- （11）特にない

15. 貴団体における障がいのある人の舞台芸術表現活動の 2015 年度の経費はいくらでしたか？

- (1) なし
- (2) 10 万円未満
- (3) 10 万～20 万円未満
- (4) 20 万円～30 万円未満
- (5) 30 万円以上
- (6) その他 具体的に _____

16. 障がいのある人の舞台芸術表現活動の経費をどのように賄いましたか？ (1)～(7) を割合の高い順に並べて、各順位に番号を記入してください。(複数回答可)

順位 1 位 _____ 2 位 _____ 3 位 _____ 4 位 _____ 5 位 _____

- (1) 団体の活動予算
- (2) 団体職員 (スタッフ) の負担
- (3) 活動に参加する障がい者の負担
- (4) イベント、発表会の入場料収入
- (5) 民間企業、財団などの助成金
- (6) 国や地方自治体など公的機関からの助成金
- (7) 寄付金

17. 活動していくうえで、障がいに対応したサポートをしていますか？

- (1) はい
- 具体的に _____
- (2) いいえ

18. 活動を継続していくうえで、何が問題になっていますか？以下 (1)～(6) をもっとも深刻なものから順に並べて、各順位に番号を記入してください。

順位 1 位 _____ 2 位 _____ 3 位 _____ 4 位 _____ 5 位 _____ 6 位 _____

- (1)活動時間 (2)練習場所・設備 (3)指導者 (4)支援者
- (5)発表機会 (6) その他 具体的に _____

19. 資金が潤沢にあれば何を充実させたいですか？ (複数回答可)

19-1. 活動時間

- (1) 活動する時間を増やしたい
- (2) 活動する時間帯を変えたい
- (3) その他 具体的に _____
- (4) 特にない

19-2. 練習場所・設備

- (1) 決まった練習場所の確保
- (2) 練習場所までのアクセス・距離
- (3) 練習する場所の広さ
- (4) 練習場所の設備 具体的に _____
- (5) その他 具体的に _____
- (6) 特にない

19-3. 指導者

- (1) 指導者の確保
- (2) 指導者の専門性
- (3) 指導者の継続性
- (4) その他 具体的に _____
- (5) 特にない

19-4. 支援者

- (1) 移動、行動についての支援 (知的障がい / 身体障がい / 精神障がい / その他 具体的に _____)
- (2) コミュニケーションの支援 (手話 / 触手話 / ノートテイク / 点字 / その他 具体的に _____)
- (3) 運営支援
- (4) その他 具体的に _____
- (5) 特にない

19-5. 発表の機会

- (1) 機会の拡充
- (2) 会場（施設、アクセス、設備）
- (3) 小道具・大道具（衣装など）
- (4) サポート要員
- (5) その他 具体的に _____
- (6) 特になし

20. 資金繰りで工夫をしていることがあればお答えください。

具体的に _____

21. 地域の劇場や文化施設に、表現活動に関して相談したことはありますか？

- (1) ある
相談場所（人）と相談内容を具体的に

- (2) ない
相談しなかった理由があれば、具体的に

22. 障がいのある人の表現活動についての意見や希望などがあればお聞かせください。

P3/問 1 で「いいえ」と回答した方に伺います

23. 舞台芸術の表現活動の中で、どのようなジャンルに興味がありますか？ (複数回答可)

- (1) ダンス/舞踊 (例: バレエ 社交 コンテンポラリー ジャズダンス ストリートダンス)

具体的に _____

- (2) 演劇
- (3) 伝統芸能 (例: 狂言 歌舞伎 人形浄瑠璃)

具体的に _____

- (4) ミュージカル
- (5) 演芸 (例: 漫才 落語)

具体的に _____

- (6) 人形劇
- (7) 音楽 (例: 歌 楽器演奏 太鼓)

具体的に _____

- (8) その他

具体的に _____

- (9) 特にない

24. どのような要素があれば舞台芸術の表現活動をしたしたいと思いますか？ (複数回答可)

- (1) 利用者の希望
- (2) 利用者の身体・病状の安定
- (3) 舞台芸術表現活動のノウハウ
- (4) 障がいに対応できる指導者 (団体) の確保
- (5) 活動資金の確保
- (6) 団体内の理解
- (7) マンパワーの増強
- (8) 障がいに対応した設備 (トイレ・練習場所の段差など)
- (9) 移動の利便性の向上
- (10) その他 具体的に _____
- (11) 特にない

25. 障がいのある人の表現活動についての意見や希望などがあればお聞かせください。

次ページ Ⅲ.障がいのある人の舞台芸術の鑑賞活動に進んでください➡

Ⅲ 障がいのある人の舞台芸術の鑑賞活動について

1. 地域の劇場や文化施設に出向いて鑑賞したことはありますか？

- (1) あ る ※「ある」と答えた方は下記の問 2～問 12 をお答えください
 (2) な い ※「ない」と答えた方は P 18 / 問 13～問 14 をお答えください

問 1 で「ある」と回答した方に伺います

2. どのようなジャンルを鑑賞しましたか？

- (1) ダンス／舞 踊 (バレエ / コンテンポラリー / ジャズダンス /
ストリートダンス / 民族舞踊 / その他)
- (2) 演 劇
- (3) 伝統芸能 (狂言 / 歌舞伎 / 人形浄瑠璃 /
その他)
- (4) ミュージカル
- (5) 演 芸 (漫才 / 落語 / その他)
- (6) 人形劇
- (7) 音 楽 (クラシック / J ポップ / K ポップ / ジャズ /
ロック / アニメソング / その他)
- (8) その他 具体的に

3. 2015 年度に、何回鑑賞に行きましたか？

- (1) 週 _____ 回程度
(2) 月 _____ 回程度
(3) 年 _____ 回程度

4. 公演の情報は何で知りましたか？（複数回答可）

- （1）地域の劇場や文化施設の DM／メール／リスト
- （2）地域の劇場や文化施設の HP
- （3）チラシ／ポスター
- （4）新聞／情報誌
- （5）ウェブマガジン
- （6）SNS（フェイスブック・ツイッターなど）
- （7）友人／知人からの紹介
- （8）その他 具体的に

5. 地域の劇場や文化施設を利用したとき、障がいに応じたサポートは受けましたか？

- （1）はい

具体的に

- （2）いいえ

欲しかったサポートを具体的に

- （3）サポートは不要だった

6. 地域の劇場や文化施設での鑑賞において、文化施設スタッフが対応できなかったことはありますか？

- （1）ある 具体的に

- （2）ない

次ページ続きあり➡

7. 貴団体の活動に参加する障がいのある人は、舞台芸術鑑賞を通じてどのようなことを得たと考えますか？（3 つまで回答可）

- (1) 行動範囲が広がり、居場所ができた
- (2) 価値観を共有できる仲間ができた
- (3) 豊かな感性が育まれた
- (4) コミュニケーション能力が高まった
- (5) 精神的な安定につながった
- (6) 自分により自信が持てるようになった
- (7) 他人の気持ちを理解し想像するようになった
- (8) 仕事や学業などの意欲につながった
- (9) 自分自身も表現活動に参加するようになった
- (10) 自分自身の表現に関する視野が広がった
- (11) テレビ、CD、DVDでは得られない感動や感覚があった
- (12) 地域のさまざまな人とのつながりができた
- (13) 社会や地域に対して障がい者に関わる問題を提起することができた
- (14) その他 具体的に
- (15) 特にない

8. 貴団体が行う障がいのある人の舞台芸術鑑賞は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか？（3 つまで回答可）

- (1) 障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた
- (2) 今まで鑑賞に参加しなかった人の参加を促すことができた
- (3) 行政や地域の劇場、文化施設等による新しいサービス開始のきっかけとなった
- (4) 行政や地域の劇場、文化施設等によるサービス改善のきっかけとなった
- (5) 自治会やNPO等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった
- (6) 障がい者に対してより友好的な地域社会となった
- (7) その他 具体的に
- (8) 特にない

9. 地域の劇場や文化施設で、どのような対応があれば利用しやすくなりますか？

9-1. 申し込み方法（複数回答可）

- (1) 窓
- (2) 電話
- (3) メール
- (4) インターネット
- (5) ファックス
- (6) 郵送
- (7) その他 具体的に
- (8) 特にない

9-2. 会場

- (1) 親子室など別室での鑑賞
- (2) 車いす席
- (3) 補助犬の同伴
- (4) その他 具体的に
- (5) 特にない

9-3. 上演前の鑑賞サポート（複数回答可）

- (1) 手話や文字情報による会場案内
- (2) 点字や拡大文字によるパンフレット
- (3) 舞台事前説明会
- (4) 台本の事前貸出し
- (5) その他 具体的に
- (6) 特にない

9-4. 上演中の鑑賞サポート (複数回答可)

- (1) 手話通訳
- (2) 字幕表示
- (3) 副音声ガイド
- (4) 音声補聴
- (5) その他 具体的に _____
- (6) 特にない

10. 地域の劇場や文化施設での鑑賞に関して、相談したことはありますか？

- (1) ある

相談場所 (人) と相談内容を具体的に

- (2) ない

相談しなかった理由があれば具体的に

11. 今後も地域の劇場や文化施設で鑑賞したいですか？

- (1) はい
- (2) いいえ

12. 地域の劇場や文化施設に対して意見や希望などがあればお聞かせください。

→P19 の F1、F2 に進んでください。

P13/問 1 で「ない」と回答された方に伺います

13. どのような要素があれば行きたいと思えますか？（複数回答可）

- (1) 料金が安いこと
- (2) 地域の劇場や文化施設までの送迎
- (3) 事前の公演情報（例：新聞、情報誌、ラジオ/テレビ、SNS、メーリングリスト）
具体的に _____
- (4) 申し込み方法が簡単なこと（例：電話、ファックス、メール）
具体的に _____
- (5) 鑑賞中の手話通訳
- (6) 鑑賞中の字幕表示
- (7) 鑑賞中の副音声ガイド
- (8) 鑑賞中の音声補聴
- (9) 親子室など別室での鑑賞
- (10) 車いす席
- (11) 補助犬の同伴
- (12) 点字や拡大文字などのチラシ/パンフレット
- (13) 舞台事前説明会
- (14) 台本の事前貸出し
- (15) スタッフによる手話での対応
- (16) バリアフリー施設
具体的に _____
- (17) 自団体の職員の増員
- (18) その他
具体的に _____
- (19) 特にない

1 4. 地域の劇場や文化施設に対して意見や希望などがあればお聞かせください

--

お差し支えなければ、以下をお答えください。

F1. 回答者

団体名	
担当者	
役職名	
住 所	
T E L	
F A X	
E-mail	

F2. 今後のアンケート調査にもご協力いただけますか？

- (1) はい
- (2) いいえ

ご回答ありがとうございました。

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

≪実演団体≫

選択式の設問は、当てはまるものに✓をつけてください。

I 障がいのある人が参加する表現活動について

1. 貴団体の活動について、「福祉」と「芸術」のどちらを強く意識していますか。

どちらかと いえば福祉	両方を 同じ程度	どちらかと いえば芸術
-----	-----	-----
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2. 日常的に舞台芸術活動を行う場所について

2-1. 活動を行う場所をもっていますか。

(1) はい (2) いいえ

→問2-1で「(2)いいえ」と答えた方

2-2. どこを借りていますか。（複数回答可）

- (1) 学校 (2) 福祉施設(自団体以外の地域支援センター、作業所など) (3) 教室、スタジオなど
 (4) 地域の公共文化施設 (5) 地域の民間文化施設(民間経営の音楽教室など)
 (6) その他

→すべての方

3. 参加者の障がい種別について教えてください。（複数回答可）

- (1) 知的障がい (2) 発達障がい (3) 身体障がい（車いす利用 有）
 (4) 身体障がい（車いす利用 無） (5) 聴覚障がい (6) 視覚障がい (7) 精神障がい
 (8) その他

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

《実演団体》

4. 活動のジャンルについて教えてください。（複数回答可）

(1) ダンス／舞踊 具体的に（例）バレエ、社交、コンテンポラリー、ジャズダンス、ストリートダンス、民族

(2) 演劇

(3) 伝統芸能 具体的に（例）狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃

(4) ミュージカル

(5) 演芸 具体的に（例）漫才、落語

(6) 人形劇

(7) 音楽 具体的に（例）歌、楽器演奏、太鼓

(8) その他 具体的に

5. 問4で選んだ活動の形態はどれですか。（複数回答可）

（*上演とは、部内の関係者や家族のみを観客とする発表会等を除きます。）

(1) ワークショップ (2) サークル、余暇活動 (3) レッスン、教室（発表会を含む）

(4) 作品上演およびそれを目的とした創作活動

(5) その他

6. 日ごろの練習の頻度を教えてください。

(1) 毎日 (2) 週に 日程度 (3) 月に 日程度

(4) 年に 日程度 (5) その他

7. 2015年度の一年間に何回、障がいのある人が参加する舞台芸術作品を上演しましたか。

回

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

《実演団体》

8. 活動に関する情報発信の方法を教えてください。（複数回答可）

- (1) ダイレクトメール、メーリングリスト
 (2) ホームページ
 (3) チラシ、ポスター
 (4) 新聞、情報誌、ウェブマガジンなど外部の媒体
 (5) テレビ、ラジオ
 (6) SNS(フェイスブック、ツイッターなど)
 (7) 口コミ
 (8) その他 具体的

9. 外国語でどのように情報を発信していますか。（複数回答可）

- (1) ウェブページをつくっている
 (2) SNSで発信している
 (3) その他
 (4) 外国語で発信を行っていない

10. 活動に携わる人について教えてください。

10-1. 活動に携わる人は全部で何人いますか（アーティスト、指導者、運営者、支援者などを含めて（障がいのある人を含む））。

約 人

10-2. フルタイムで携わる人は何人ですか。

人

10-3. フルタイム以外で、上演の時だけ携わる人は何人ですか。

人

10-4. フルタイム以外で、上演の時以外にも恒常的に携わる人は何人ですか。

約 人

11. 貴団体が行う障がいのある人が参加する舞台芸術活動を通じて、障がいのある参加者がどのようなことを得たと考えますか。（3つまで）

- (1) 達成感・充実感を味わえた
 (2) 知識やノウハウが豊かになった
 (3) 自分により自信が持てるようになった
 (4) 表現者としての可能性に気づくことができた
 (5) 価値観を共有できる仲間ができた
 (6) 地域のさまざまな人とのつながりができた
 (7) 社会・地域の一員としての意識が増した
 (8) 社会、地域に対して障がい者に関わる問題を提起することができた
 (9) その他 具体的に
 (10) 特になし

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

≪実演団体≫

12. 貴団体が行う障がいのある人が参加する舞台芸術活動は、社会的にどのような効果を生んだと考えますか。
（3つまで）

- (1) 障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた
- (2) 今まで活動に参加しなかった人の参加を促すことができた
- (3) 障がい者の家族など周囲の人々が、新たな可能性を見出すことができた
- (4) 行政や社会福祉協議会等による新しいサービス開始のきっかけとなった
- (5) 行政や社会福祉協議会等によるサービス改善のきっかけとなった
- (6) 自治会やNPO等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった
- (7) 地域社会が障がい者に対してより友好的になった
- (8) 既存の舞台芸術にはない、新しい表現方法を探ることができた
- (9) 芸術そのものの価値や意味を問い直すことができた
- (10) その他 具体的に
- (11) 特にない

13. 障がいのある人が参加する活動の問題について

13-1. 活動を継続していくうえで、何が問題になっていますか。以下(1)～(6)について、もっとも深刻なものから順に選んでください。（5位まで）

- (1)ノウハウの不足 (2)人材の不足 (3)予算の不足 (4)場所・設備の不足
(5)その他 (6)特にない

1位 ▼ 2位 ▼

3位 ▼ 4位 ▼ 5位 ▼

(5) その他を具体的に

13-2. ノウハウの不足に関して、もっとも深刻な問題は以下のどれですか。

- (1) 障がい者福祉に関するノウハウ (2) 芸術に関するノウハウ (3) 経営・運営に関するノウハウ
- (4) その他 (5) 特にない

13-3. 人材の不足に関して、もっとも深刻な問題は以下のどれですか。

- (1) 障がい者福祉に関する人材 (2) 芸術に関する人材 (3) 経営・運営に関する人材
- (4) その他 (5) 特にない

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

≪実演団体≫

13-4. 予算の不足に関して、もっとも深刻な問題は以下のどれですか。

- (1) 運営スタッフの人件費
 (2) 事務局維持費
 (3) 舞台芸術活動にかかる人件費
 (4) 舞台芸術活動にかかる人件費以外の経費（上演関係費な
 (5) その他
 (6) 特にない

13-5. 場所・設備の不足に関して、もっとも深刻な問題は以下のどれですか。

- (1) 活動に適した場所が少ない
 (2) 障がいのある参加者に必要な設備が整っていない
 (3) 借りるための手続きに手間や時間がかかる
 (4) 活動したい場所を貸してもらえない（障がいのある参加者がいることが理由で）
 (5) その他
 (6) 特にない

14. 障がいのある人の表現活動参加に際して、どのような工夫をしていますか。

14-1. 設備面

14-2. 情報面

14-3. 人的対応面（介助者など）

14-4. その他

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

《実演団体》

II 貴団体について

お差支えなければ、定款、直近の事業報告書、収支報告書をご提供ください。その場合、以下の質問のうち、書類に明記されていない項目のみ以下の質問にお答えください。

1. 団体の運営形態は、以下のどれですか。

- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> (1) 公益社団法人 | <input type="radio"/> (2) 一般社団法人 | <input type="radio"/> (3) 公益財団法人 | <input type="radio"/> (4) 一般財団法人 |
| <input type="radio"/> (5) 社会福祉法人 | <input type="radio"/> (6) 認定NPO法人 | <input type="radio"/> (7) その他の NPO 法人 | |
| <input type="radio"/> (8) 株式会社 | <input type="radio"/> (9) 有限会社 | <input type="radio"/> (10) 任意団体 | |
| <input type="radio"/> (11) その他 | <input type="text"/> | | |

2. 貴団体の活動・運営に対する資金・その他の支援について教えてください。

2-1. 外部団体から継続的に支援を受けていますか。

- | | |
|------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> (1) はい | <input type="radio"/> (2) いいえ |
|------------------------------|-------------------------------|

→ 問2-1で「(1)はい」と答えた方

2-2. 支援団体はどのような組織ですか。（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> (1) 民間企業や財団など | <input type="checkbox"/> (2) 国や地方自治体などの公的 |
| <input type="checkbox"/> (3) その他 | <input type="text"/> |

→ 問2-1で「(1)はい」と答えた方

2-3. 支援団体からどのような支援を受けていますか。（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> (1) 資金面の支援 | <input type="checkbox"/> (2) 場所（活動場所や事務所など）の提供による支援 |
| <input type="checkbox"/> (3) 人的支援（運営スタッフ、ボランティアなど含む） | |
| <input type="checkbox"/> (4) その他の支援 | <input type="text"/> |

→すべての方

2-4. 支援を受けるために、工夫していることはありますか。

<input type="text"/>

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査

≪実演団体≫

3. 主たる活動を行う都道府県は、どこですか。（複数回答可）

4. 設立年を西暦でお答えください。

年

5. 活動目的は何ですか。定款などがあれば、その通りに記述してください。

6. 収支

6-1. 2015年度決算の収入を教えてください。

収入総額（経常収益など）約 万円

6-2. 2015年度決算の支出を教えてください。

支出総額（経常費用など）約 万円

6-3. 収入の内訳比率

(1) 事業収入	約	<input style="width: 40px;" type="text"/>	%
(2) 補助金・助成金・協賛金	約	<input style="width: 40px;" type="text"/>	%
(3) 寄付金	約	<input style="width: 40px;" type="text"/>	%
(4) 会費	約	<input style="width: 40px;" type="text"/>	%
(5) その他	約	<input style="width: 40px;" type="text"/>	%

6-4. 支出の内訳比率

(1) 事業費	約	<input style="width: 40px;" type="text"/>	%	事業費のうち人件費	<input style="width: 40px;" type="text"/>	%
(2) 管理費	約	<input style="width: 40px;" type="text"/>	%	管理費のうち人件費	<input style="width: 40px;" type="text"/>	%

6-5. 「(1)事業費」のうち、舞台芸術事業に関する支出の比率

約 %

ご回答いただき、ありがとうございました。

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査〈劇場〉

劇場における障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関するアンケート調査にご回答ください。

選択式の設問は、当てはまるものに、をつけてください。

I 基本情報

1. 運営について

1-1. 貴施設の運営主体をお答えください。

- (1) 国立文化施設
- (2) 公立文化施設
- (3) 民間施設

→p.1 I 問 1-1 で「(2) 公立文化施設」と答えられた方に伺います。

1-2. 管理運営形態をお答えください。

- (1) 公共団体による直営
- (2) 公益または一般財団法人による指定管理
- (3) 民間企業または NPO 法人による指定管理
- (4) 官民共同企業体による指定管理
- (5) 民間企業または NPO 法人の共同企業体による指定管理

→すべての方に伺います。

2. 貴施設の設置場所（都道府県）をお答えください。

()

→すべての方に伺います。

3. 貴施設にあるホール規模をお答えください。（複数回答可）

- (1) 客席数 1000 席以上のホール
- (2) 客席数 500～999 席のホール
- (3) 客席数 499 席以下のホール

Ⅱ スタッフ研修について

1. 障がいのある人に対するサポートや理解に関する研修について

1-1. 2015 年 4 月以降の研修の実施状況についてお答えください。

- (1) 実施した
- (2) 実施していないが、2016 年度内に実施予定がある
- (3) 実績、予定ともない

→p.3Ⅱ問 1-1 で「(1) 実施した」または「(2) 実施していないが、2016 年度内に実施予定がある」と答えた方に伺います。

1-2. 受講対象者をお答えください。(複数回答可)

- (1) 管理職
- (2) 企画制作職
- (3) 受付職
- (4) 警備職
- (5) 舞台技術職
- (6) ボランティアスタッフ
- (7) その他 (具体的に)

→p.3Ⅱ問 1-1 で「(1) 実施した」または「(2) 実施していないが、2016 年度内に実施予定がある」と答えた方に伺います。

1-3. 研修内容をお答えください。(複数回答可)

- (1) スタッフの意識啓発
- (2) 障がいのある人への対応や接遇
- (3) 障がいのある人も参加できる事業づくり
- (4) 障がいのある人が参加していることを想定した危機管理・避難訓練
- (5) その他 (具体的に)

→p.3Ⅱ問 1-1で「(3)実績、予定ともない」と答えた方に伺います。

1-4. どのような要素があれば、研修を実施したいと思いますか。(複数回答可)

- (1) 国または地方自治体からの予算措置
- (2) 福祉部署との連携
- (3) 研修内容に関するノウハウ
- (4) 研修実施の権限
- (5) その他（具体的に)
- (6) 特にない

→すべての方に伺います。

2. 今後の障がいのある人に対するサポートや理解に関する研修には、どのような内容が必要だと思いますか。(複数回答可)

- (1) スタッフの意識啓発
- (2) 障がいのある人への対応や接遇
- (3) 障がいのある人も参加できる事業づくり
- (4) 障がいのある人が参加していることを想定した危機管理・避難訓練
- (5) その他（具体的に)
- (6) 特にない

Ⅲ 障がいのある人の鑑賞について

1. 障がいのある人たちの鑑賞実態について

1-1.障がいのある人たちは、公演（自主・共催、貸館事業を含む）に鑑賞に来ていますか。

- (1) はい
- (2) いいえ
- (3) わからない

→p.5Ⅲ問 1-1で「(1) はい」と答えた方に伺います。

1-2. どのような障がい種別の方が鑑賞しているか、(1)～(5)の事業ごとにお答えください。(複数回答可)

各事業で※が付いた項目とそれ以外の項目を同時に選択しないよう、ご注意ください。	知的障がい	発達障がい	身体障がい 車いす利用 有	身体障がい 車いす利用 無	聴覚障がい	視覚障がい	精神障がい	障がい種別は不明	※参加していない	※事業を実施していない
	(1) コンサート公演	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(2) 演劇公演 (能楽、狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(3) ダンス公演	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(4) 落語、講演会、トークショー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(5) 体験型講座、ワークショップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

→p.5Ⅲ問 1-1で「(1) はい」と答えた方に伺います。

1-3. 鑑賞に来た障がいのある人から、何らかのサポートを求められたことはありますか。

- (1) ある (具体的に)
- (2) ない

→p.5Ⅲ問 1-1で「(1) はい」と答えた方に伺います。

1-4. 障がいのある人が鑑賞に来た時に、対応で困ったことはありますか。

- (1) ある（具体的に _____)
- (2) ない

→p.5Ⅲ問 1-1で「(1) はい」と答えた方に伺います。

1-5. 障がいのある人が鑑賞に来た時に、どのスタッフが対応していますか。(複数回答可)

- (1) 施設職員
- (2) ボランティアスタッフ
- (3) 人材派遣会社などによる外注スタッフ
- (4) その他（具体的に _____)

→すべての方に伺います。

2. 自主事業において、障がいのある人たちを鑑賞者として想定していますか。

- (1) はい
- (2) いいえ
- (3) 自主事業を実施していない

→すべての方に伺います。

3. 貸館事業において、障がいのある人たちは鑑賞に来ていますか。

- (1) はい
- (2) いいえ
- (3) わからない

→すべての方に伺います。

4. 障がいのある人への情報発信について

4-1.障がいのある人へ公演情報を届けるために、取り組んでいることはありますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

→p.7Ⅲ問 4-1で「(1) はい」と答えた方に伺います。

4-2. 具体的に取り組んでいることは何ですか。(複数回答可)

- (1) 点字チラシの作成
- (2) 白黒反転チラシの作成
- (3) ルビ付きチラシの作成
- (4) 音声コードの活用
- (5) 障がい者団体・行政機関を通じた情報発信
- (6) 福祉関連のメディアへの情報提供
- (7) 福祉作業所や特別支援学校等への情報発信
- (8) その他 (具体的に)

→p.7Ⅲ問 4-1で「(2) いいえ」と答えた方に伺います。

4-3. どのような要素があれば障がいのある人に広報したいと思いますか。

(複数回答可)

- (1) 国または地方自治体からの予算措置
- (2) 福祉部署との連携
- (3) 障がいのある人へ情報を届けるノウハウ
- (4) マンパワーの増強
- (5) その他 (具体的に)

→すべての方に伺います。

5. 受付体制について

5-1.障がいのある人からの申し込みや問い合わせを想定した受付体制を整備していますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

→p.8Ⅲ問 5-1 で「(1) はい」と答えた方に伺います。

5-2. 具体的に取り組んでいることは何ですか。(複数回答可)

- (1) 電話・ファックス・電子メールなど、受付方法を多様化している
- (2) 手話のできるスタッフを配置している
- (3) 筆談で対応している
- (4) その他 (具体的に)

→p.8Ⅲ問 5-1 で「(2) いいえ」と答えた方に伺います。

5-3. どのような要素があれば整備を進めようと思いませんか。(複数回答可)

- (1) 国または地方自治体からの予算措置
- (2) 福祉部署との連携
- (3) 障がいのある人への接し方のノウハウ
- (4) マンパワーの増強
- (5) 施設・設備のバリアフリー化
- (6) その他 (具体的に)

→すべての方に伺います。

6. 障がいのある人への字幕や副音声ガイドなどの鑑賞サポートについて

6-1. 障がいのある人への字幕や副音声ガイドなどの鑑賞サポート付き公演を実施したことがありますか。

- (1) はい
- (2) 実施していないが、2016 年度内に実施予定がある
- (3) 実績、予定ともない

→p.8Ⅲ問 6-1 で「(1) はい」または「(2) 実施予定がある」と答えた方に伺います。

6-2. 実施したことのある、または実施予定のある鑑賞サポートについて、(1)～(5)の事業ごとにお答えください。(複数回答可)

各事業で※が付いた項目とそれ以外の項目を同時に選択しないよう、ご注意ください。	手話通訳	字幕表示	副音声ガイド	音声補聴	その他 具体的に	※実施していない
(1) コンサート公演	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	<input type="checkbox"/>
(2) 演劇公演 (能楽、狂言、歌舞伎、 人形浄瑠璃を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	<input type="checkbox"/>
(3) ダンス公演	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	<input type="checkbox"/>
(4) 落語、講演会、 トークショー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	<input type="checkbox"/>
(5) 体験型講座、 ワークショップ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	<input type="checkbox"/>

→p.8Ⅲ問 6-1 で「(3) 実績、予定ともない」と答えた方に伺います。

6-3. どのような要素があれば、鑑賞サポート付き公演を実施したいと思いますか。(複数回答可)

- (1) 国または地方自治体からの予算措置
- (2) 福祉部署との連携
- (3) 鑑賞サポートのノウハウ
- (4) マンパワーの増強
- (5) 施設と設備のバリアフリー化
- (6) その他 (具体的に)

→すべての方に伺います。

7. 障がいのある人への鑑賞サポートは、劇場の利用促進につながるとお考えですか。

- (1) はい
- (2) いいえ
- (3) わからない

→すべての方に伺います。

8. 鑑賞サポートについて学ぶ研修等があれば参加したいと思いますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

→すべての方に伺います。

9. 上演前の障がいのある人への鑑賞サポートについて

9-1. 上演前に障がいのある人へ鑑賞サポートをしていますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

→p.10Ⅲ問 9-1 で「(1) はい」と答えた方に伺います。

9-2. どのような鑑賞サポートを行っていますか。（複数回答可）

- (1) 手話や文字情報による案内
- (2) 点字や拡大字による案内
- (3) 舞台説明会
- (4) 台本の貸出し
- (5) その他（具体的に ）

→p.10Ⅲ問9-1で「(2) いいえ」と答えた方に伺います。

9-3. どのような要素があれば、上演前の鑑賞サポートを行いたいと思いますか。

（複数回答可）

- (1) 国または地方自治体からの予算措置
- (2) 福祉部署との連携
- (3) 鑑賞サポートに関するノウハウ
- (4) マンパワーの増強
- (5) その他（具体的に _____)
- (6) 特にない

Ⅳ 障がいのある人の表現活動について

1. ワークショップなどの参加型事業を実施していますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

→p.11Ⅳ問1で「(1) はい」と答えた方に伺います。

2. 障がいのある人の参加について

2-1.これまでに、障がい者のある人は参加しましたか

- (1) はい
- (2) いいえ

→p.11Ⅳ問 1 で「(1) はい」と答えた方に伺います。

2-2. 障がいのある人が参加したことで、苦勞したことや対応に困ったことがあれば、具体的な内容とその時の対応方法をお答えください。

→p.11Ⅳ問 1 で「(2) いいえ」と答えた方に伺います。

2-3. どんな要素があれば、障がいのある人の参加を促すことができると思いますか。

（複数回答可）

- (1) 国または地方自治体からの予算措置
- (2) 福祉部署との連携
- (3) 障がいのある人に情報を届けるノウハウ
- (4) 参加時のサポート体制
- (5) マンパワーの増強
- (6) 施設・設備のバリアフリー化
- (7) その他（具体的に _____)
- (8) 特にない

V 施設の取り組みについて

1. 障がいのある人から、施設の運営や合理的配慮についての要望を受けたことがありますか。（複数回答可）

- （1）施設運営に関するもの（具体的に ）
- （2）合理的配慮に関するもの（具体的に ）
- （3）ない

→すべての方に伺います。

2. 障がいのある人のニーズを知るために、何らかの取り組みを行っていますか。

- （1）はい（具体的に ）
- （2）いいえ

→すべての方に伺います。

3. 貴施設が取り組む障がいのある人たちを対象とした活動は、社会的にどのような効果を生んでいると思いますか。（3つまで）

- （1）障がい者に関わる問題について、社会の関心を集めることができた
- （2）今まで表現活動や鑑賞に参加しなかった人の参加を促すことができた
- （3）障がい者の家族など周囲の人々が、新たな可能性を見出すことができた
- （4）行政や社会福祉協議会等による新しいサービス開始のきっかけとなった
- （5）行政や社会福祉協議会等によるサービス改善のきっかけとなった
- （6）自治会や NPO 等、地域の他の団体・グループの活動に何らかの刺激となった
- （7）障がい者に対して友好的な地域社会となった
- （8）既存の舞台芸術にない、新しい表現方法を探ることができた
- （9）芸術そのものの、価値や意味を問い直すことができた
- （10）その他（具体的に ）
- （11）特にない

ご回答いただき、ありがとうございました。

障がい者の舞台芸術表現・鑑賞に関する実態調査報告書 詳細版

発行日 2017年3月

発行者 日本財団パラリンピックサポートセンター パラリンピック研究会
〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-5 赤坂アビタシオンビル4F

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)
〒590-0115 大阪府堺市南区茶山台 1-8-1